

## 7月1日に報告された熱中症入院患者数

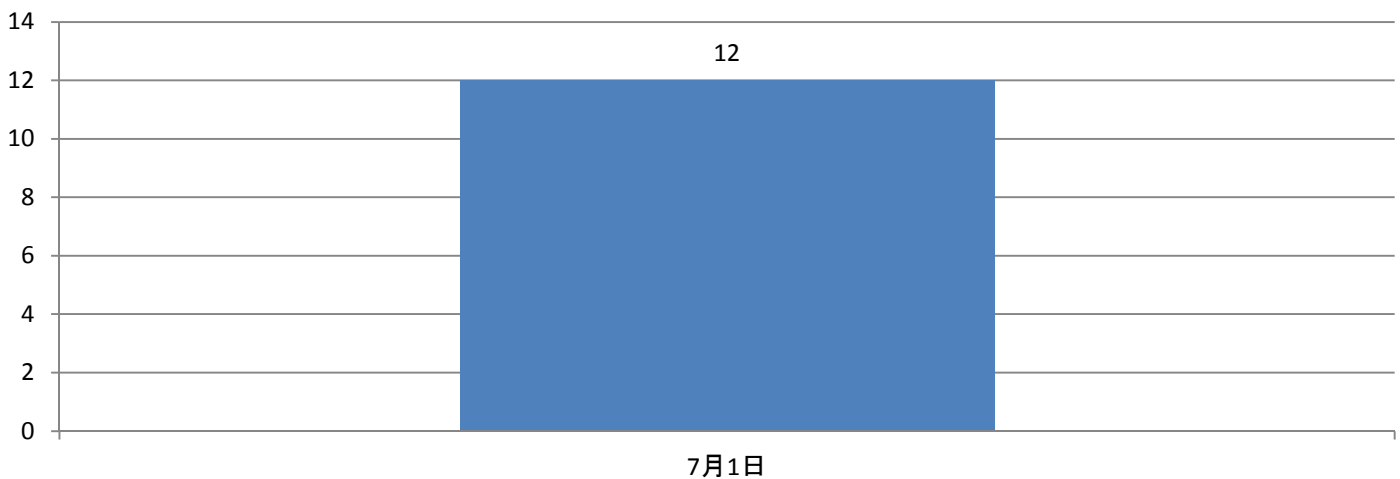
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

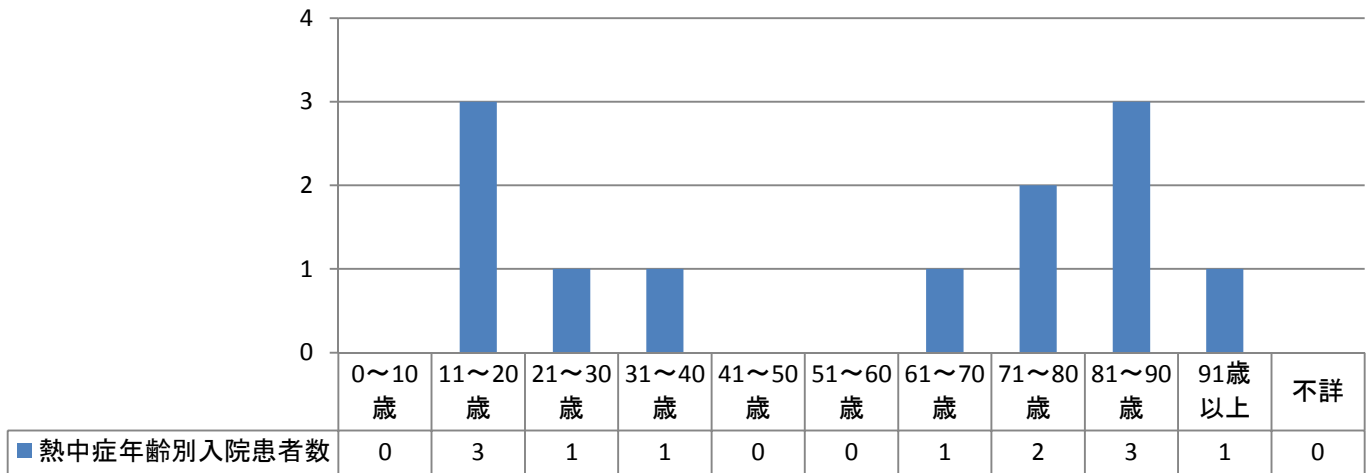
## 報告された熱中症入院患者数



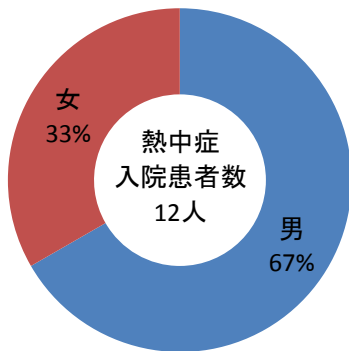
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月1日)

東京都	2人	京都府	1人
千葉県	1人	滋賀県	1人
新潟県	1人	徳島県	1人
長野県	1人		
岐阜県	1人		
三重県	1人		
大阪府	1人		
兵庫県	1人		

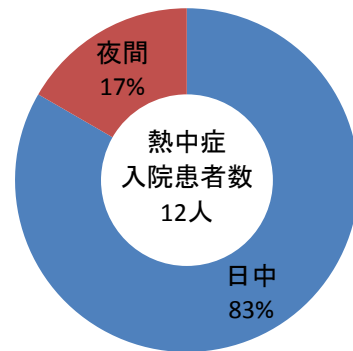
## 熱中症年齢別入院患者数(7月1日)



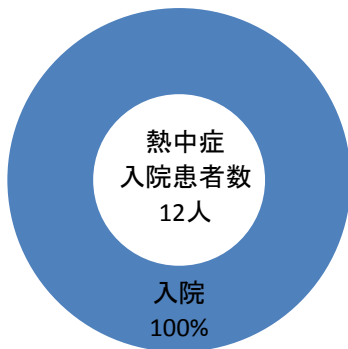
### 男女別(割合)



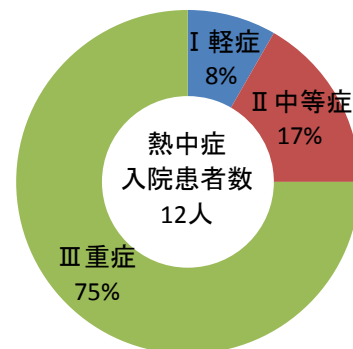
### 発症時間帯別(割合)



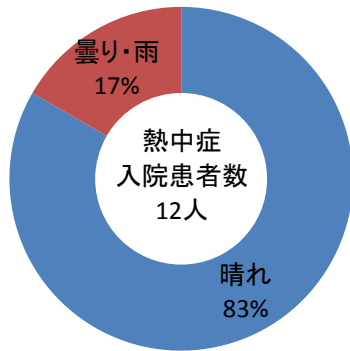
### 受診後(割合)



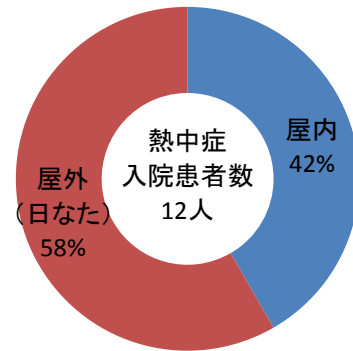
### 重症度分類(割合)



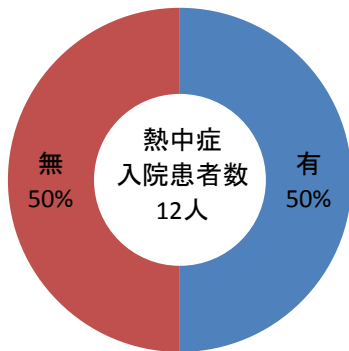
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月2日に報告された熱中症入院患者数

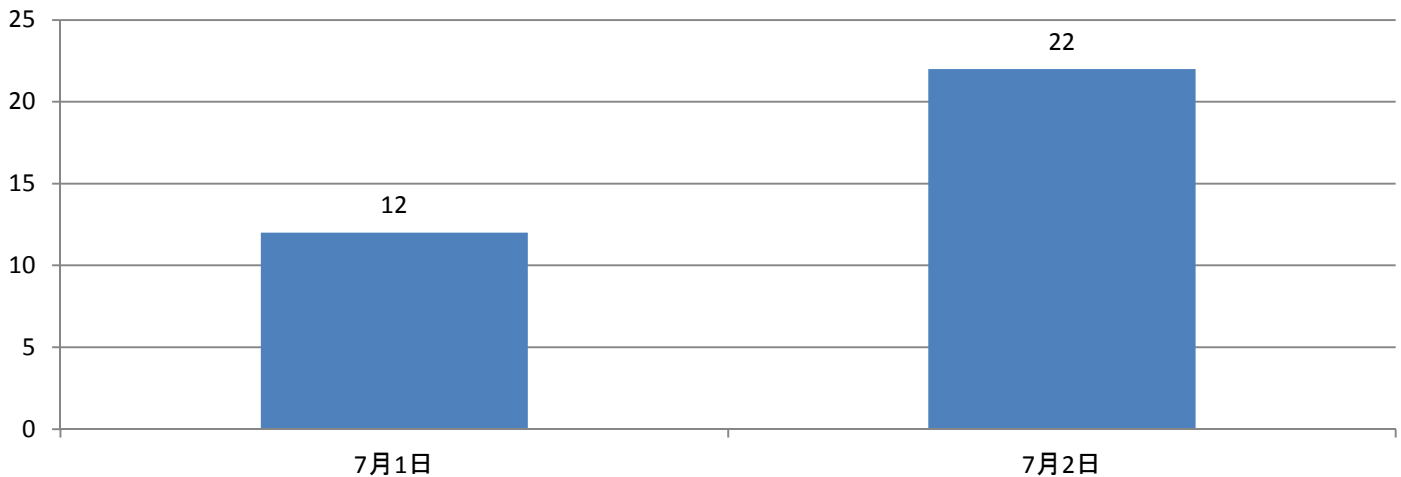
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

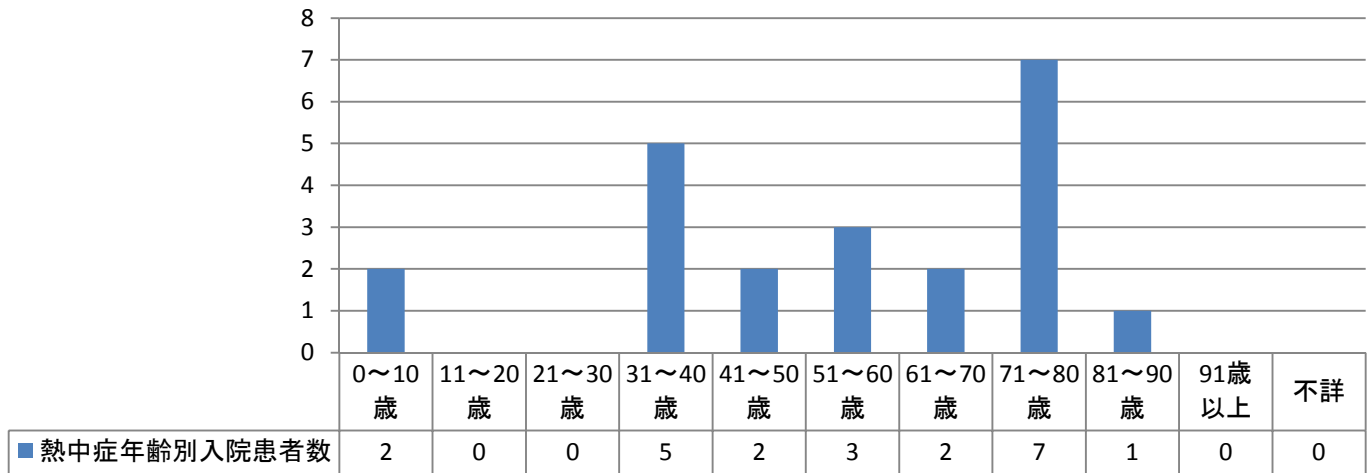
### 報告された熱中症入院患者数



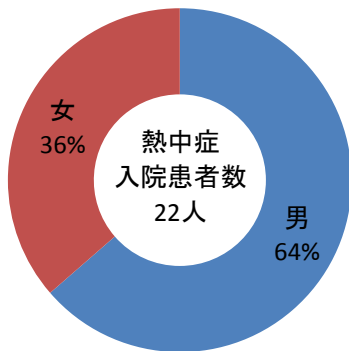
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月2日)

東京都	2人	福岡県	2人
茨城県	1人	鹿児島県	1人
福井県	2人		
愛知県	3人		
大阪府	1人		
京都府	7人		
徳島県	2人		
高知県	1人		

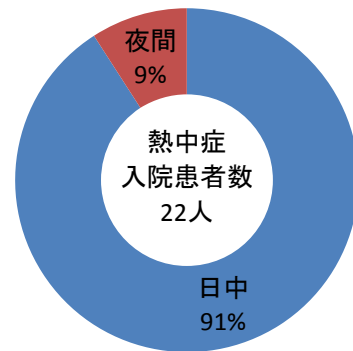
## 熱中症年齢別入院患者数(7月2日)



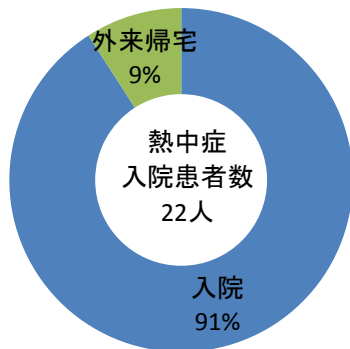
### 男女別(割合)



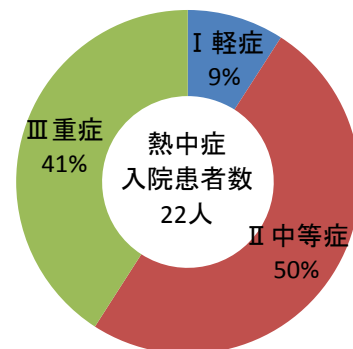
### 発症時間帯別(割合)



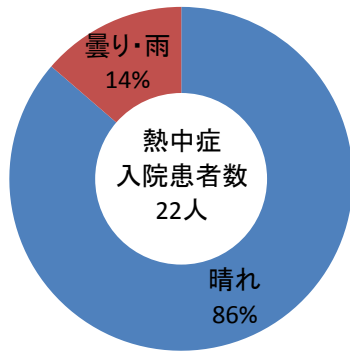
### 受診後(割合)



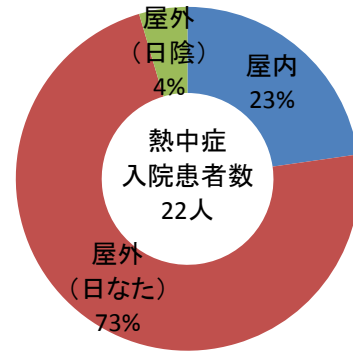
### 重症度分類(割合)



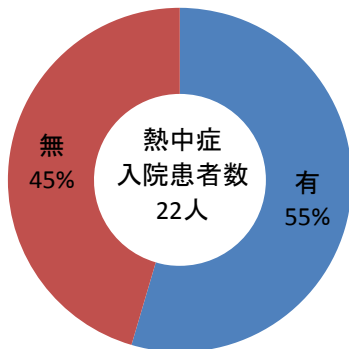
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月3日に報告された熱中症入院患者数

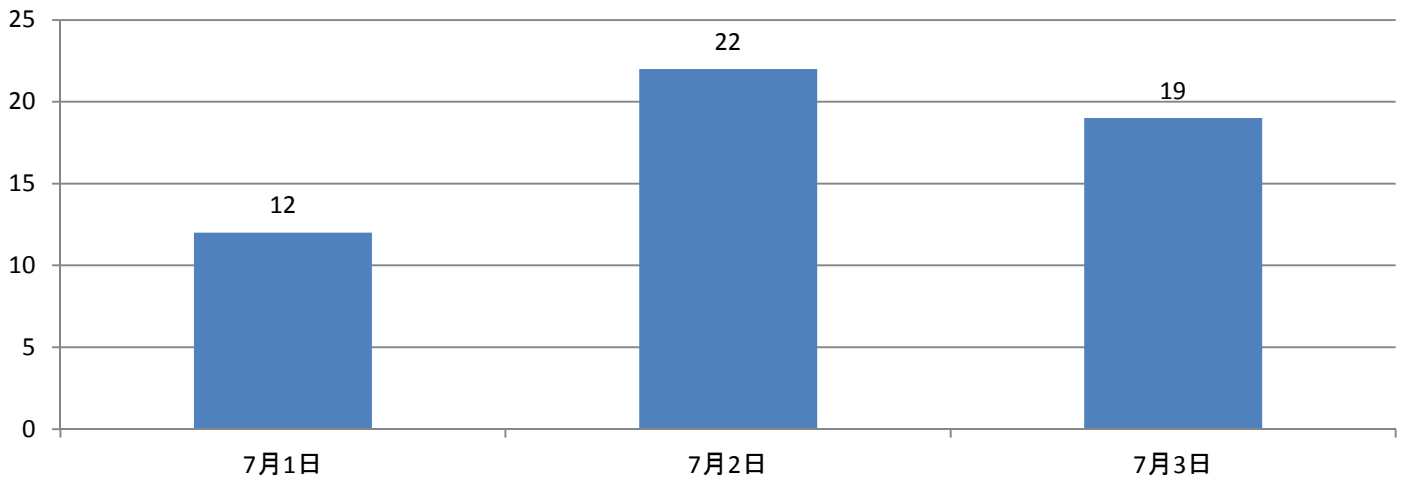
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

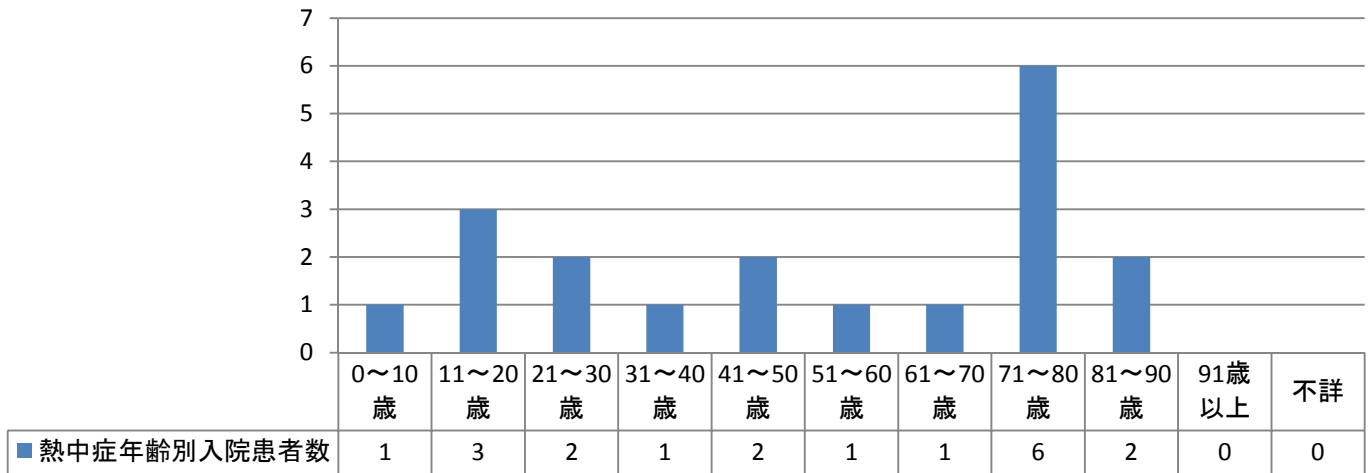
### 報告された熱中症入院患者数



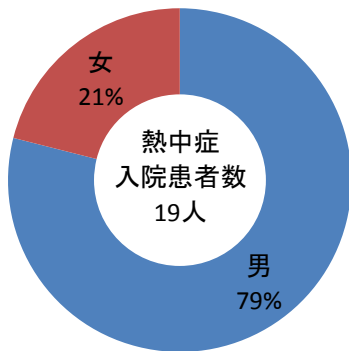
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月3日)

北海道	1人	京都府	1人
東京都	2人	奈良県	1人
埼玉県	1人	高知県	1人
千葉県	1人	福岡県	2人
長野県	1人	大分県	1人
愛知県	2人		
静岡県	3人		
大阪府	2人		

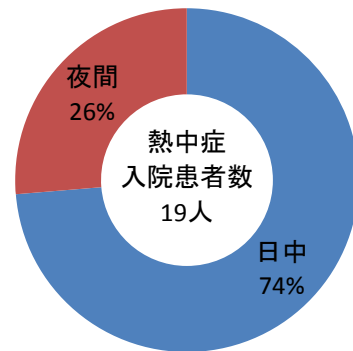
## 熱中症年齢別入院患者数(7月3日)



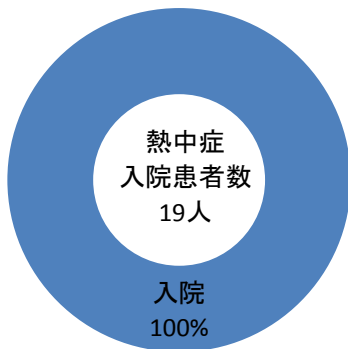
### 男女別(割合)



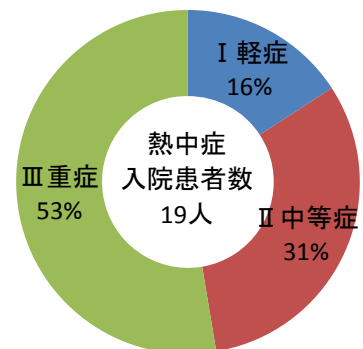
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

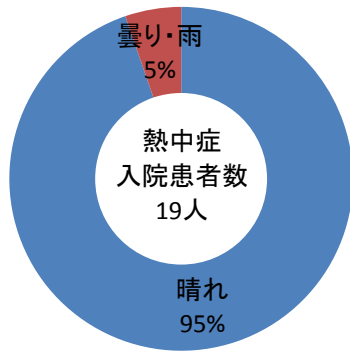


### 重症度分類(割合)

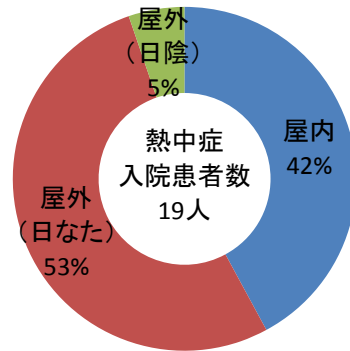




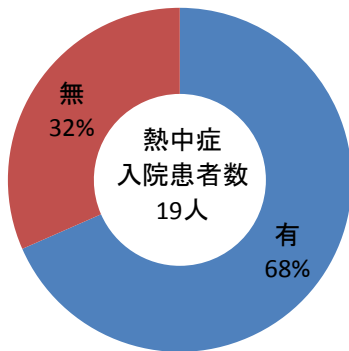
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月4日に報告された熱中症入院患者数

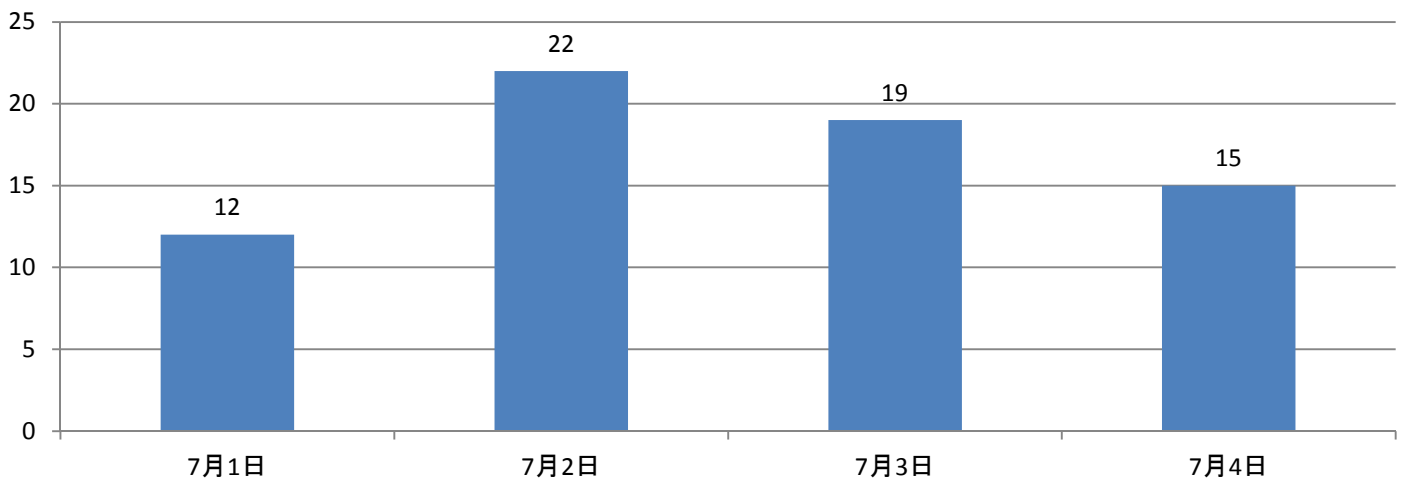
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

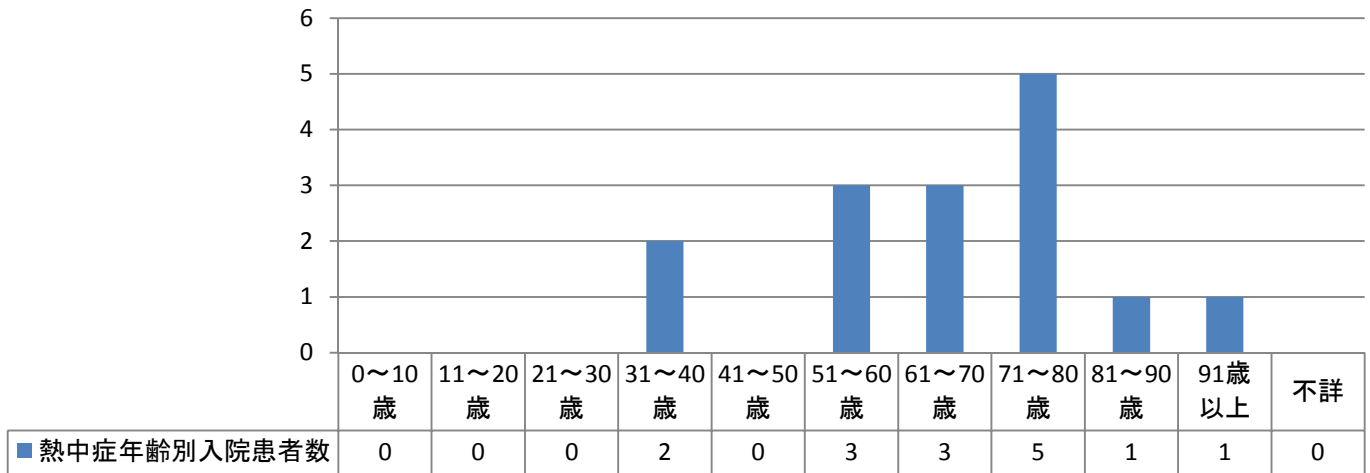
### 報告された熱中症入院患者数



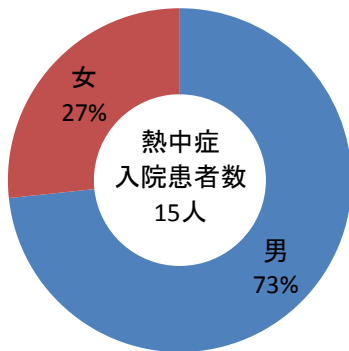
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月4日)

東京都	4人	鹿児島県	1人
千葉県	1人	沖縄県	2人
茨城県	1人		
栃木県	1人		
静岡県	1人		
兵庫県	1人		
福岡県	1人		
熊本県	2人		

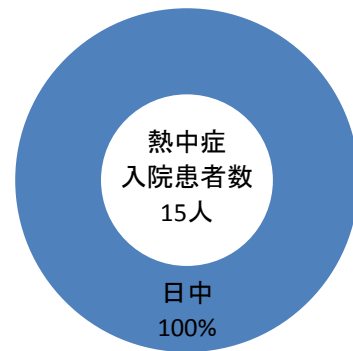
## 熱中症年齢別入院患者数(7月4日)



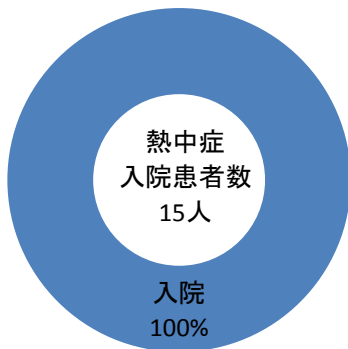
### 男女別(割合)



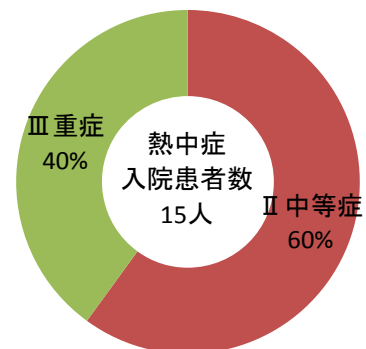
### 発症時間帯別(割合)



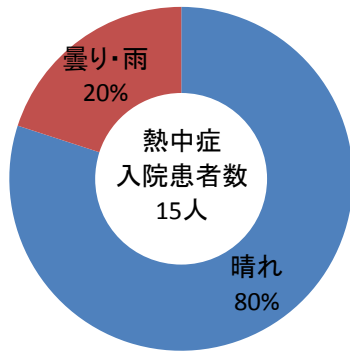
### 受診後(割合)



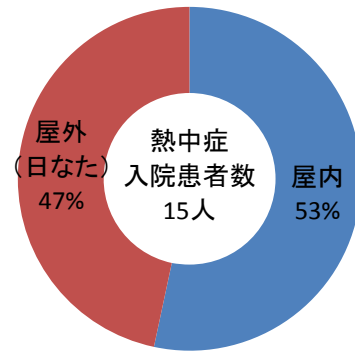
### 重症度分類(割合)



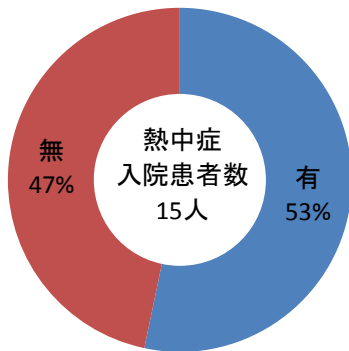
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月5日に報告された熱中症入院患者数

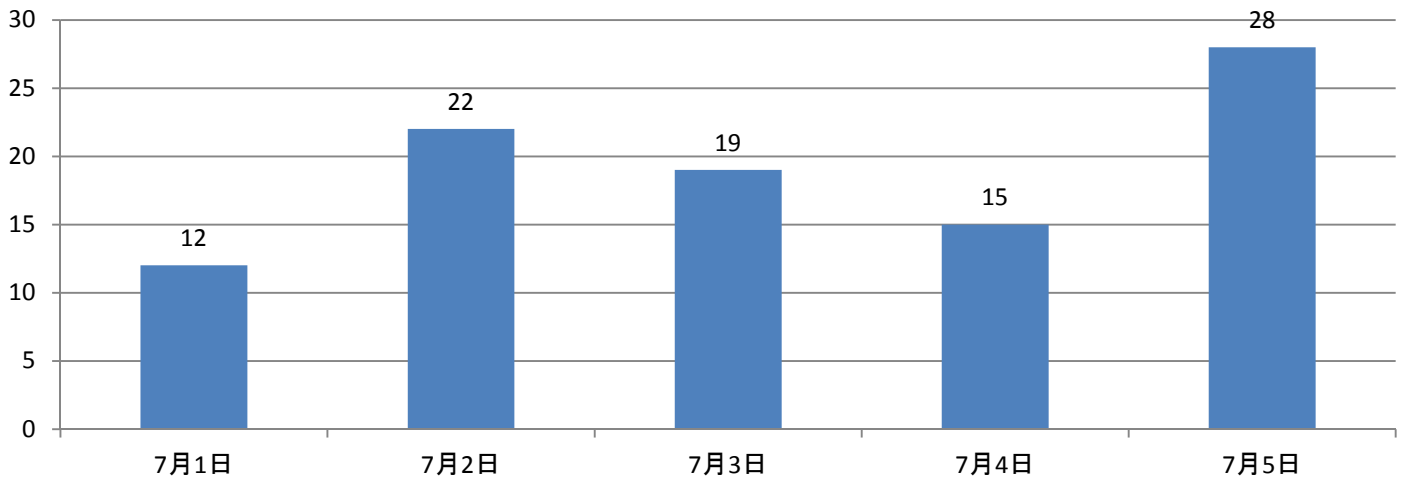
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

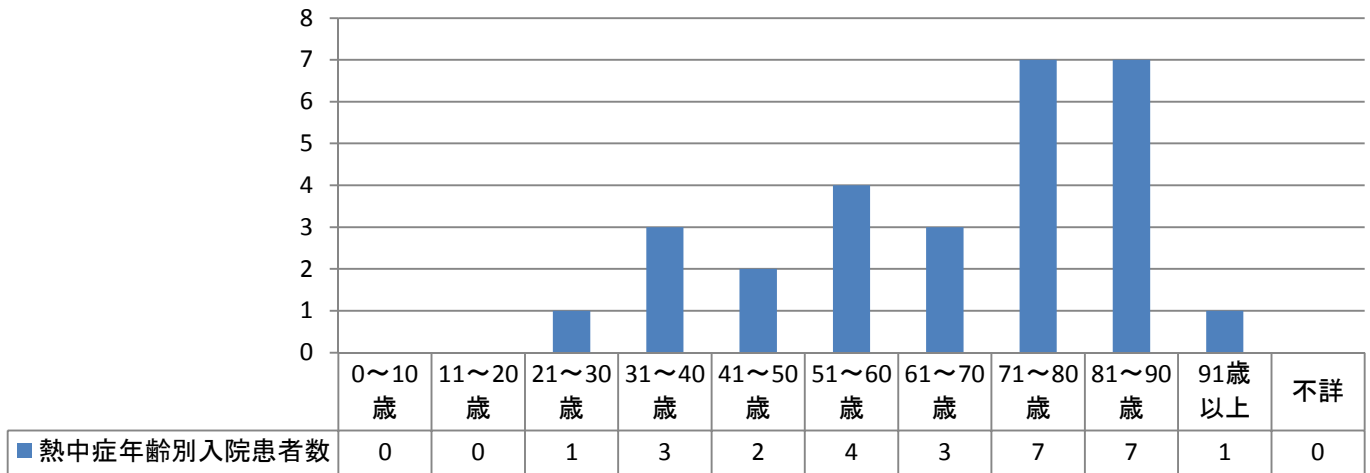
### 報告された熱中症入院患者数



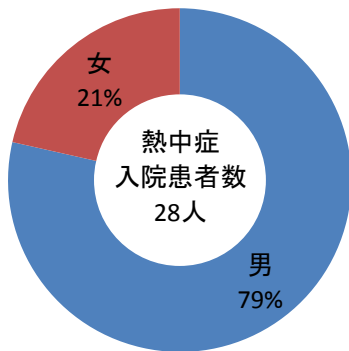
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月5日)

神奈川県	1人	奈良県	3人
愛知県	1人	鳥取県	1人
静岡県	1人	広島県	2人
三重県	1人	徳島県	1人
大阪府	3人	福岡県	3人
兵庫県	2人	熊本県	1人
京都府	5人	大分県	1人
滋賀県	1人	沖縄県	1人

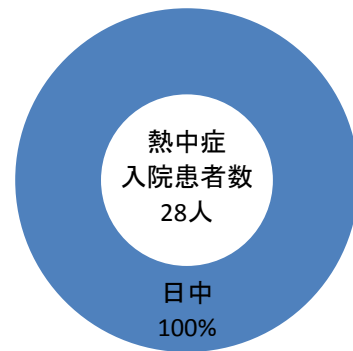
## 熱中症年齢別入院患者数(7月5日)



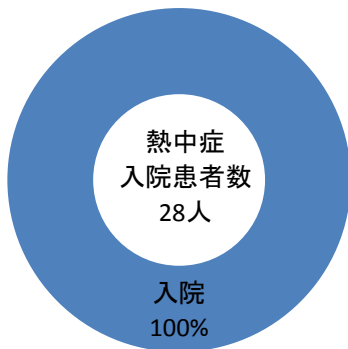
### 男女別(割合)



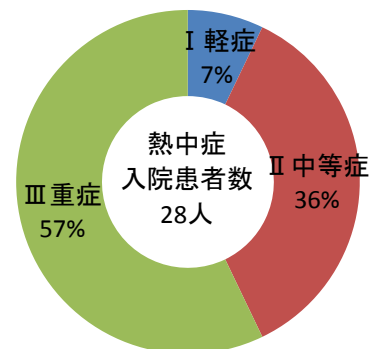
### 発症時間帯別(割合)



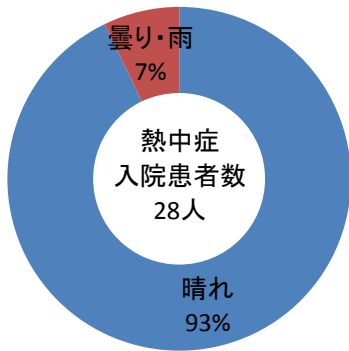
### 受診後(割合)



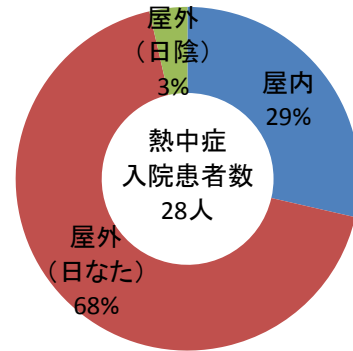
### 重症度分類(割合)



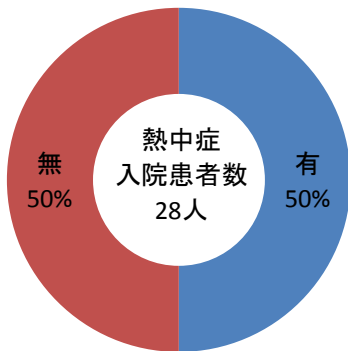
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月6日に報告された熱中症入院患者数

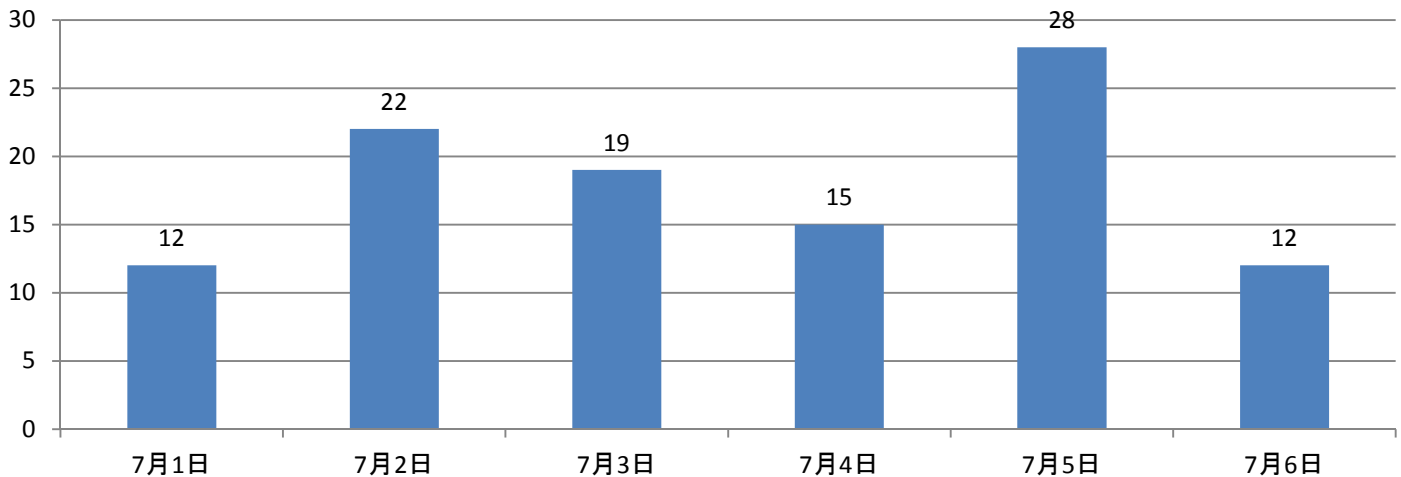
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

## 報告された熱中症入院患者数

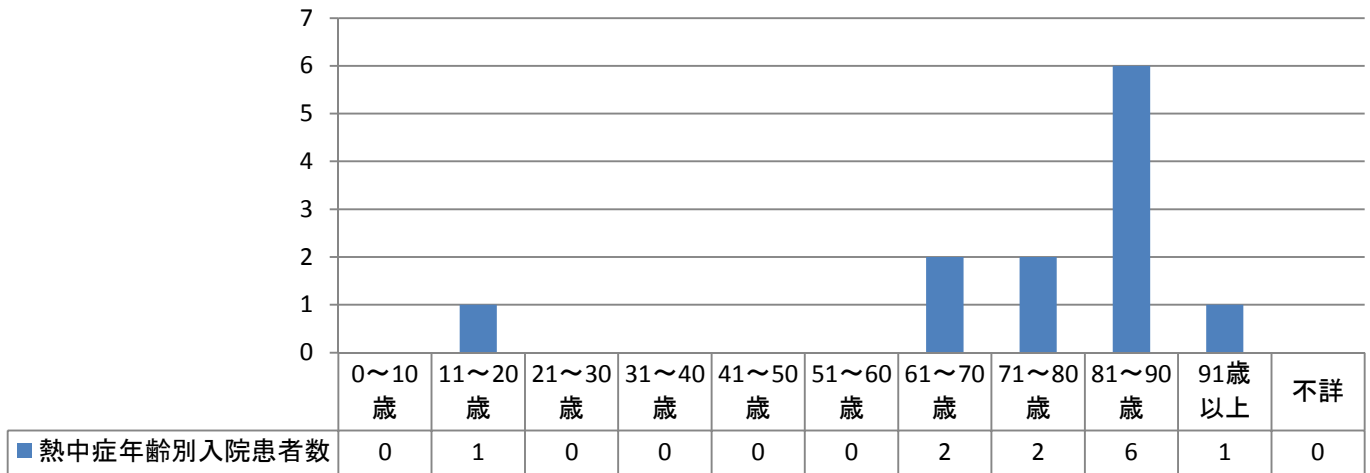


### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月6日)

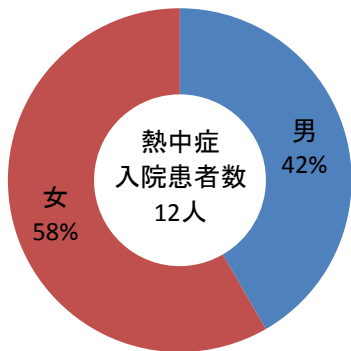
東京都	1人
群馬県	1人
愛知県	1人
京都府	3人
高知県	2人
福岡県	3人
熊本県	1人



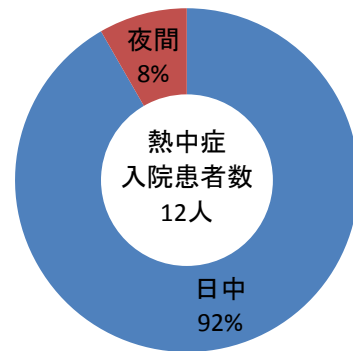
## 熱中症年齢別入院患者数(7月6日)



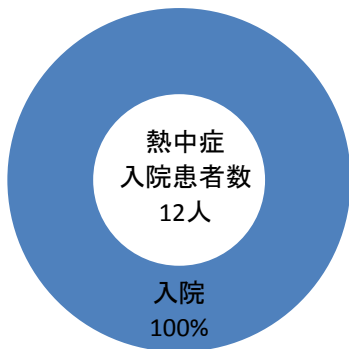
### 男女別(割合)



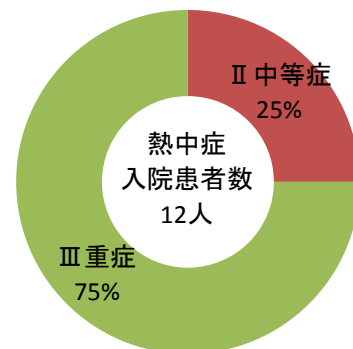
### 発症時間帯別(割合)



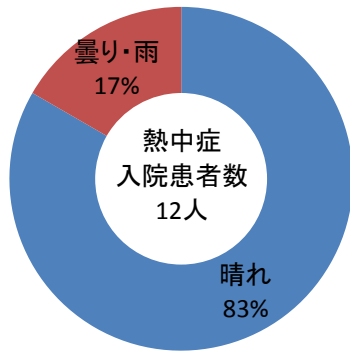
### 受診後(割合)



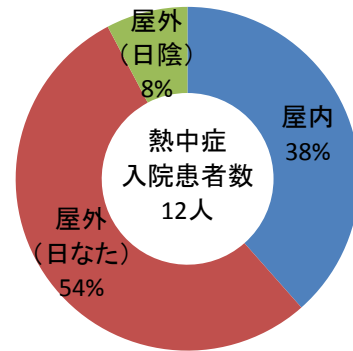
### 重症度分類(割合)



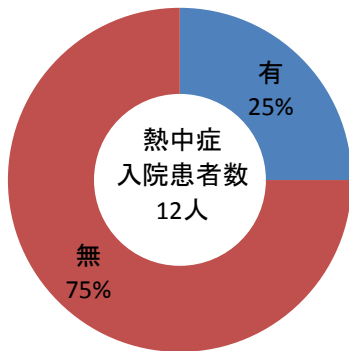
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月7日に報告された熱中症入院患者数

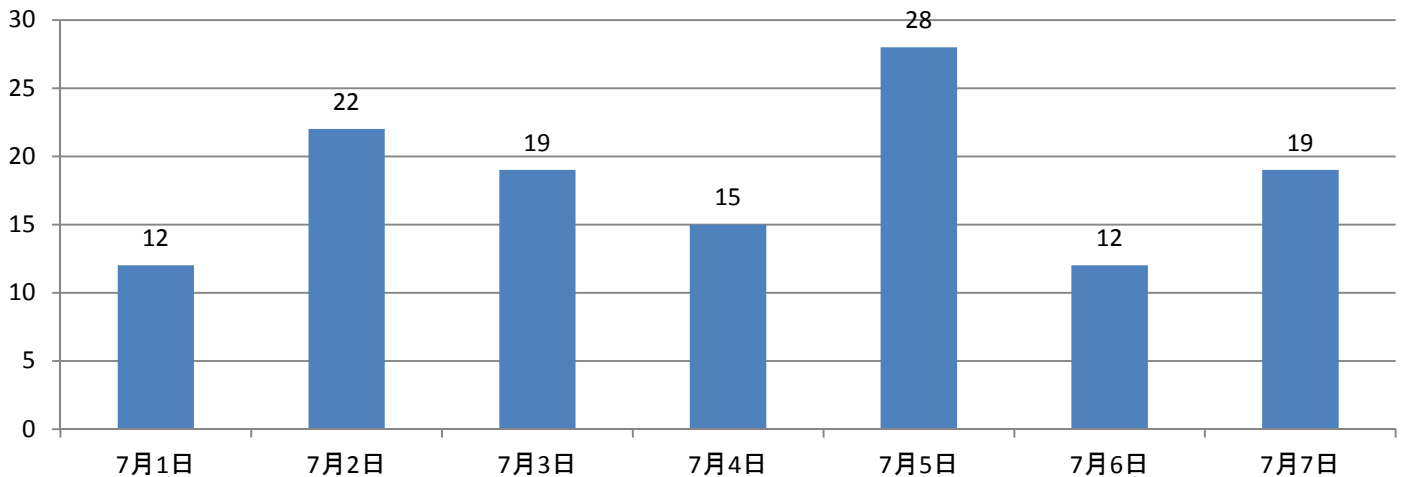
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

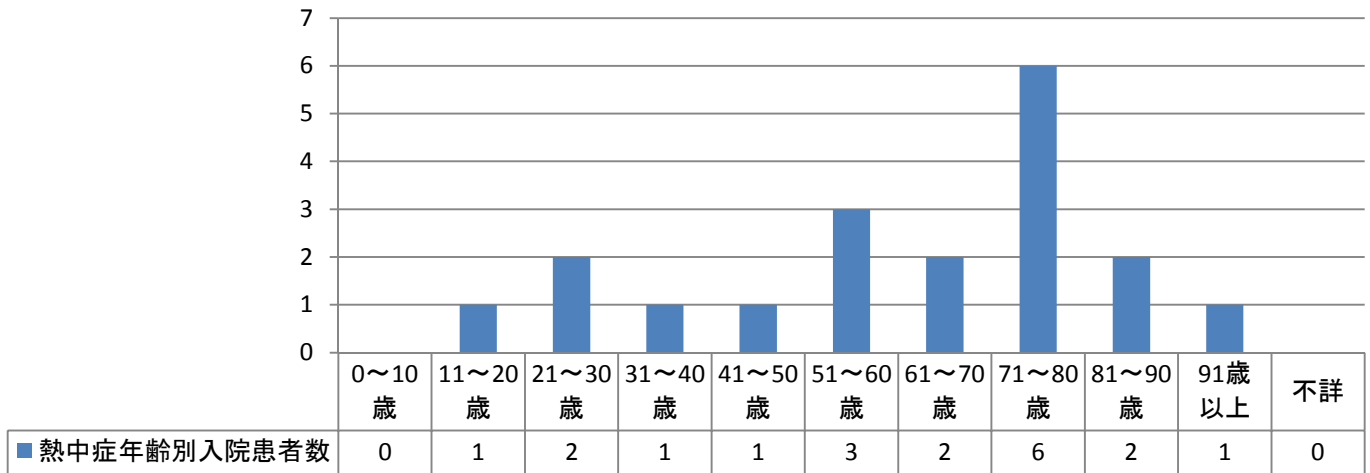
### 報告された熱中症入院患者数



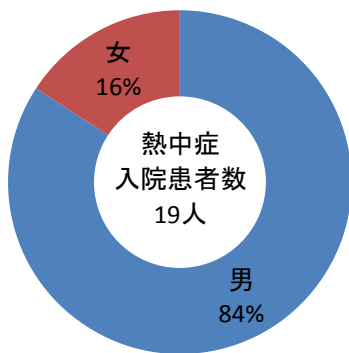
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月7日)

東京都	3人	滋賀県	1人
千葉県	2人	熊本県	1人
群馬県	2人		
長野県	1人		
愛知県	2人		
大阪府	1人		
兵庫県	2人		
京都府	4人		

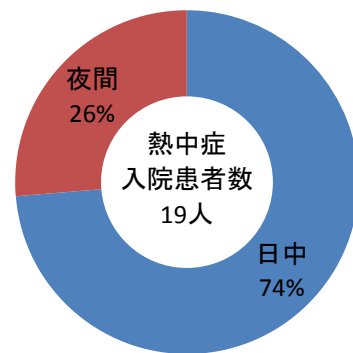
## 熱中症年齢別入院患者数(7月7日)



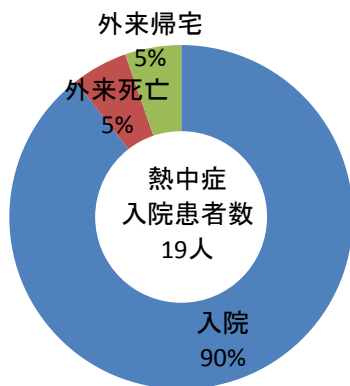
### 男女別(割合)



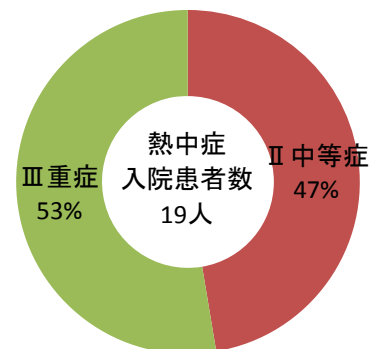
### 発症時間帯別(割合)



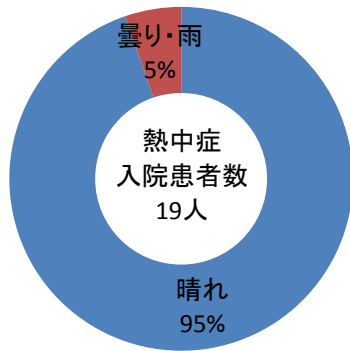
### 受診後(割合)



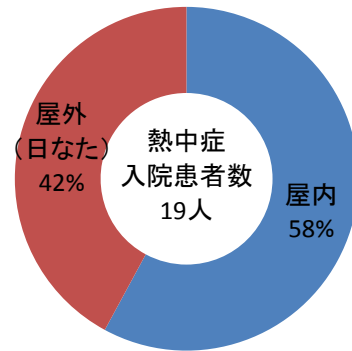
### 重症度分類(割合)



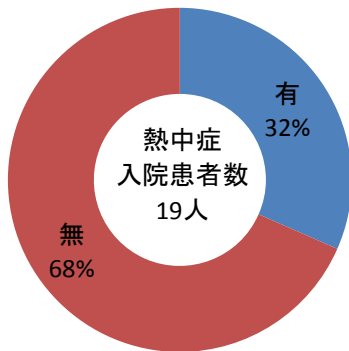
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)※



## 運動の有無(割合)



※ 重複回答は、それぞれに分類し割合を算出していますが、人数については「報告された熱中症入院患者数」を掲載しています。

\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月8日に報告された熱中症入院患者数

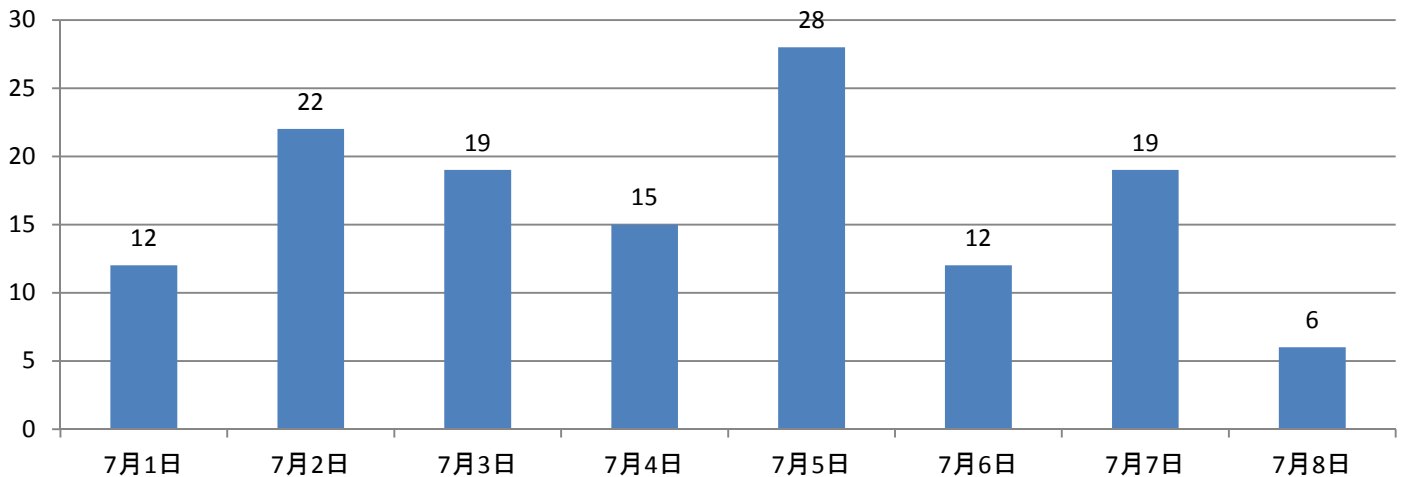
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

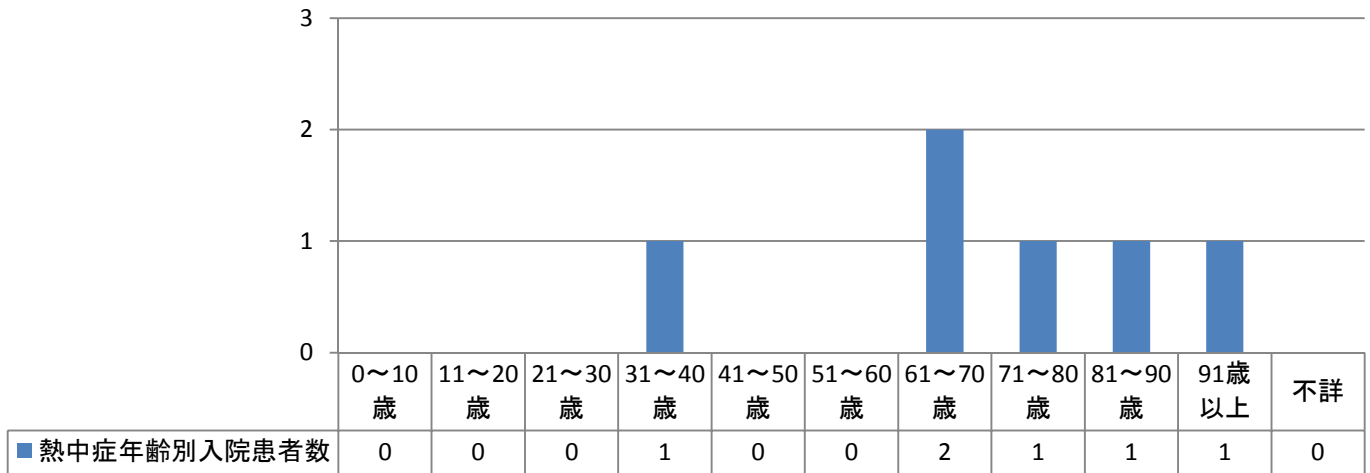
### 報告された熱中症入院患者数



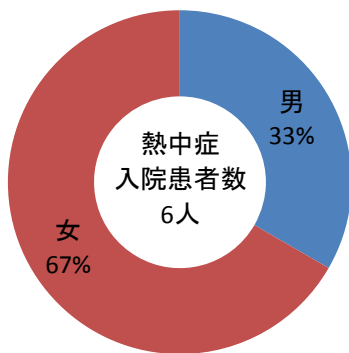
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月8日)

東京都	1人
京都府	3人
高知県	1人
鹿児島県	1人

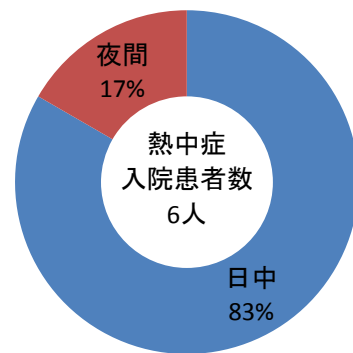
## 熱中症年齢別入院患者数(7月8日)



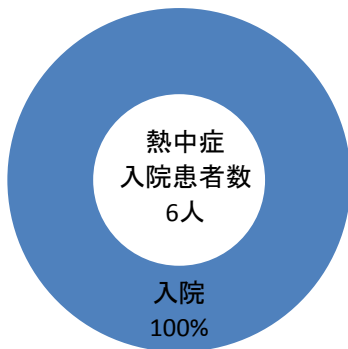
### 男女別(割合)



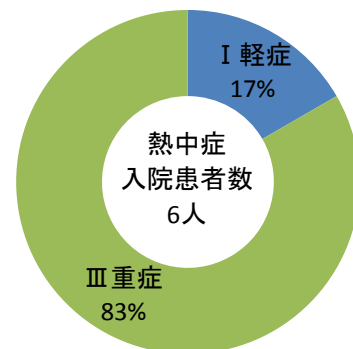
### 発症時間帯別(割合)



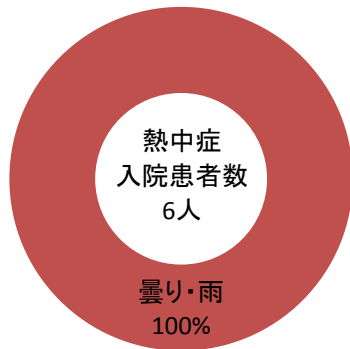
### 受診後(割合)



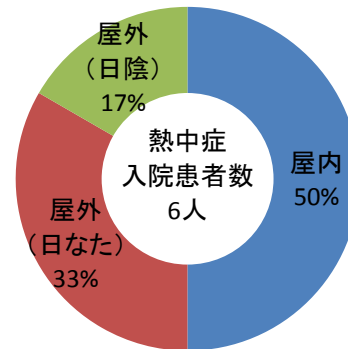
### 重症度分類(割合)



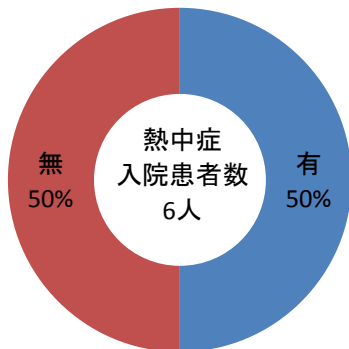
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 7月9日に報告された熱中症入院患者数

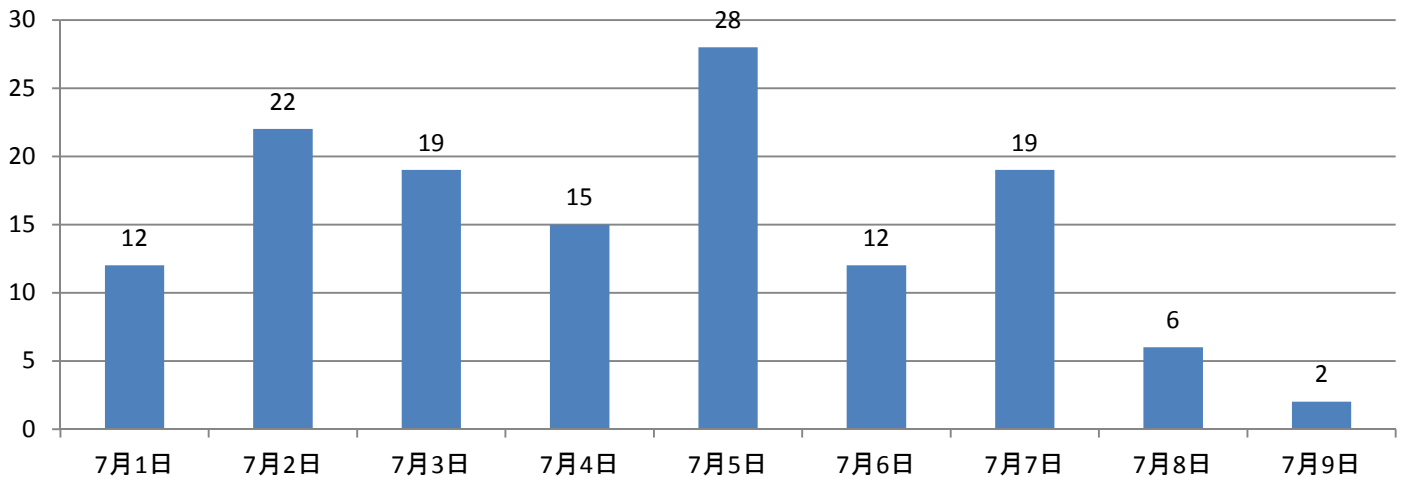
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

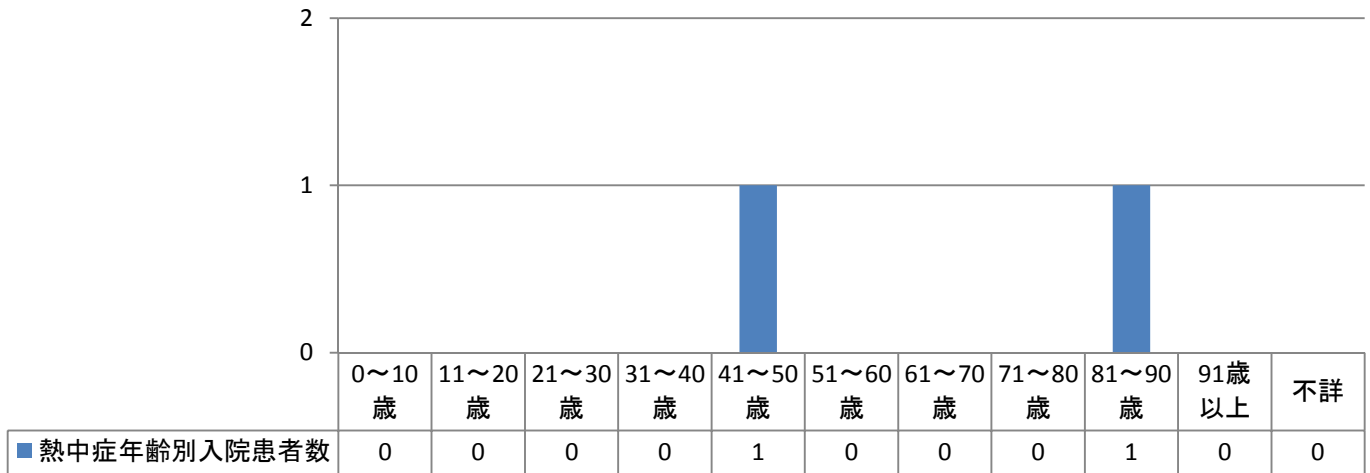
### 報告された熱中症入院患者数



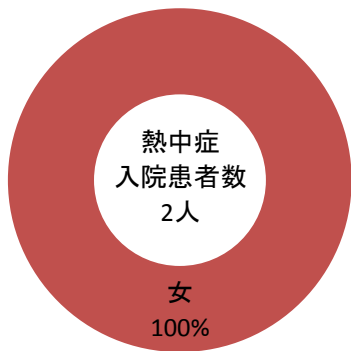
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月9日)

京都府	1人
熊本県	1人

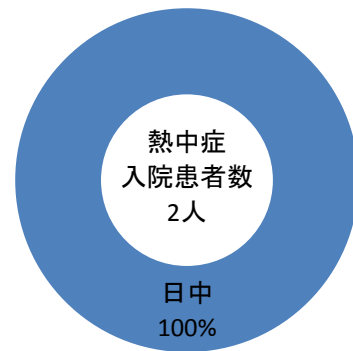
## 熱中症年齢別入院患者数(7月9日)



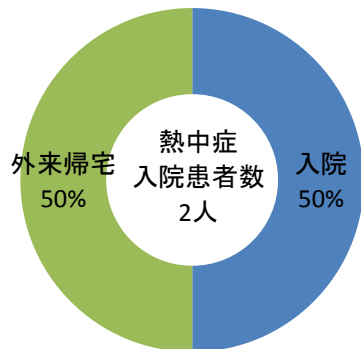
### 男女別(割合)



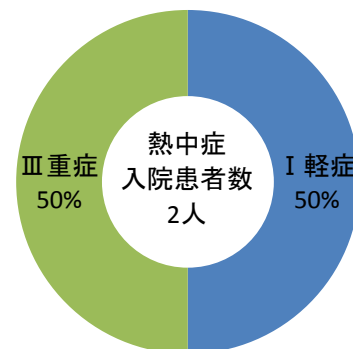
### 発症時間帯別(割合)



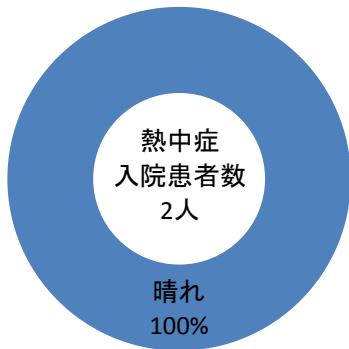
### 受診後(割合)



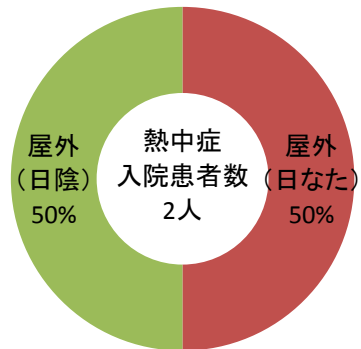
### 重症度分類(割合)



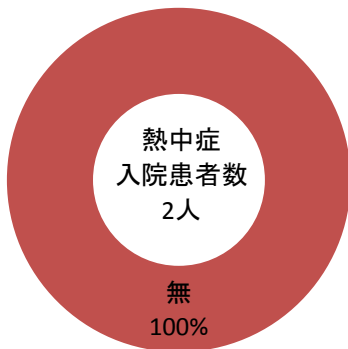
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月10日に報告された熱中症入院患者数

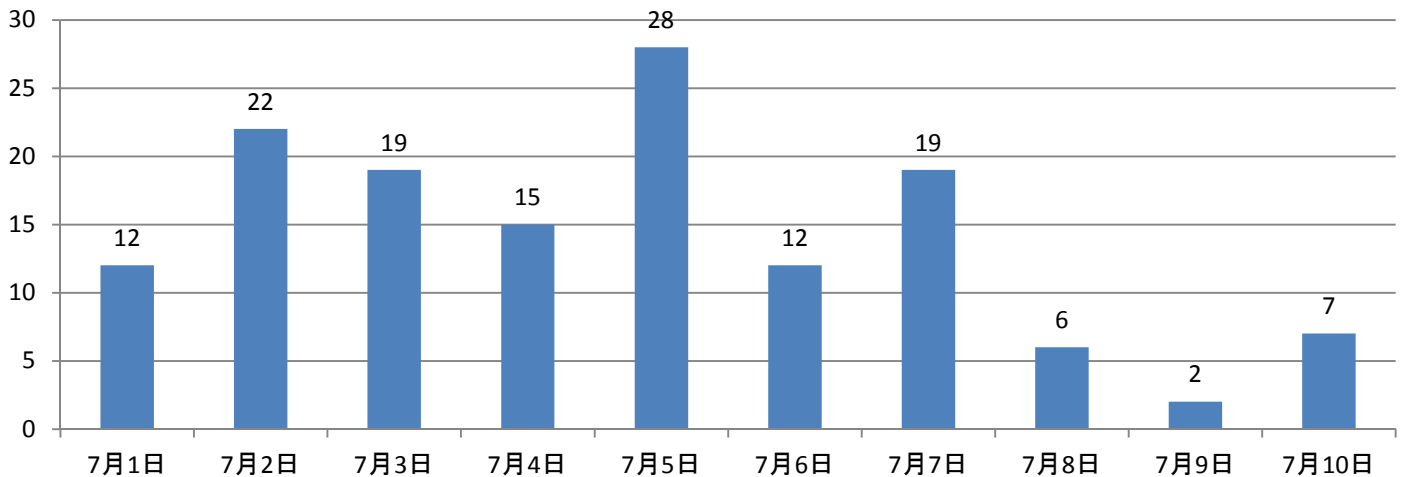
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

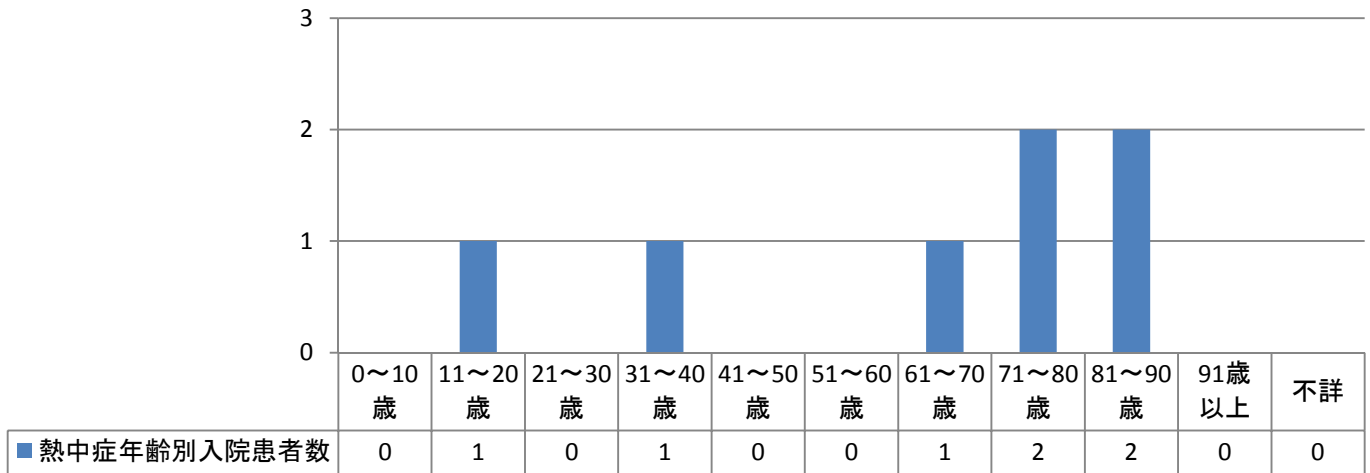
### 報告された熱中症入院患者数



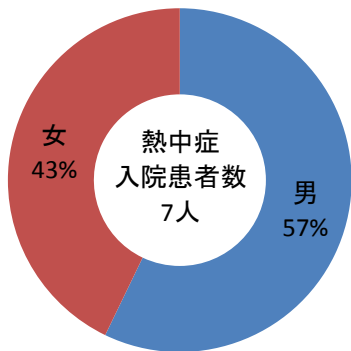
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月10日)

東京都	1人
栃木県	1人
群馬県	1人
長野県	1人
石川県	1人
愛知県	1人
大阪府	1人

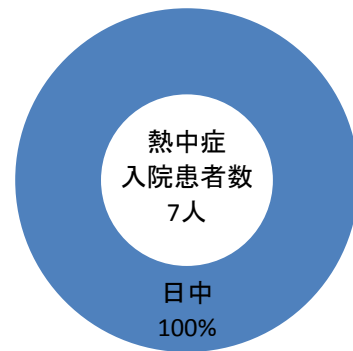
## 熱中症年齢別入院患者数(7月10日)



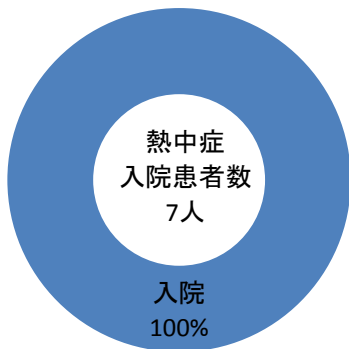
### 男女別(割合)



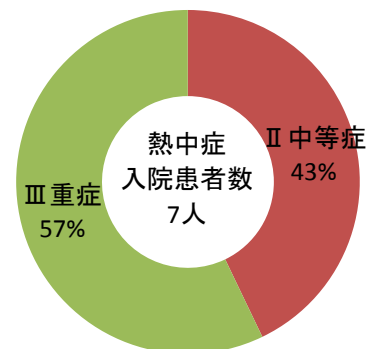
### 発症時間帯別(割合)



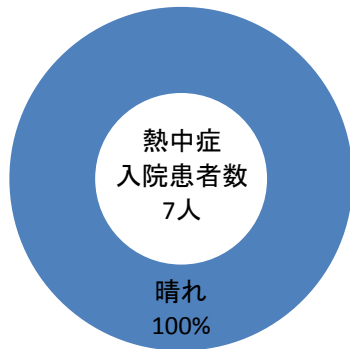
### 受診後(割合)



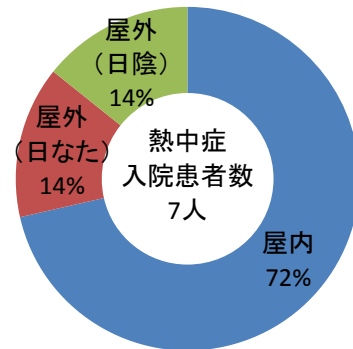
### 重症度分類(割合)



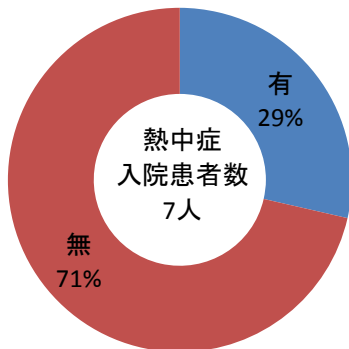
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月11日に報告された熱中症入院患者数

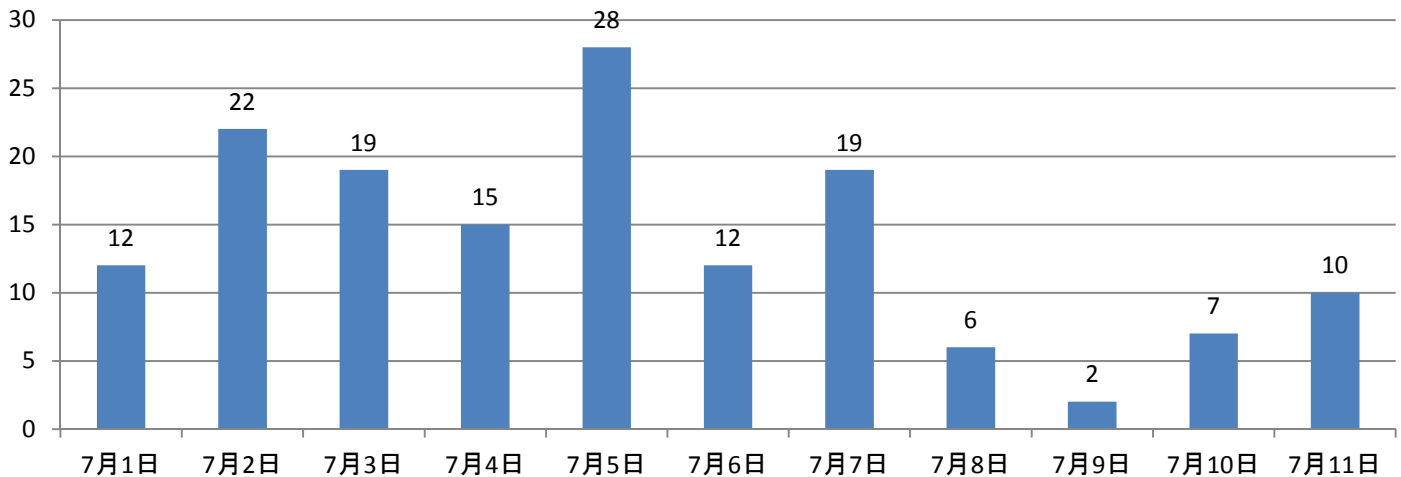
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

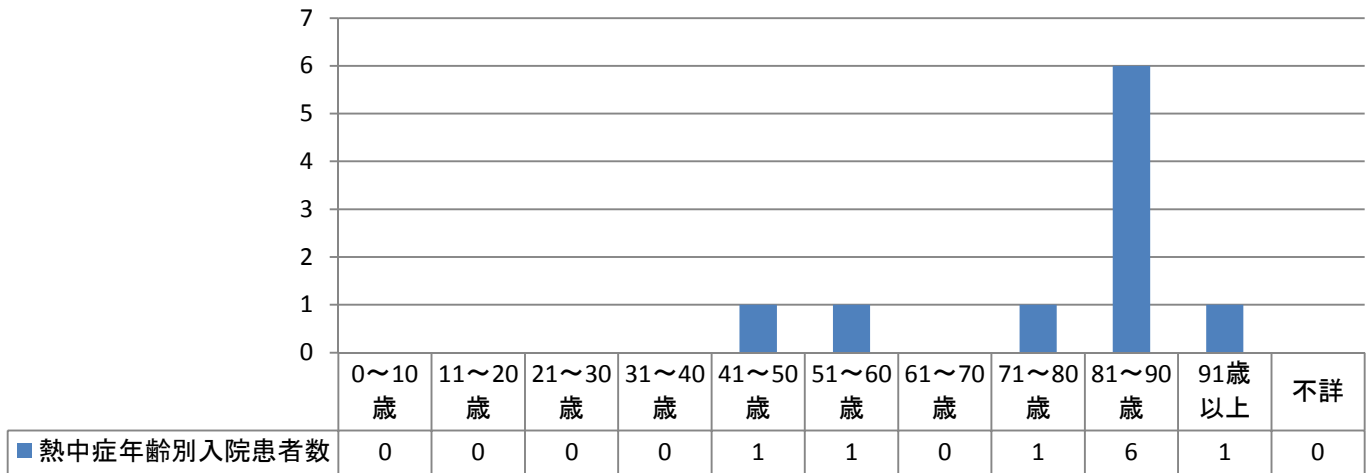
### 報告された熱中症入院患者数



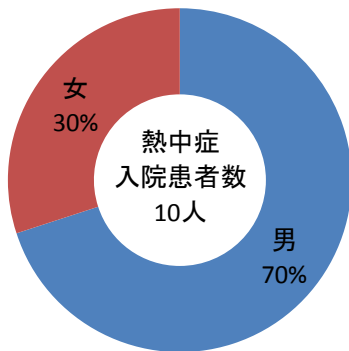
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月11日)

東京都	2人
神奈川県	1人
千葉県	1人
群馬県	1人
大阪府	1人
京都府	1人
滋賀県	2人
奈良県	1人

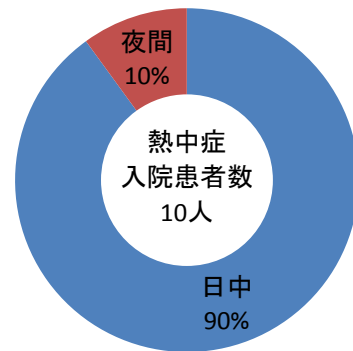
## 熱中症年齢別入院患者数(7月11日)



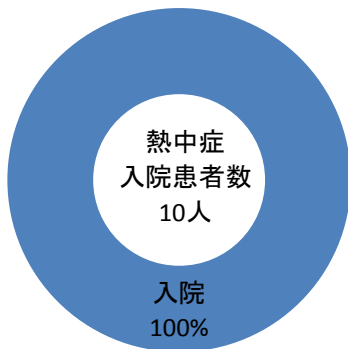
### 男女別(割合)



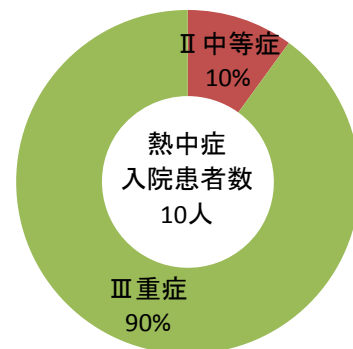
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

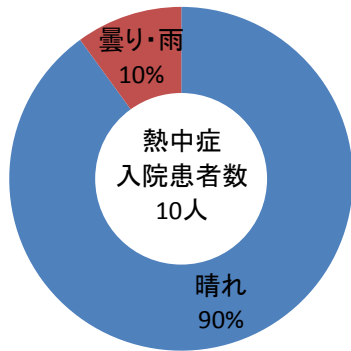


### 重症度分類(割合)

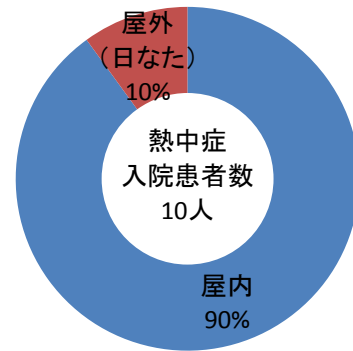




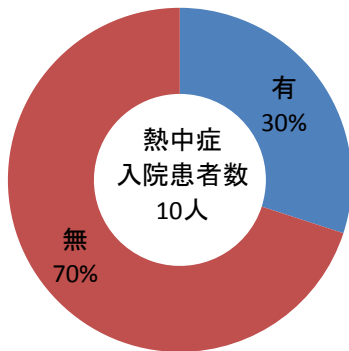
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月12日に報告された熱中症入院患者数

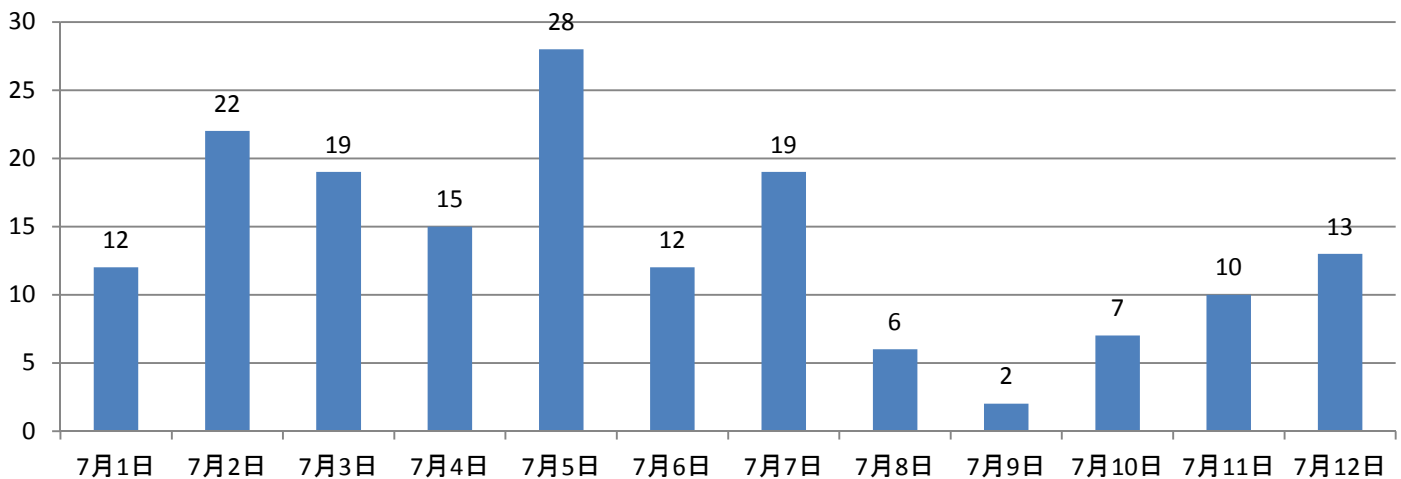
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

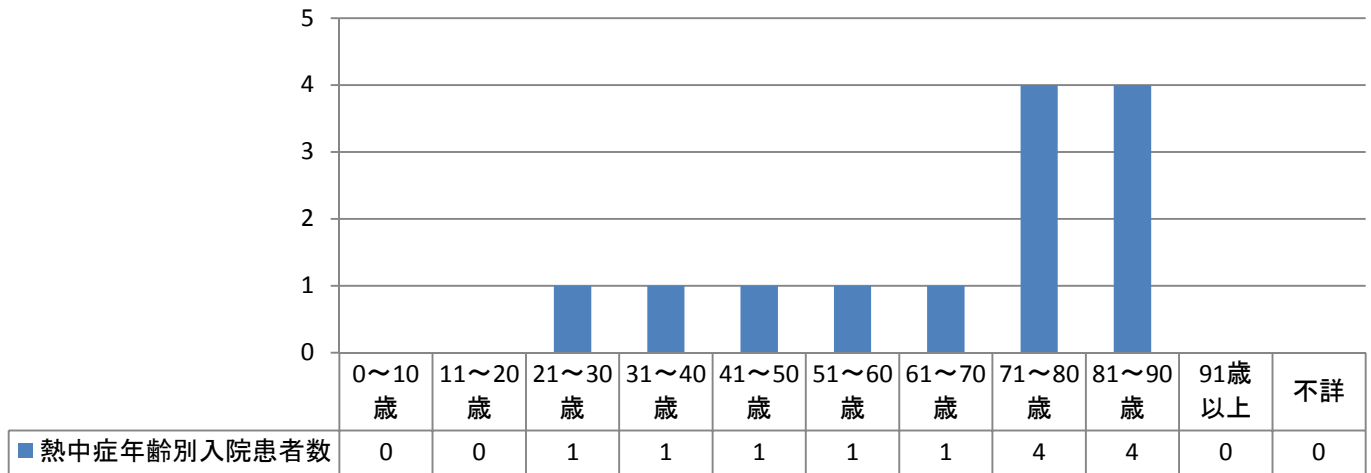
### 報告された熱中症入院患者数



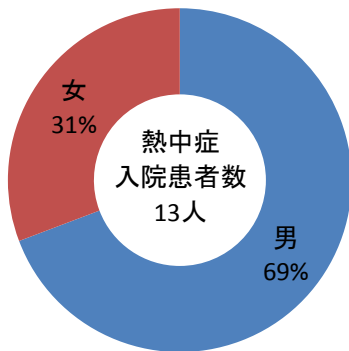
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月12日)

北海道	1人	徳島県	1人
東京都	3人		
神奈川県	1人		
栃木県	1人		
富山県	1人		
愛知県	1人		
大阪府	1人		
京都府	3人		

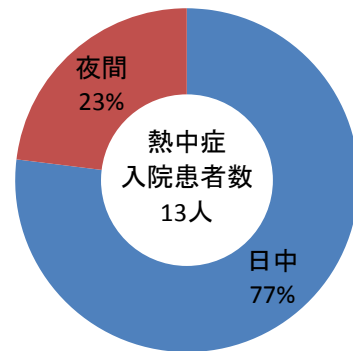
## 熱中症年齢別入院患者数(7月12日)



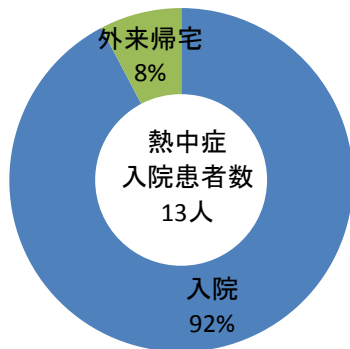
### 男女別(割合)



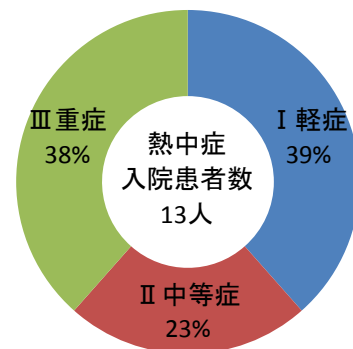
### 発症時間帯別(割合)



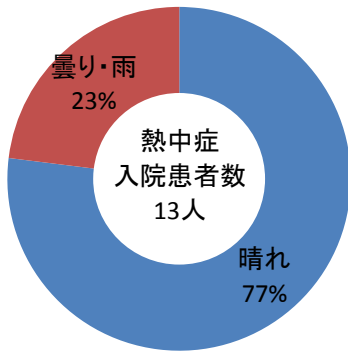
### 受診後(割合)



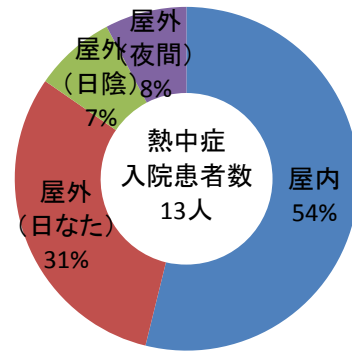
### 重症度分類(割合)



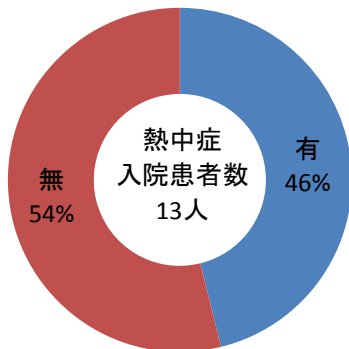
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月13日に報告された熱中症入院患者数

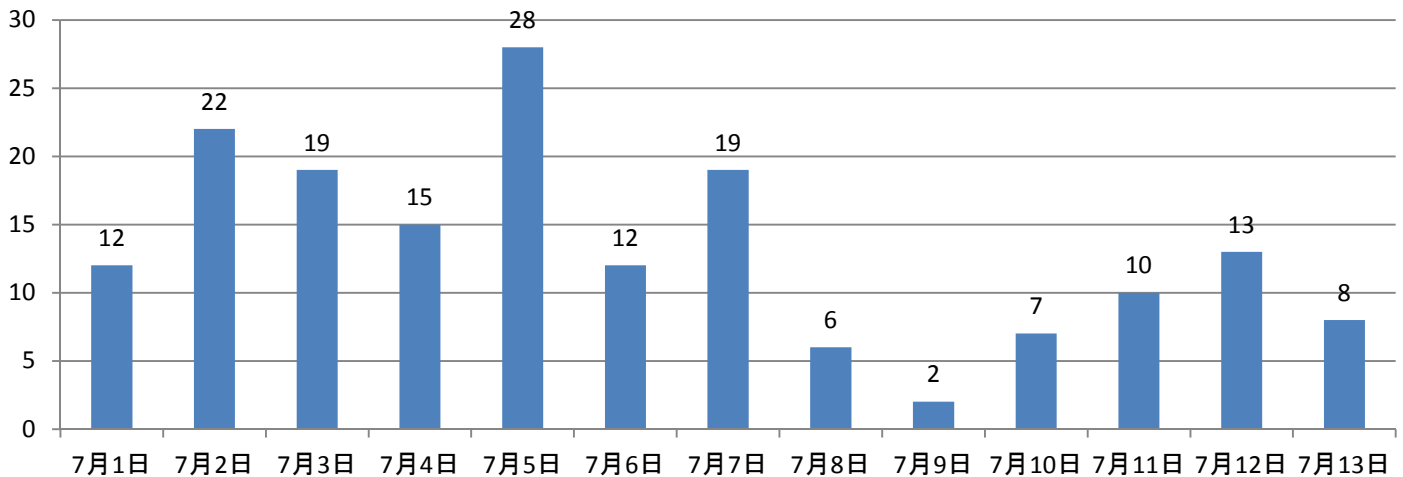
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

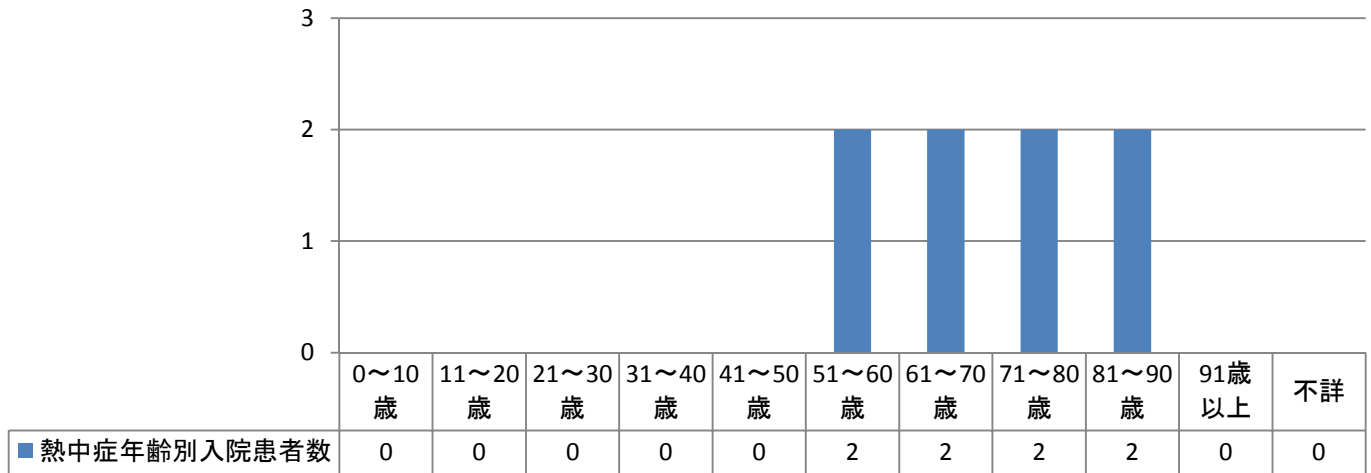
### 報告された熱中症入院患者数



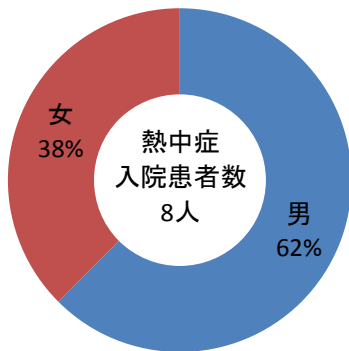
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月13日)

東京都	1人
千葉県	1人
群馬県	1人
長野県	1人
愛知県	1人
静岡県	1人
京都府	1人
福岡県	1人

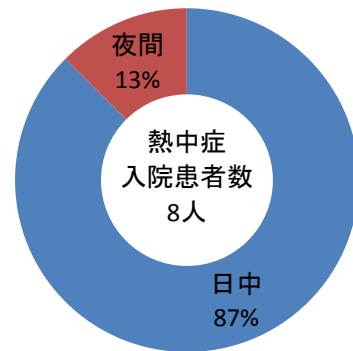
## 熱中症年齢別入院患者数(7月13日)



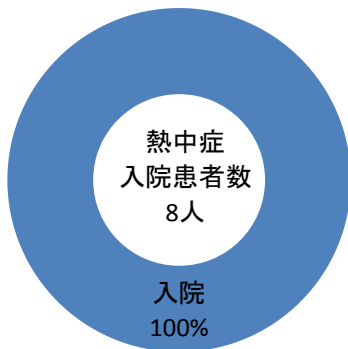
### 男女別(割合)



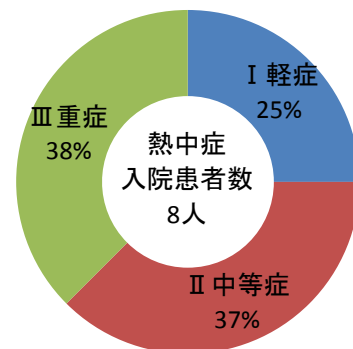
### 発症時間帯別(割合)



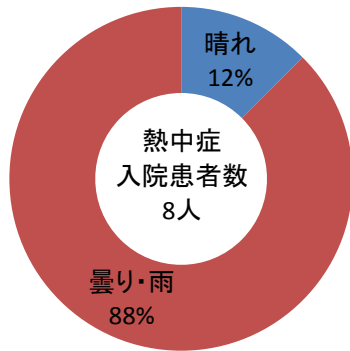
### 受診後(割合)



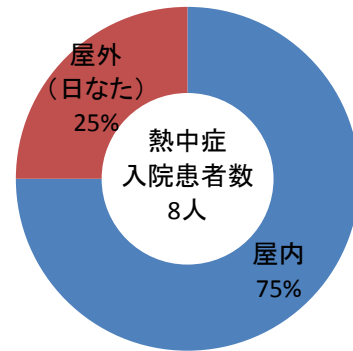
### 重症度分類(割合)



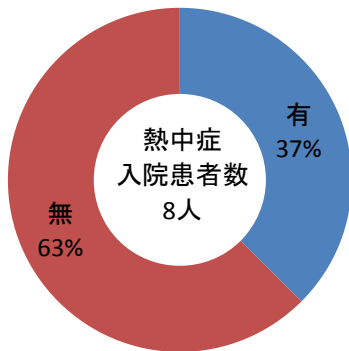
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月14日に報告された熱中症入院患者数

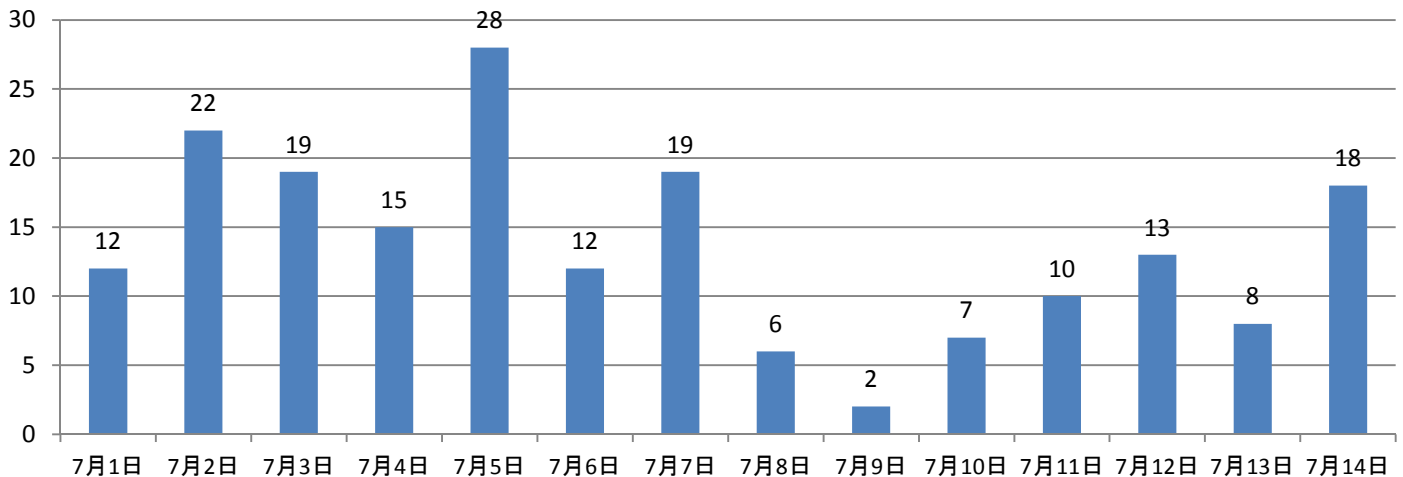
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

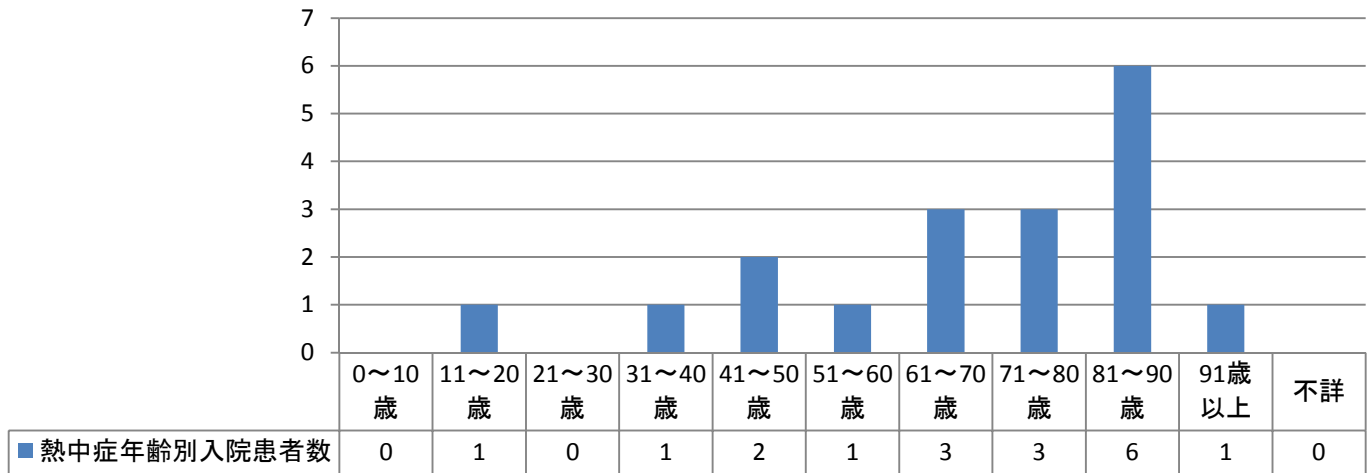


### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月14日)

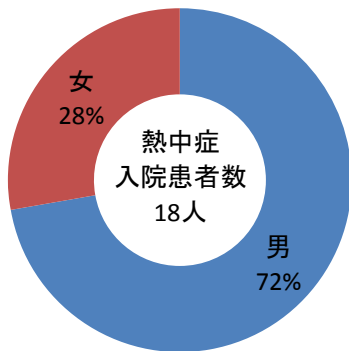
東京都	3人	徳島県	1人
神奈川県	1人	高知県	1人
長野県	1人	福岡県	1人
愛知県	2人	鹿児島県	3人
静岡県	1人	沖縄県	1人
三重県	1人		
京都府	1人		
滋賀県	1人		



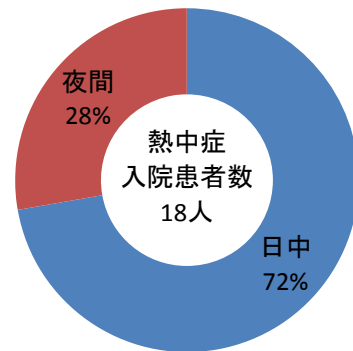
## 熱中症年齢別入院患者数(7月14日)



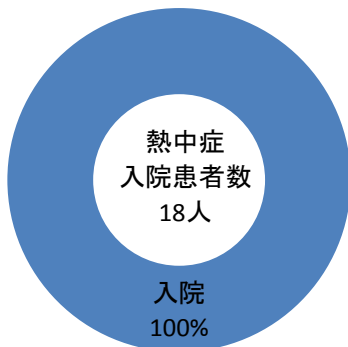
### 男女別(割合)



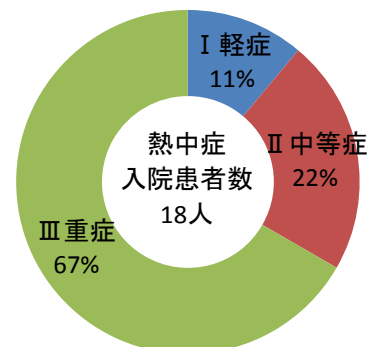
### 発症時間帯別(割合)



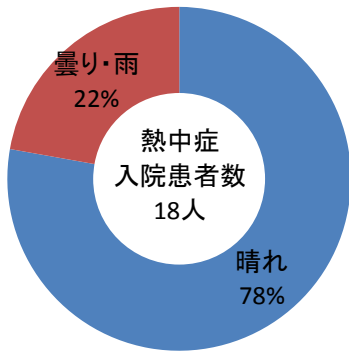
### 受診後(割合)



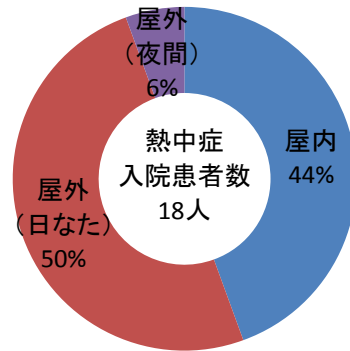
### 重症度分類(割合)



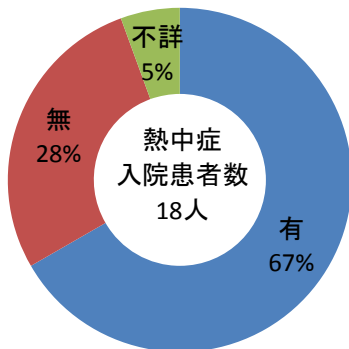
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月15日に報告された熱中症入院患者数

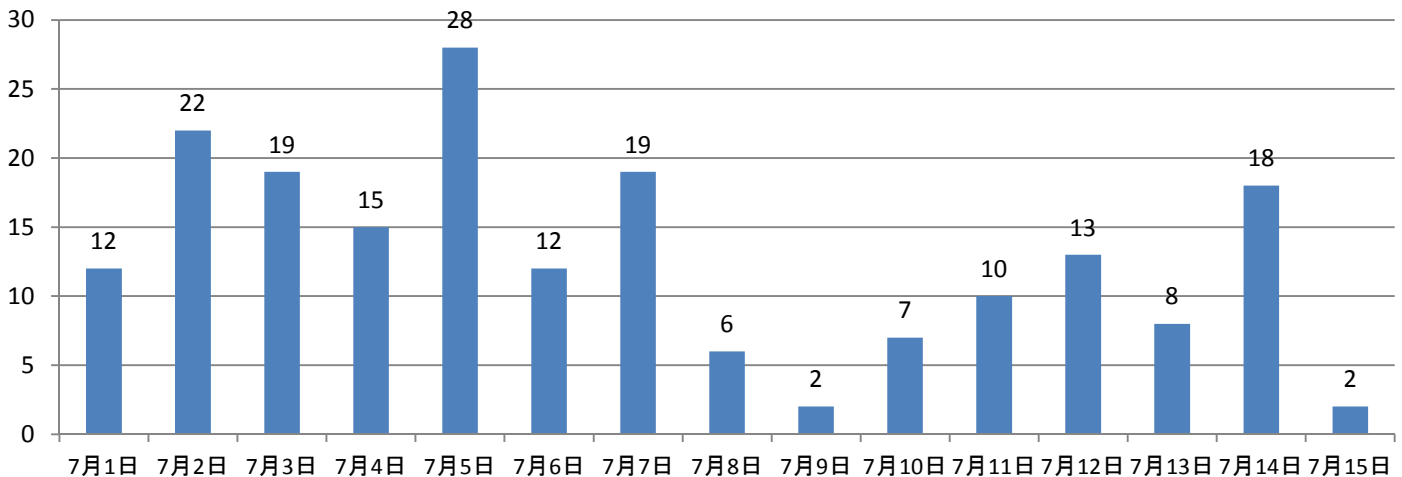
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

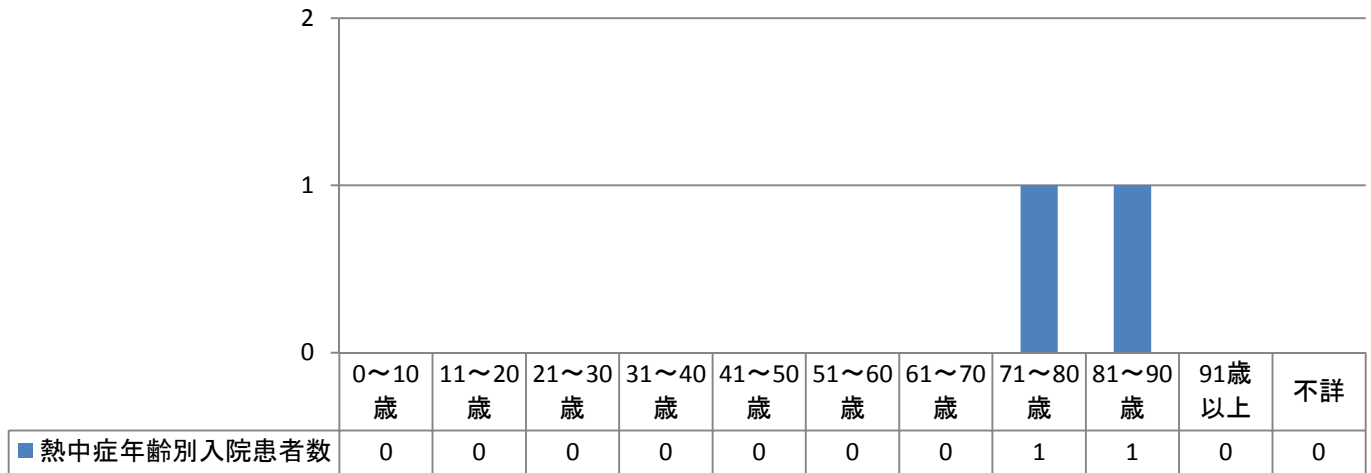
## 報告された熱中症入院患者数



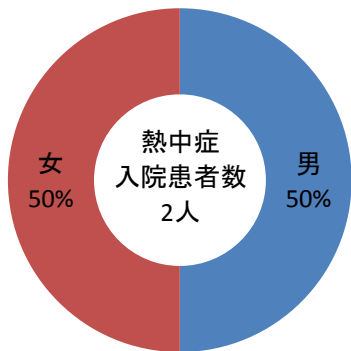
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月15日)

愛知県 1人  
大阪府 1人

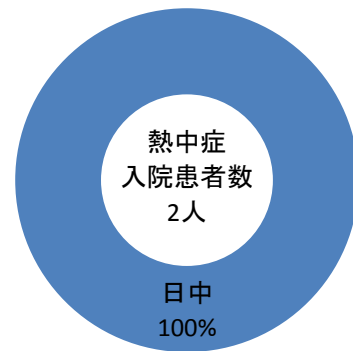
## 熱中症年齢別入院患者数(7月15日)



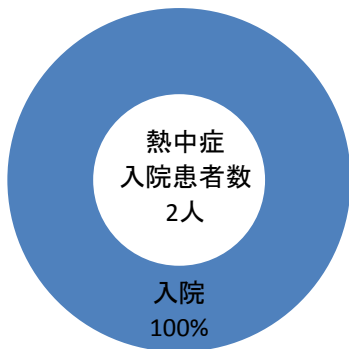
### 男女別(割合)



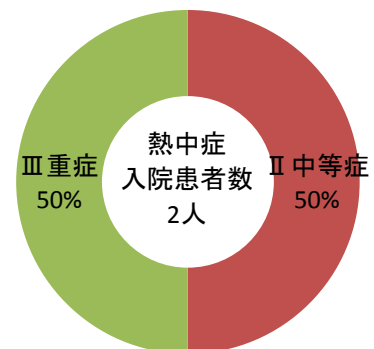
### 発症時間帯別(割合)



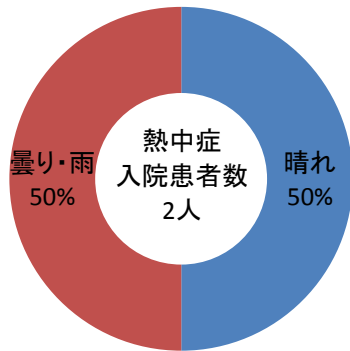
### 受診後(割合)



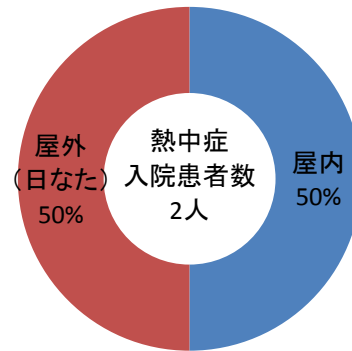
### 重症度分類(割合)



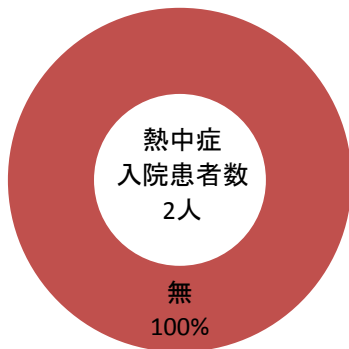
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月16日に報告された熱中症入院患者数

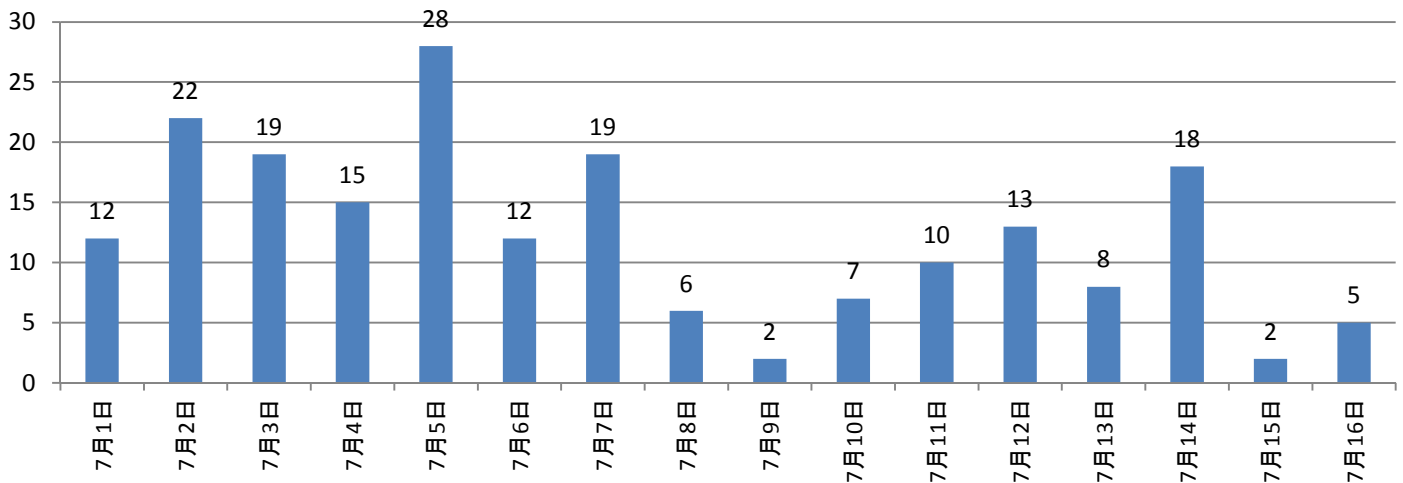
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

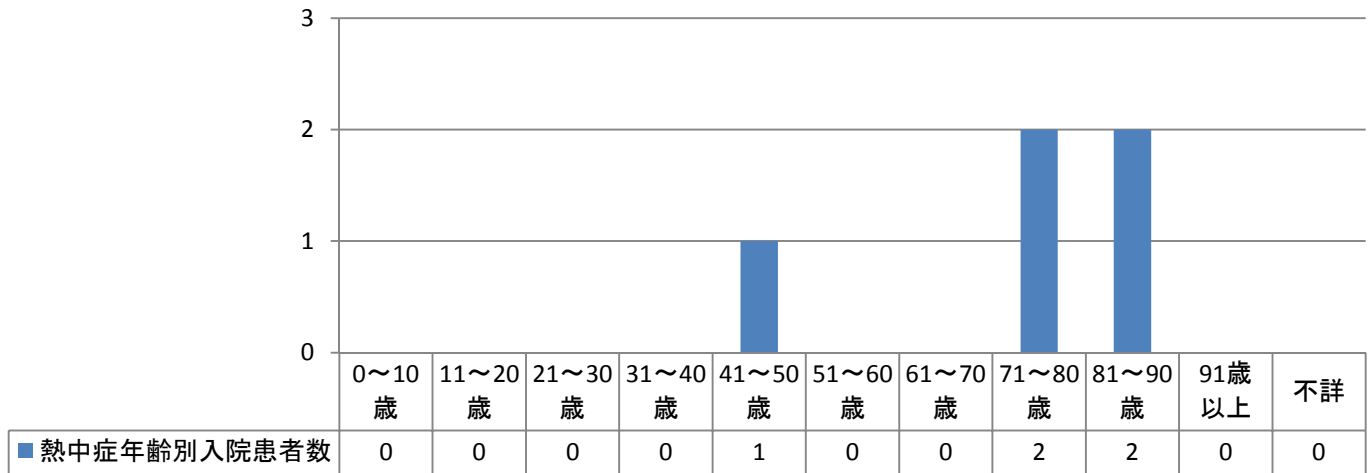
### 報告された熱中症入院患者数



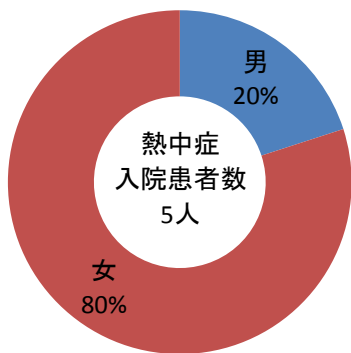
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月16日)

兵庫県	1人
徳島県	1人
高知県	1人
福岡県	1人
沖縄県	1人

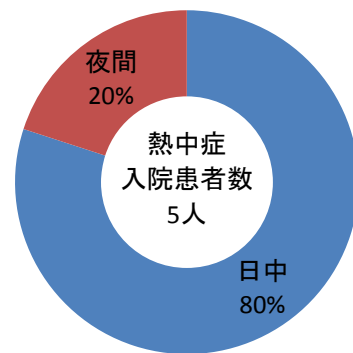
## 熱中症年齢別入院患者数(7月16日)



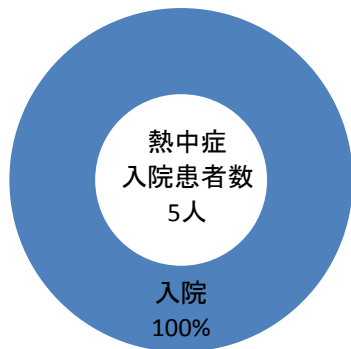
### 男女別(割合)



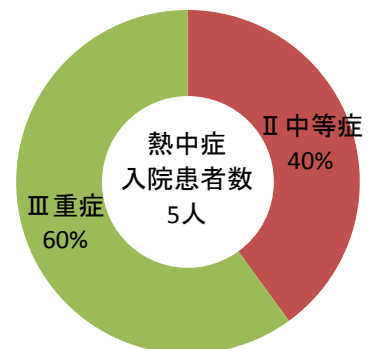
### 発症時間帯別(割合)



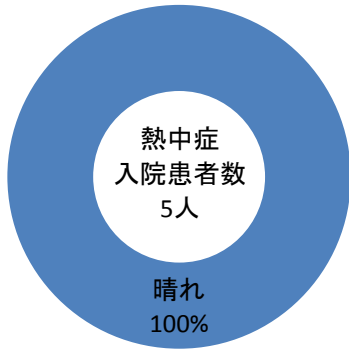
### 受診後(割合)



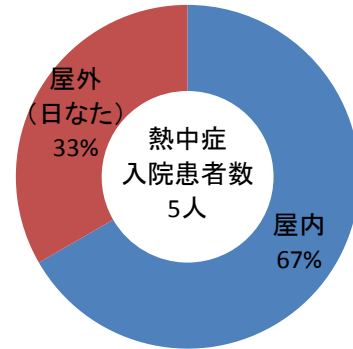
### 重症度分類(割合)



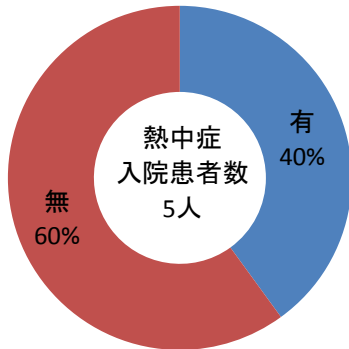
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 7月17日に報告された熱中症入院患者数

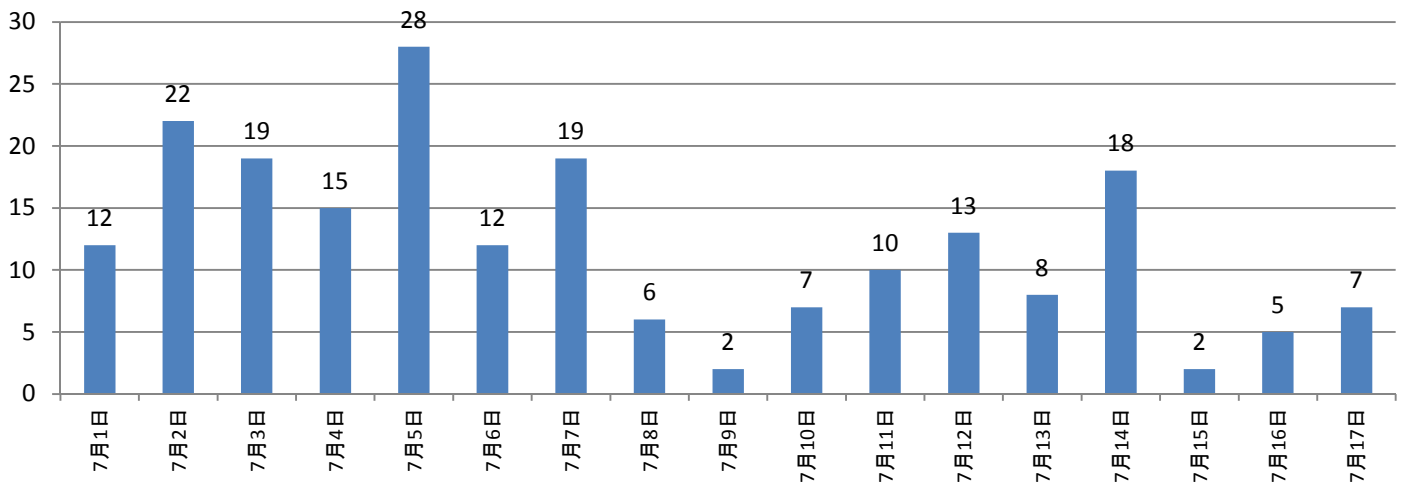
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

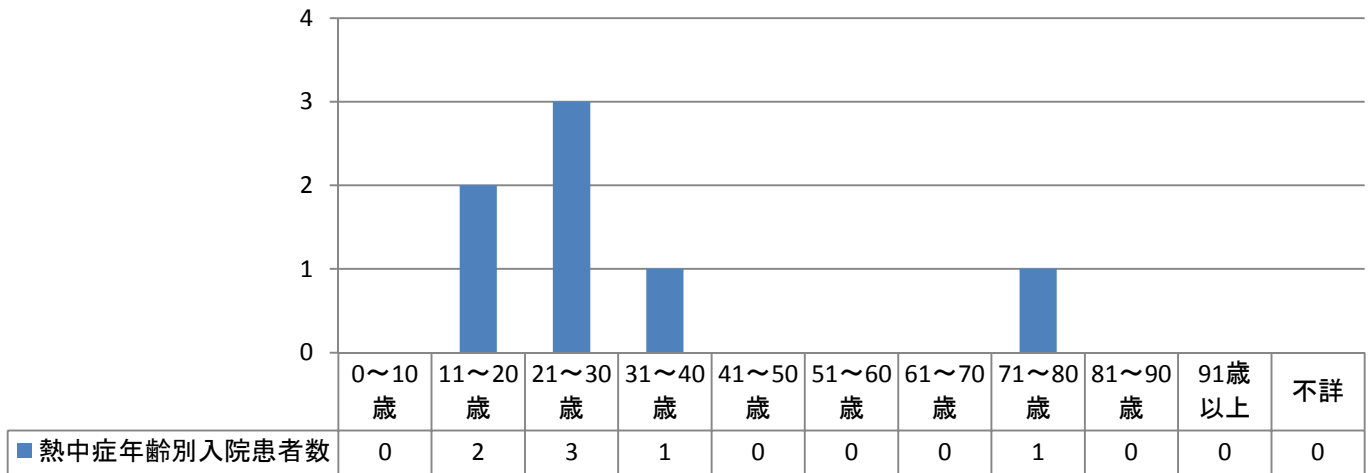
### 報告された熱中症入院患者数



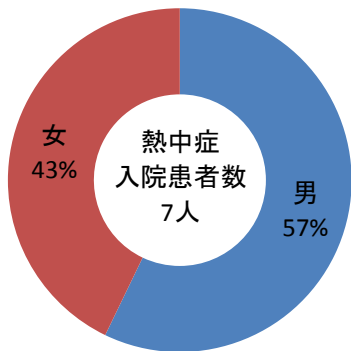
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月17日)

滋賀県	1人
広島県	1人
高知県	1人
鹿児島県	3人
沖縄県	1人

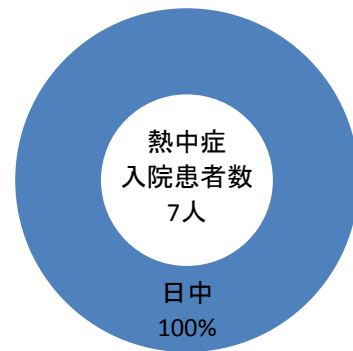
## 熱中症年齢別入院患者数(7月17日)



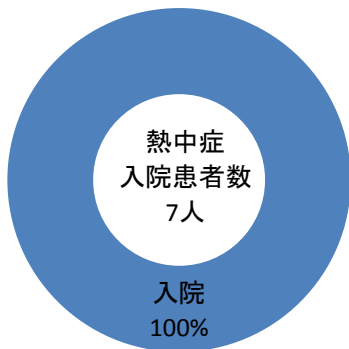
### 男女別(割合)



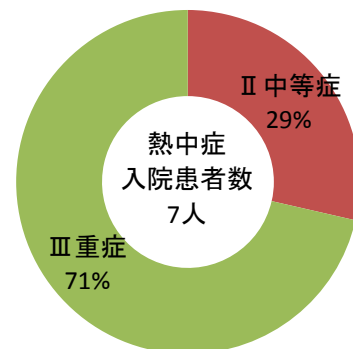
### 発症時間帯別(割合)



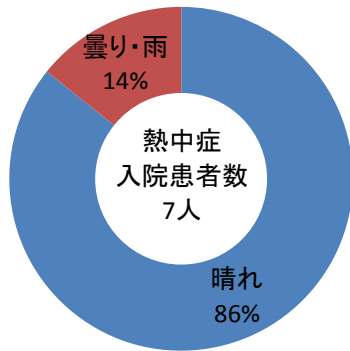
### 受診後(割合)



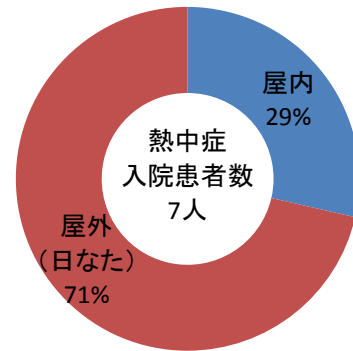
### 重症度分類(割合)



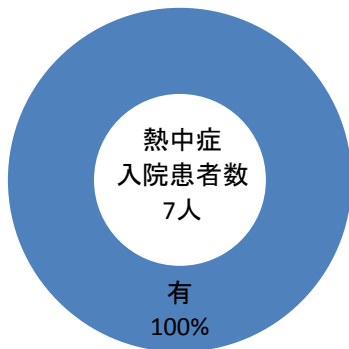
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月18日に報告された熱中症入院患者数

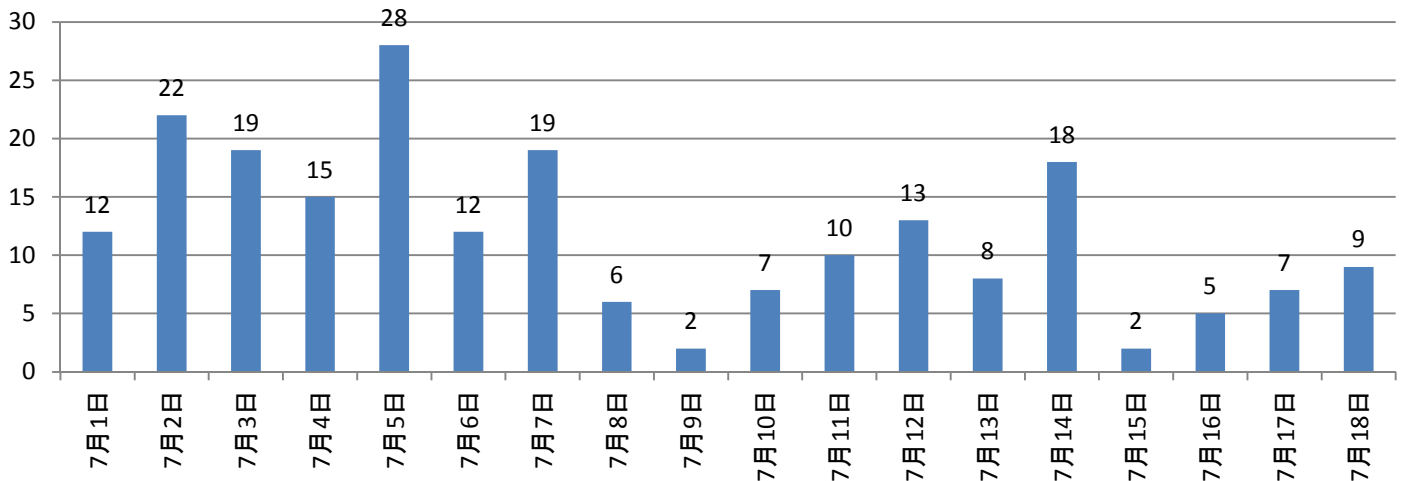
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

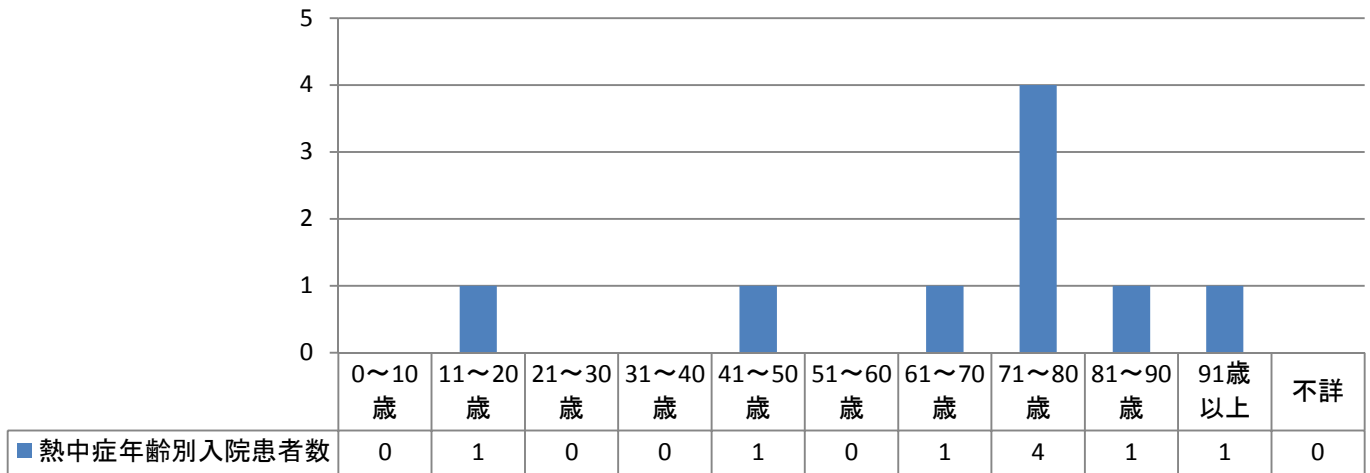
### 報告された熱中症入院患者数



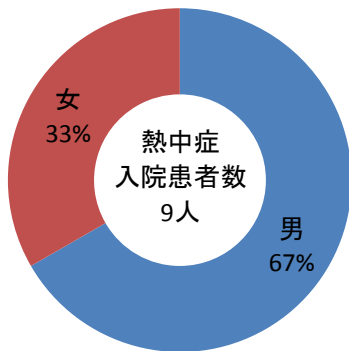
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月18日)

群馬県	1人	鹿児島県	1人
長野県	1人		
愛知県	1人		
静岡県	1人		
大阪府	1人		
高知県	1人		
福岡県	1人		
熊本県	1人		

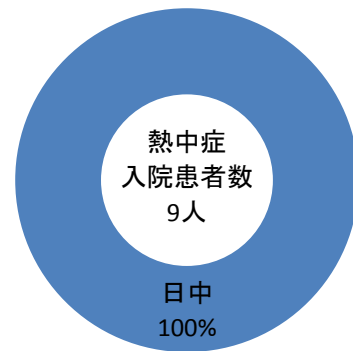
## 熱中症年齢別入院患者数(7月18日)



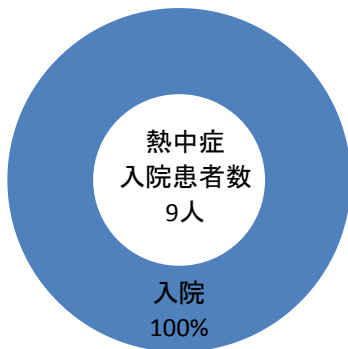
### 男女別(割合)



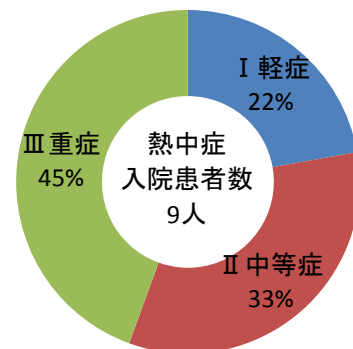
### 発症時間帯別(割合)



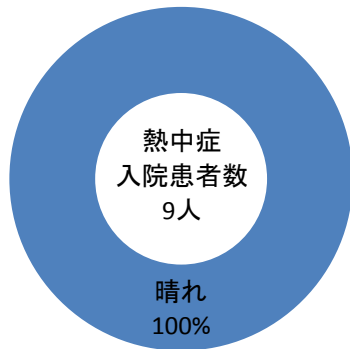
### 受診後(割合)



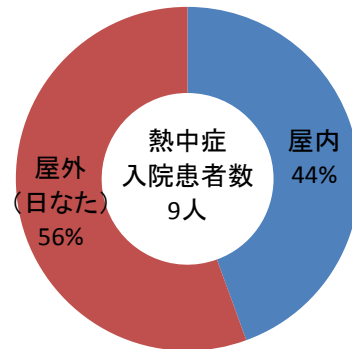
### 重症度分類(割合)



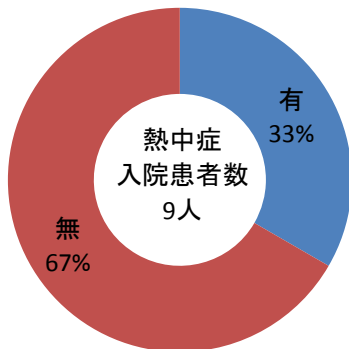
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月19日に報告された熱中症入院患者数

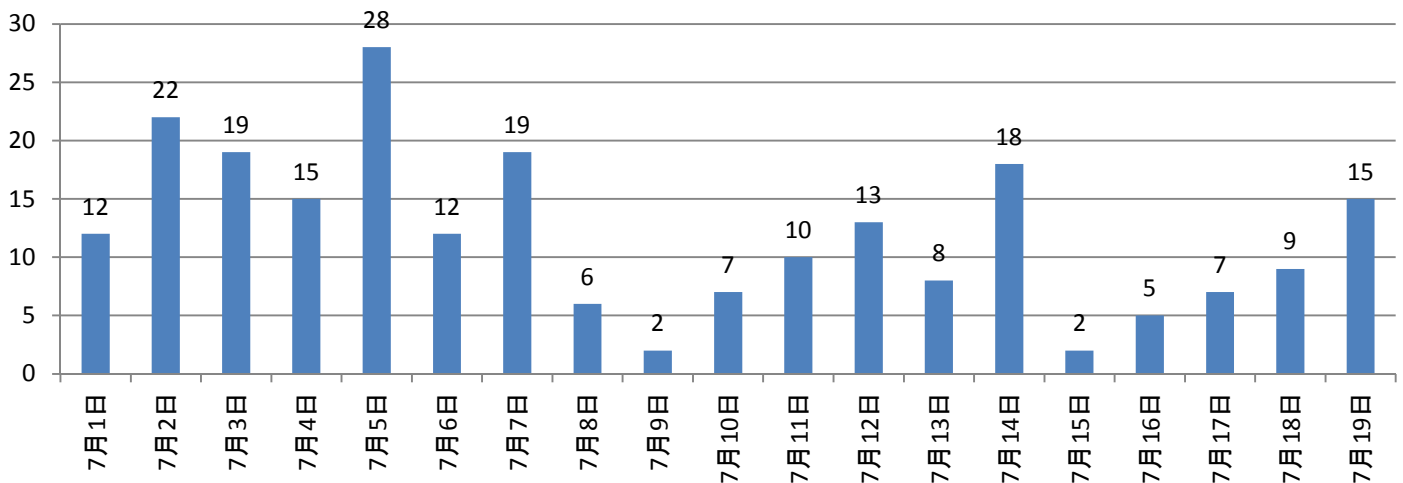
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

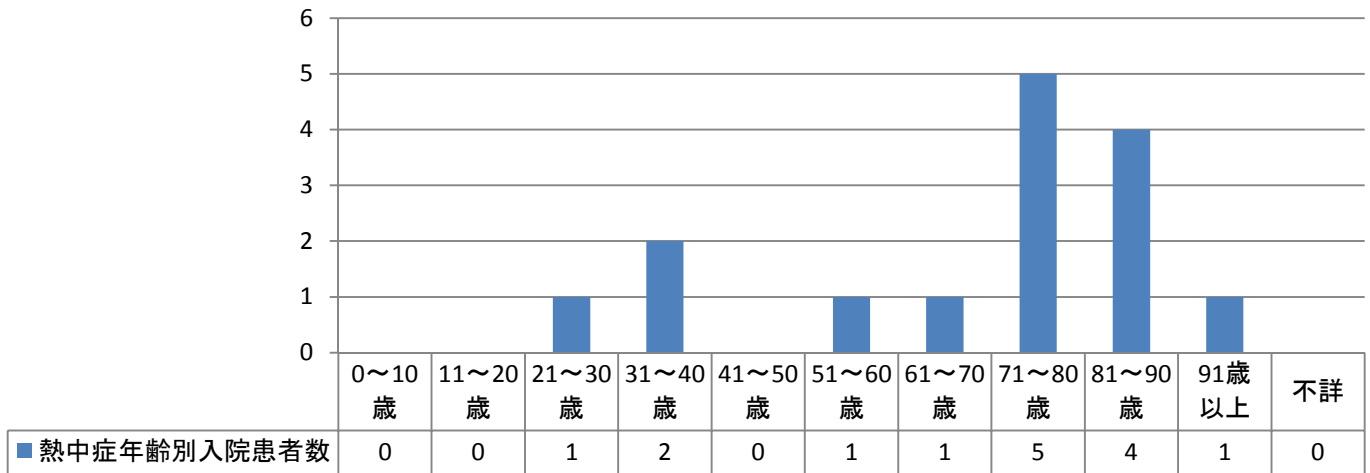
### 報告された熱中症入院患者数



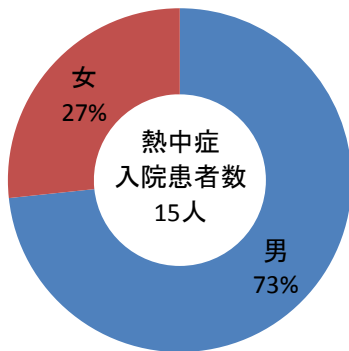
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月19日)

東京都	3人	高知県	1人
埼玉県	2人	鹿児島県	2人
千葉県	1人		
群馬県	1人		
長野県	2人		
愛知県	1人		
大阪府	1人		
奈良県	1人		

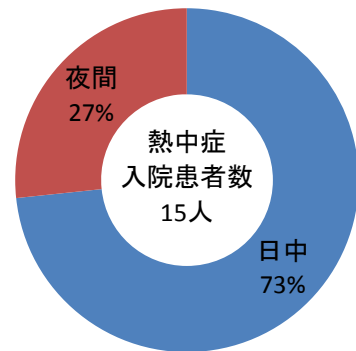
## 熱中症年齢別入院患者数(7月19日)



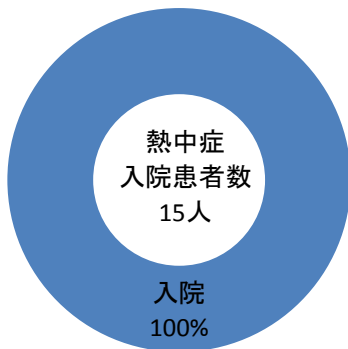
### 男女別(割合)



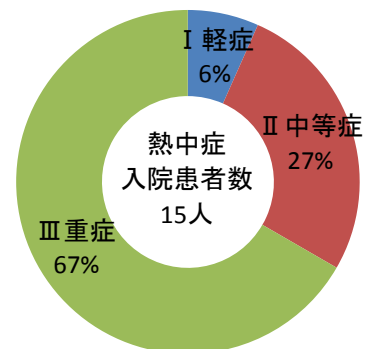
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

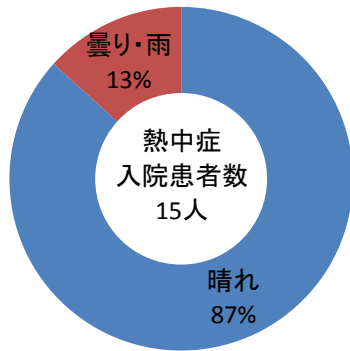


### 重症度分類(割合)

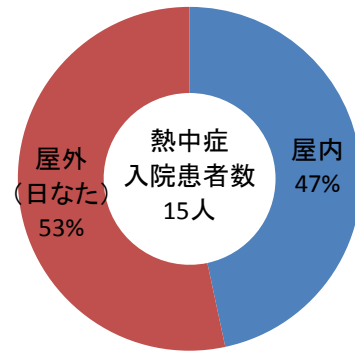




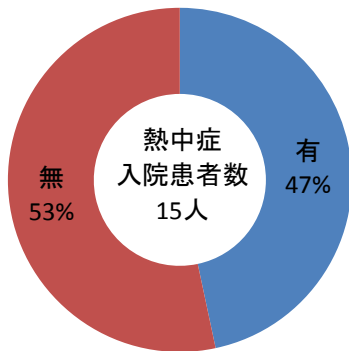
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)※



## 運動の有無(割合)



※ 重複回答は、それぞれに分類し割合を算出していますが、人数については「報告された熱中症入院患者数」を掲載しています。

\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月20日に報告された熱中症入院患者数

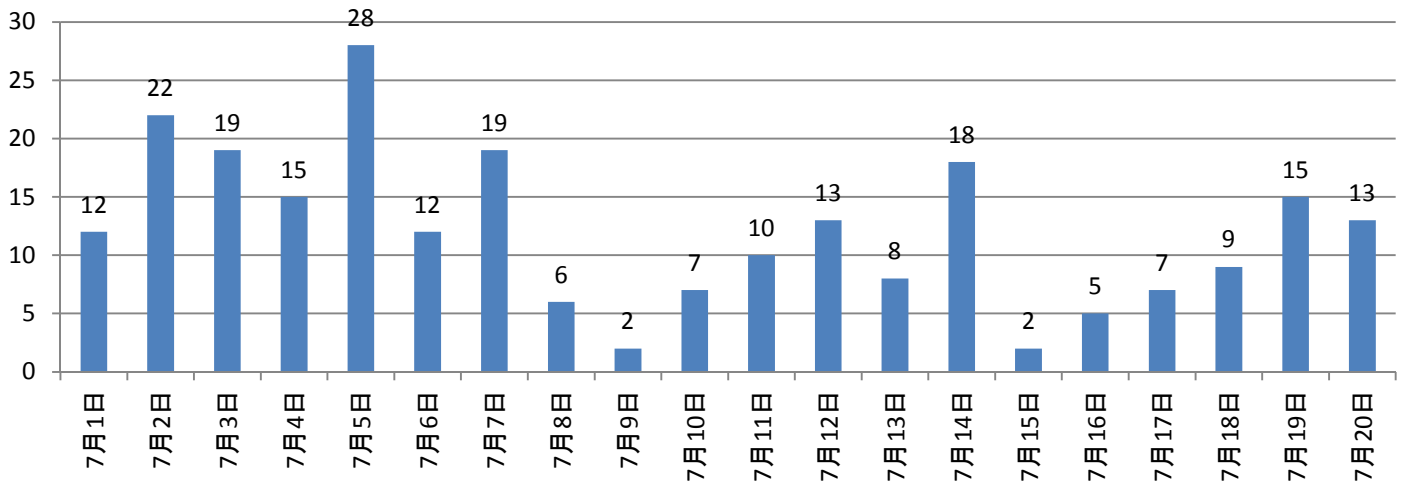
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

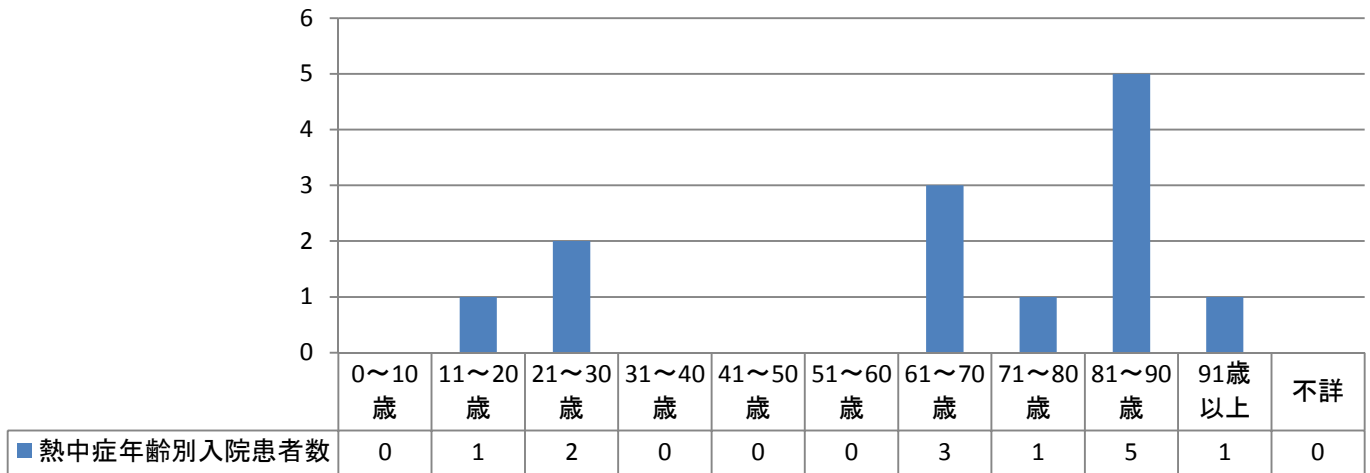
## 報告された熱中症入院患者数



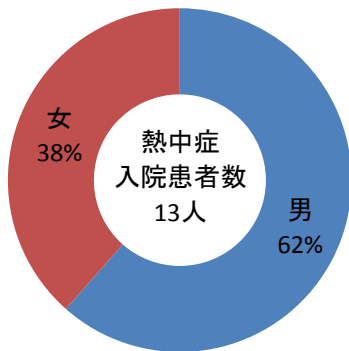
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月20日)

東京都	2人	鹿児島県	2人
埼玉県	1人		
千葉県	2人		
長野県	1人		
愛知県	1人		
兵庫県	2人		
京都府	1人		
福岡県	1人		

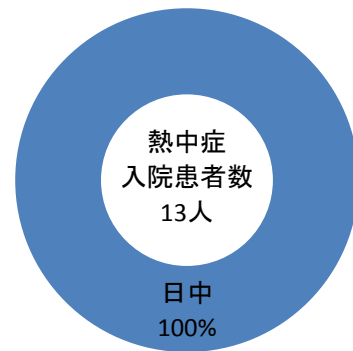
## 熱中症年齢別入院患者数(7月20日)



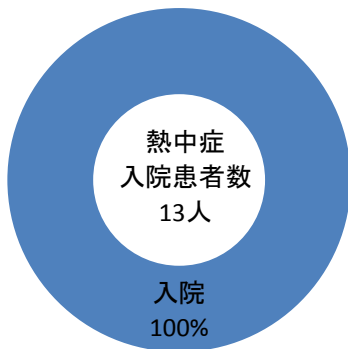
### 男女別(割合)



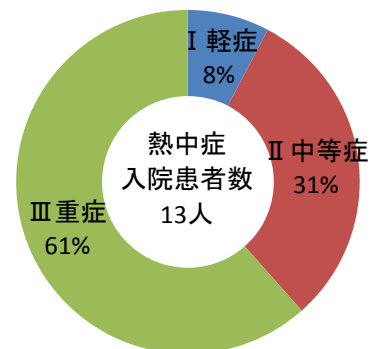
### 発症時間帯別(割合)



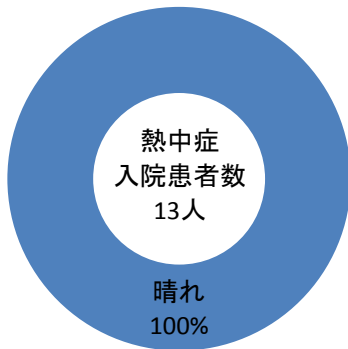
### 受診後(割合)



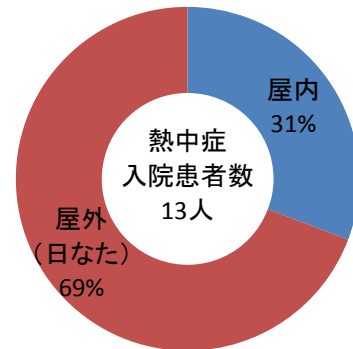
### 重症度分類(割合)



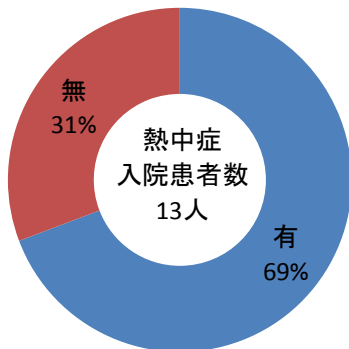
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月21日に報告された熱中症入院患者数

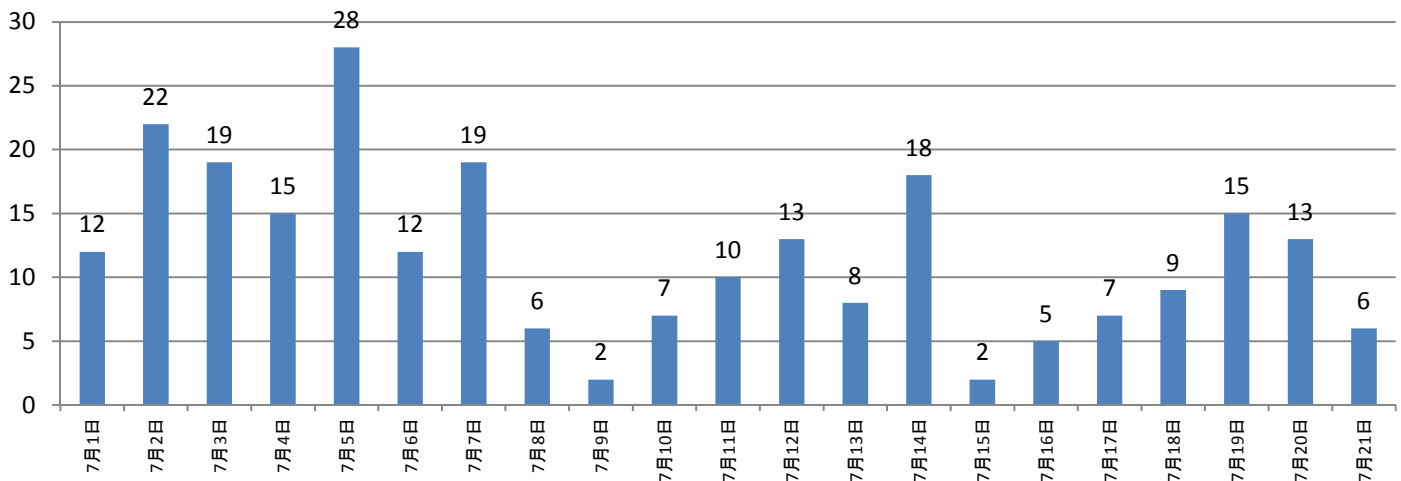
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

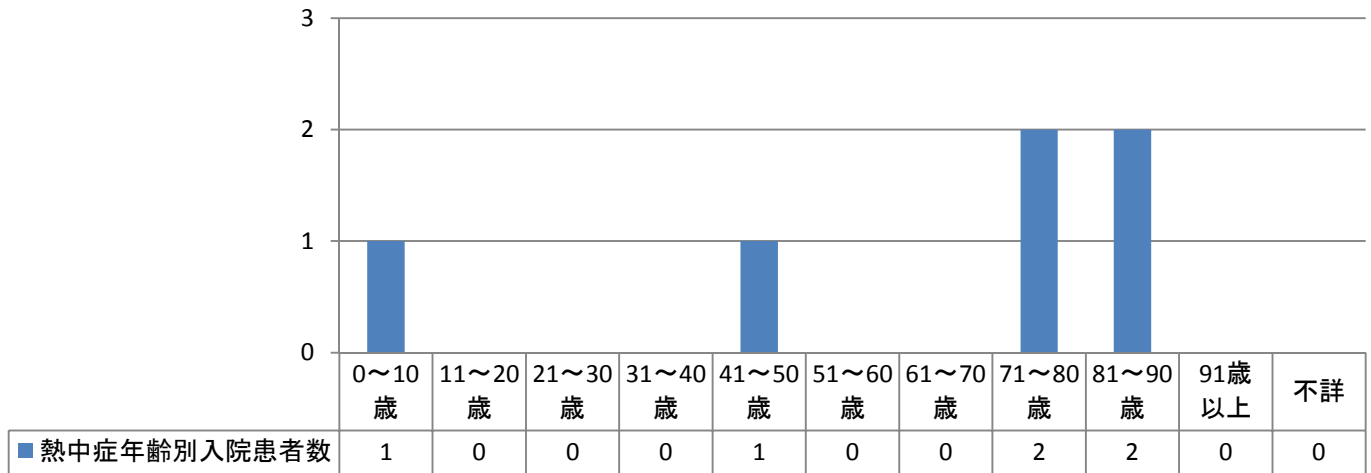
### 報告された熱中症入院患者数



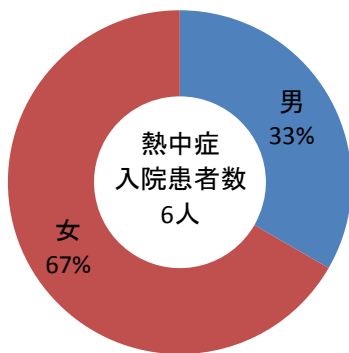
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月21日)

愛知県	2人
大阪府	1人
奈良県	1人
広島県	1人
福岡県	1人

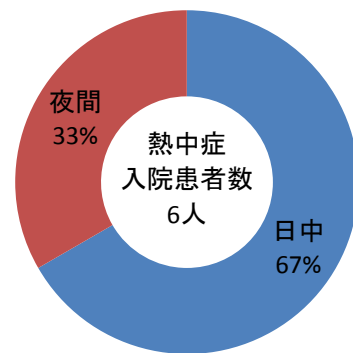
## 熱中症年齢別入院患者数(7月21日)



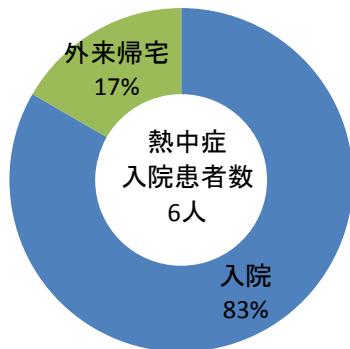
### 男女別(割合)



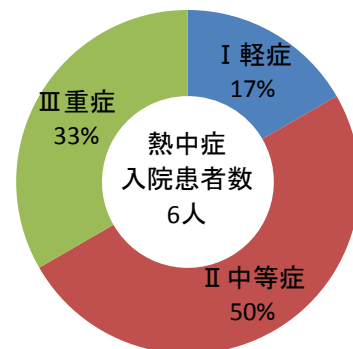
### 発症時間帯別(割合)



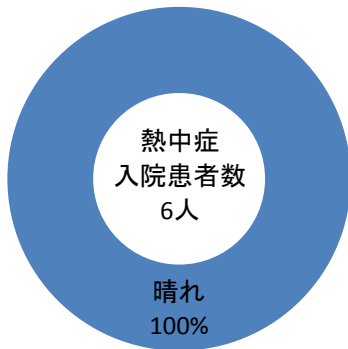
### 受診後(割合)



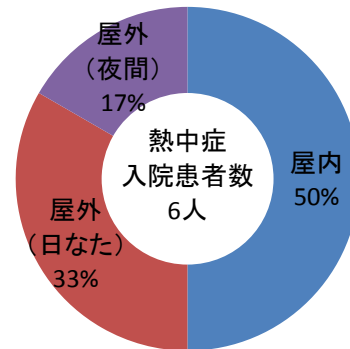
### 重症度分類(割合)



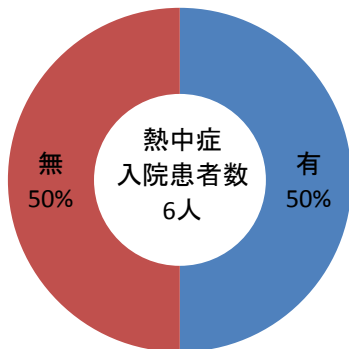
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月22日に報告された熱中症入院患者数

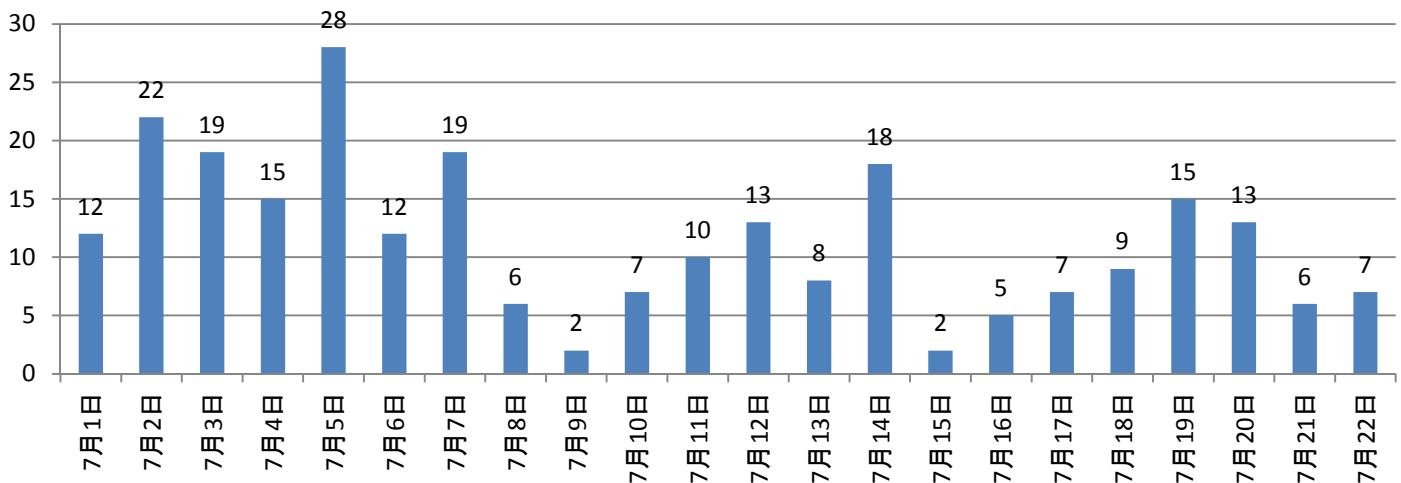
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

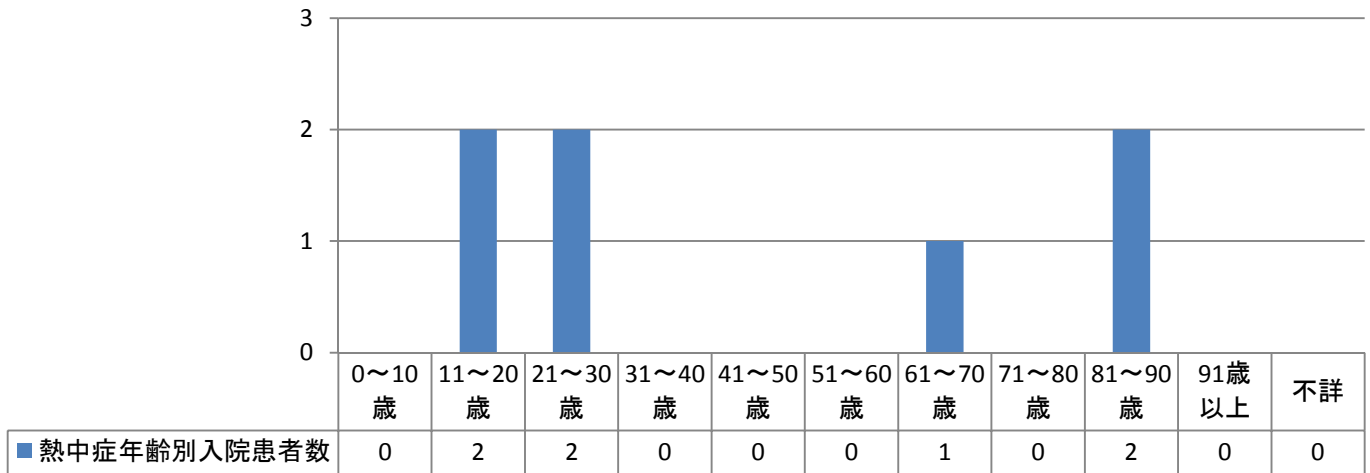


### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月22日)

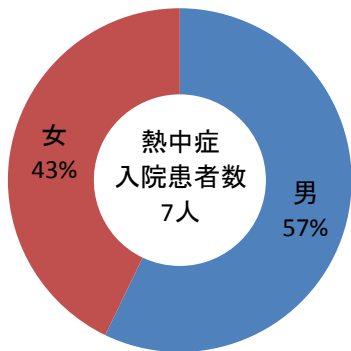
岩手県	1人
長野県	1人
大阪府	2人
京都府	2人
高知県	1人



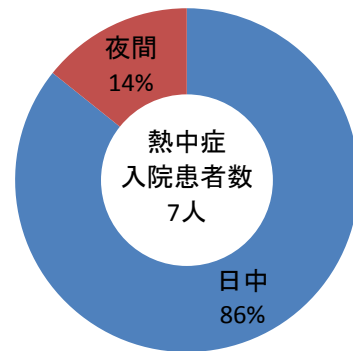
## 熱中症年齢別入院患者数(7月22日)



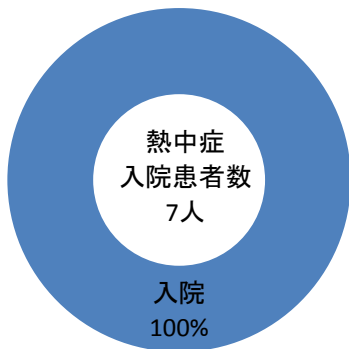
### 男女別(割合)



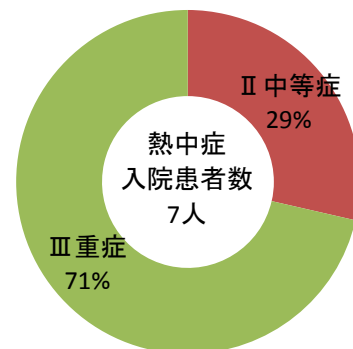
### 発症時間帯別(割合)



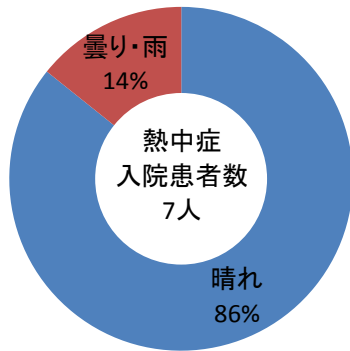
### 受診後(割合)



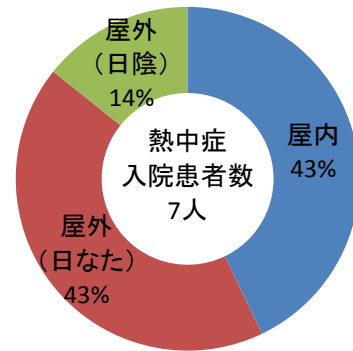
### 重症度分類(割合)



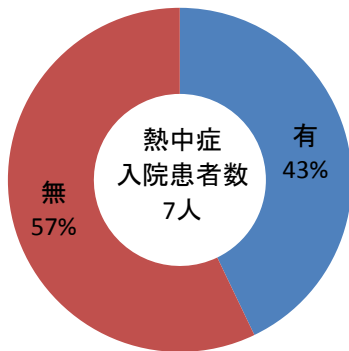
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月23日に報告された熱中症入院患者数

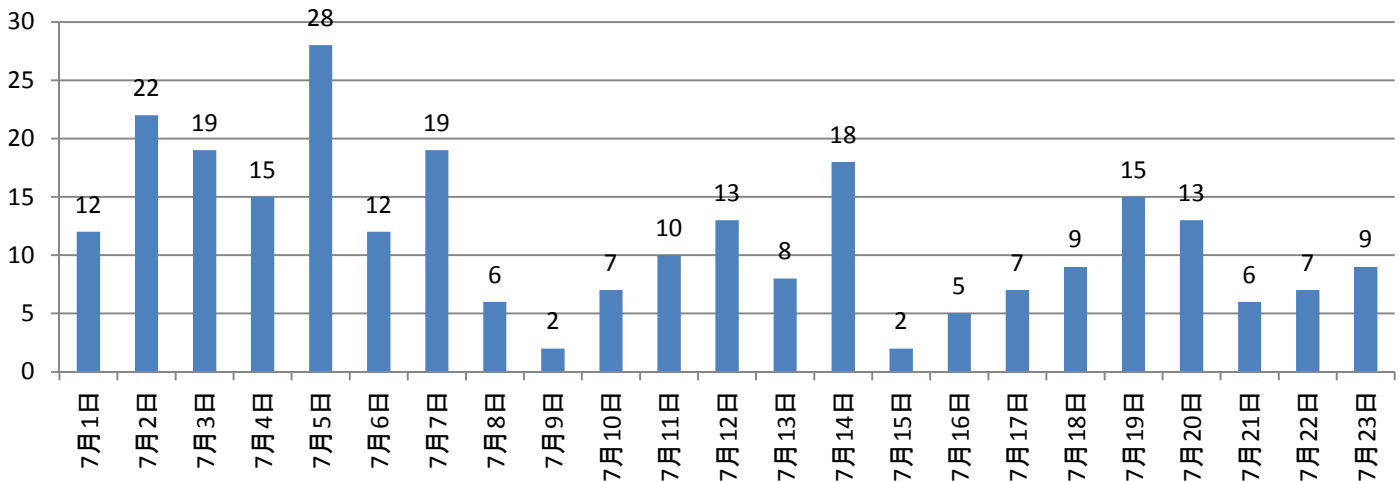
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

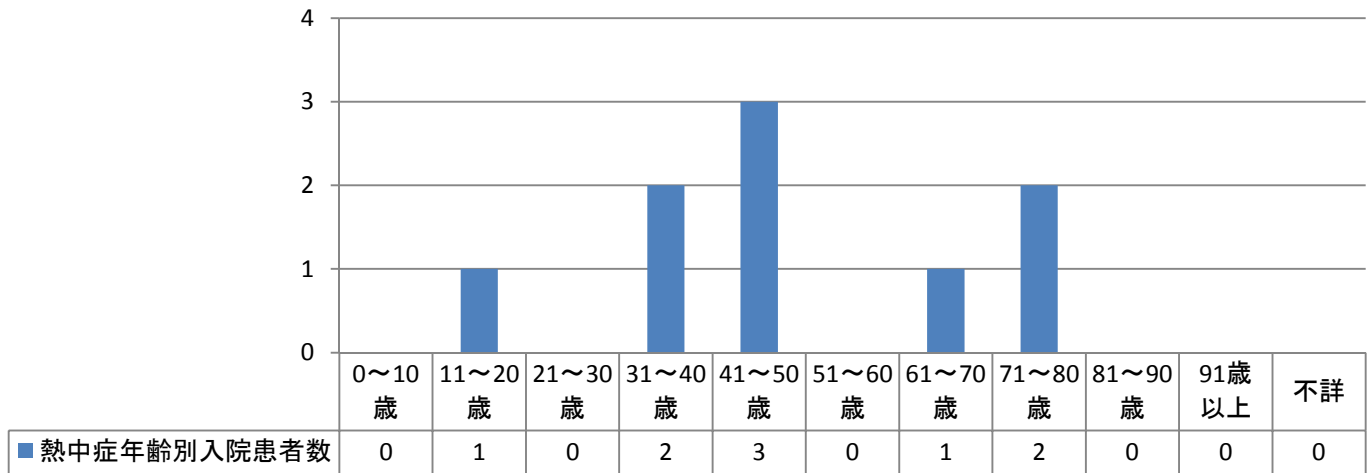
## 報告された熱中症入院患者数



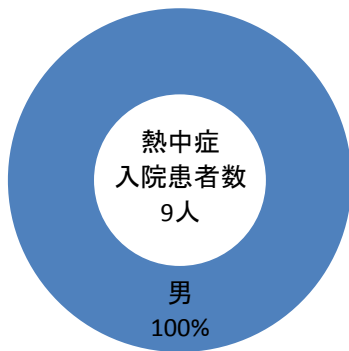
## 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月23日)

宮城県	1人
茨城県	1人
静岡県	2人
大阪府	2人
福岡県	1人
鹿児島県	1人
沖縄県	1人

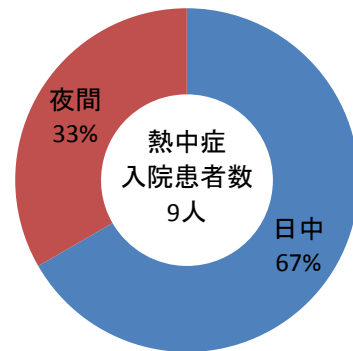
## 熱中症年齢別入院患者数(7月23日)



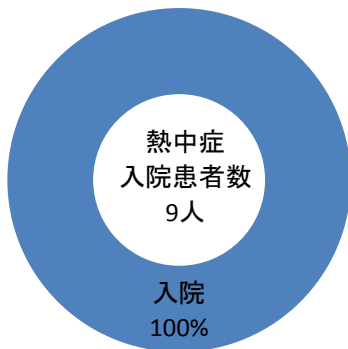
### 男女別(割合)



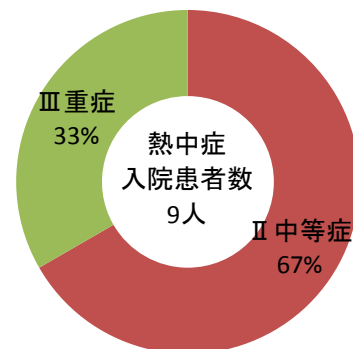
### 発症時間帯別(割合)



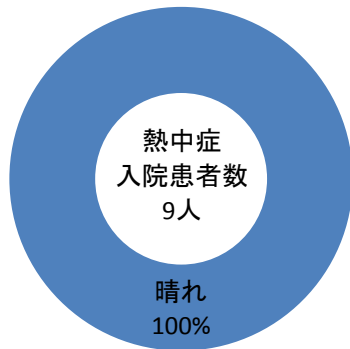
### 受診後(割合)



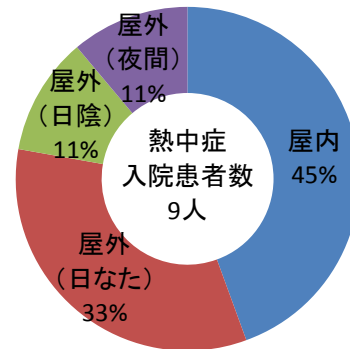
### 重症度分類(割合)



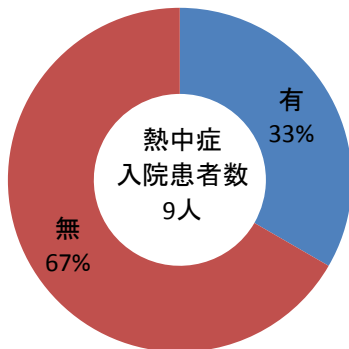
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月24日に報告された熱中症入院患者数

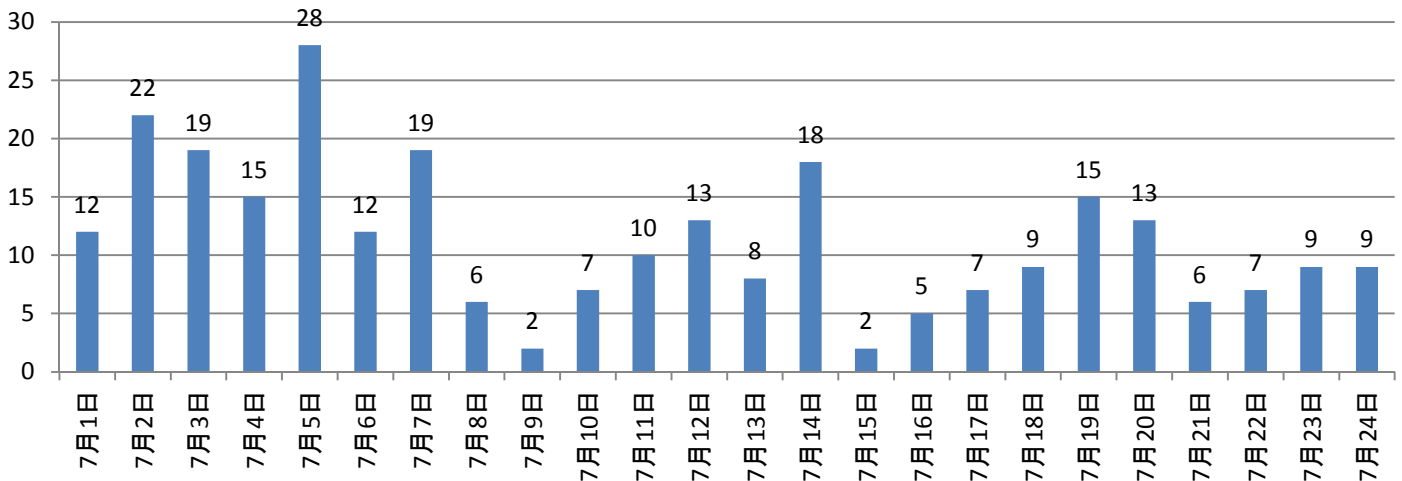
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

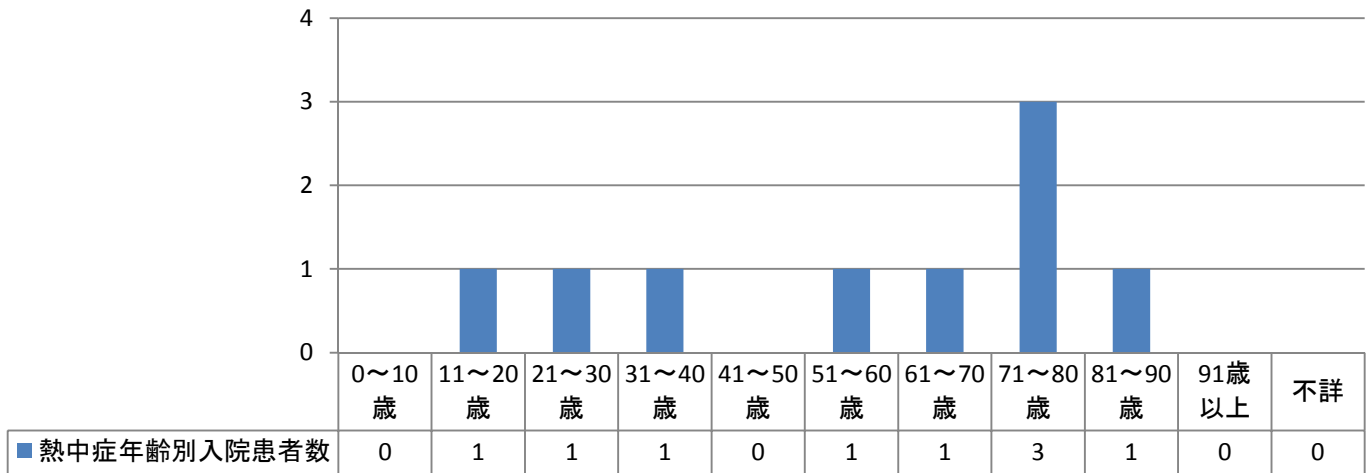
### 報告された熱中症入院患者数



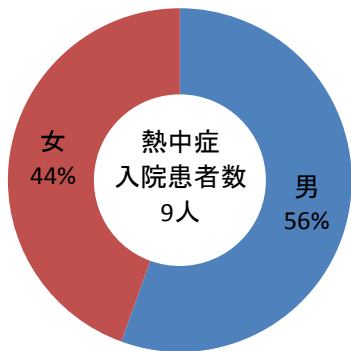
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月24日)

青森県	1人	高知県	1人
福島県	1人		
千葉県	1人		
群馬県	1人		
富山県	1人		
福井県	1人		
愛知県	1人		
広島県	1人		

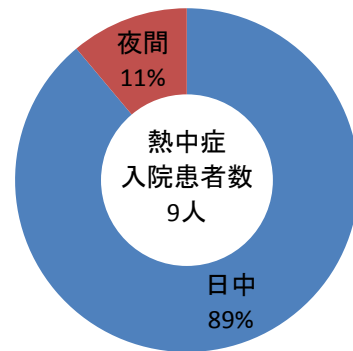
## 熱中症年齢別入院患者数(7月24日)



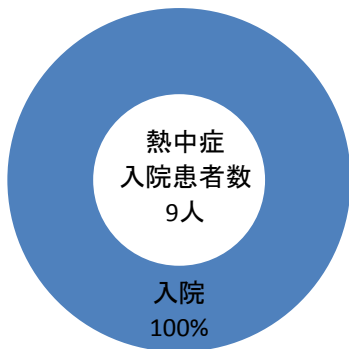
### 男女別(割合)



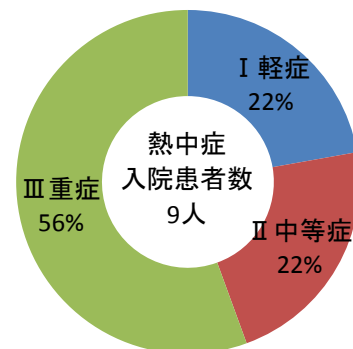
### 発症時間帯別(割合)



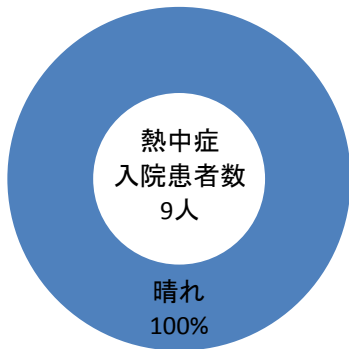
### 受診後(割合)



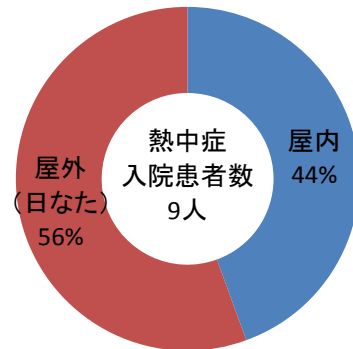
### 重症度分類(割合)



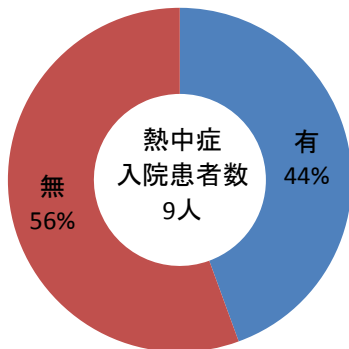
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 7月25日に報告された熱中症入院患者数

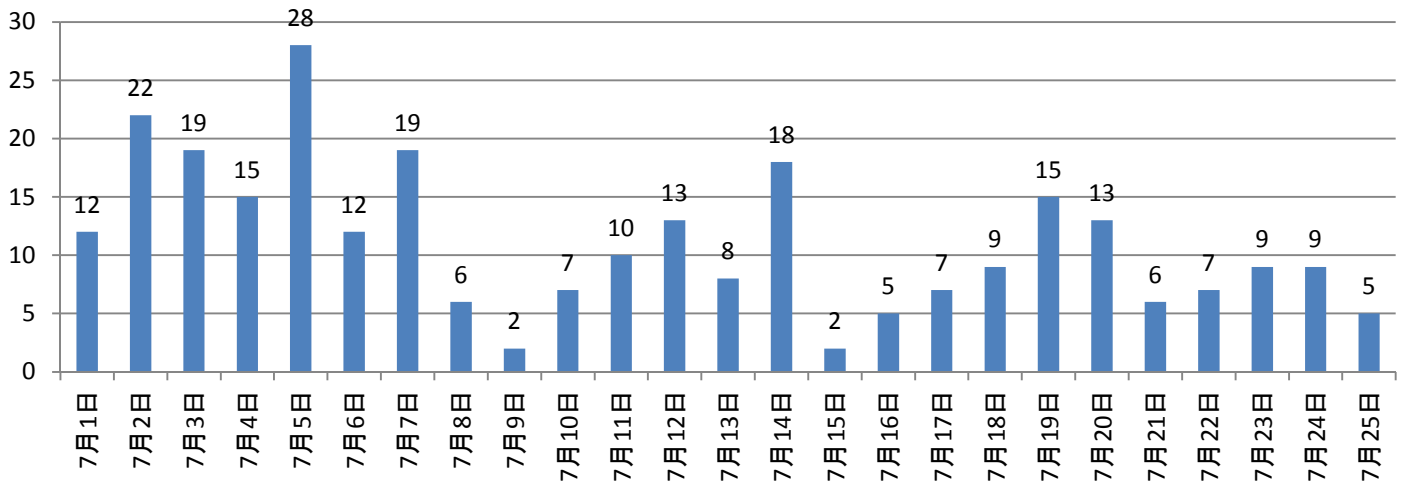
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

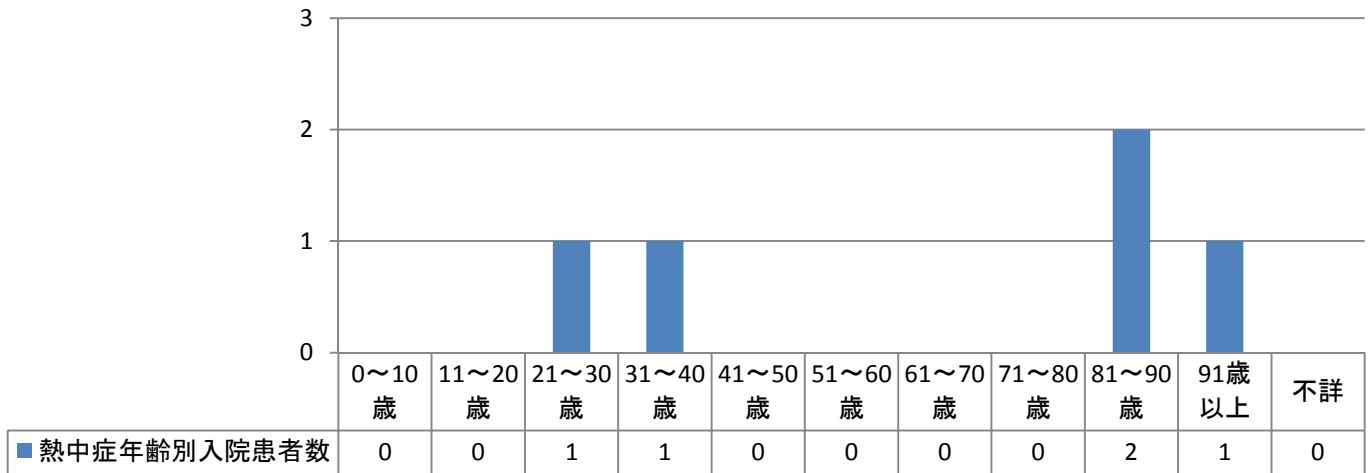
## 報告された熱中症入院患者数



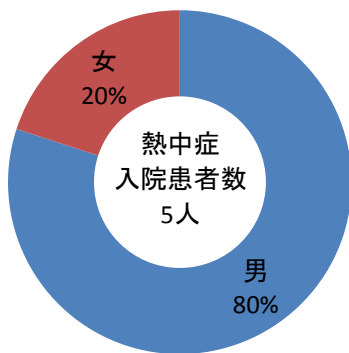
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月25日)

富山県	2人
兵庫県	2人
大分県	1人

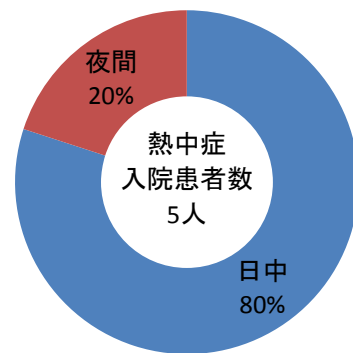
## 熱中症年齢別入院患者数(7月25日)



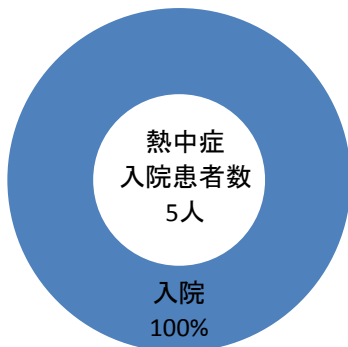
### 男女別(割合)



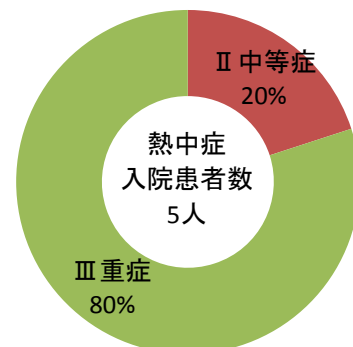
### 発症時間帯別(割合)



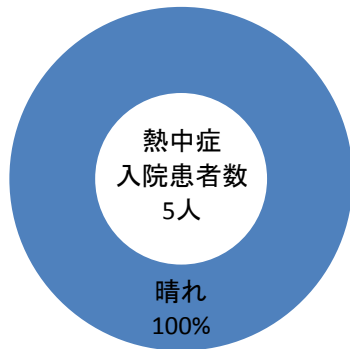
### 受診後(割合)



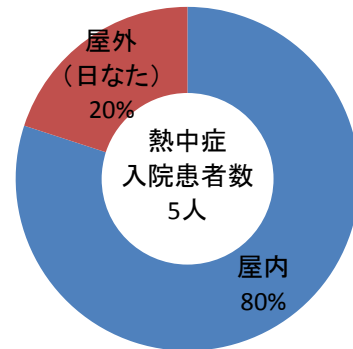
### 重症度分類(割合)



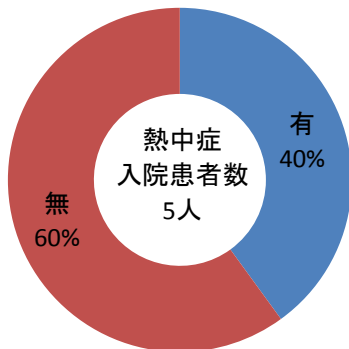
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月26日に報告された熱中症入院患者数

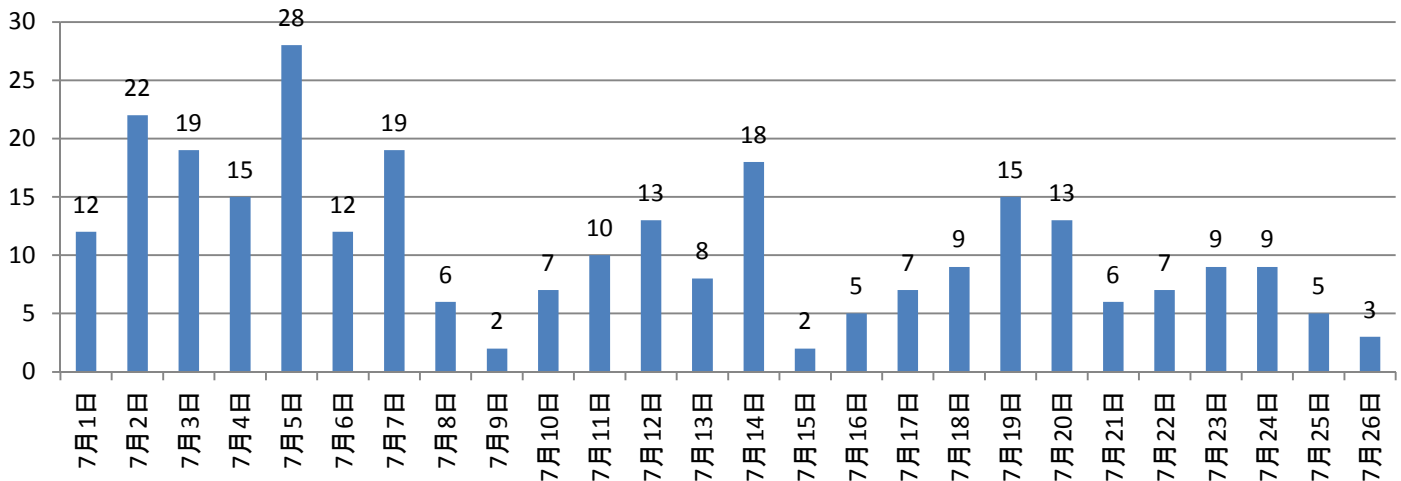
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

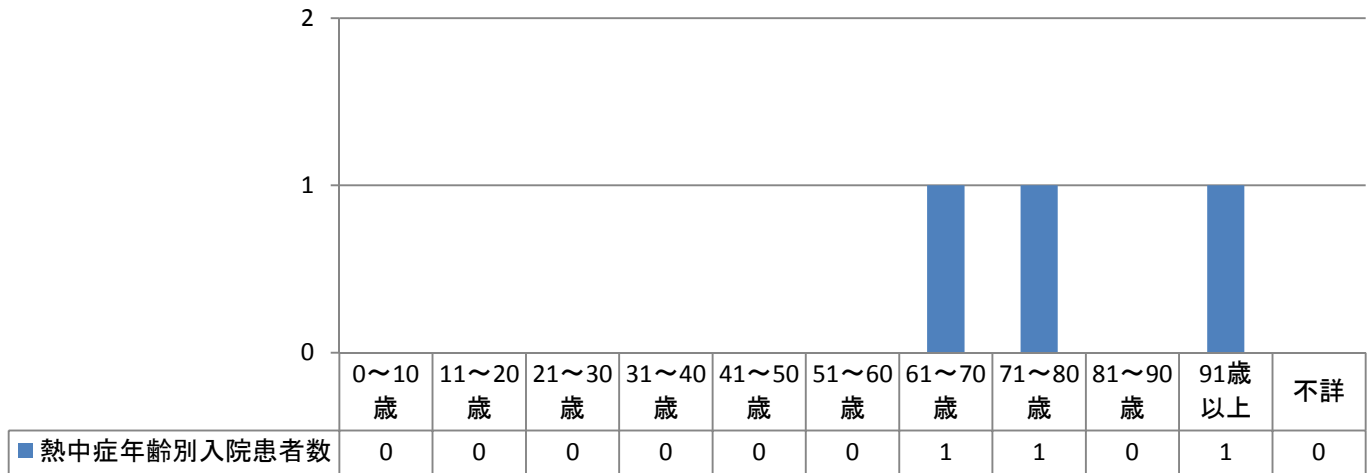
### 報告された熱中症入院患者数



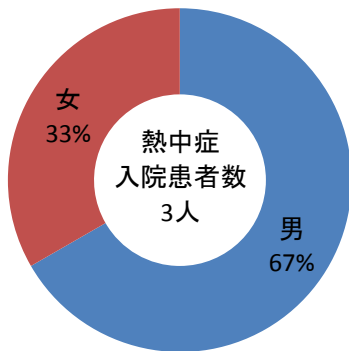
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月26日)

北海道	1人
長野県	1人
徳島県	1人

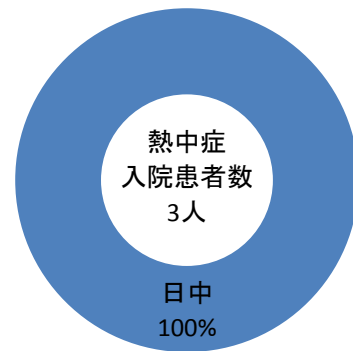
## 熱中症年齢別入院患者数(7月26日)



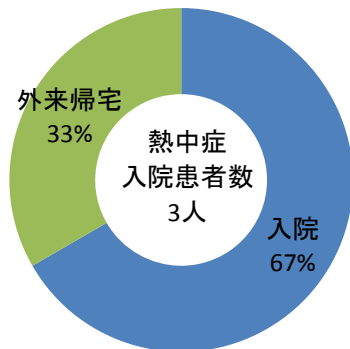
### 男女別(割合)



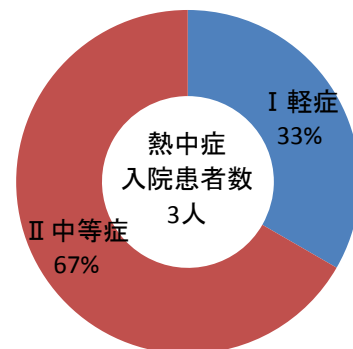
### 発症時間帯別(割合)



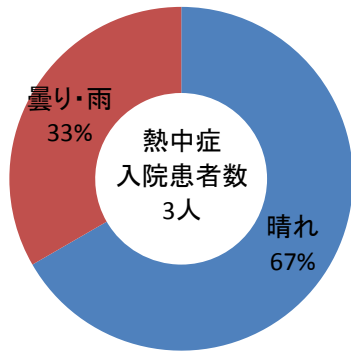
### 受診後(割合)



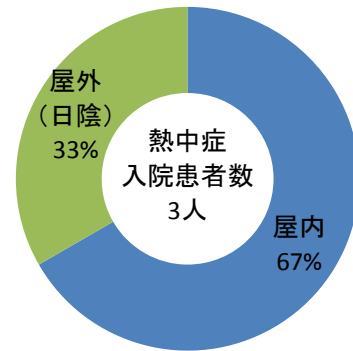
### 重症度分類(割合)



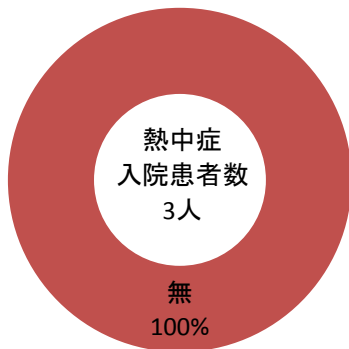
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月27日に報告された熱中症入院患者数

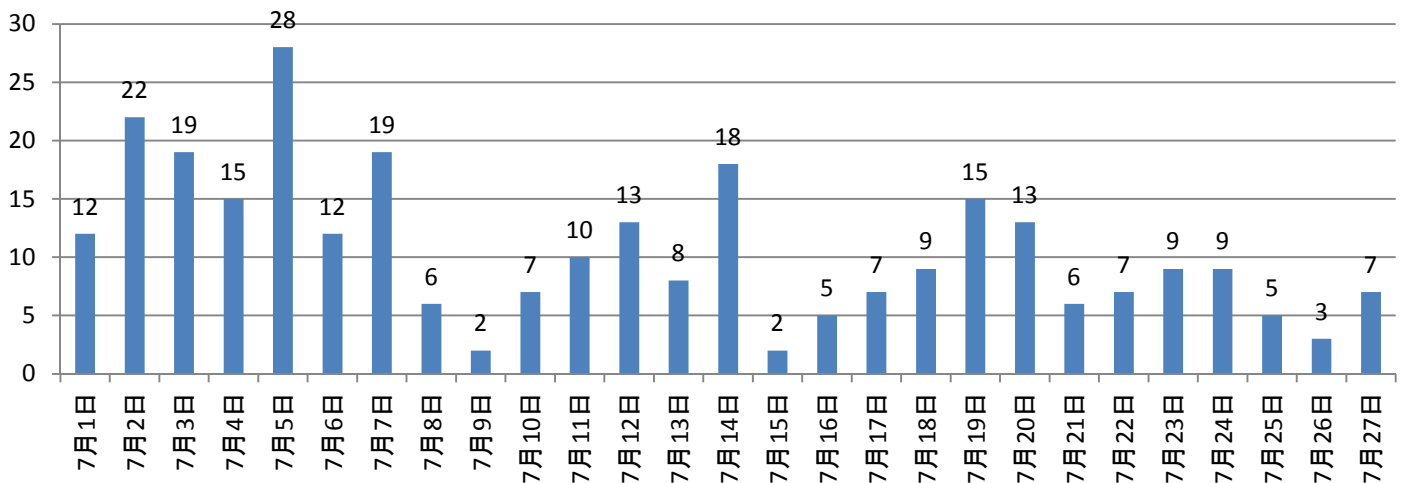
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

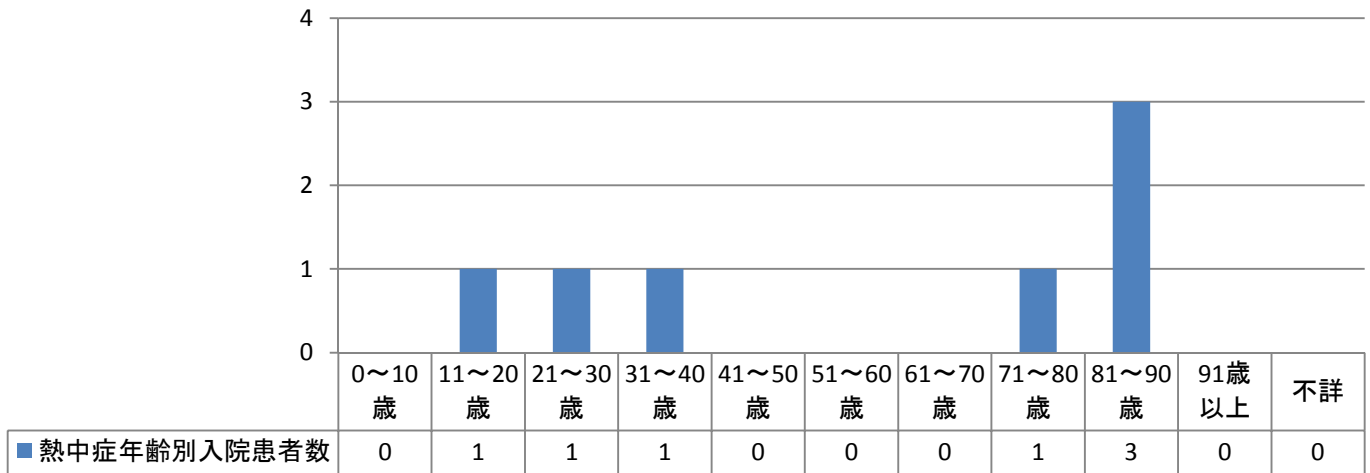
## 報告された熱中症入院患者数



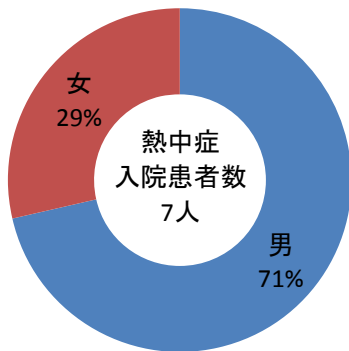
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月27日)

宮城県	1人
東京都	1人
長野県	1人
兵庫県	3人
京都府	1人

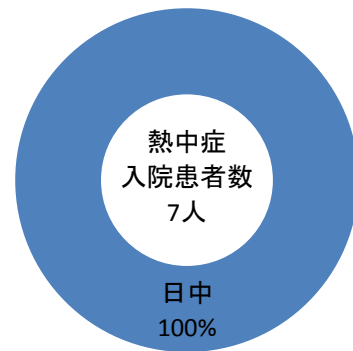
## 熱中症年齢別入院患者数(7月27日)



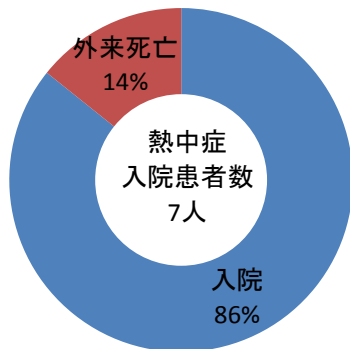
### 男女別(割合)



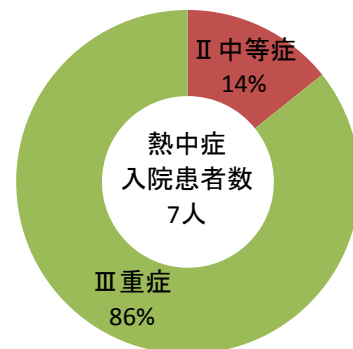
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

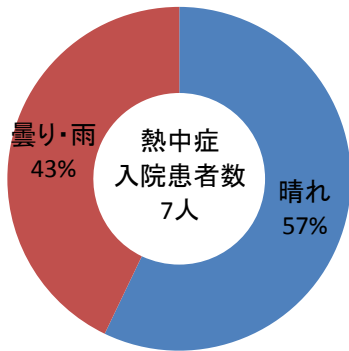


### 重症度分類(割合)

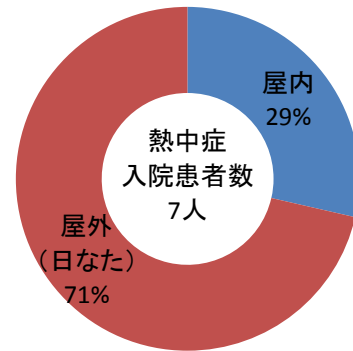




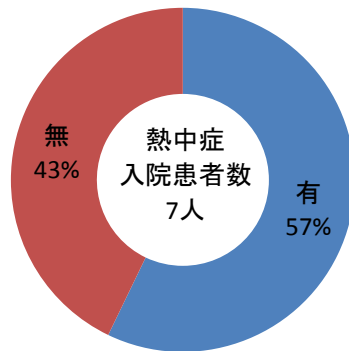
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月28日に報告された熱中症入院患者数

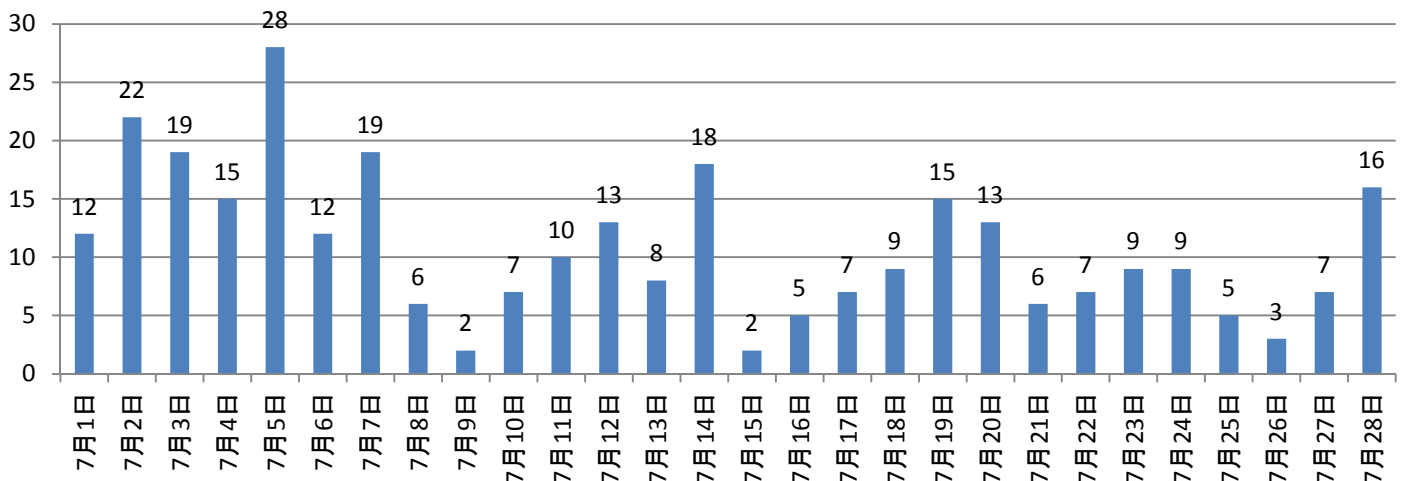
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

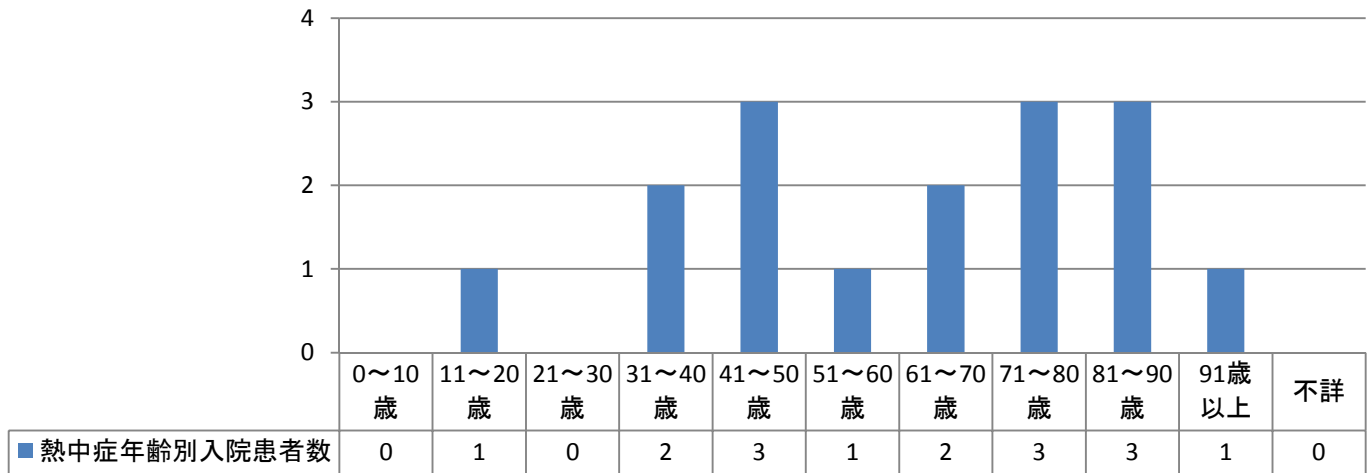
### 報告された熱中症入院患者数



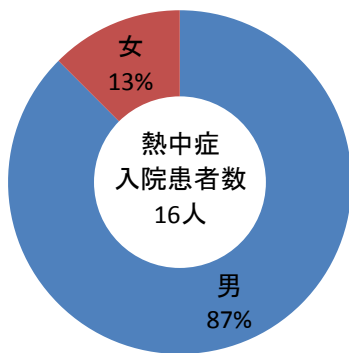
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数(7月28日)

青森県	1人	滋賀県	1人
東京都	1人	奈良県	1人
群馬県	2人	福岡県	3人
長野県	1人	熊本県	1人
富山県	1人	沖縄県	1人
静岡県	1人		
大阪府	1人		
兵庫県	1人		

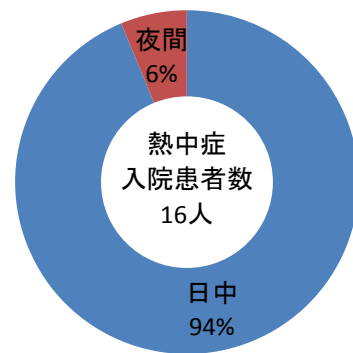
## 熱中症年齢別入院患者数(7月28日)



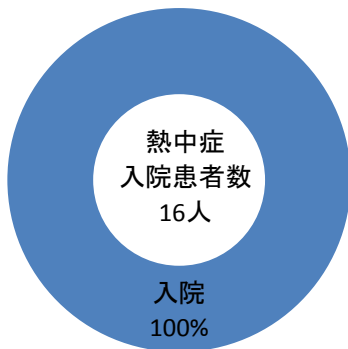
### 男女別(割合)



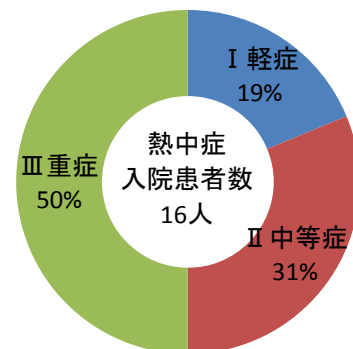
### 発症時間帯別(割合)



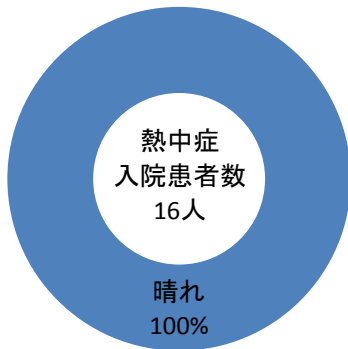
### 受診後(割合)



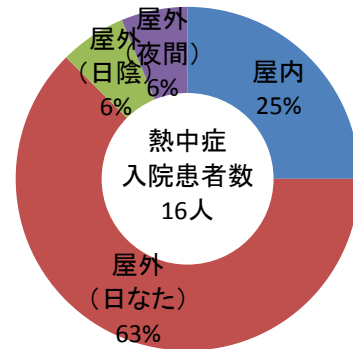
### 重症度分類(割合)



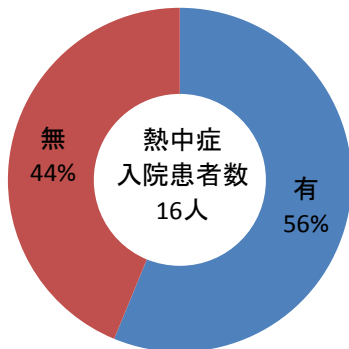
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月29日に報告された熱中症入院患者数

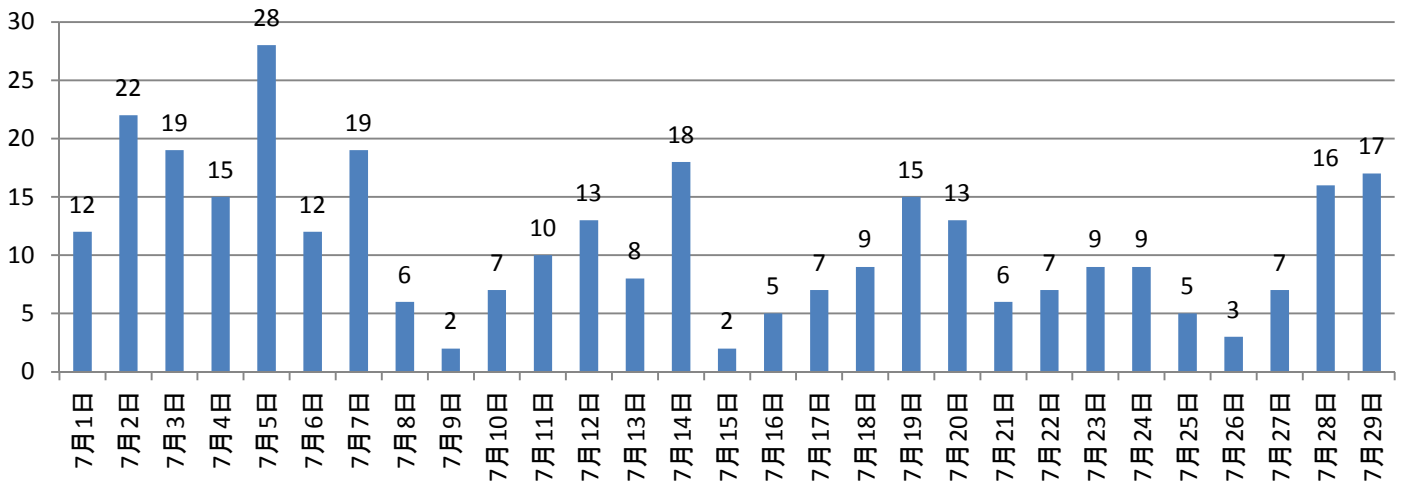
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

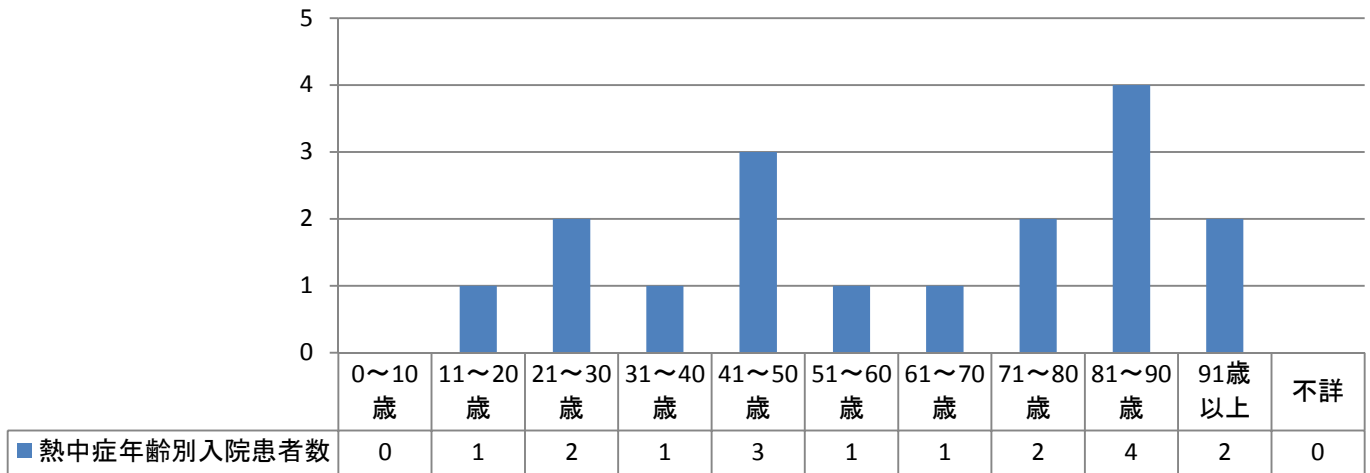
### 報告された熱中症入院患者数



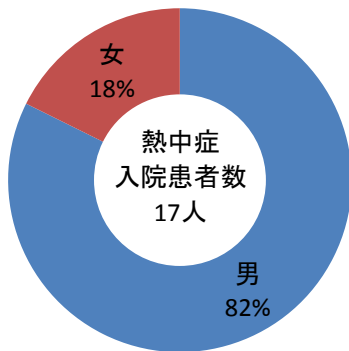
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月29日)

青森県	1人	大阪府	1人
宮城県	2人	兵庫県	2人
秋田県	1人	高知県	2人
東京都	1人	福岡県	2人
神奈川県	1人		
群馬県	1人		
新潟県	2人		
長野県	1人		

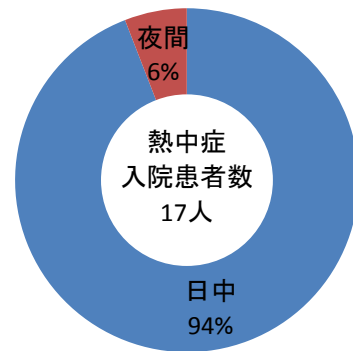
## 熱中症年齢別入院患者数(7月29日)



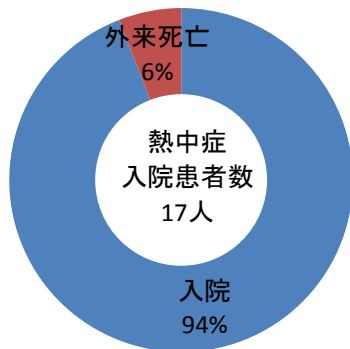
### 男女別(割合)



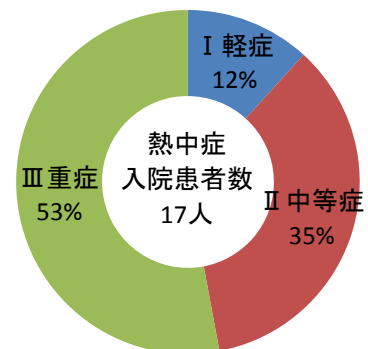
### 発症時間帯別(割合)



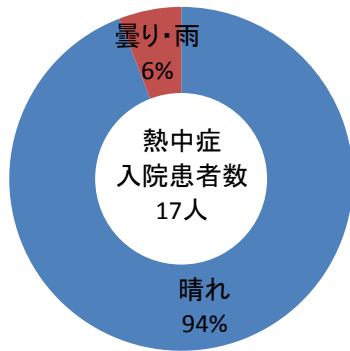
### 受診後(割合)



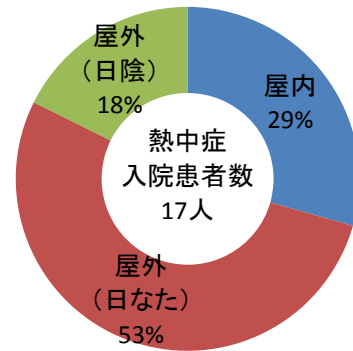
### 重症度分類(割合)



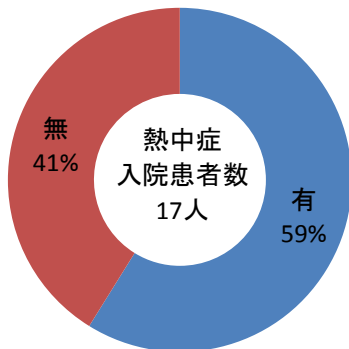
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月30日に報告された熱中症入院患者数

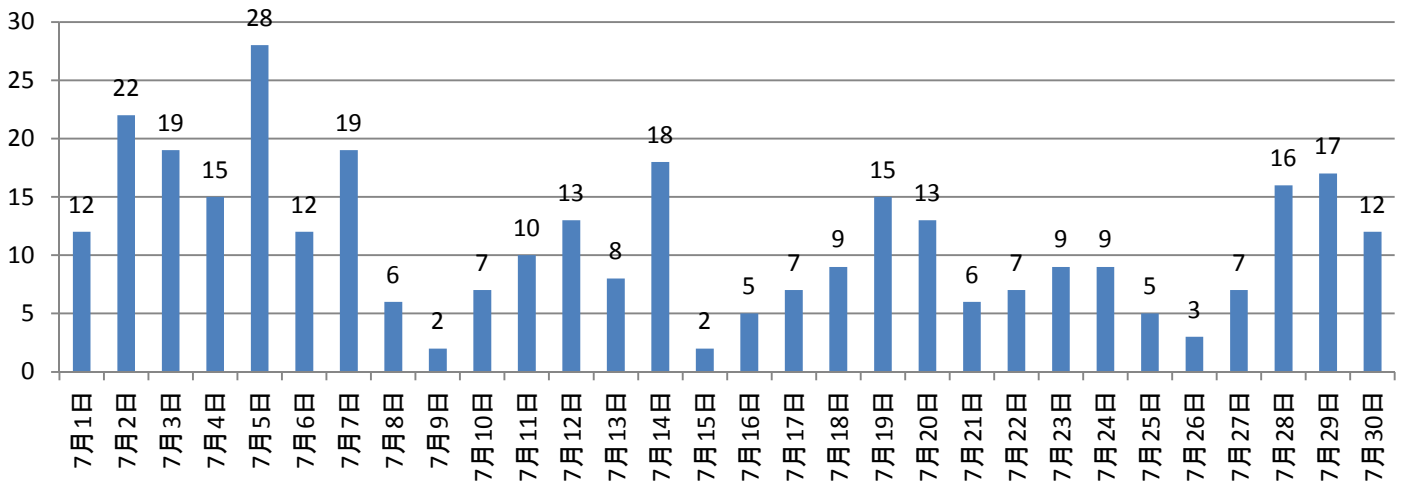
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

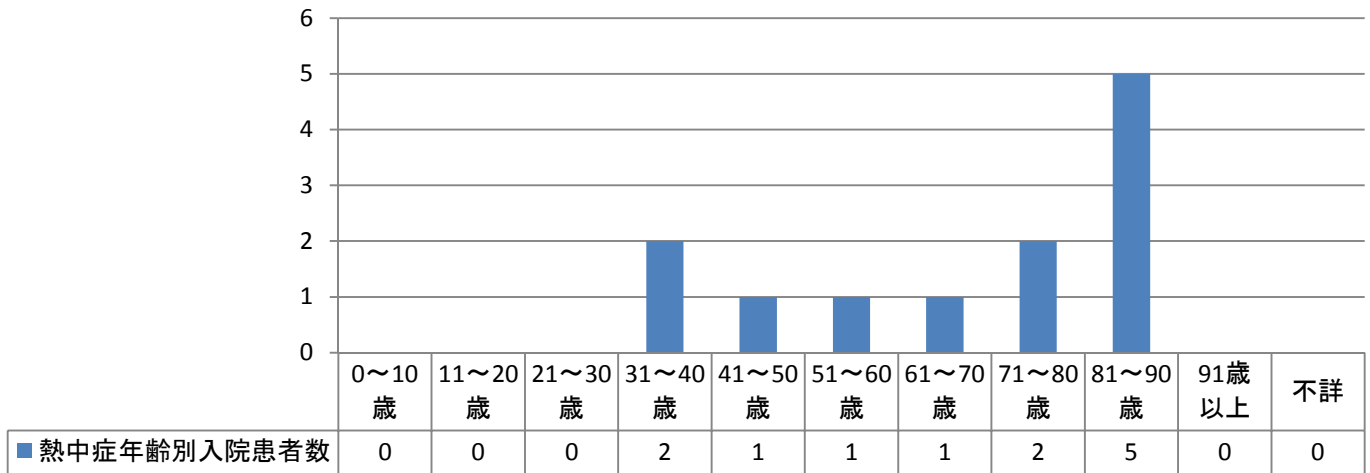


#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月30日)

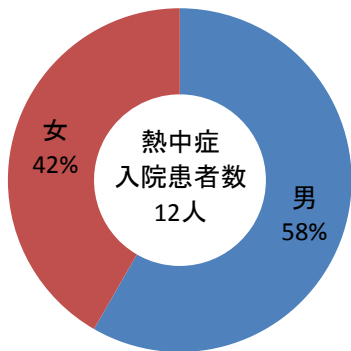
東京都	1人	福岡県	1人
群馬県	1人		
長野県	1人		
静岡県	1人		
大阪府	1人		
兵庫県	3人		
広島県	1人		
高知県	2人		



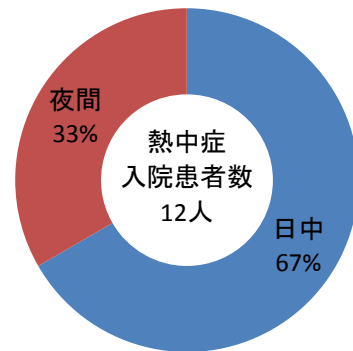
## 熱中症年齢別入院患者数(7月30日)



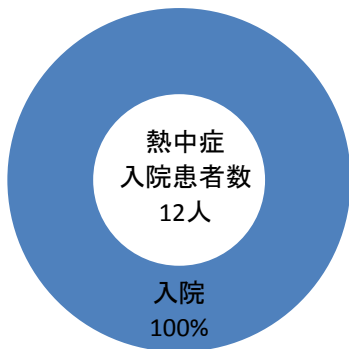
### 男女別(割合)



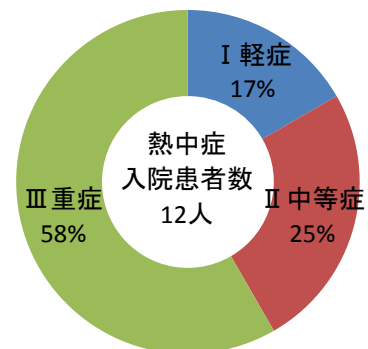
### 発症時間帯別(割合)



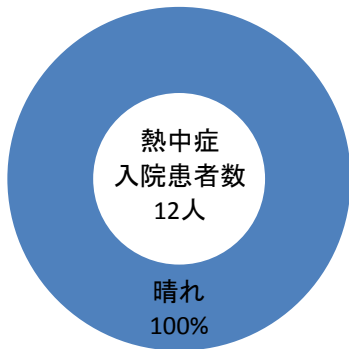
### 受診後(割合)



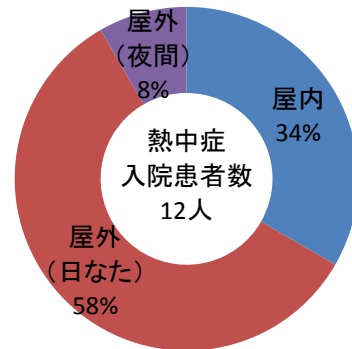
### 重症度分類(割合)



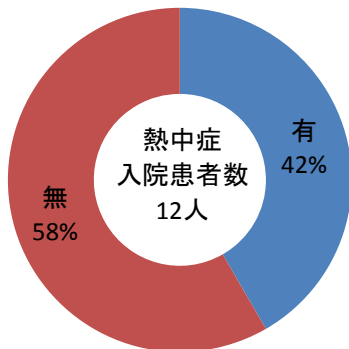
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 7月31日に報告された熱中症入院患者数

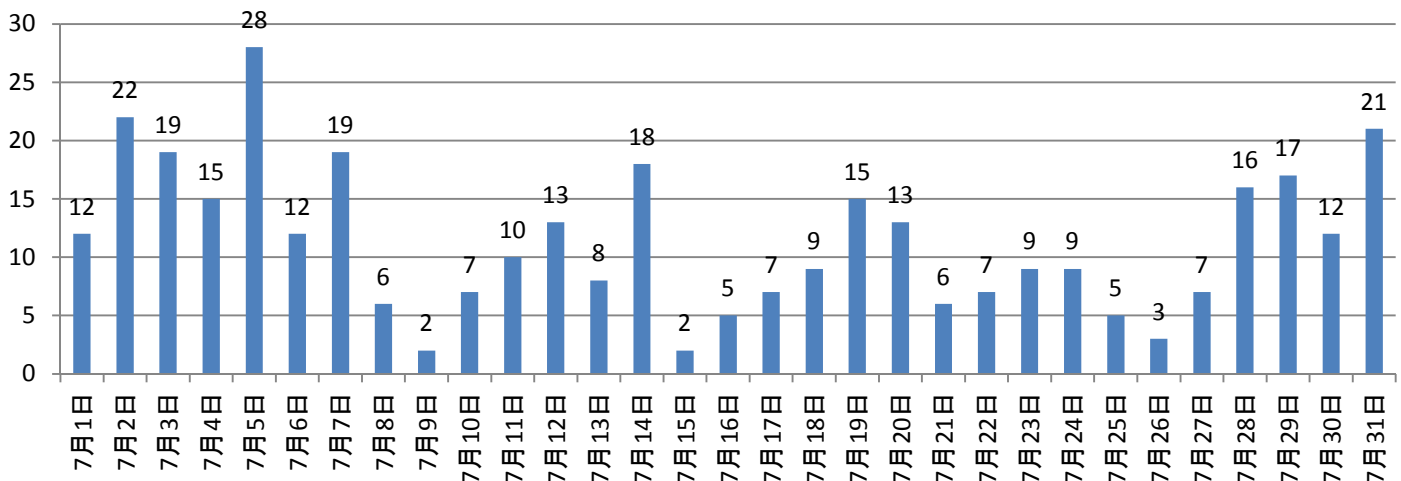
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

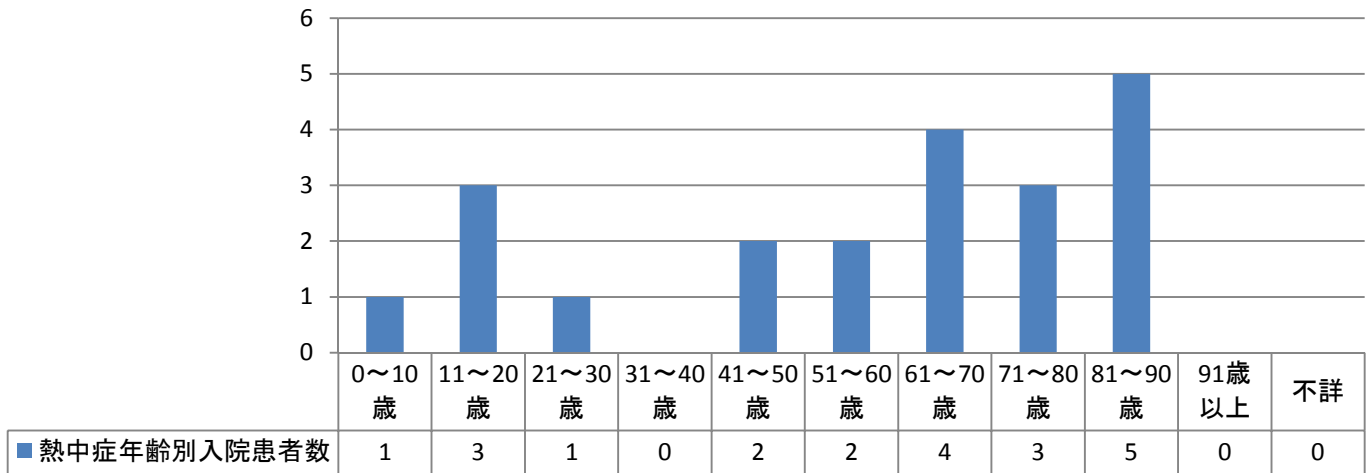
### 報告された熱中症入院患者数



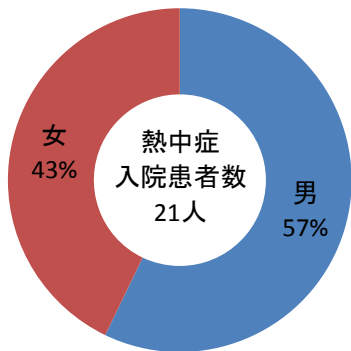
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月31日)

北海道	1人	愛知県	1人
青森県	1人	静岡県	1人
岩手県	2人	兵庫県	1人
福島県	2人	京都府	1人
埼玉県	1人	滋賀県	1人
栃木県	2人	福岡県	2人
群馬県	1人	鹿児島県	2人
長野県	2人		

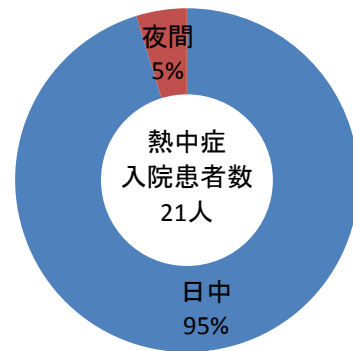
## 熱中症年齢別入院患者数(7月31日)



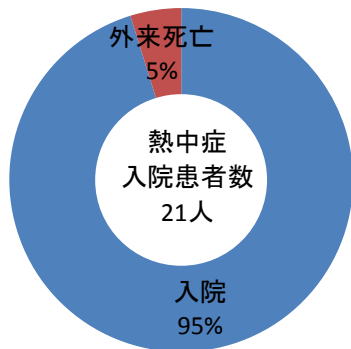
### 男女別(割合)



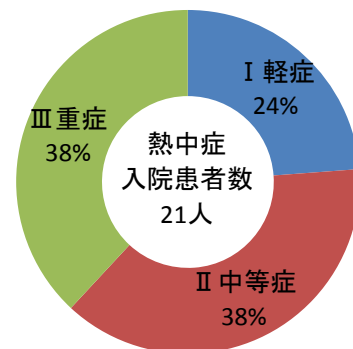
### 発症時間帯別(割合)



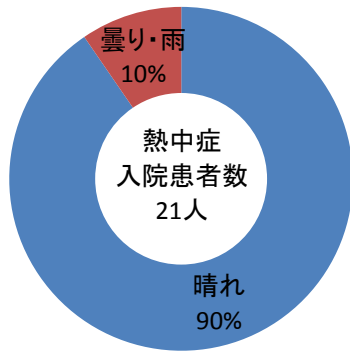
### 受診後(割合)



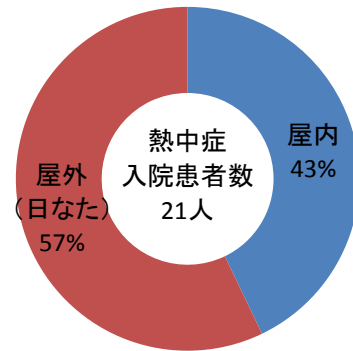
### 重症度分類(割合)



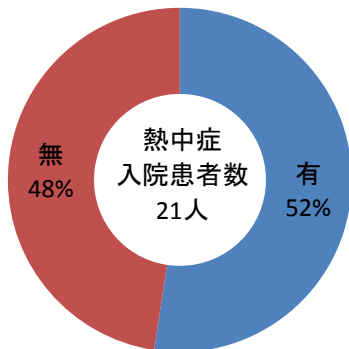
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月1日に報告された熱中症入院患者数

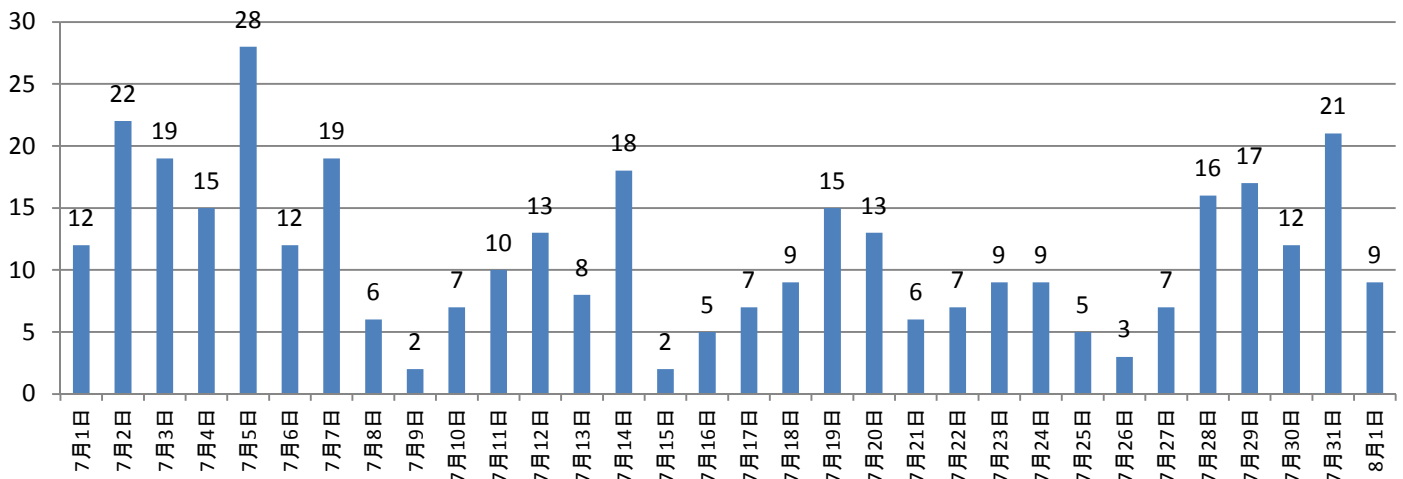
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

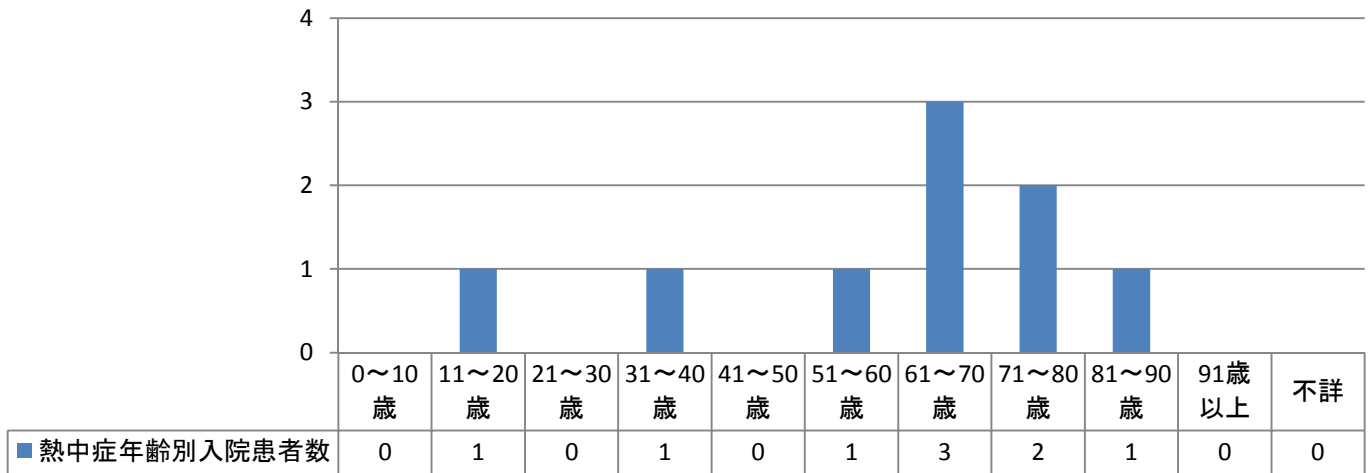
### 報告された熱中症入院患者数



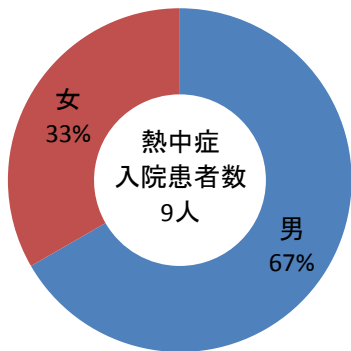
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月1日)

東京都	1人
新潟県	1人
三重県	1人
大阪府	1人
京都府	2人
奈良県	1人
福岡県	1人
大分県	1人

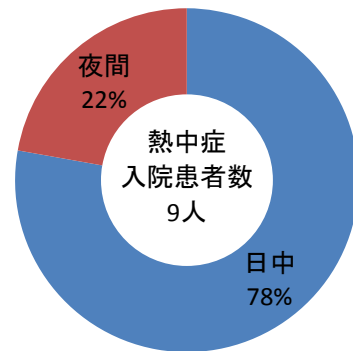
## 熱中症年齢別入院患者数(8月1日)



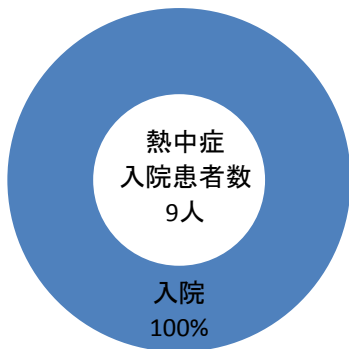
### 男女別(割合)



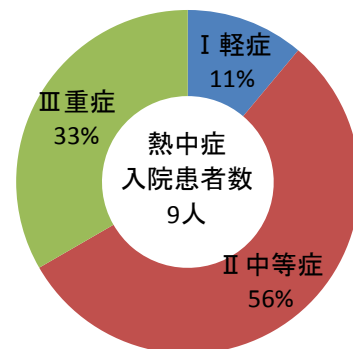
### 発症時間帯別(割合)



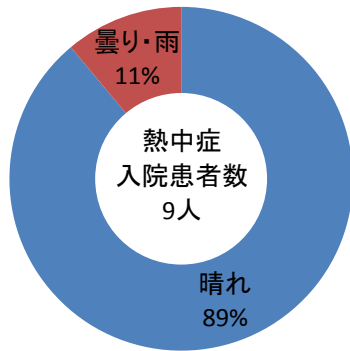
### 受診後(割合)



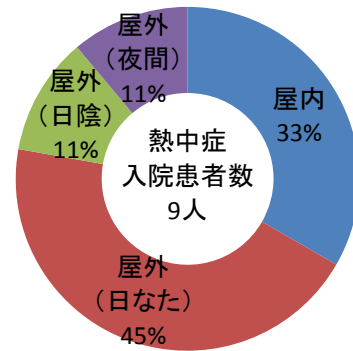
### 重症度分類(割合)



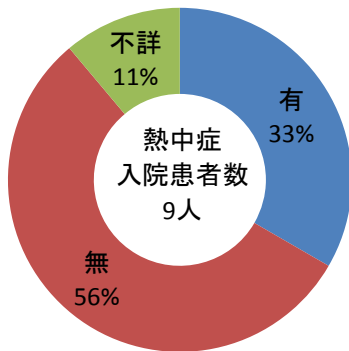
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 8月2日 に報告された熱中症入院患者数

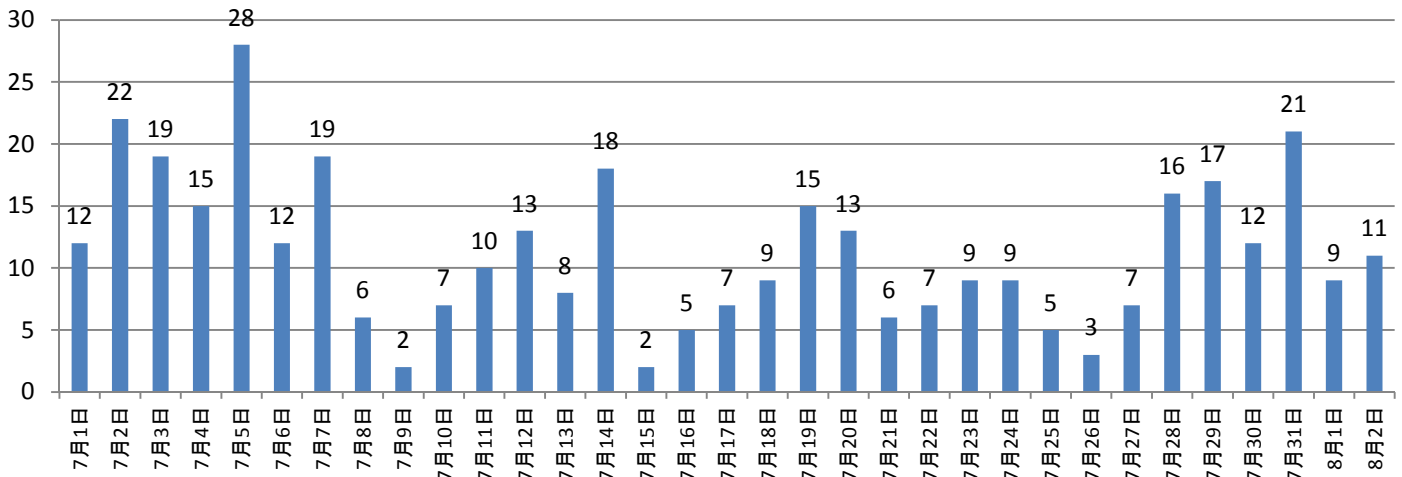
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長: 清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

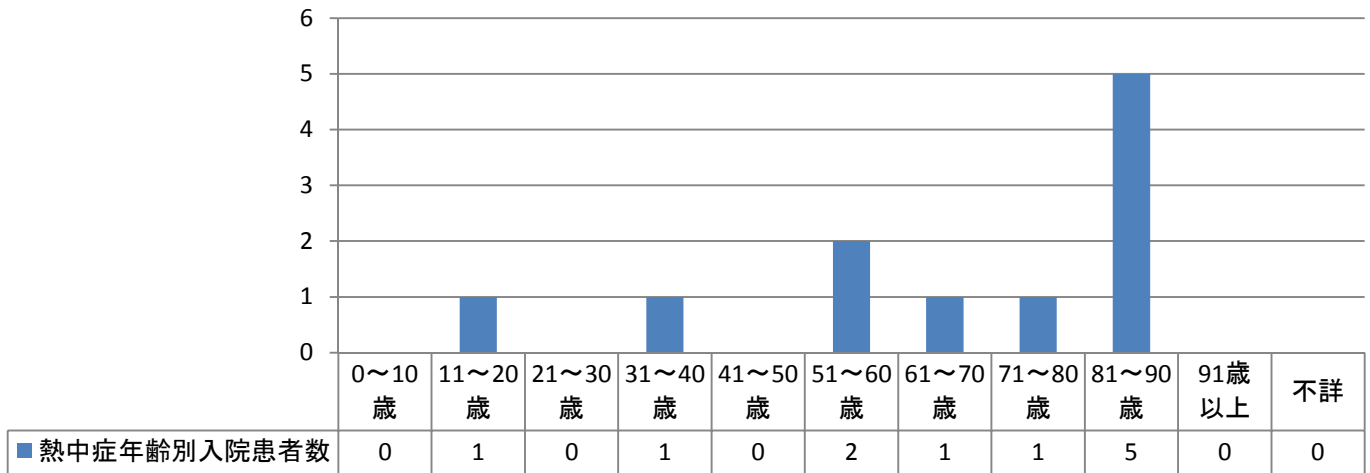
### 報告された熱中症入院患者数



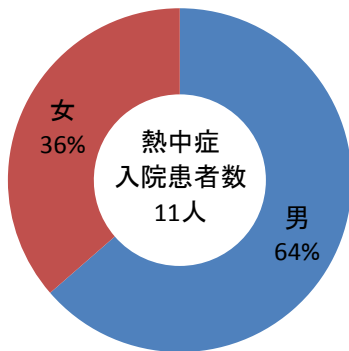
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月2日)

福島県	1人
富山県	1人
愛知県	2人
大阪府	2人
京都府	2人
徳島県	1人
福岡県	1人
鹿児島県	1人

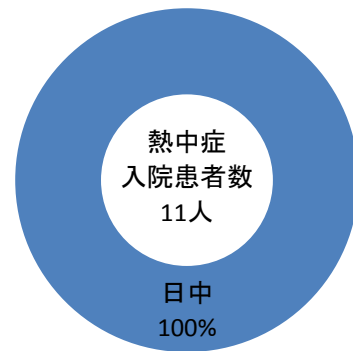
## 熱中症年齢別入院患者数(8月2日)



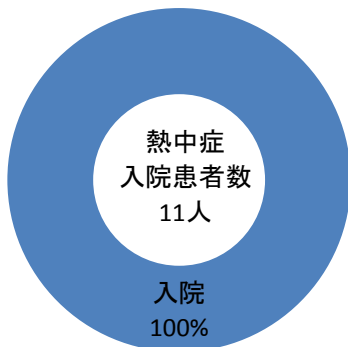
### 男女別(割合)



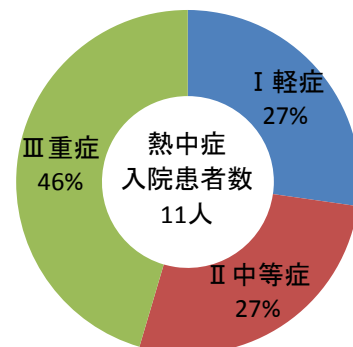
### 発症時間帯別(割合)



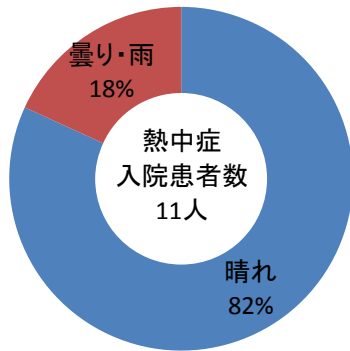
### 受診後(割合)



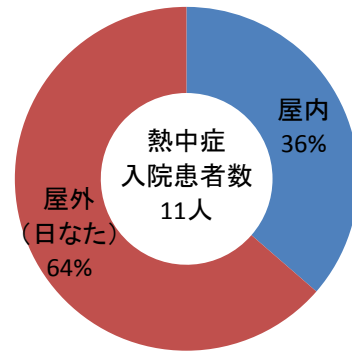
### 重症度分類(割合)



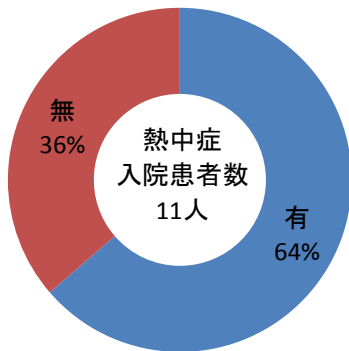
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月3日に報告された熱中症入院患者数

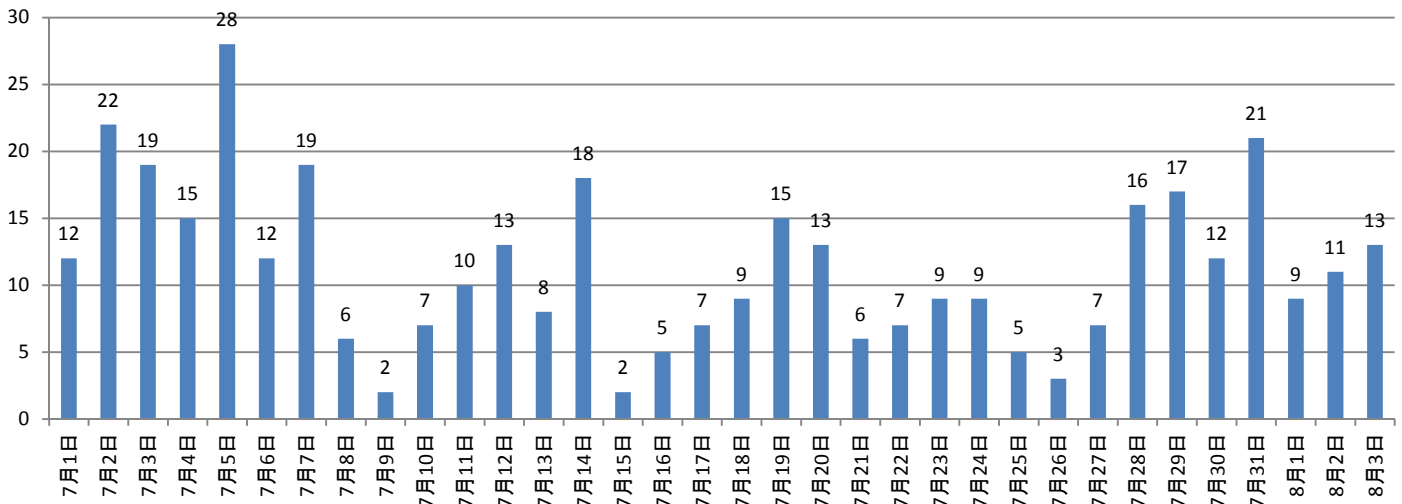
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

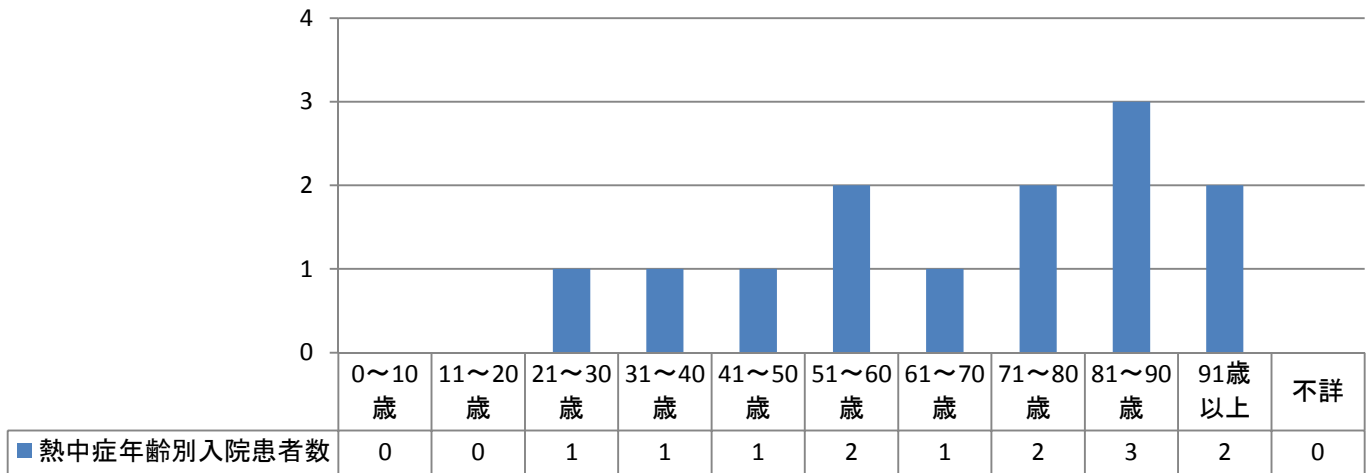
報告された熱中症入院患者数



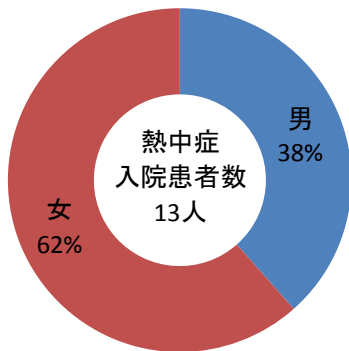
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月3日)

北海道	1人	鹿児島県	1人
福島県	1人		
東京都	4人		
茨城県	1人		
栃木県	1人		
滋賀県	2人		
鳥取県	1人		
徳島県	1人		

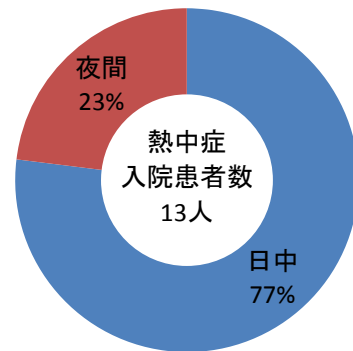
## 熱中症年齢別入院患者数(8月3日)



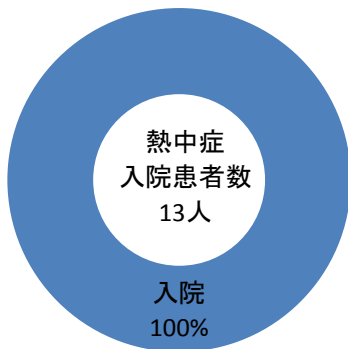
### 男女別(割合)



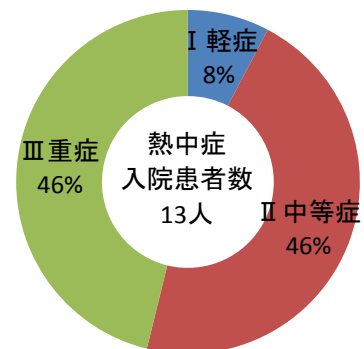
### 発症時間帯別(割合)



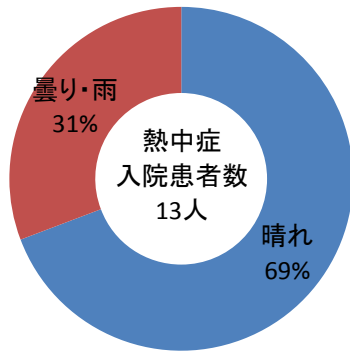
### 受診後(割合)



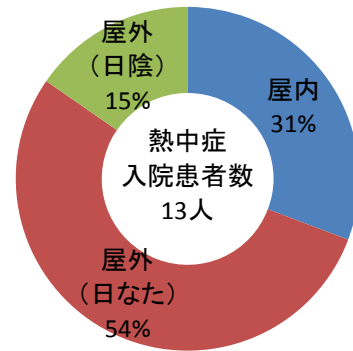
### 重症度分類(割合)



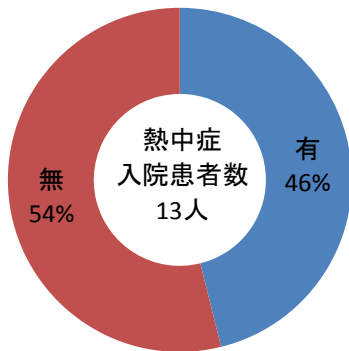
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月4日に報告された熱中症入院患者数

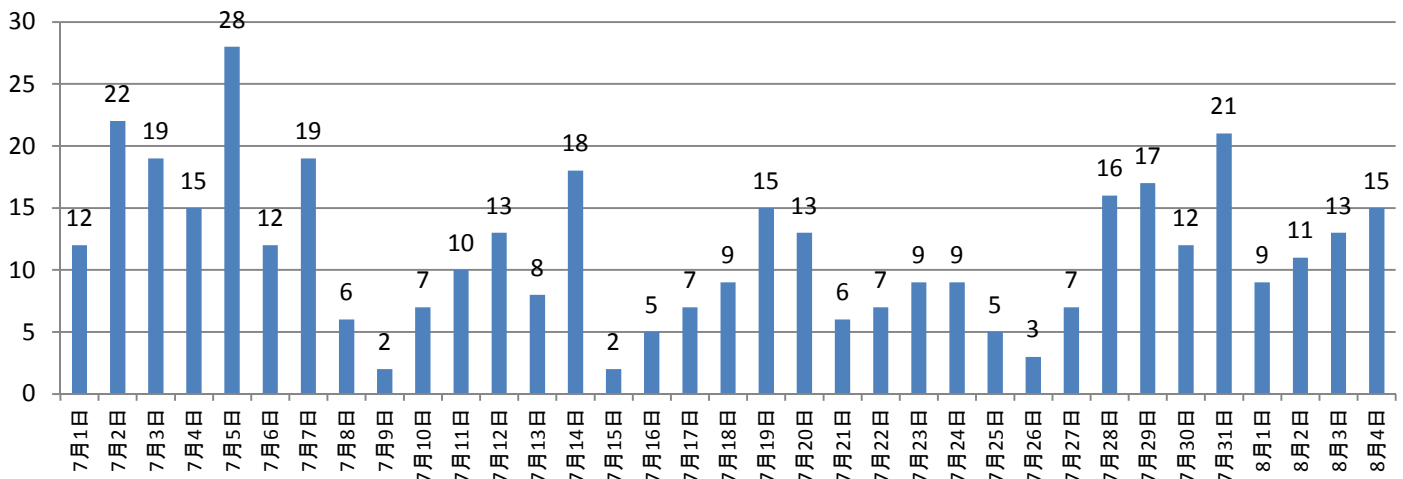
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

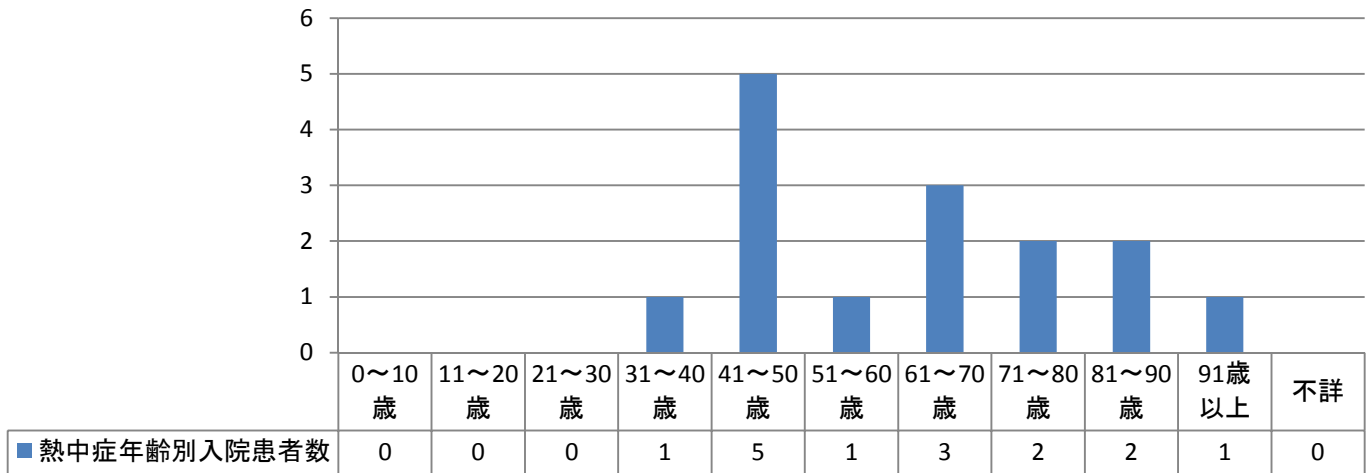
### 報告された熱中症入院患者数



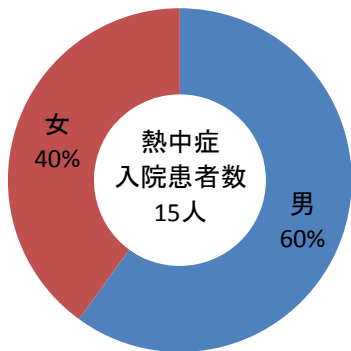
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月4日)

北海道	1人	大阪府	1人
青森県	1人	広島県	1人
宮城県	1人	沖縄県	1人
東京都	3人		
神奈川県	2人		
千葉県	1人		
愛知県	2人		
静岡県	1人		

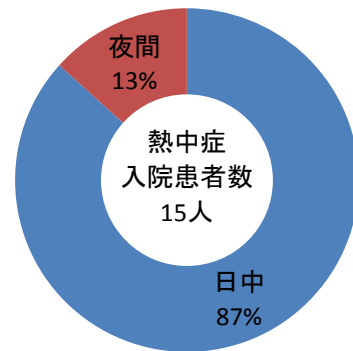
## 熱中症年齢別入院患者数(8月4日)



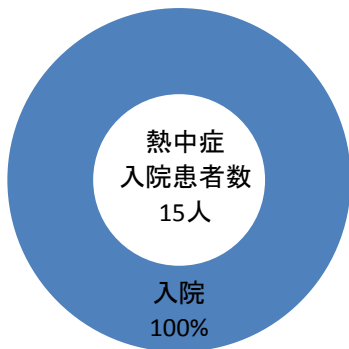
### 男女別(割合)



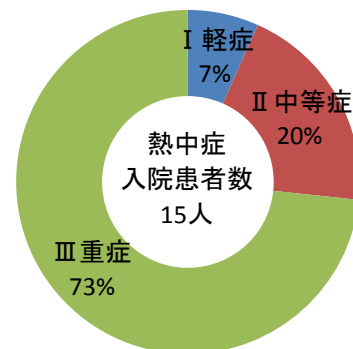
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

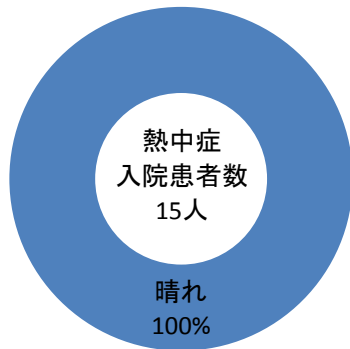


### 重症度分類(割合)

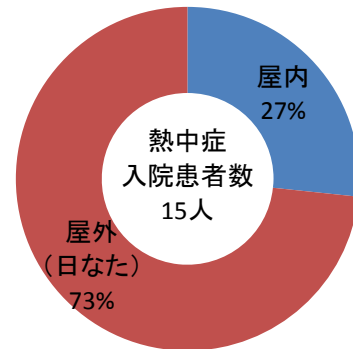




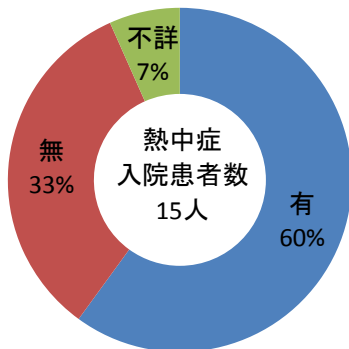
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月5日に報告された熱中症入院患者数

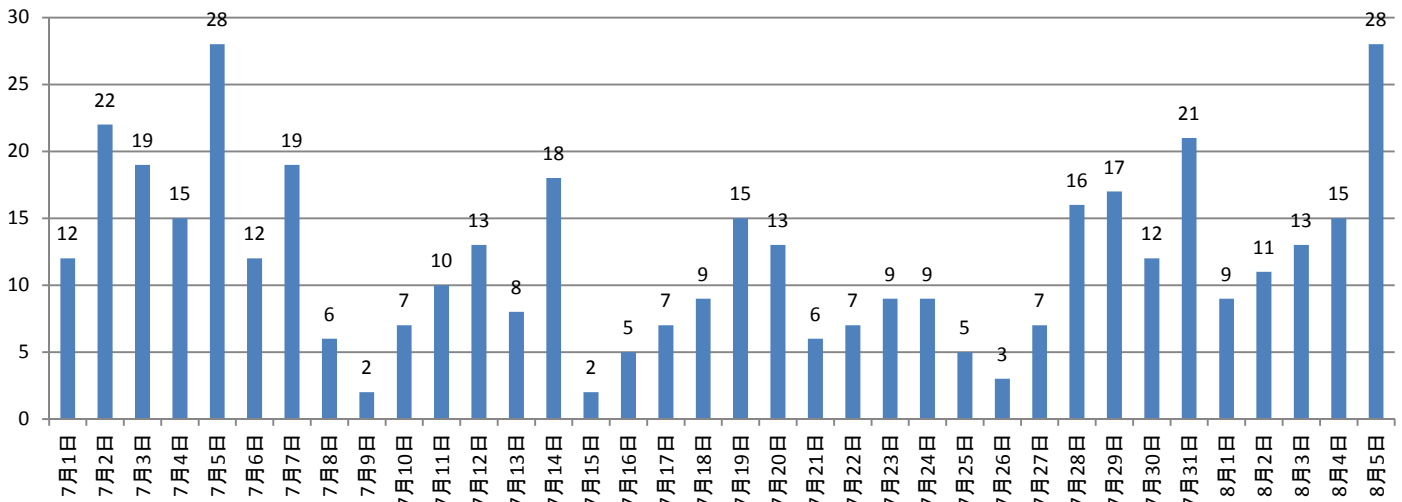
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

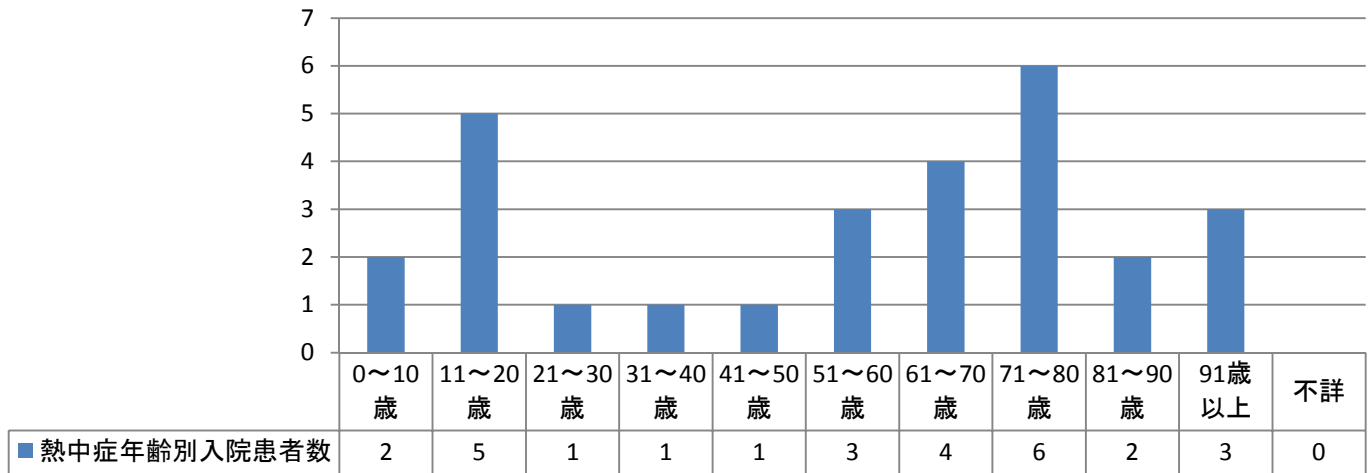
報告された熱中症入院患者数



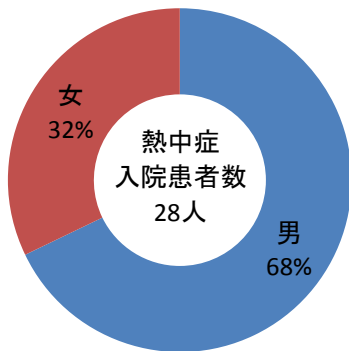
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月5日)

北海道	2人	群馬県	1人
岩手県	1人	富山県	1人
宮城県	1人	愛知県	4人
山形県	2人	大阪府	2人
東京都	4人	京都府	1人
神奈川県	1人	滋賀県	3人
千葉県	1人	島根県	1人
茨城県	2人	鹿児島県	1人

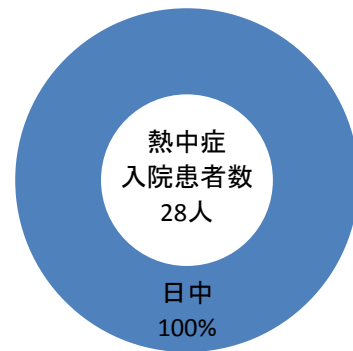
## 熱中症年齢別入院患者数(8月5日)



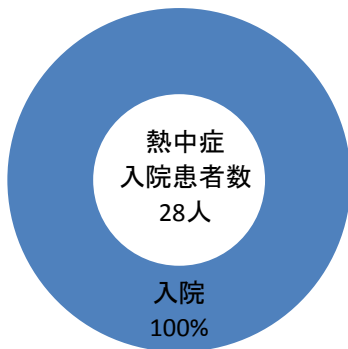
### 男女別(割合)



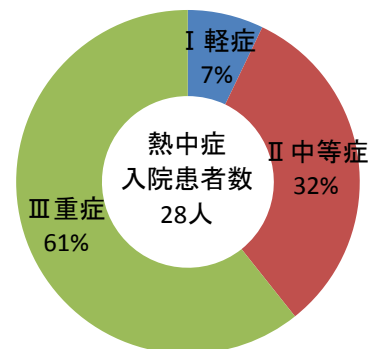
### 発症時間帯別(割合)



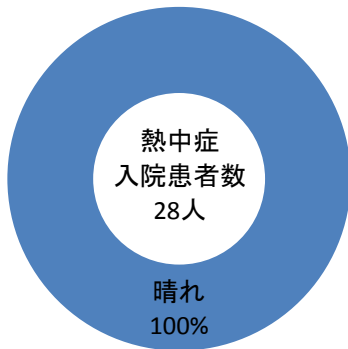
### 受診後(割合)



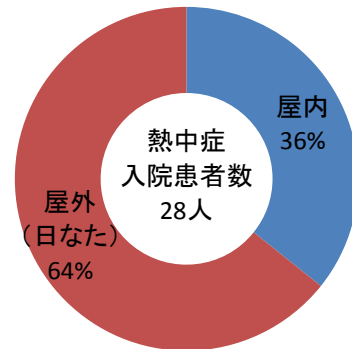
### 重症度分類(割合)



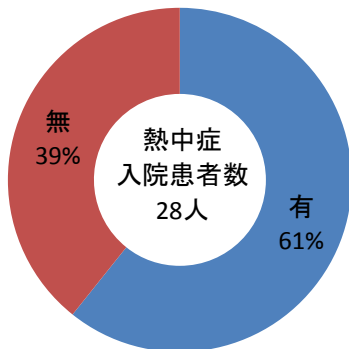
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月6日に報告された熱中症入院患者数

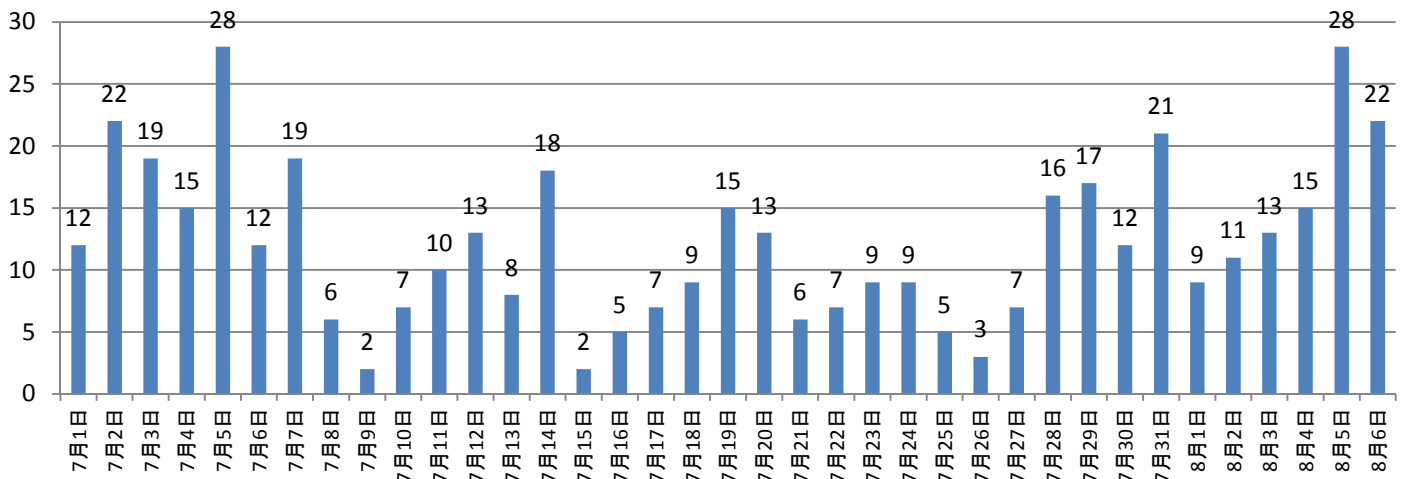
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

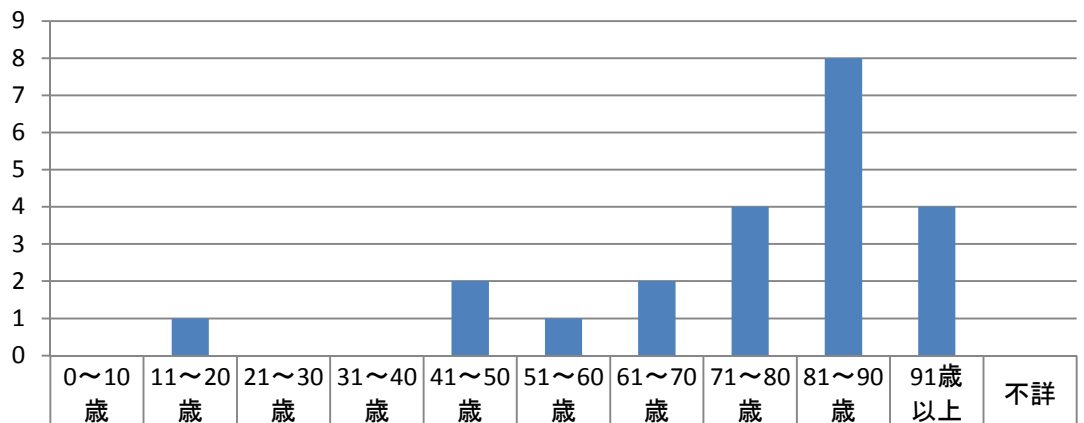
### 報告された熱中症入院患者数



#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月6日)

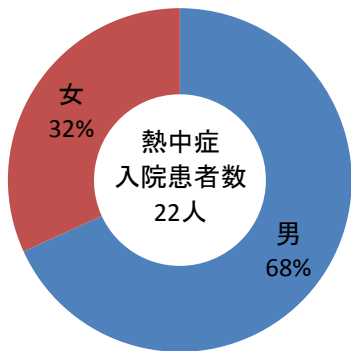
青森県	1人	大阪府	2人
宮城県	2人	兵庫県	1人
東京都	3人	京都府	1人
埼玉県	2人	広島県	1人
千葉県	1人	高知県	1人
群馬県	5人		
新潟県	1人		
長野県	1人		

## 熱中症年齢別入院患者数(8月6日)

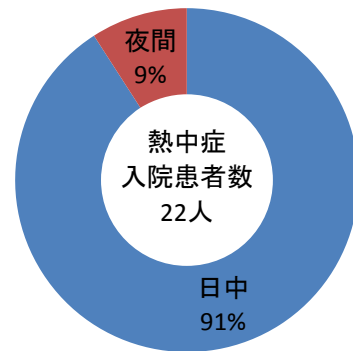


熱中症年齢別入院患者数	0	1	0	0	2	1	2	4	8	4	0
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

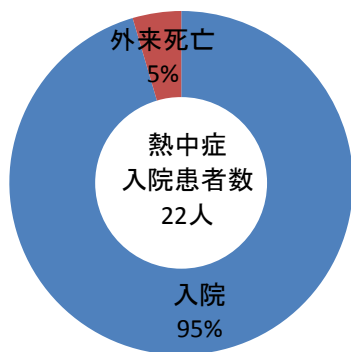
### 男女別(割合)



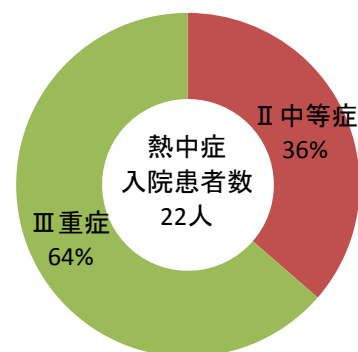
### 発症時間帯別(割合)



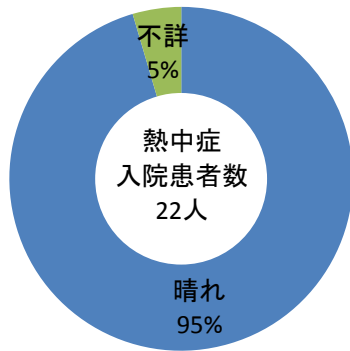
### 受診後(割合)



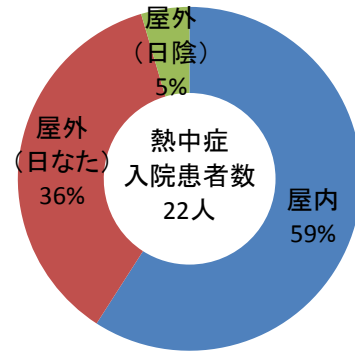
### 重症度分類(割合)



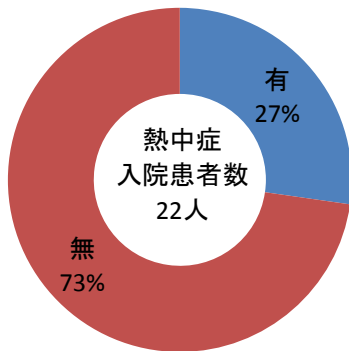
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月7日に報告された熱中症入院患者数

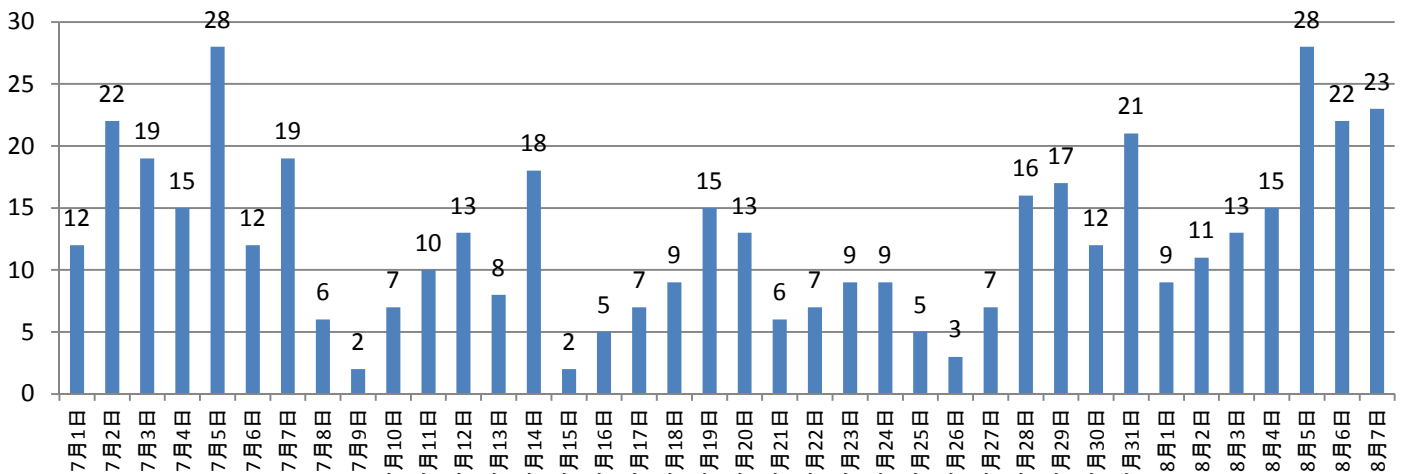
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

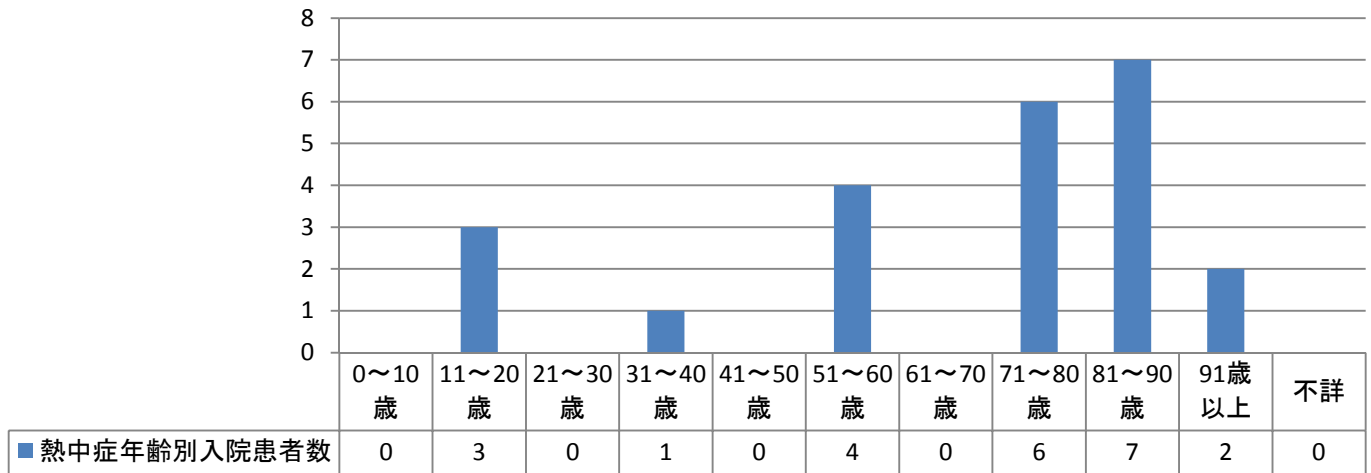


#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月7日)

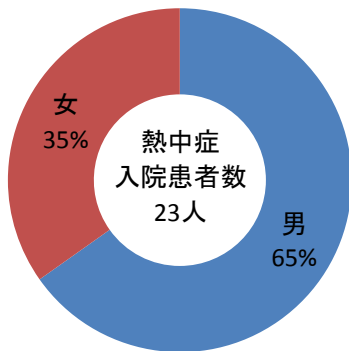
北海道	2人	長野県	2人	鹿児島県	1人
青森県	1人	富山県	1人		
秋田県	1人	石川県	1人		
東京都	2人	愛知県	2人		
栃木県	1人	静岡県	1人		
群馬県	1人	兵庫県	1人		
山梨県	1人	京都府	3人		
新潟県	1人	高知県	1人		



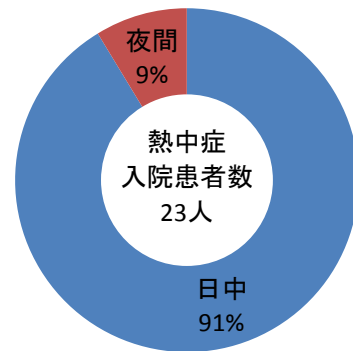
## 熱中症年齢別入院患者数(8月7日)



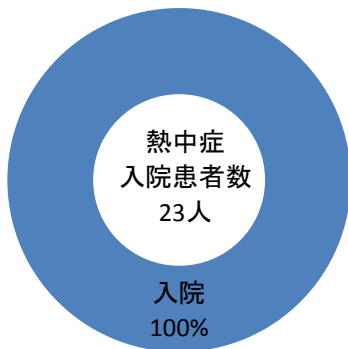
### 男女別(割合)



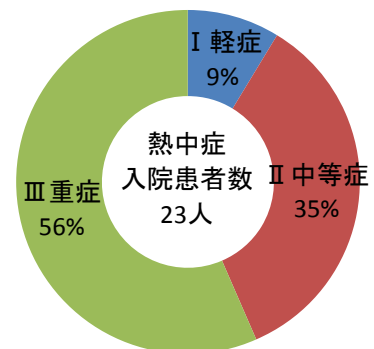
### 発症時間帯別(割合)



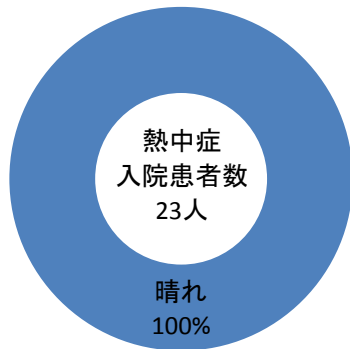
### 受診後(割合)



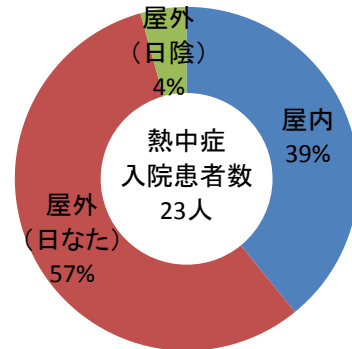
### 重症度分類(割合)



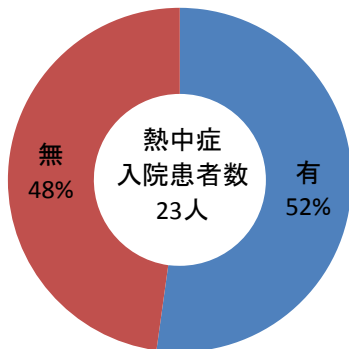
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月8日 に報告された熱中症入院患者数

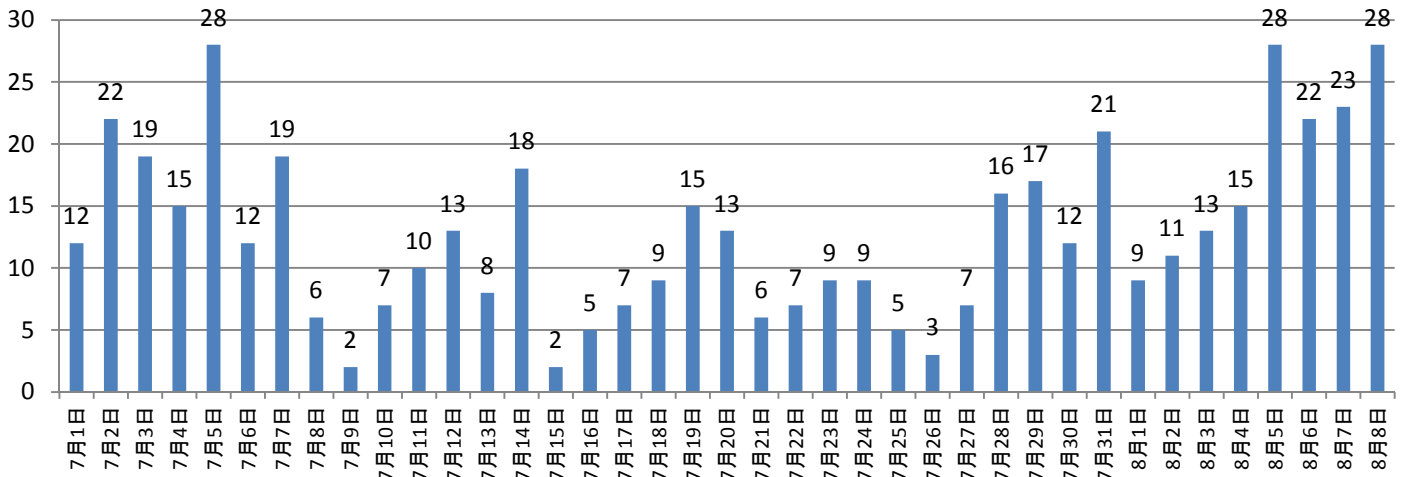
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

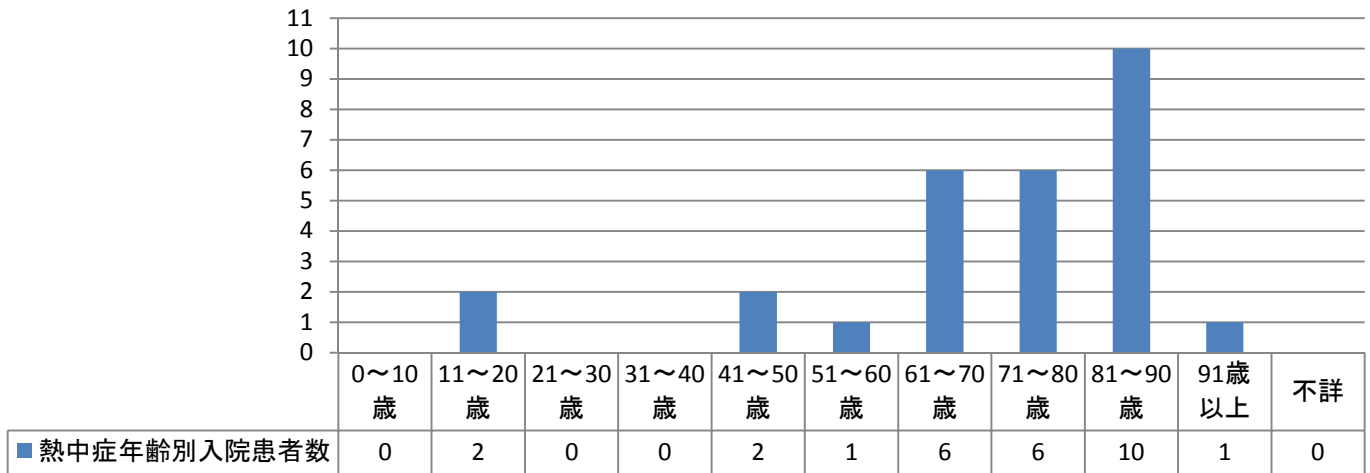
### 報告された熱中症入院患者数



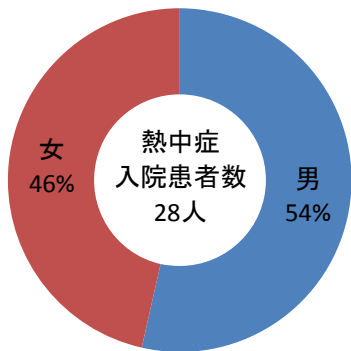
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月8日)

北海道	1人	長野県	1人	高知県	1人
青森県	1人	富山県	2人	福岡県	3人
岩手県	1人	愛知県	4人	鹿児島県	1人
宮城県	1人	三重県	1人		
東京都	2人	大阪府	1人		
神奈川県	1人	兵庫県	3人		
千葉県	1人	京都府	1人		
群馬県	1人	徳島県	1人		

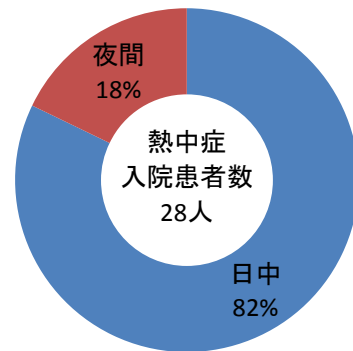
## 熱中症年齢別入院患者数(8月8日)



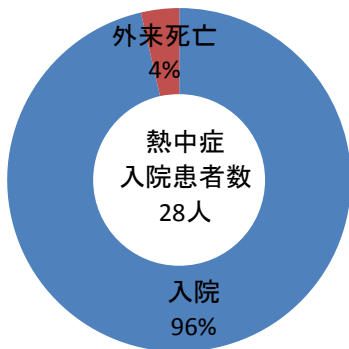
### 男女別(割合)



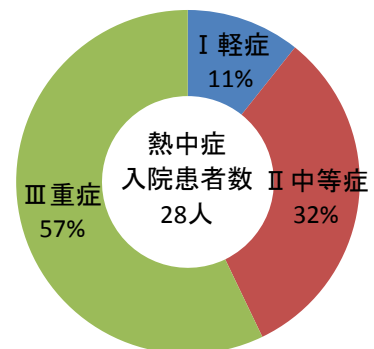
### 発症時間帯別(割合)



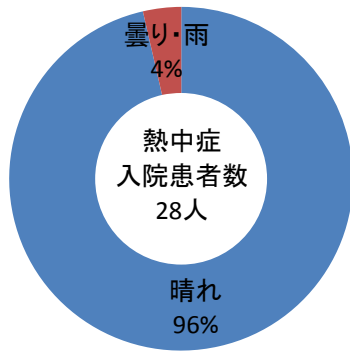
### 受診後(割合)



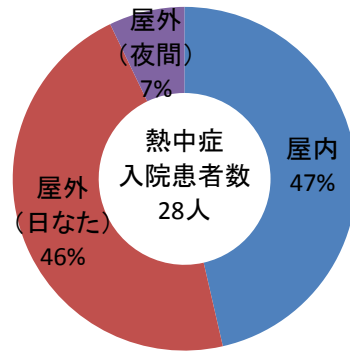
### 重症度分類(割合)



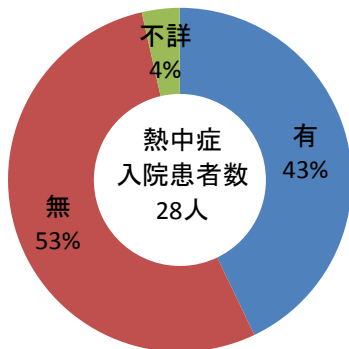
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月9日 に報告された熱中症入院患者数

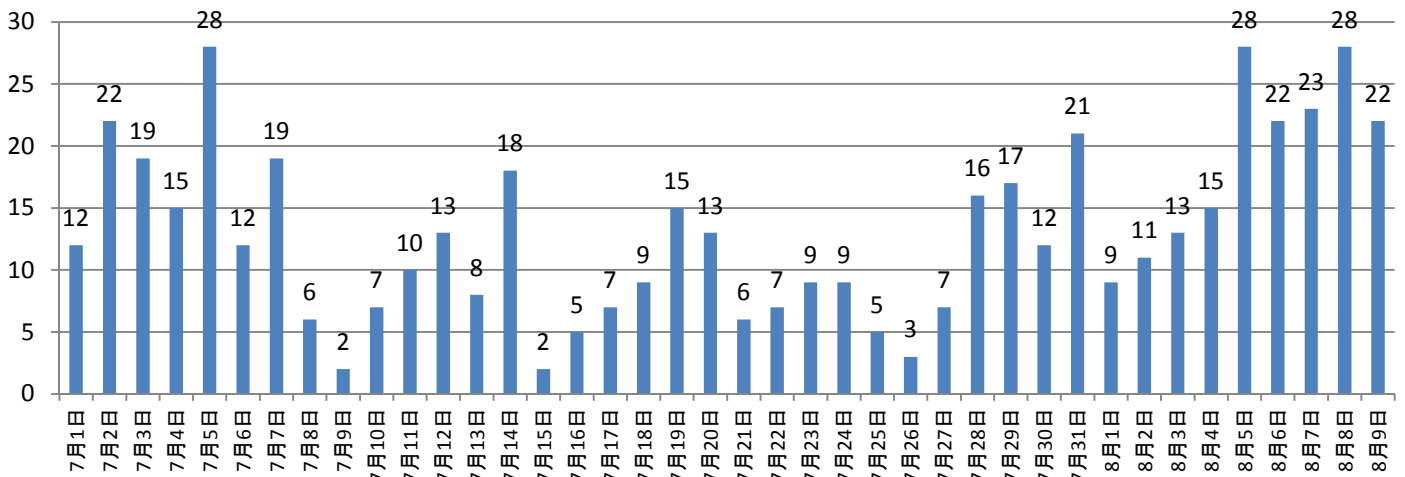
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

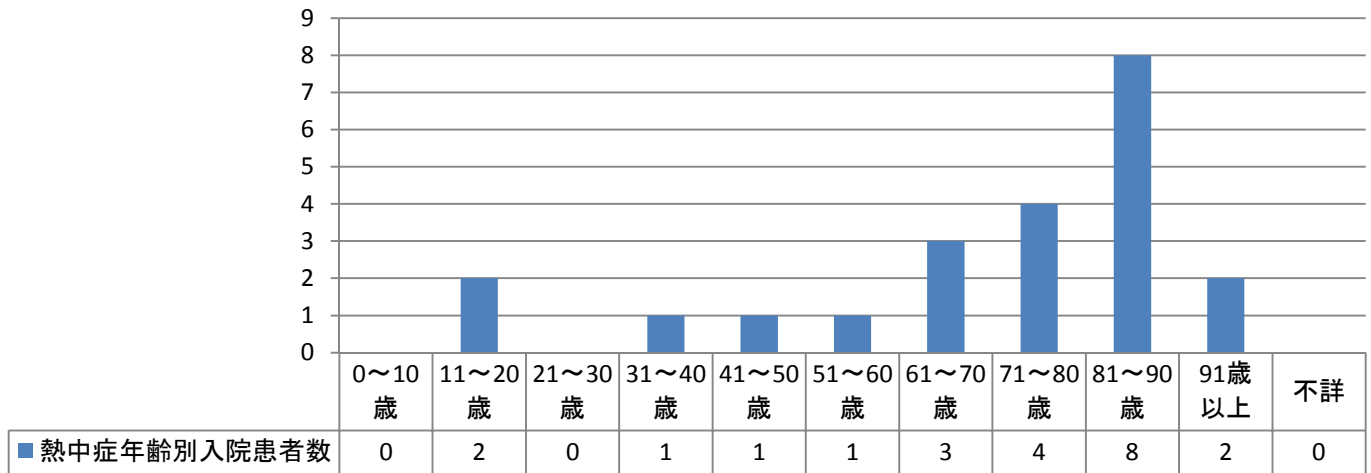
### 報告された熱中症入院患者数



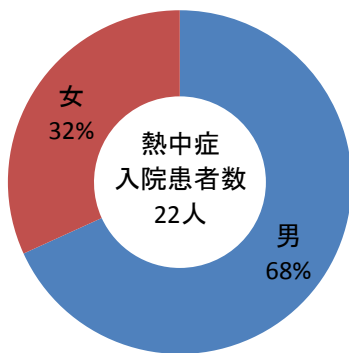
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月9日)

北海道	1人	愛知県	4人
青森県	1人	静岡県	1人
宮城県	1人	三重県	1人
東京都	3人	大阪府	1人
群馬県	1人	山口県	1人
山梨県	1人	高知県	2人
新潟県	1人	福岡県	1人
長野県	2人		

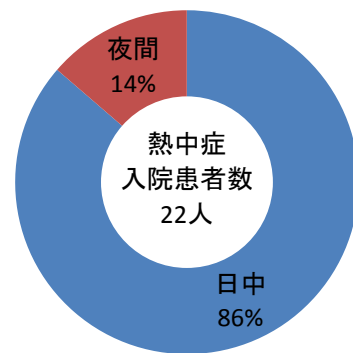
## 熱中症年齢別入院患者数(8月9日)



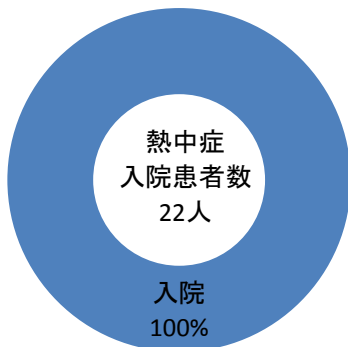
### 男女別(割合)



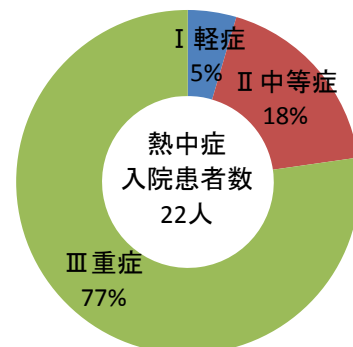
### 発症時間帯別(割合)



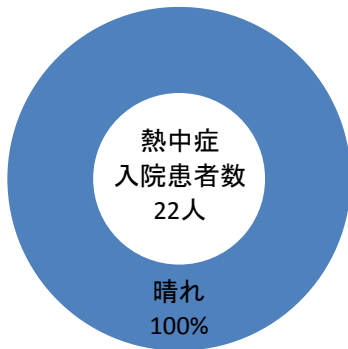
### 受診後(割合)



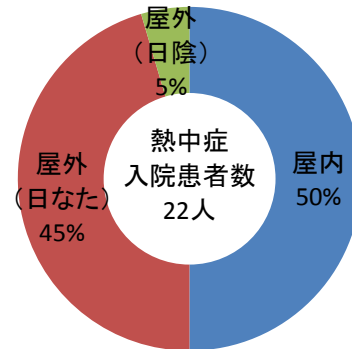
### 重症度分類(割合)



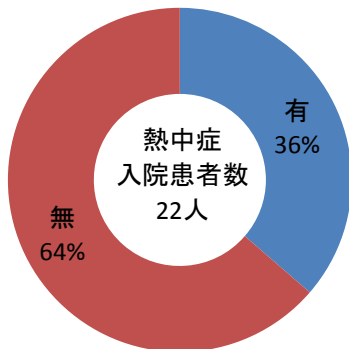
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 8月10日に報告された熱中症入院患者数

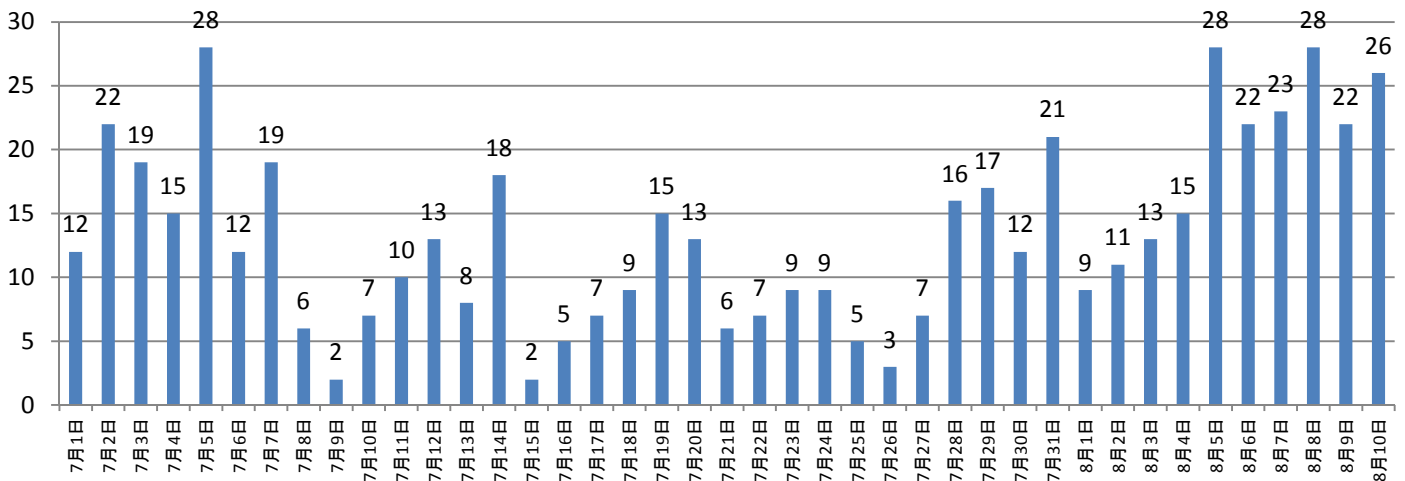
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

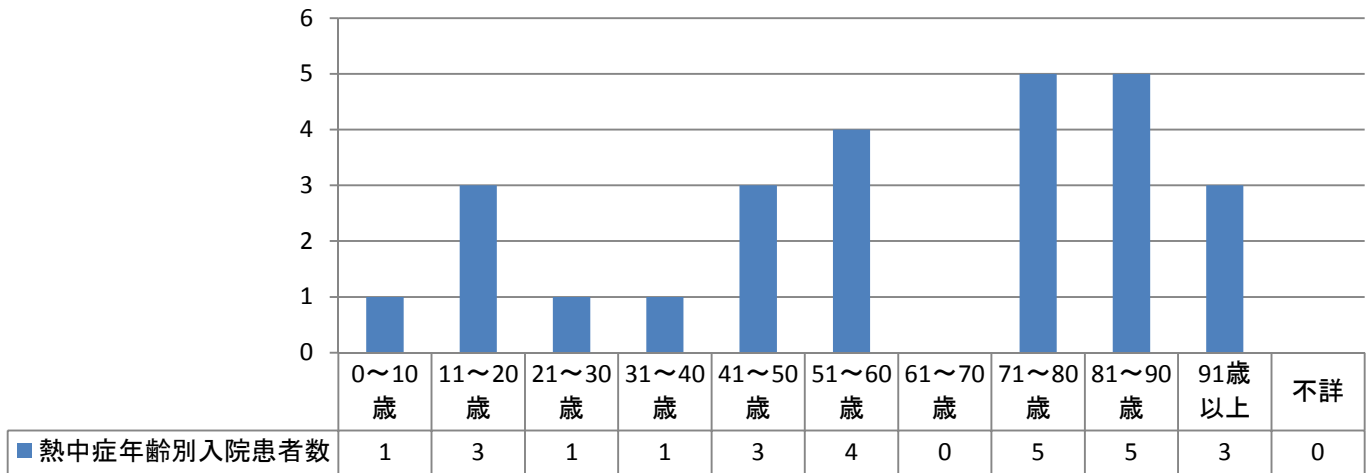
### 報告された熱中症入院患者数



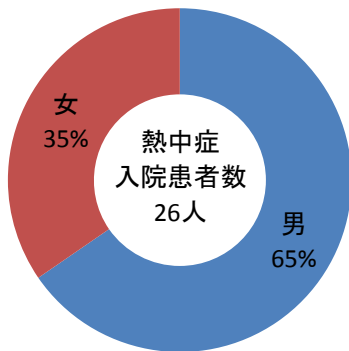
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月10日)

北海道	1人	大阪府	2人
東京都	3人	兵庫県	2人
神奈川県	1人	広島県	1人
埼玉県	1人	山口県	1人
千葉県	2人	徳島県	1人
山梨県	1人	福岡県	1人
愛知県	1人	熊本県	1人
静岡県	3人	鹿児島県	4人

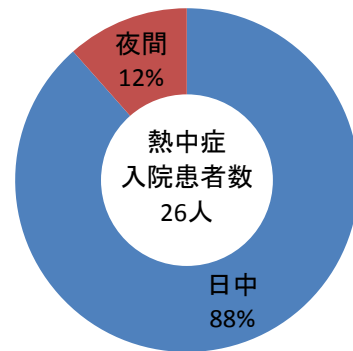
## 熱中症年齢別入院患者数(8月10日)



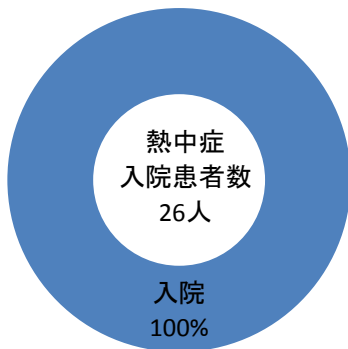
### 男女別(割合)



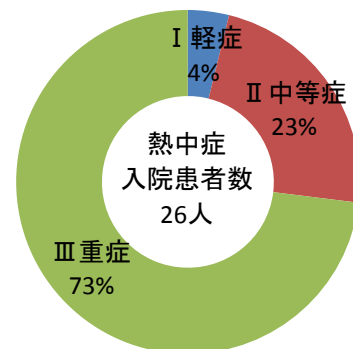
### 発症時間帯別(割合)



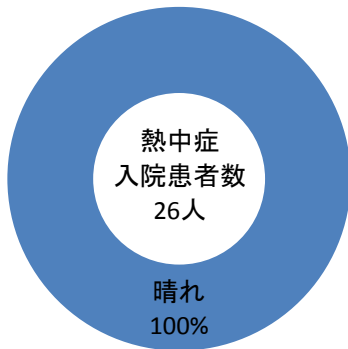
### 受診後(割合)



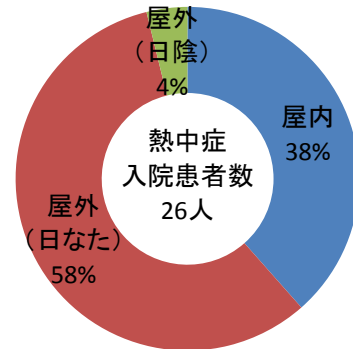
### 重症度分類(割合)



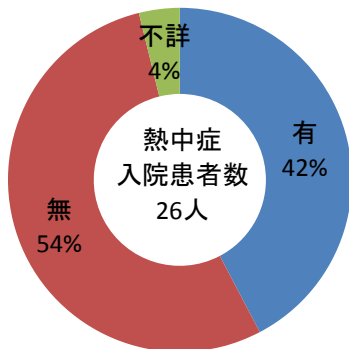
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月11日に報告された熱中症入院患者数

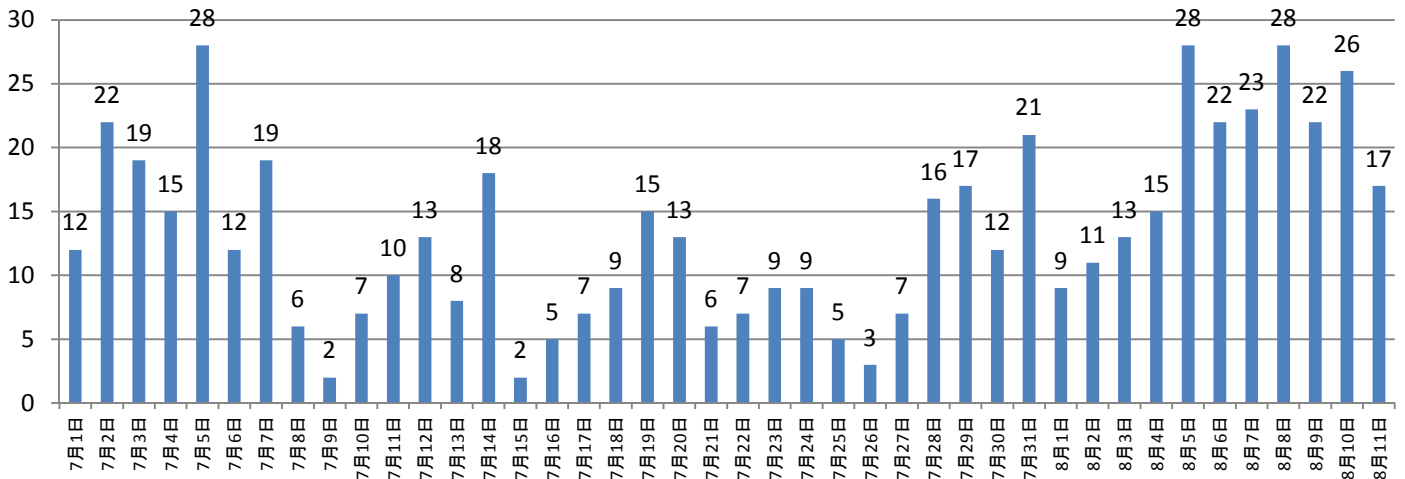
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

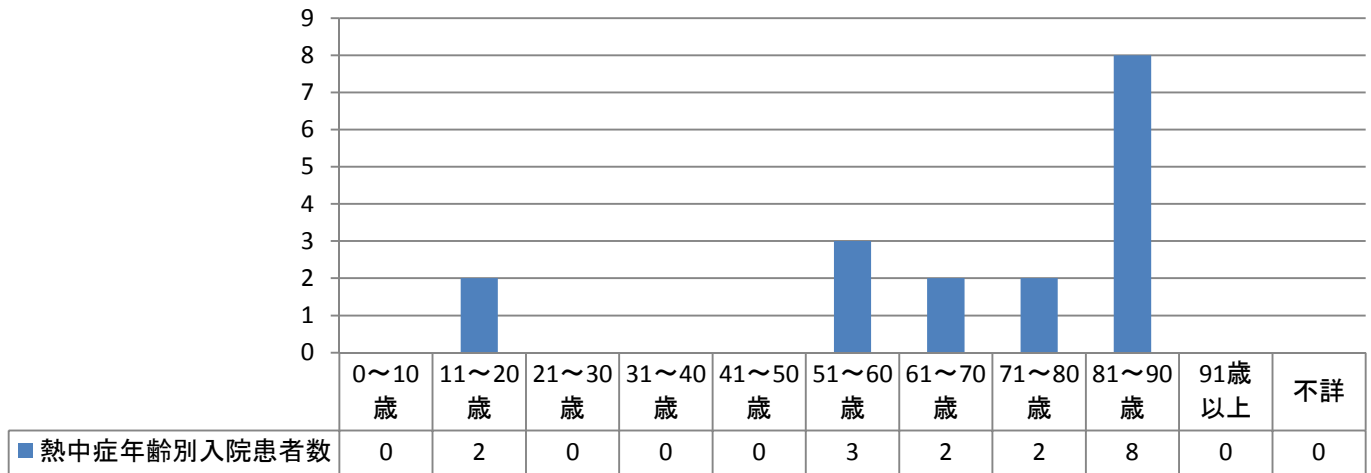
### 報告された熱中症入院患者数



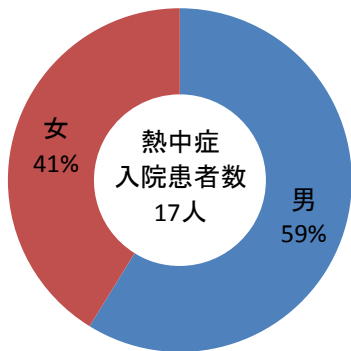
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月11日)

東京都	1人	熊本県	3人
神奈川県	1人	鹿児島県	2人
群馬県	2人		
愛知県	2人		
静岡県	1人		
広島県	1人		
徳島県	1人		
福岡県	3人		

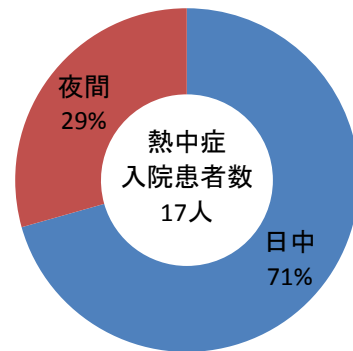
## 熱中症年齢別入院患者数(8月11日)



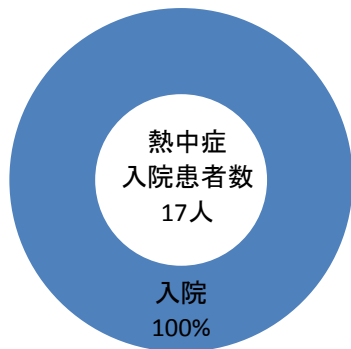
### 男女別(割合)



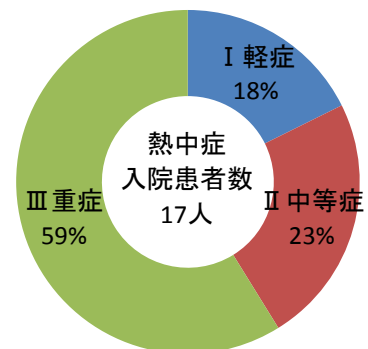
### 発症時間帯別(割合)



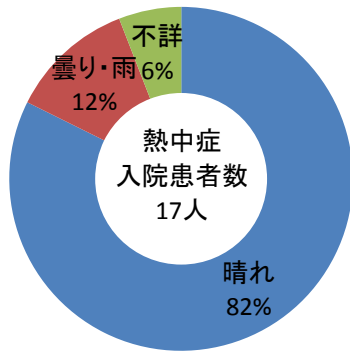
### 受診後(割合)



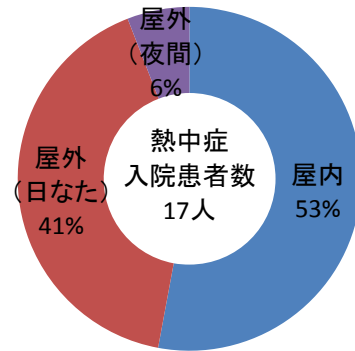
### 重症度分類(割合)



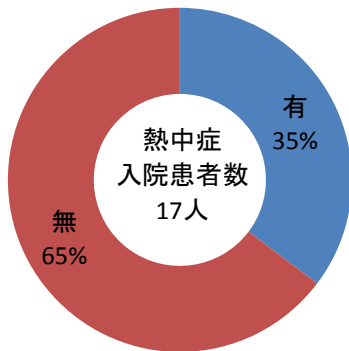
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月12日に報告された熱中症入院患者数

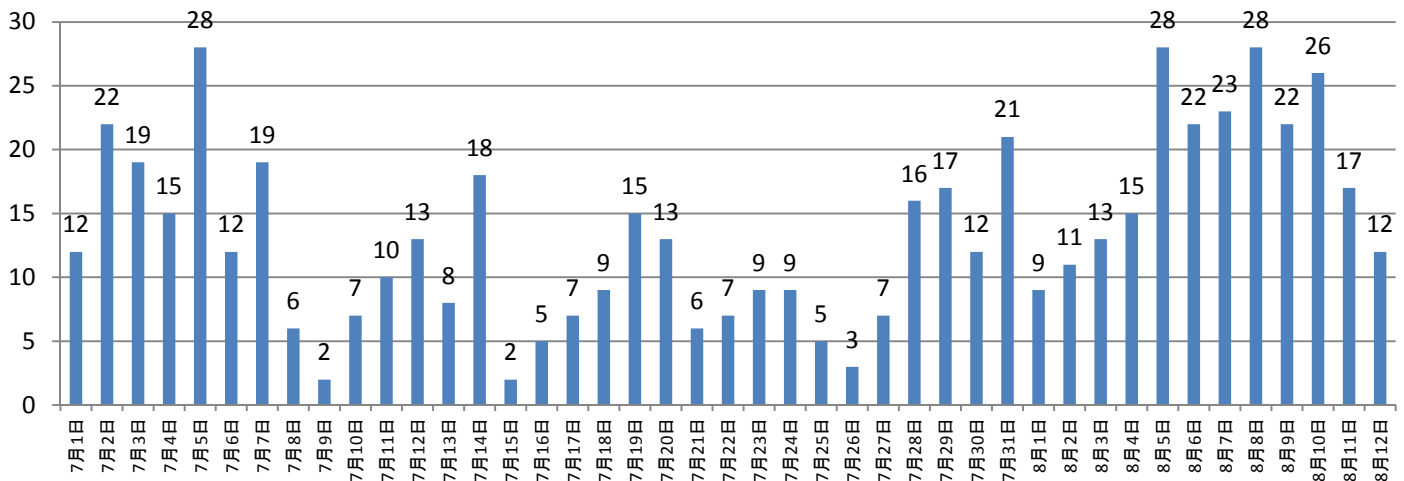
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

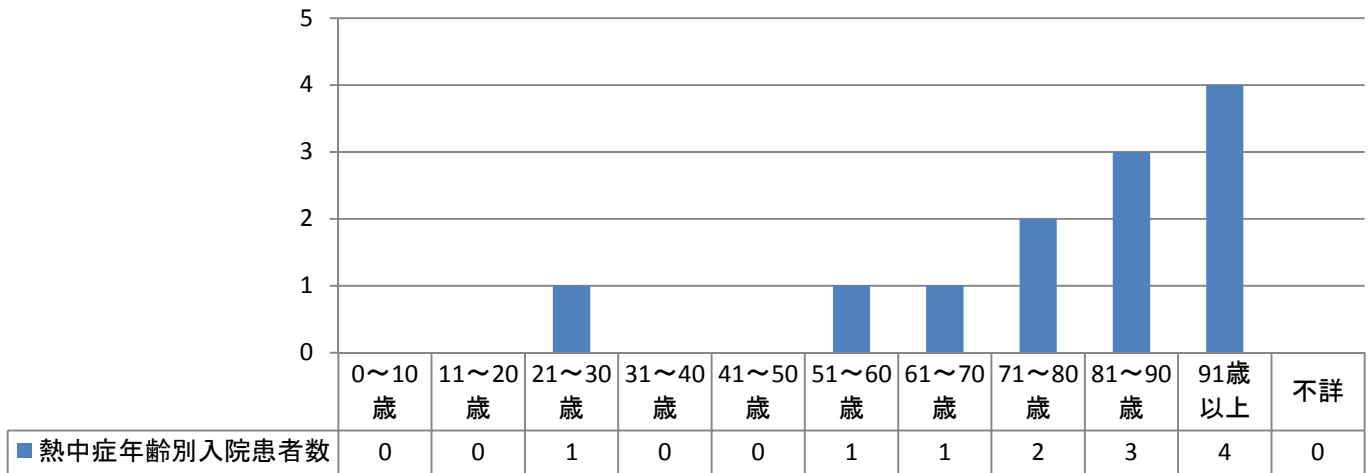
### 報告された熱中症入院患者数



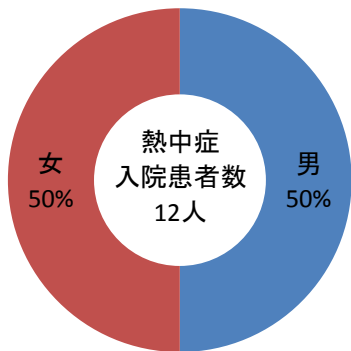
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月12日)

青森県	1人	福岡県	3人
東京都	1人		
神奈川県	1人		
愛知県	2人		
大阪府	1人		
広島県	1人		
山口県	1人		
高知県	1人		

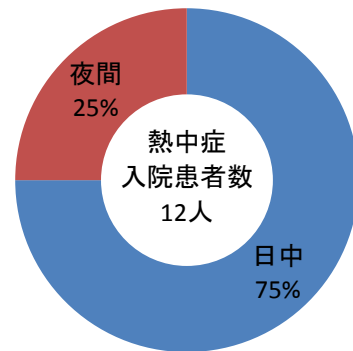
## 熱中症年齢別入院患者数(8月12日)



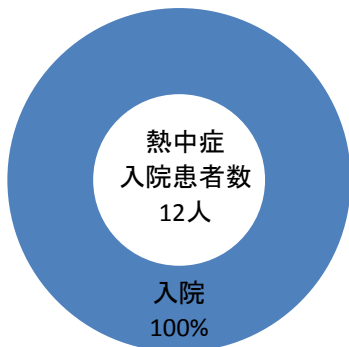
### 男女別(割合)



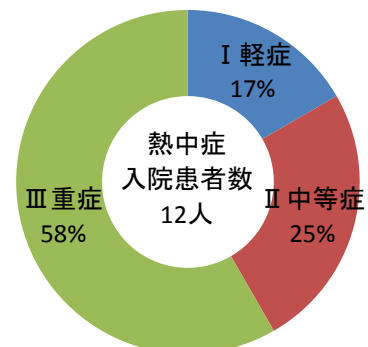
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

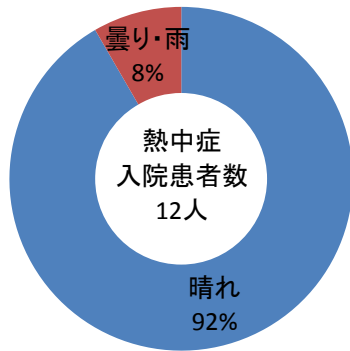


### 重症度分類(割合)

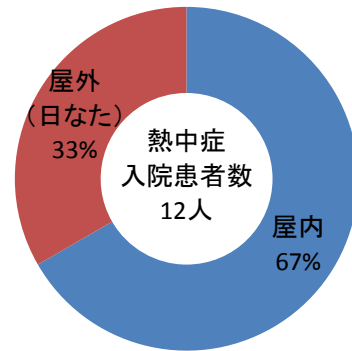




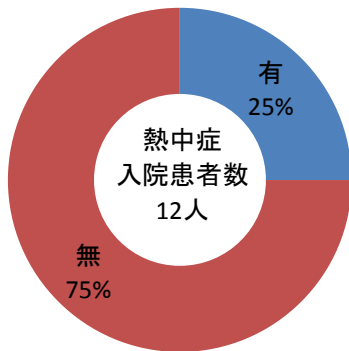
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月13日に報告された熱中症入院患者数

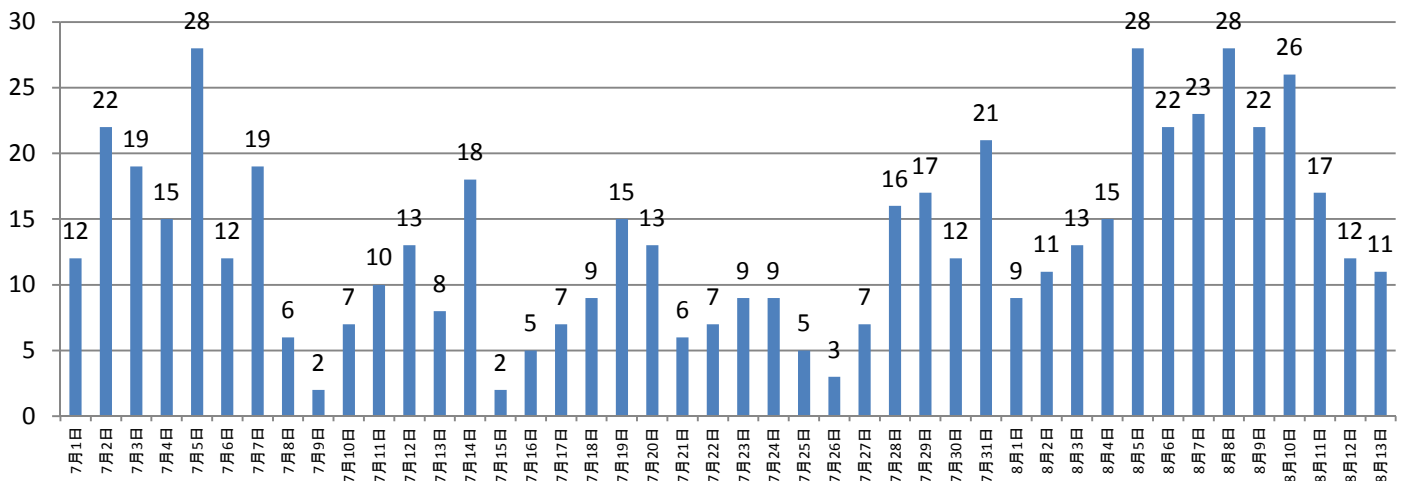
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

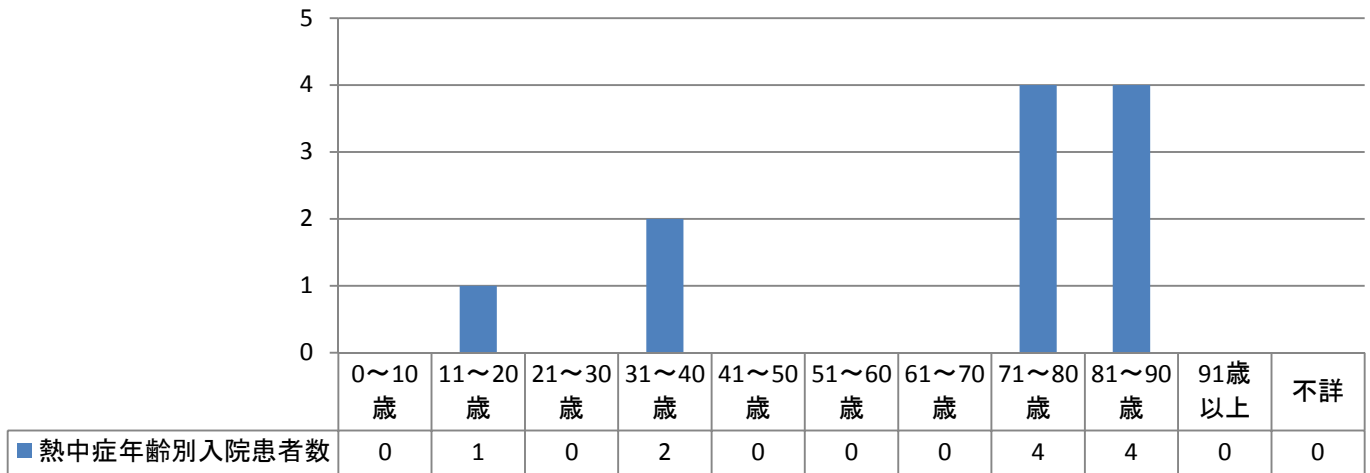
### 報告された熱中症入院患者数



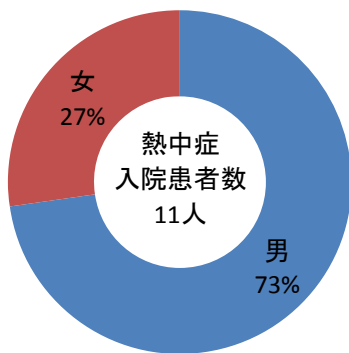
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月13日)

青森県	1人	福岡県	1人
東京都	1人		
千葉県	1人		
新潟県	1人		
三重県	1人		
大阪府	1人		
京都府	2人		
高知県	2人		

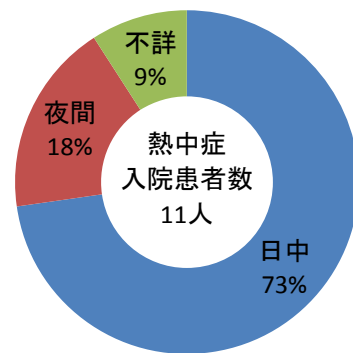
## 熱中症年齢別入院患者数(8月13日)



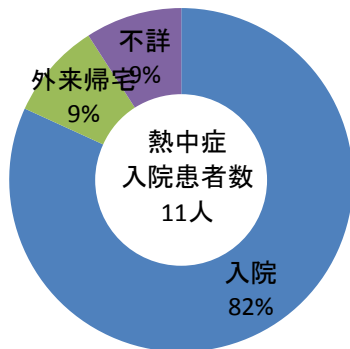
### 男女別(割合)



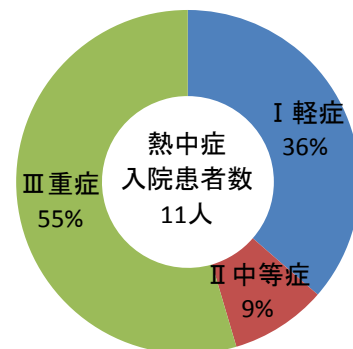
### 発症時間帯別(割合)



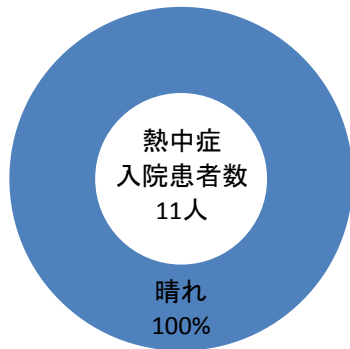
### 受診後(割合)



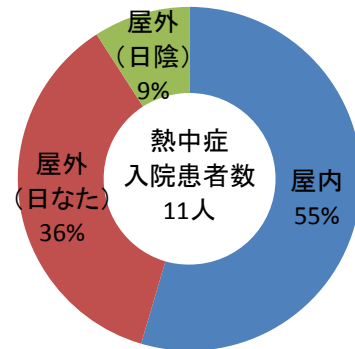
### 重症度分類(割合)



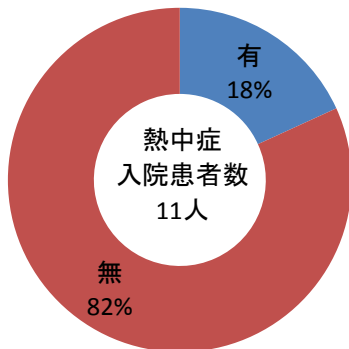
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月14日に報告された熱中症入院患者数

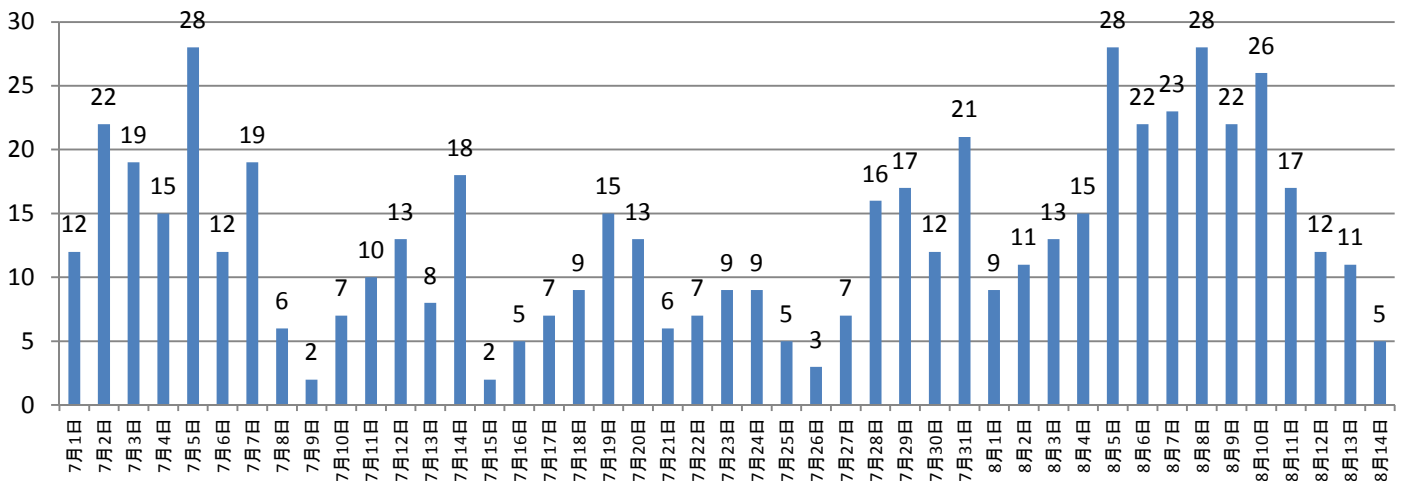
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

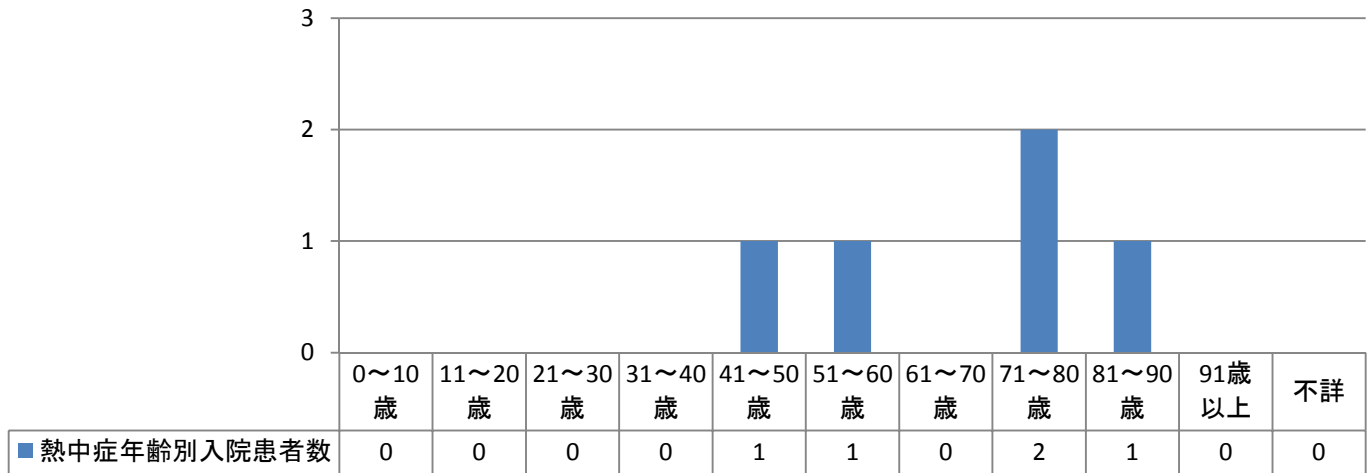
### 報告された熱中症入院患者数



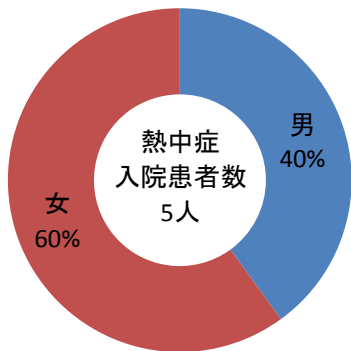
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月14日)

群馬県	1人
長野県	1人
大阪府	1人
広島県	1人
鹿児島県	1人

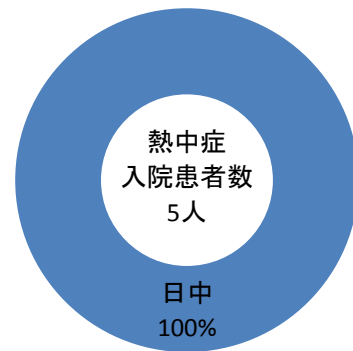
## 熱中症年齢別入院患者数(8月14日)



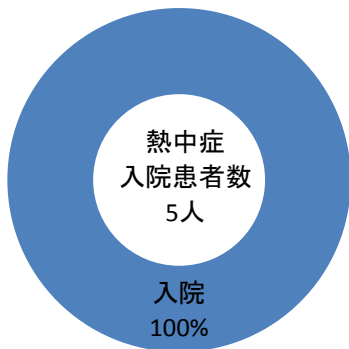
### 男女別(割合)



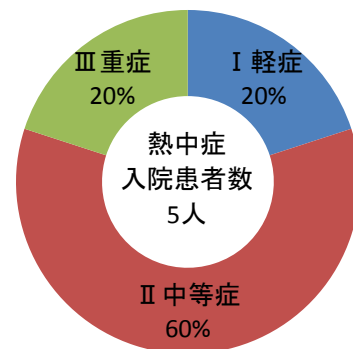
### 発症時間帯別(割合)



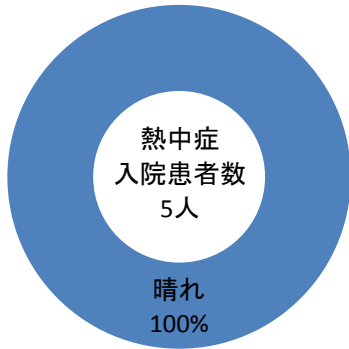
### 受診後(割合)



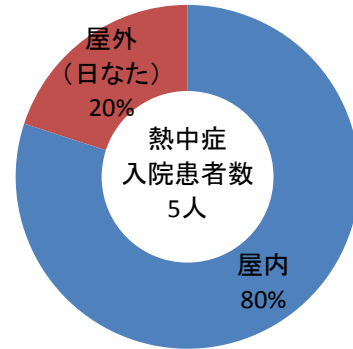
### 重症度分類(割合)



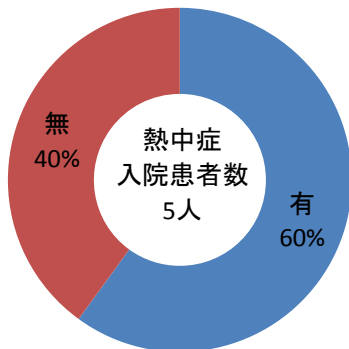
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月15日 に報告された熱中症入院患者数

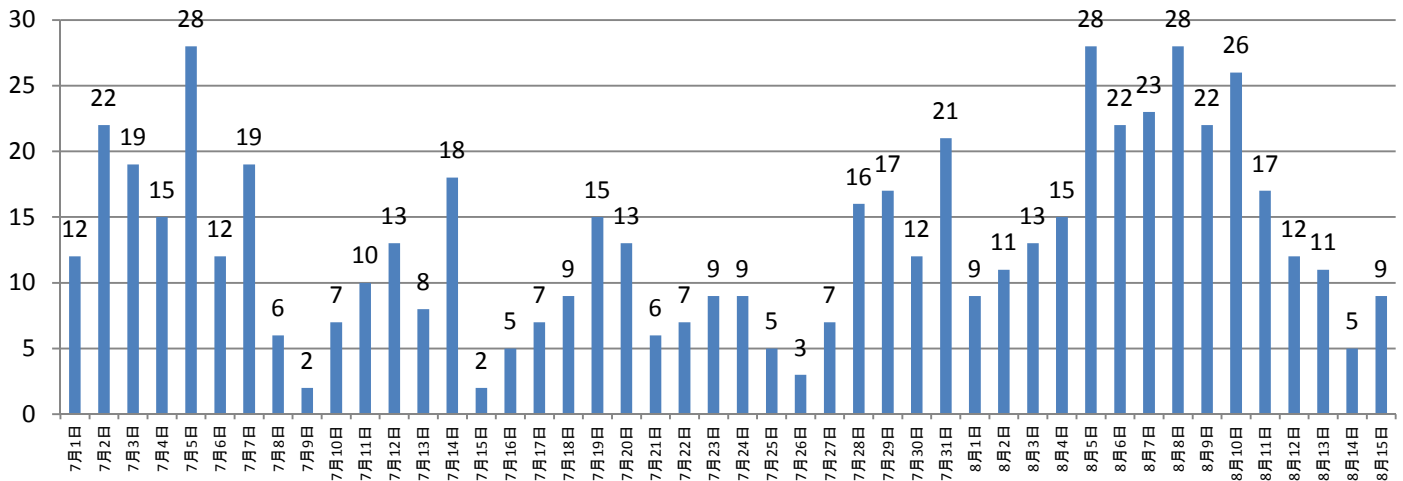
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

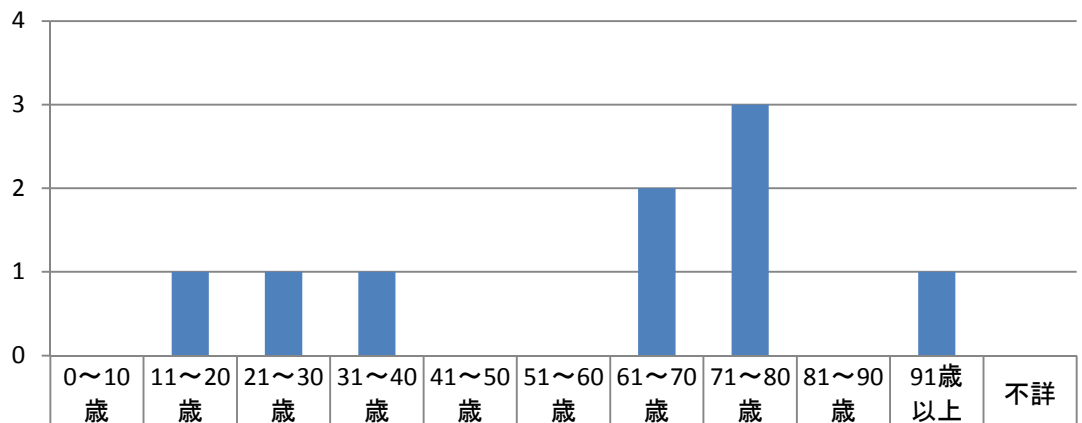


#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月15日)

神奈川県	2人
群馬県	1人
兵庫県	1人
山口県	1人
徳島県	3人
福岡県	1人

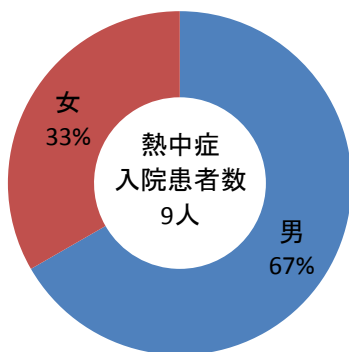


## 熱中症年齢別入院患者数(8月15日)

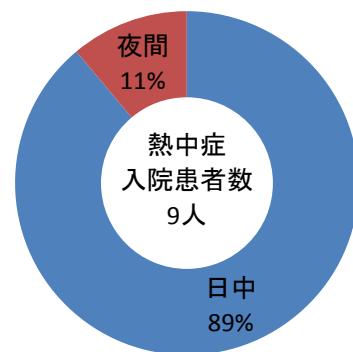


熱中症年齢別入院患者数	0	1	1	1	0	0	2	3	0	1	0
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

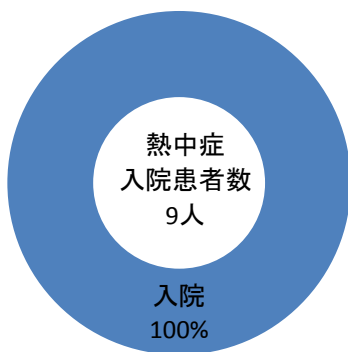
### 男女別(割合)



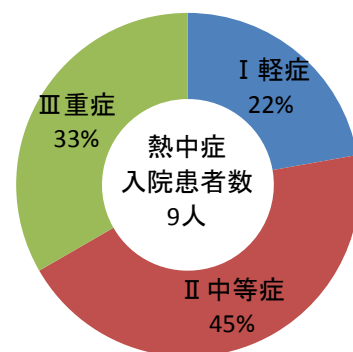
### 発症時間帯別(割合)



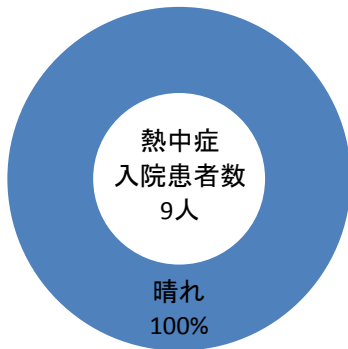
### 受診後(割合)



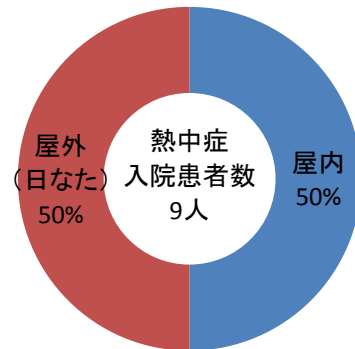
### 重症度分類(割合)



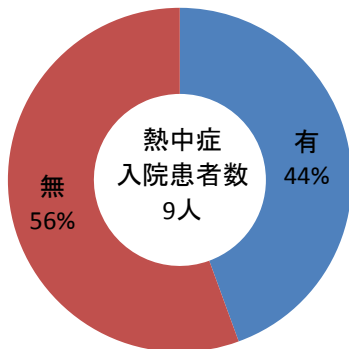
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月16日に報告された熱中症入院患者数

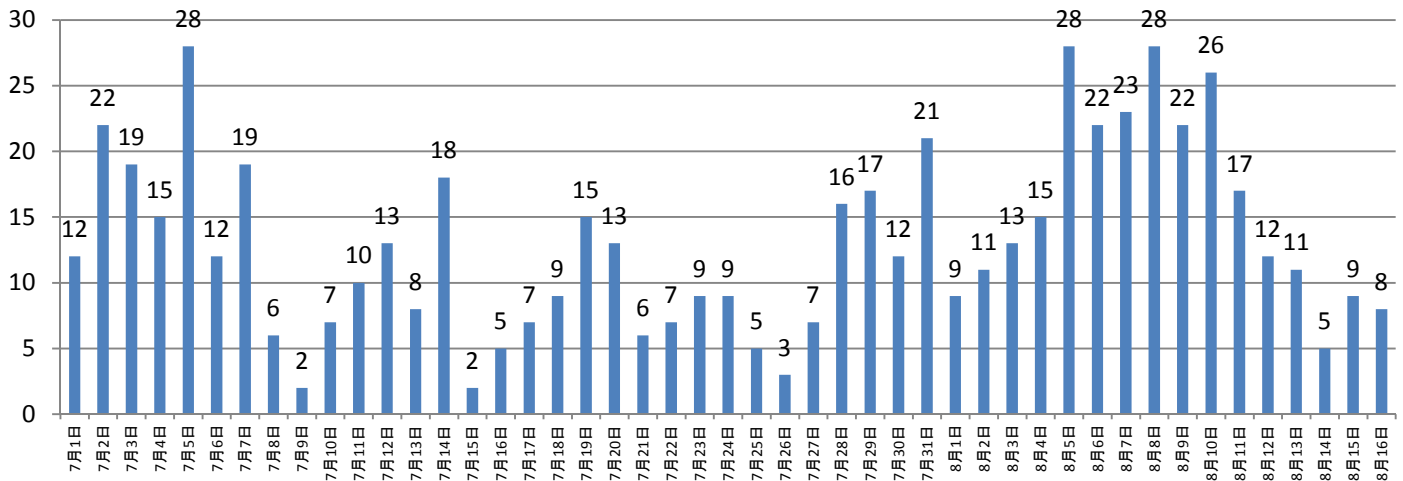
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

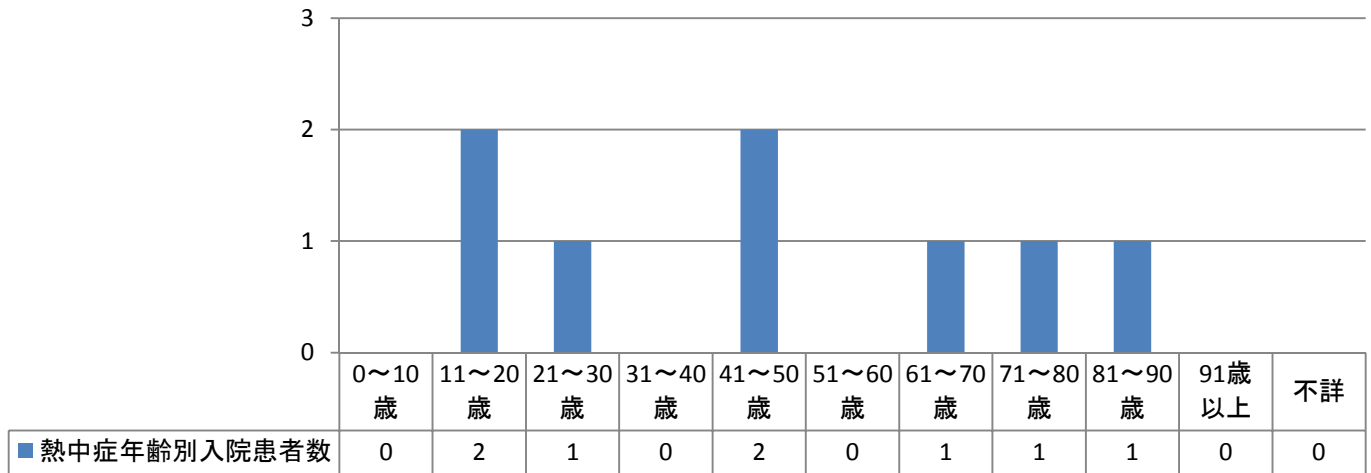
### 報告された熱中症入院患者数



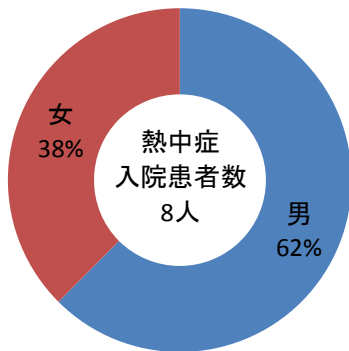
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月16日)

山形県	1人
山梨県	1人
新潟県	1人
岐阜県	1人
三重県	1人
兵庫県	1人
広島県	1人
徳島県	1人

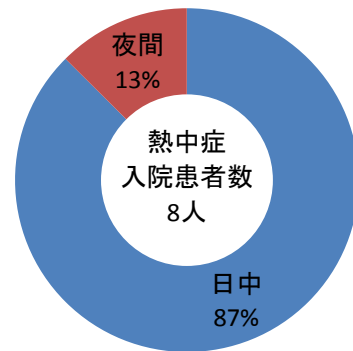
## 熱中症年齢別入院患者数(8月16日)



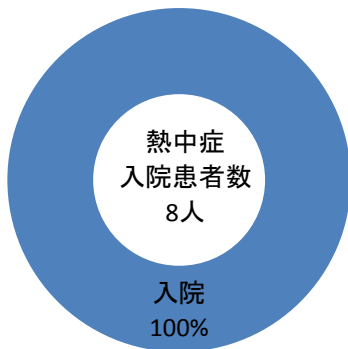
### 男女別(割合)



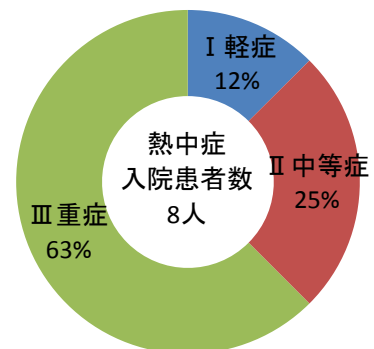
### 発症時間帯別(割合)



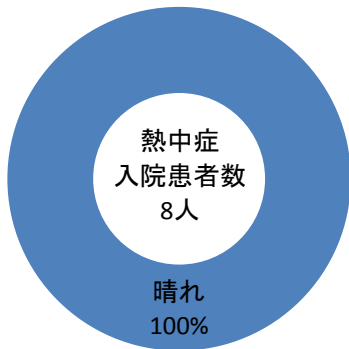
### 受診後(割合)



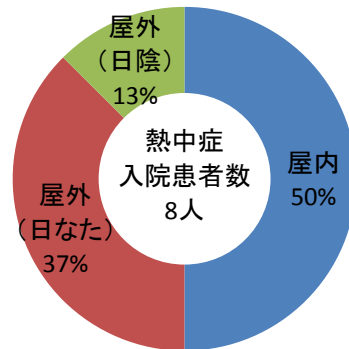
### 重症度分類(割合)



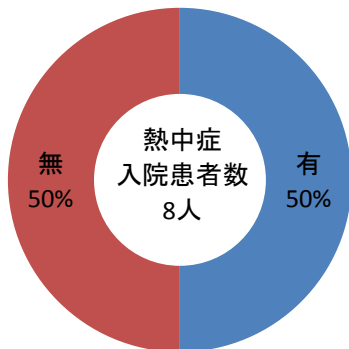
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月17日 に報告された熱中症入院患者数

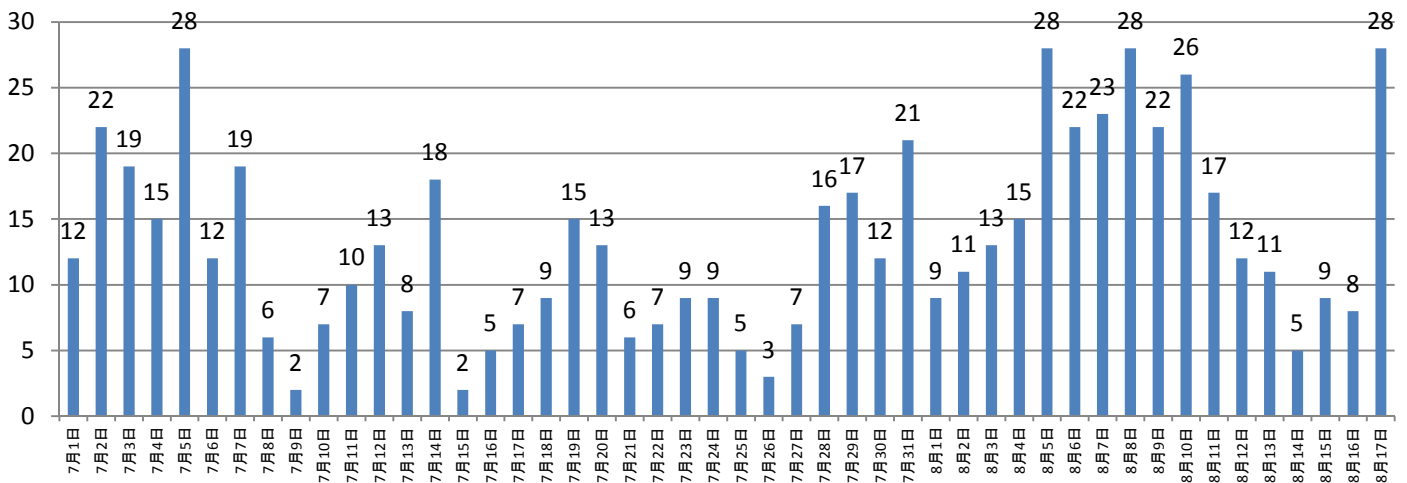
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

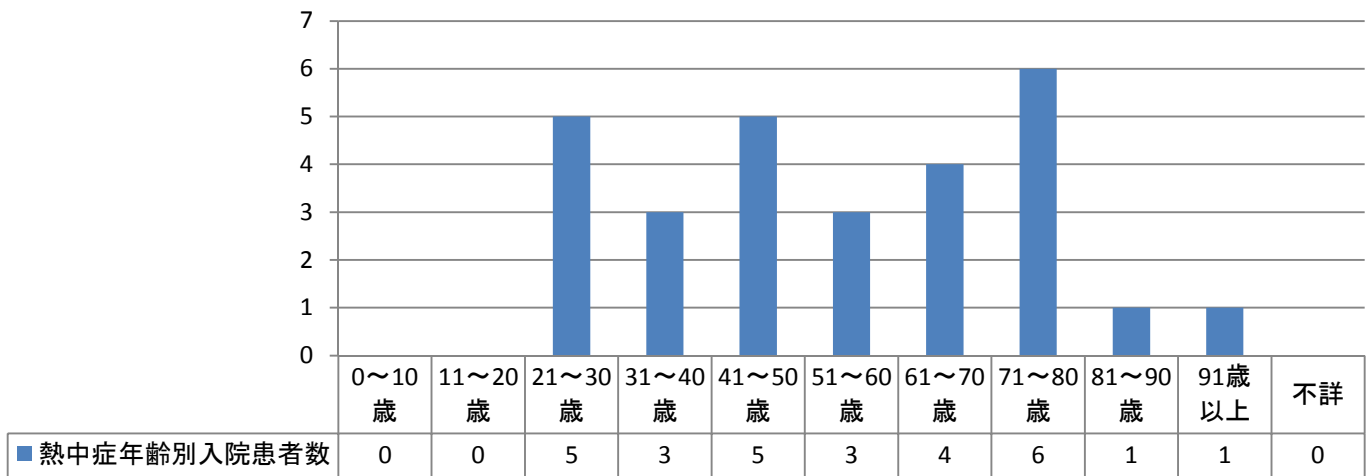
### 報告された熱中症入院患者数



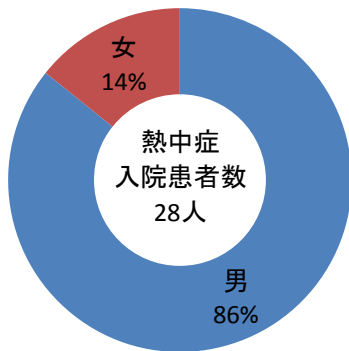
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月17日)

東京都	4人	三重県	3人
神奈川県	3人	大阪府	1人
埼玉県	3人	兵庫県	1人
千葉県	1人	島根県	1人
茨城県	1人	高知県	2人
長野県	2人	鹿児島県	2人
愛知県	3人		
静岡県	1人		

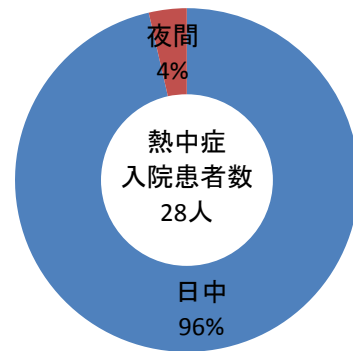
## 熱中症年齢別入院患者数(8月17日)



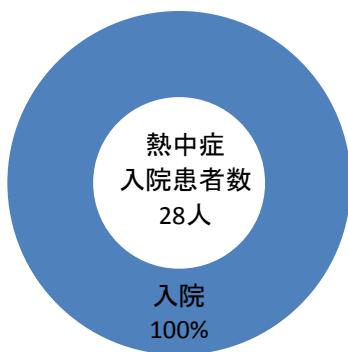
### 男女別(割合)



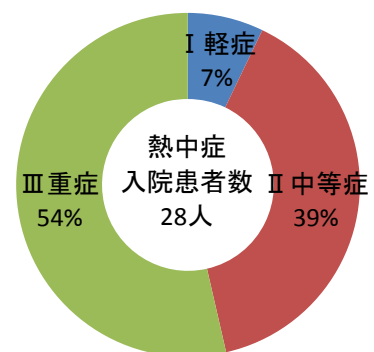
### 発症時間帯別(割合)



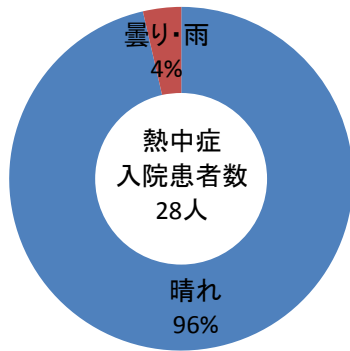
### 受診後(割合)



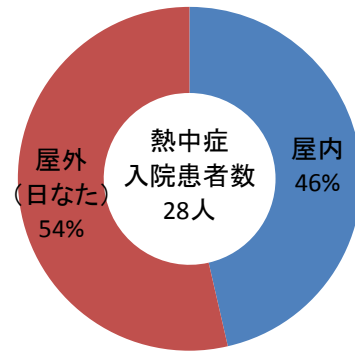
### 重症度分類(割合)



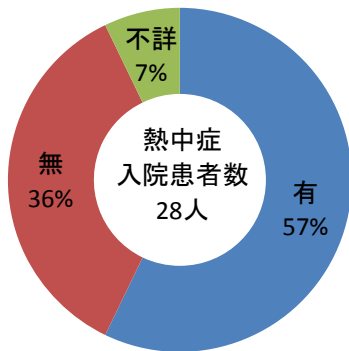
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 8月18日に報告された熱中症入院患者数

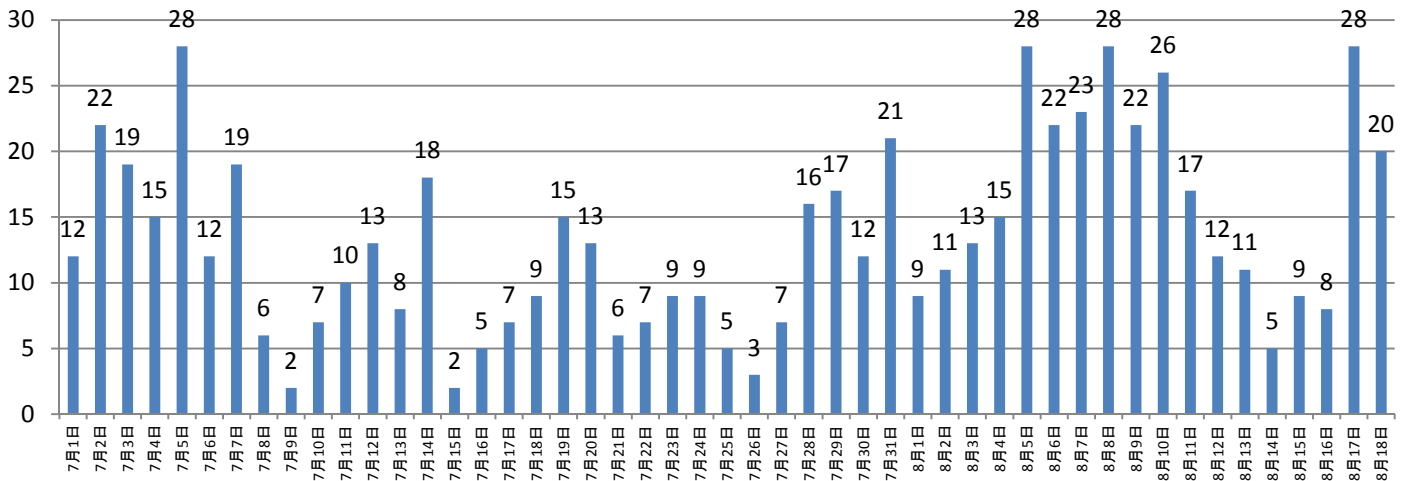
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

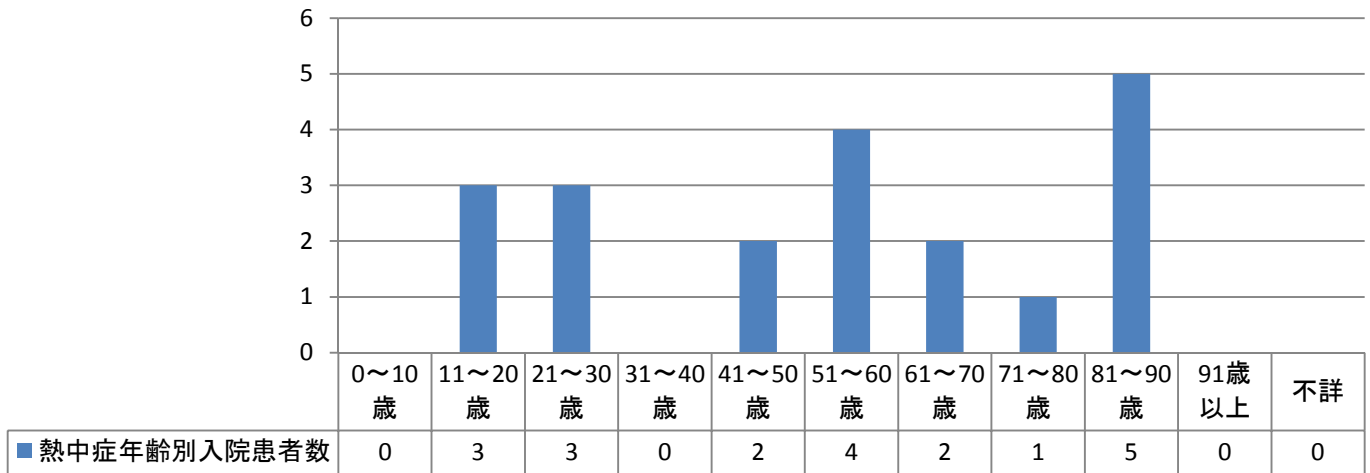
### 報告された熱中症入院患者数



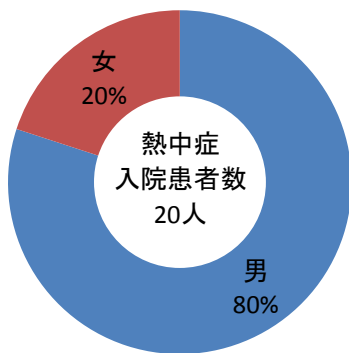
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月18日)

神奈川県	2人	広島県	1人
長野県	1人	徳島県	1人
福井県	1人	高知県	3人
愛知県	2人	福岡県	2人
静岡県	1人	鹿児島県	1人
大阪府	1人		
兵庫県	2人		
奈良県	2人		

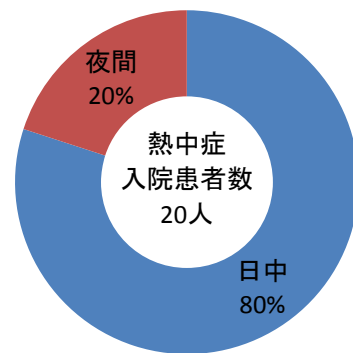
## 熱中症年齢別入院患者数(8月18日)



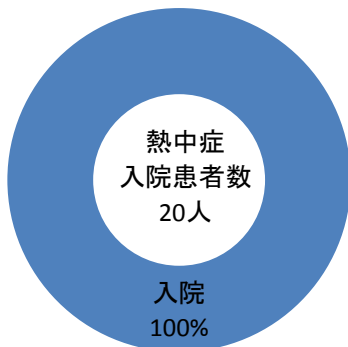
### 男女別(割合)



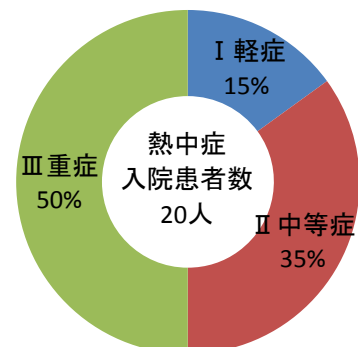
### 発症時間帯別(割合)



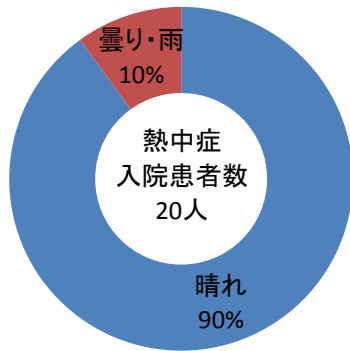
### 受診後(割合)



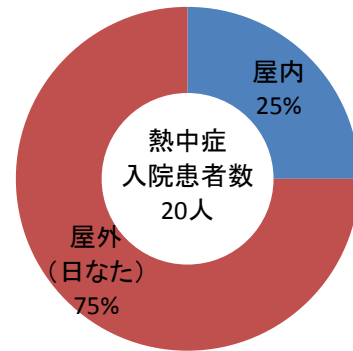
### 重症度分類(割合)



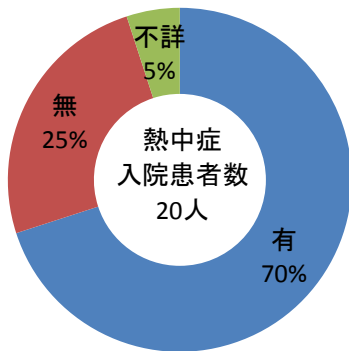
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月19日に報告された熱中症入院患者数

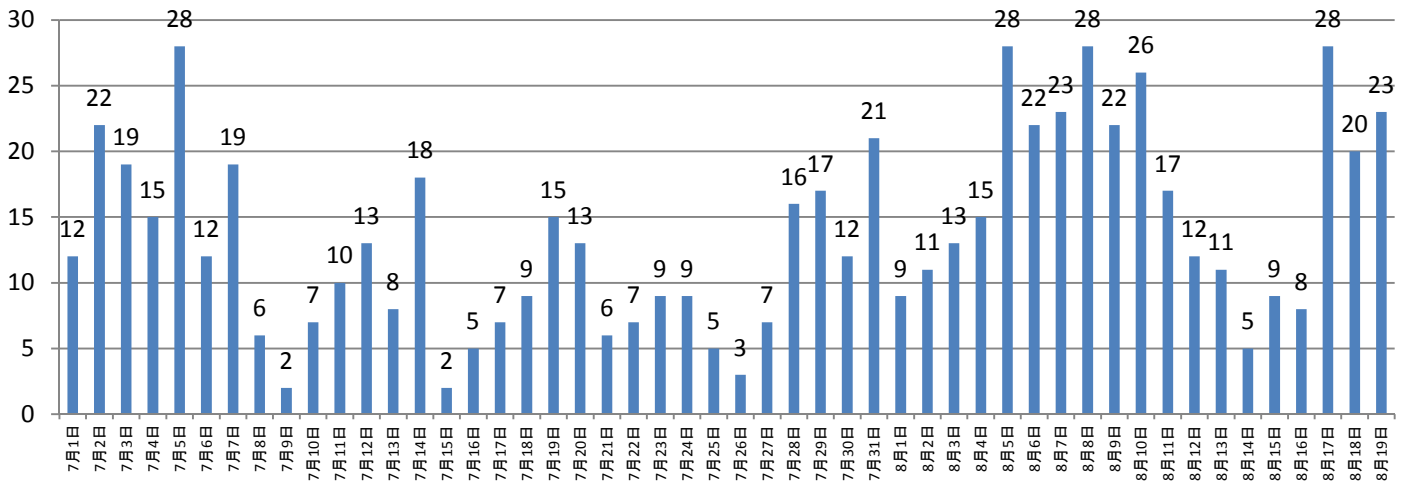
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター))による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

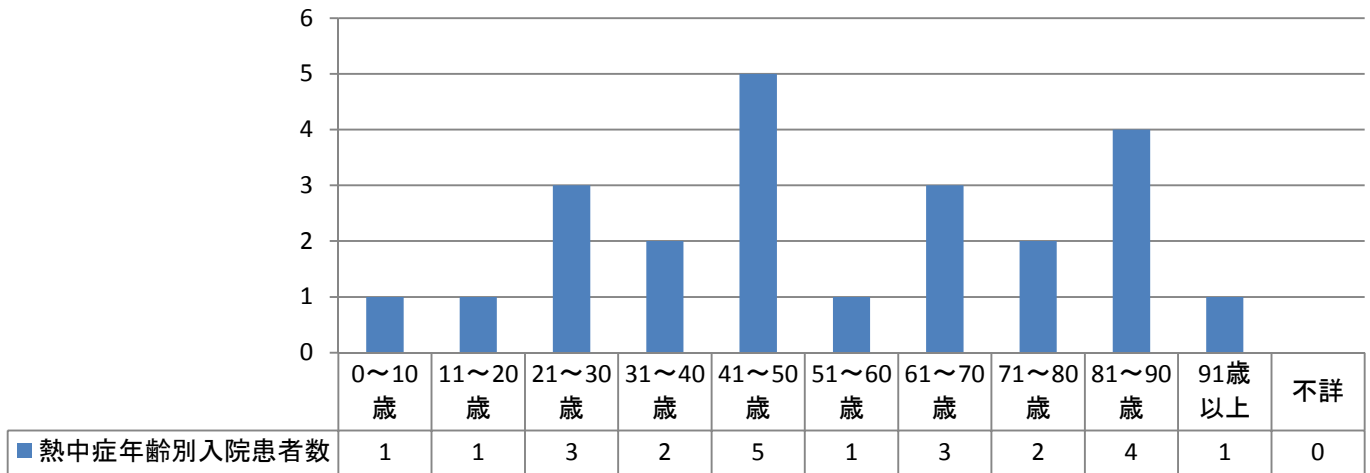
### 報告された熱中症入院患者数



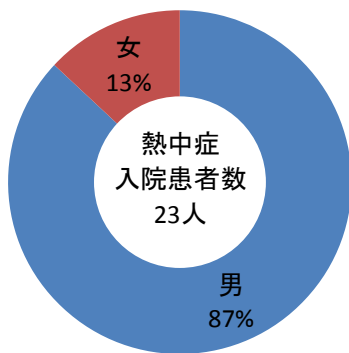
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月19日)

山形県	2人	兵庫県	2人	大分県	1人
東京都	1人	京都府	1人	沖縄県	2人
神奈川県	1人	滋賀県	1人		
群馬県	1人	島根県	1人		
新潟県	1人	広島県	1人		
長野県	1人	山口県	1人		
愛知県	3人	徳島県	1人		
大阪府	1人	福岡県	1人		

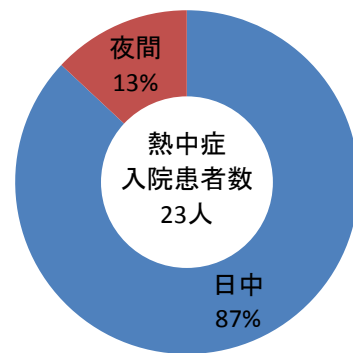
## 熱中症年齢別入院患者数(8月19日)



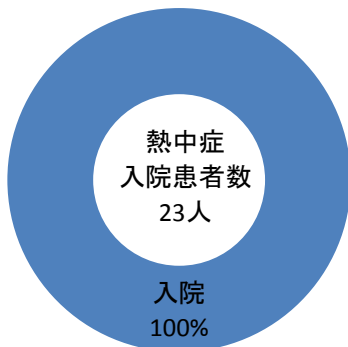
### 男女別(割合)



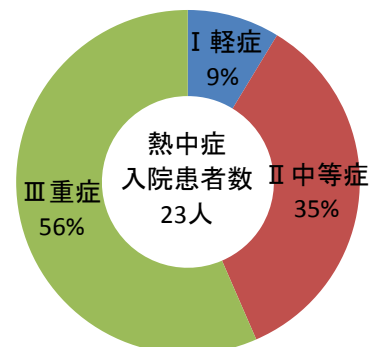
### 発症時間帯別(割合)



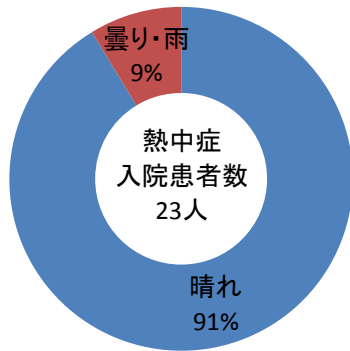
### 受診後(割合)



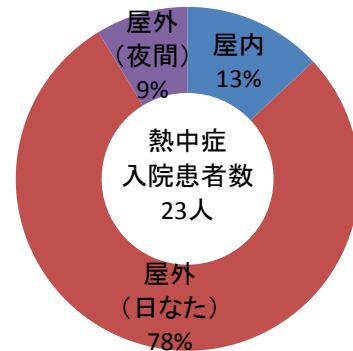
### 重症度分類(割合)



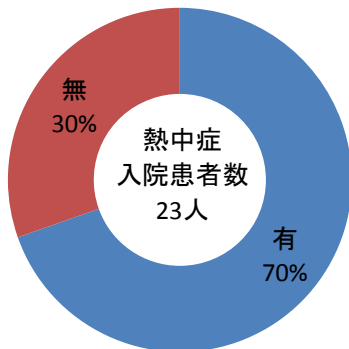
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月20日に報告された熱中症入院患者数

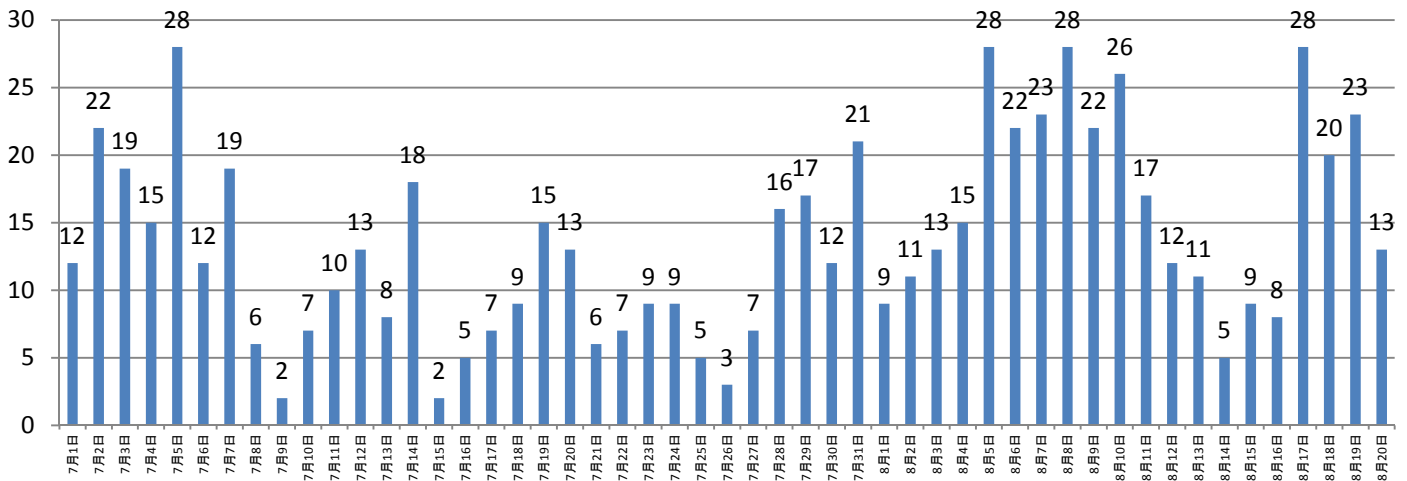
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

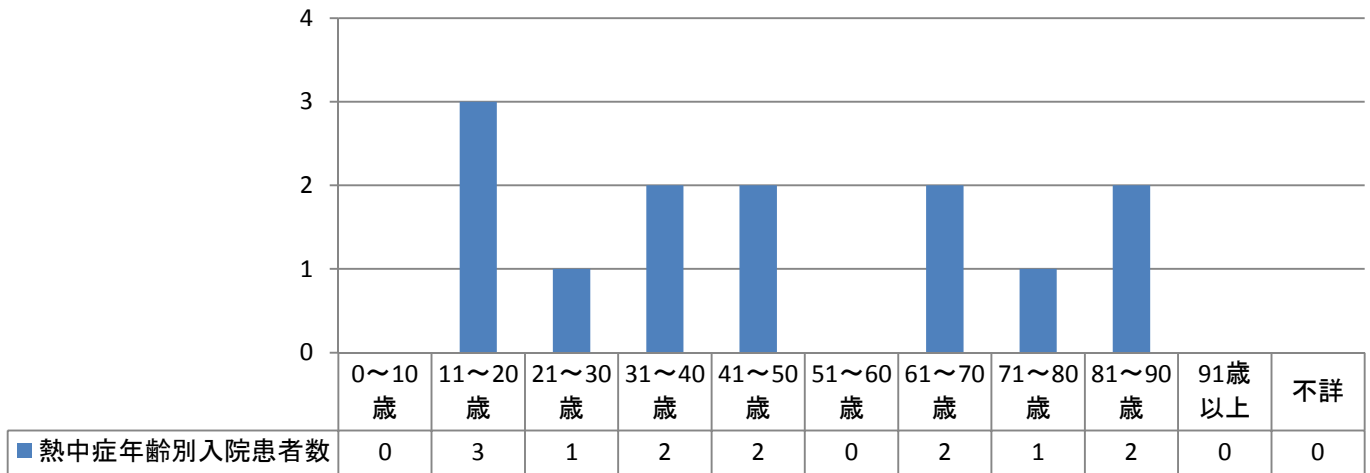
### 報告された熱中症入院患者数



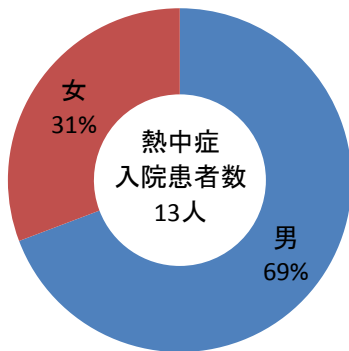
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月20日)

群馬県	1人	鹿児島県	1人
愛知県	2人		
兵庫県	2人		
京都府	2人		
滋賀県	1人		
山口県	2人		
福岡県	1人		
熊本県	1人		

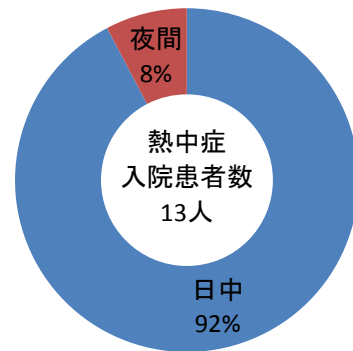
## 熱中症年齢別入院患者数(8月20日)



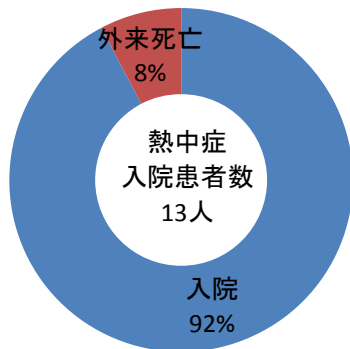
### 男女別(割合)



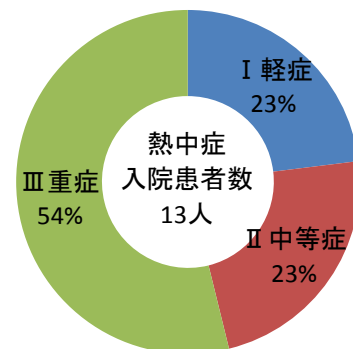
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

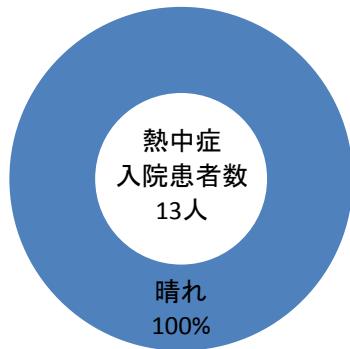


### 重症度分類(割合)

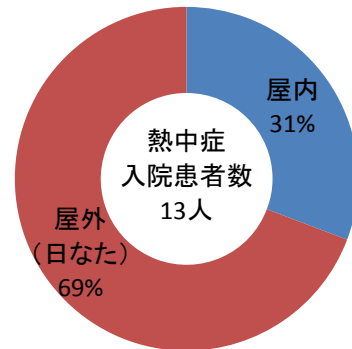




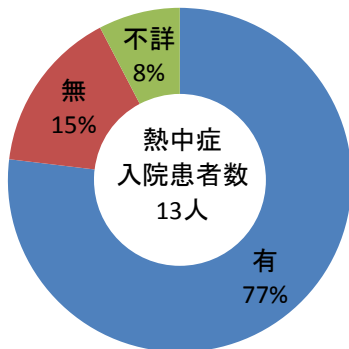
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)※



## 運動の有無(割合)



※ 重複回答は、それぞれに分類し割合を算出していますが、人数については「報告された熱中症入院患者数」を掲載しています。

\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月21日に報告された熱中症入院患者数

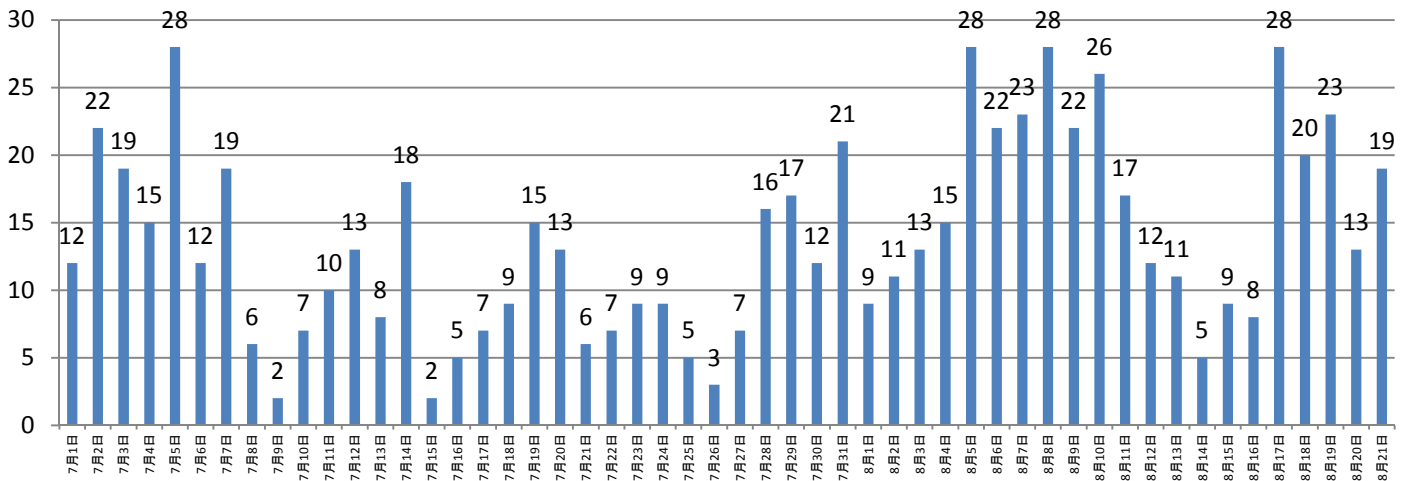
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

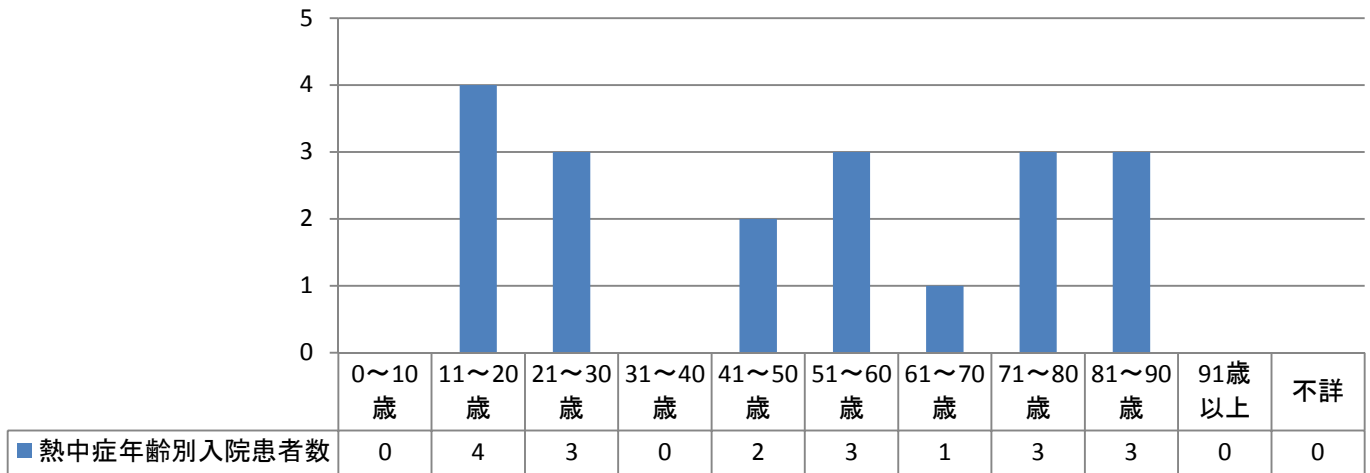
### 報告された熱中症入院患者数



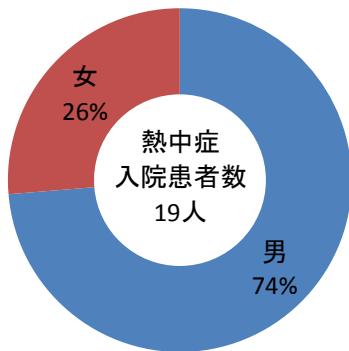
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月21日)

宮城県	1人	山口県	2人
埼玉県	2人	徳島県	2人
群馬県	1人	高知県	1人
新潟県	1人	熊本県	1人
富山県	2人	鹿児島県	1人
愛知県	2人		
兵庫県	2人		
京都府	1人		

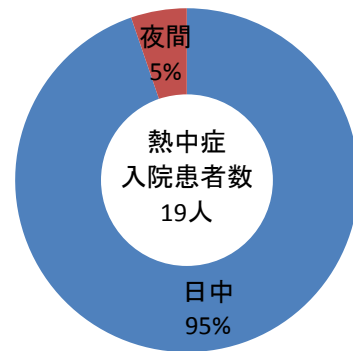
## 熱中症年齢別入院患者数(8月21日)



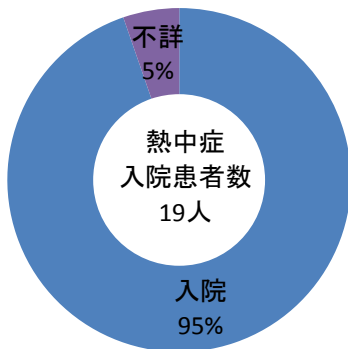
### 男女別(割合)



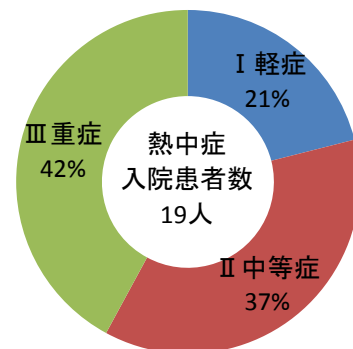
### 発症時間帯別(割合)



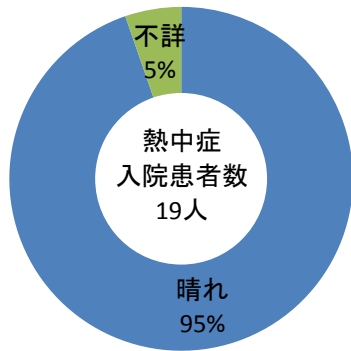
### 受診後(割合)



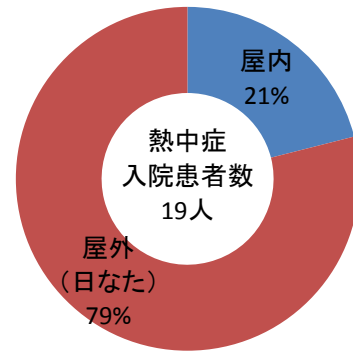
### 重症度分類(割合)



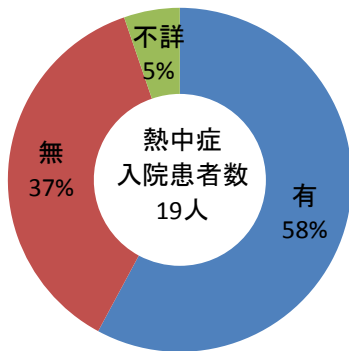
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月22日に報告された熱中症入院患者数

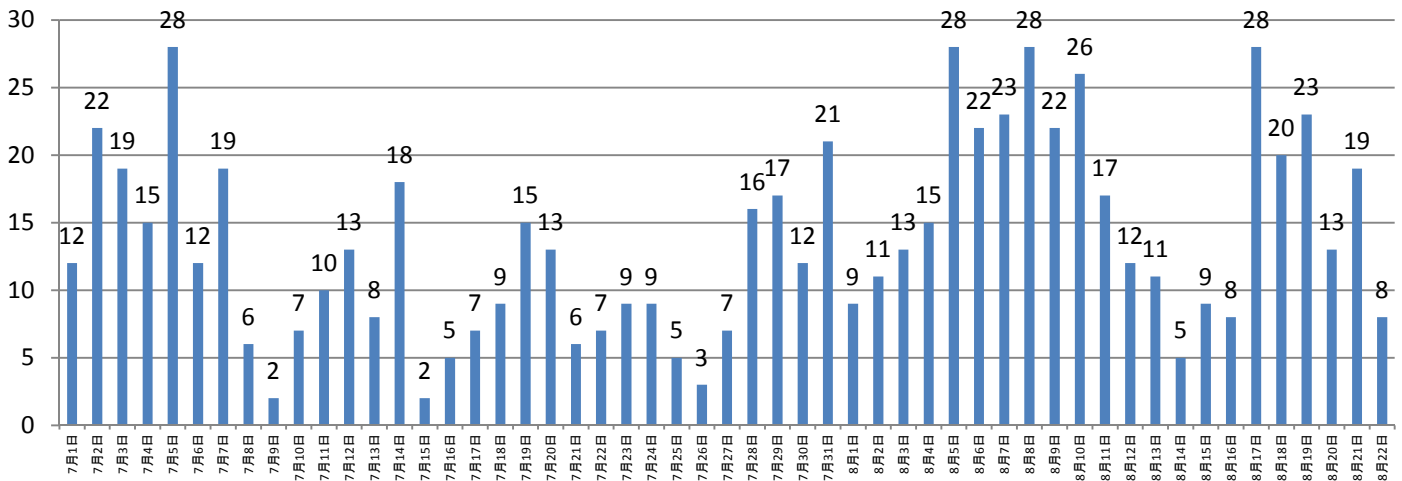
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

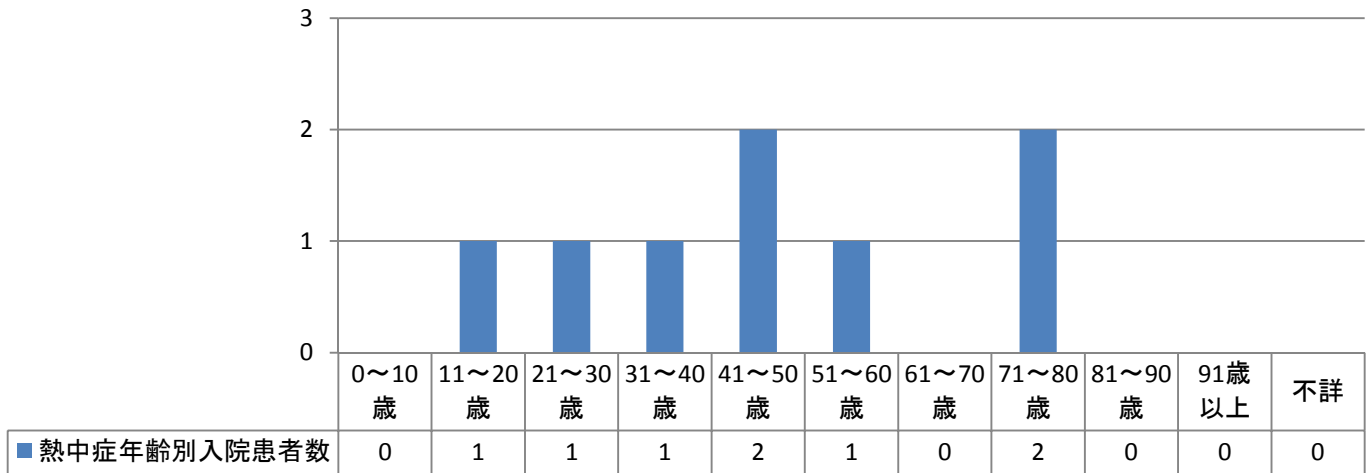
### 報告された熱中症入院患者数



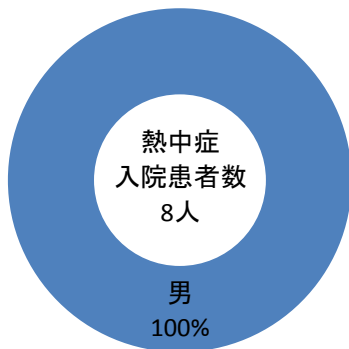
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月22日)

福島県	1人
新潟県	1人
大阪府	1人
兵庫県	1人
徳島県	1人
福岡県	2人
鹿児島県	1人

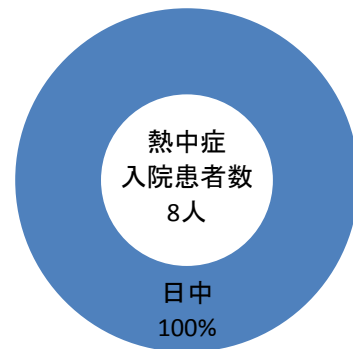
## 熱中症年齢別入院患者数(8月22日)



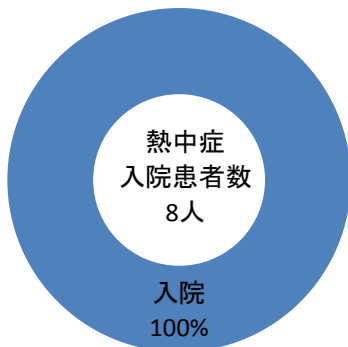
### 男女別(割合)



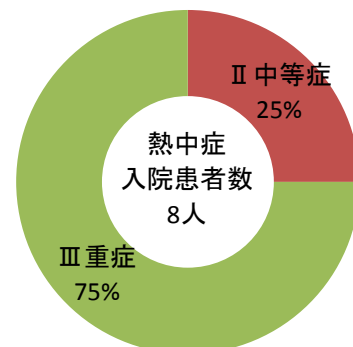
### 発症時間帯別(割合)



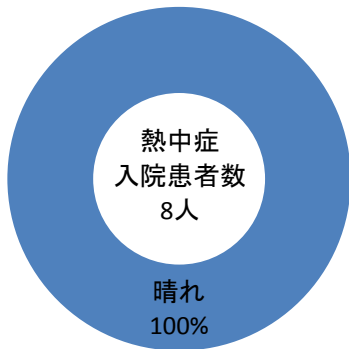
### 受診後(割合)



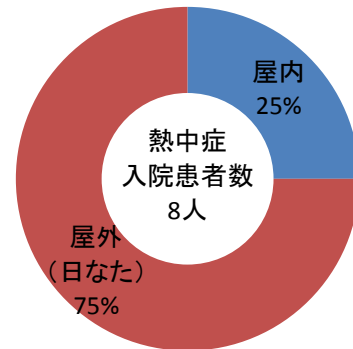
### 重症度分類(割合)



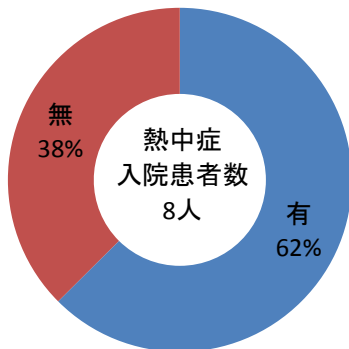
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月23日に報告された熱中症入院患者数

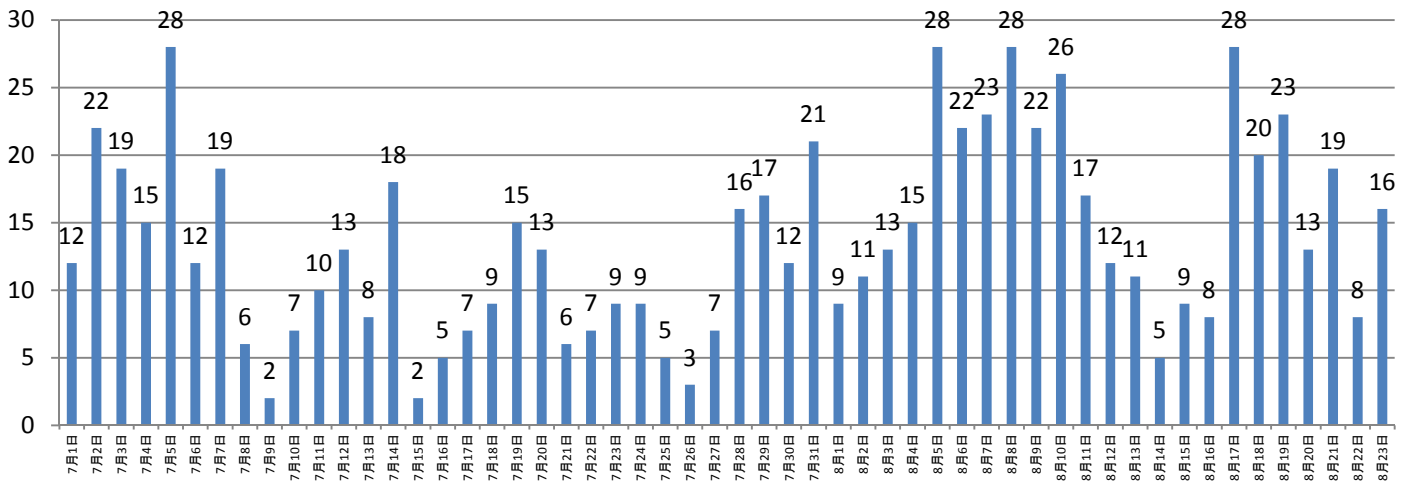
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

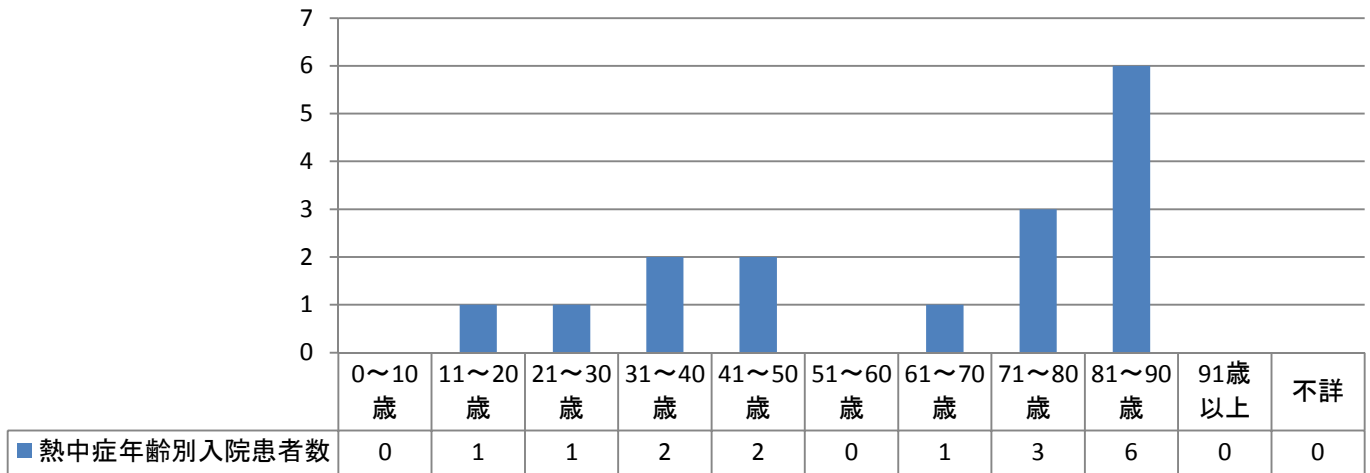


#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月23日)

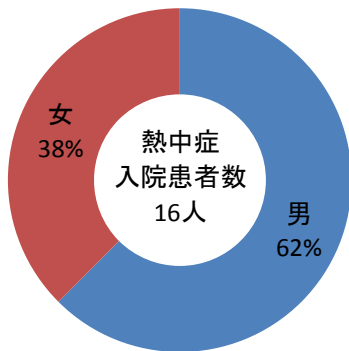
東京都	2人	徳島県	1人
神奈川県	2人	福岡県	1人
長野県	2人	鹿児島県	3人
石川県	1人		
愛知県	1人		
静岡県	1人		
大阪府	1人		
京都府	1人		



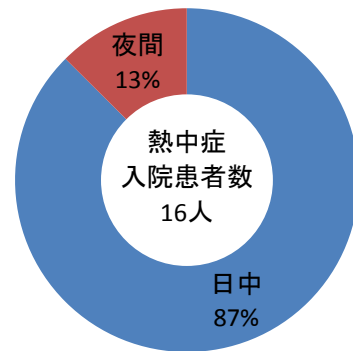
## 熱中症年齢別入院患者数(8月23日)



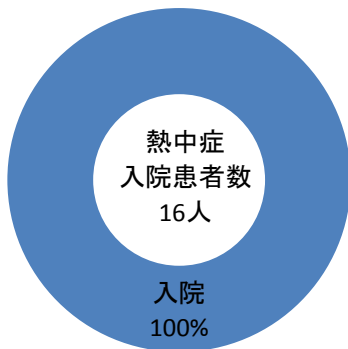
### 男女別(割合)



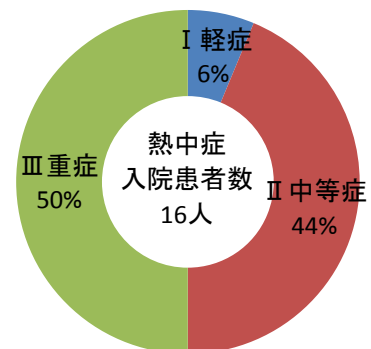
### 発症時間帯別(割合)



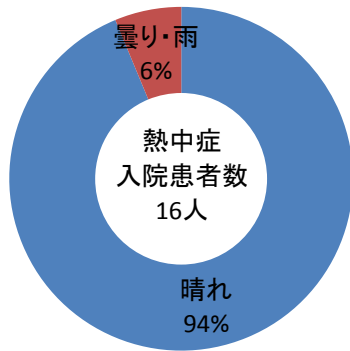
### 受診後(割合)



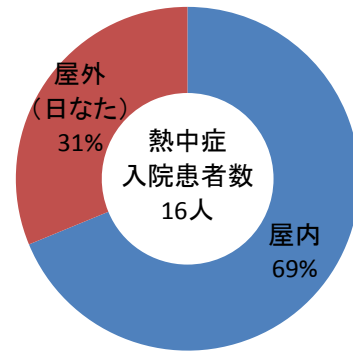
### 重症度分類(割合)



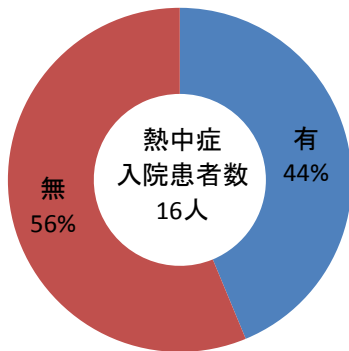
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月24日に報告された熱中症入院患者数

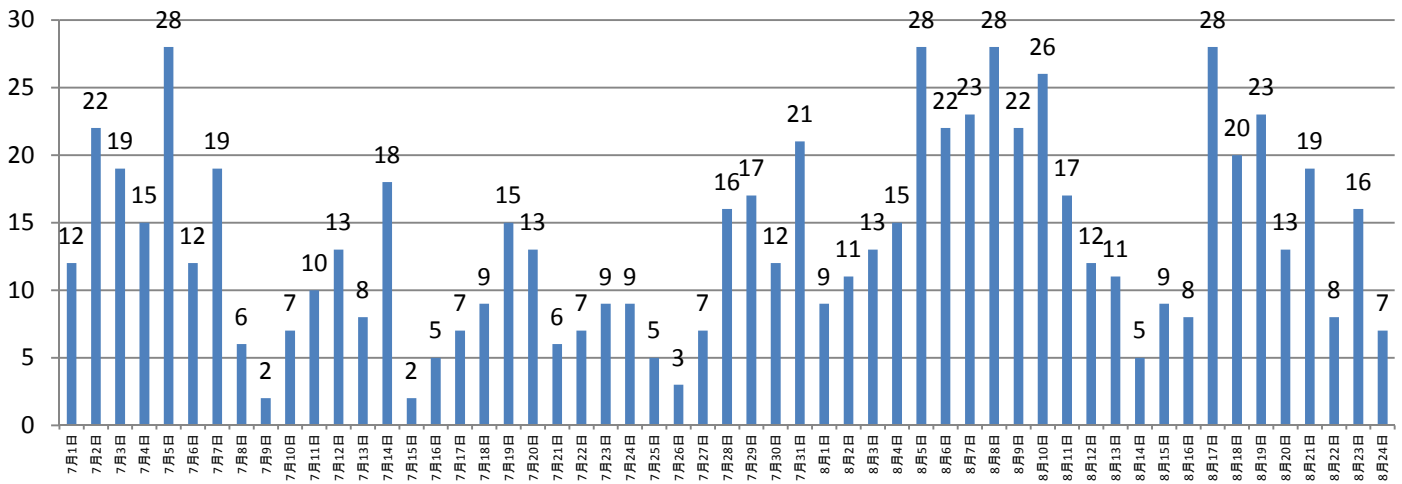
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

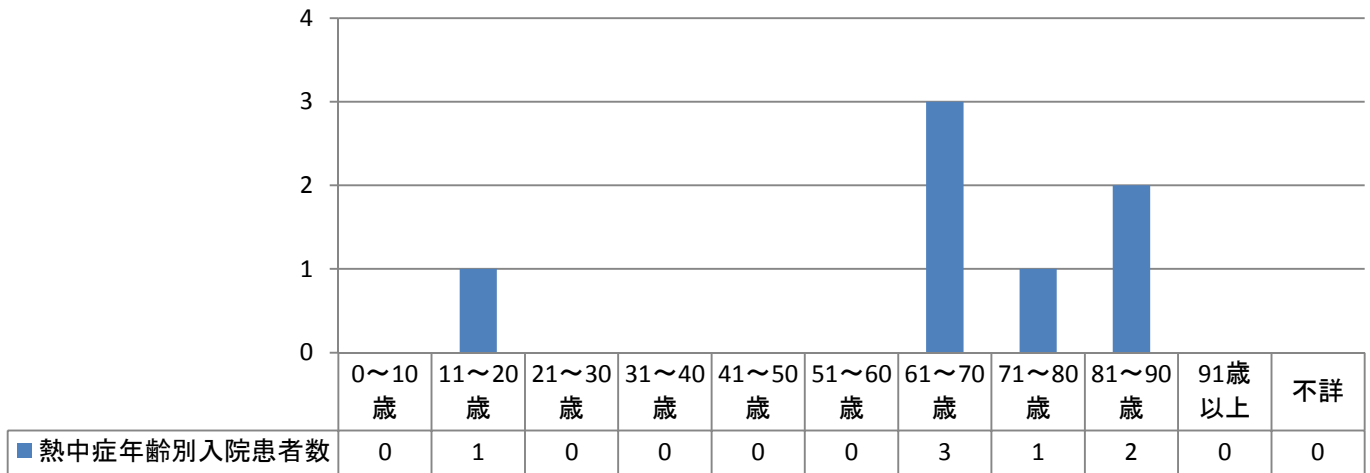
### 報告された熱中症入院患者数



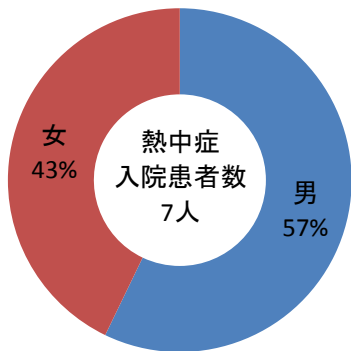
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月24日)

岩手県	1人
山形県	1人
静岡県	1人
兵庫県	1人
広島県	1人
高知県	1人
鹿児島県	1人

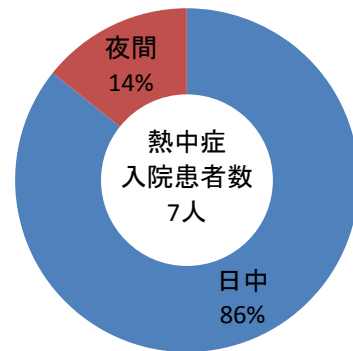
## 熱中症年齢別入院患者数(8月24日)



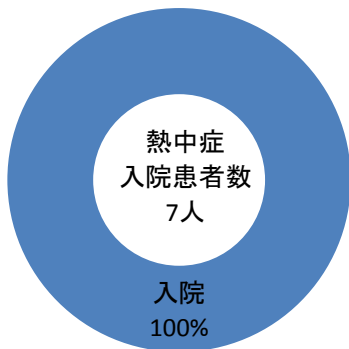
### 男女別(割合)



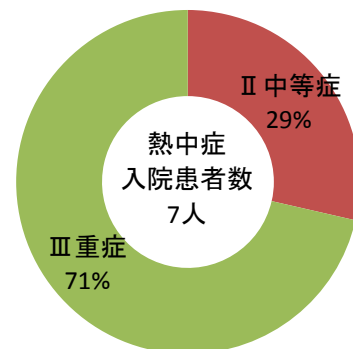
### 発症時間帯別(割合)



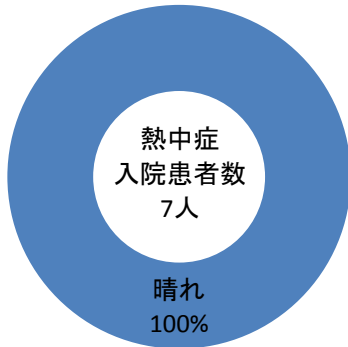
### 受診後(割合)



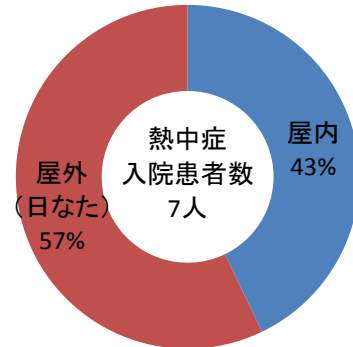
### 重症度分類(割合)



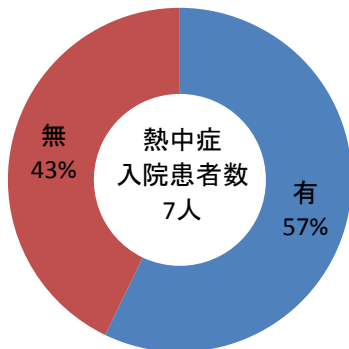
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月25日 に報告された熱中症入院患者数

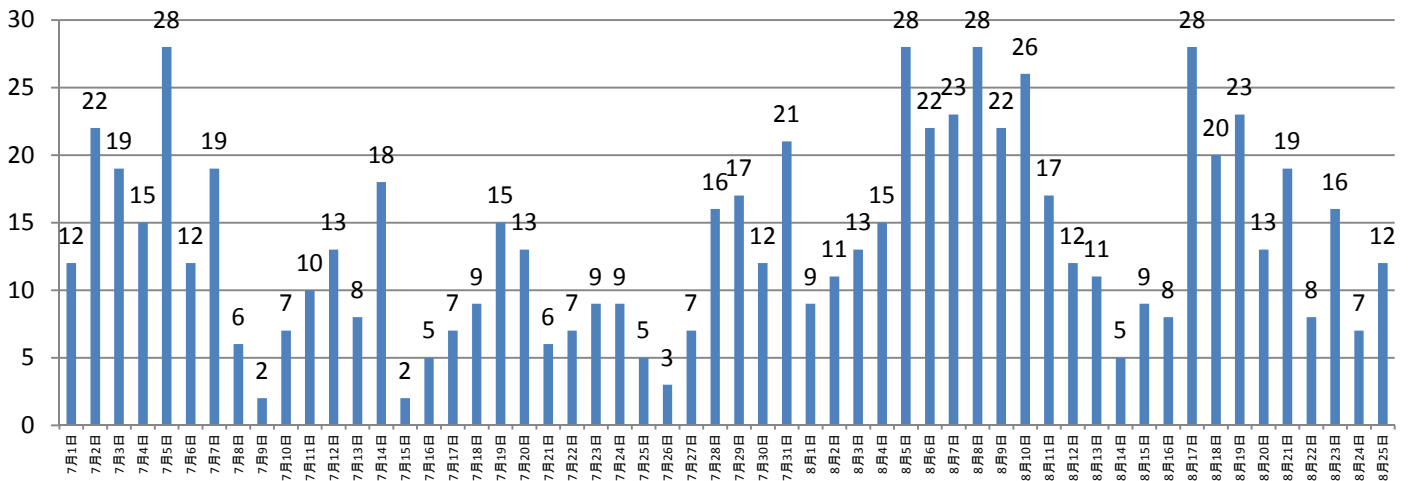
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

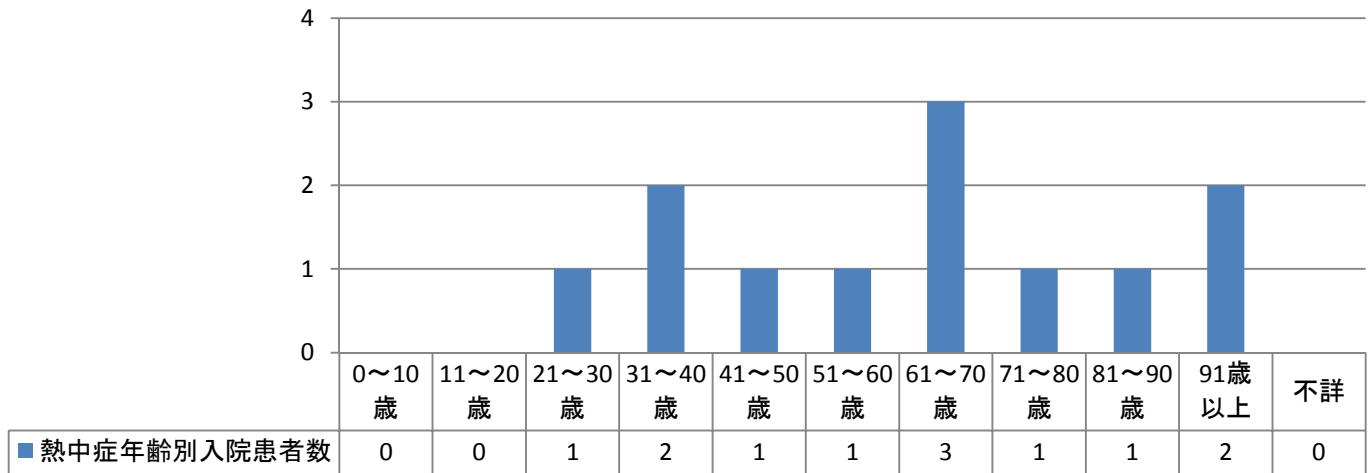
### 報告された熱中症入院患者数



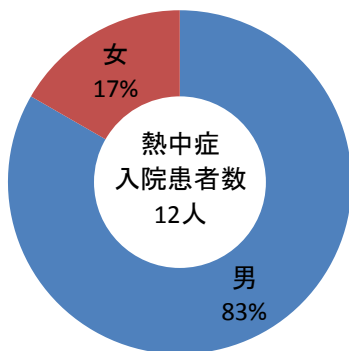
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月25日)

山形県	2人	山口県	1人
東京都	1人	福岡県	1人
長野県	1人		
愛知県	1人		
静岡県	1人		
大阪府	1人		
兵庫県	1人		
広島県	2人		

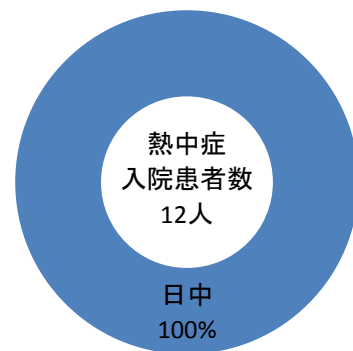
## 熱中症年齢別入院患者数(8月25日)



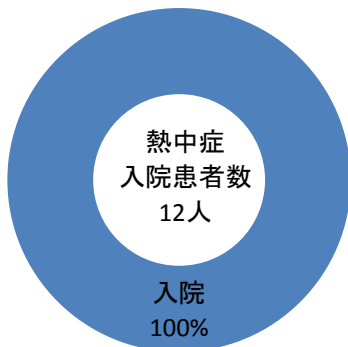
### 男女別(割合)



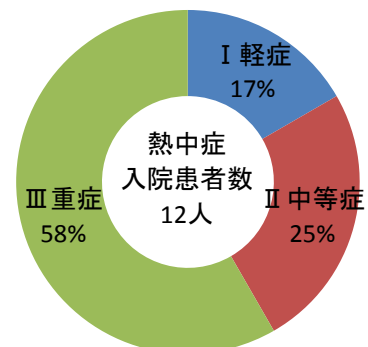
### 発症時間帯別(割合)



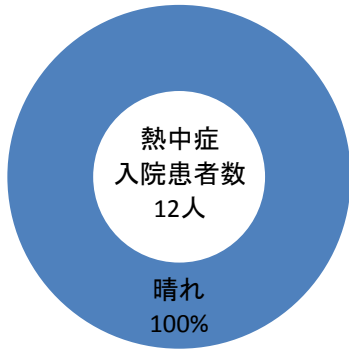
### 受診後(割合)



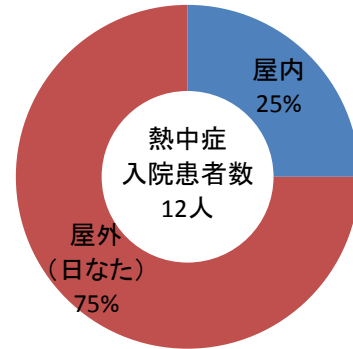
### 重症度分類(割合)



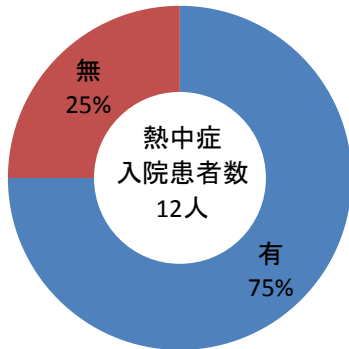
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。



## 8月26日に報告された熱中症入院患者数

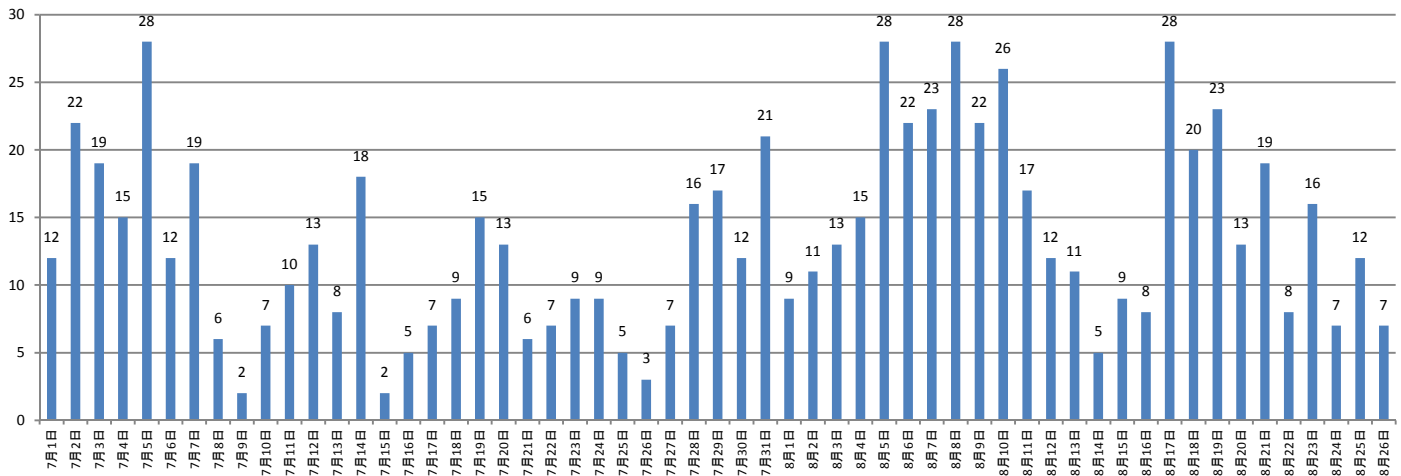
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

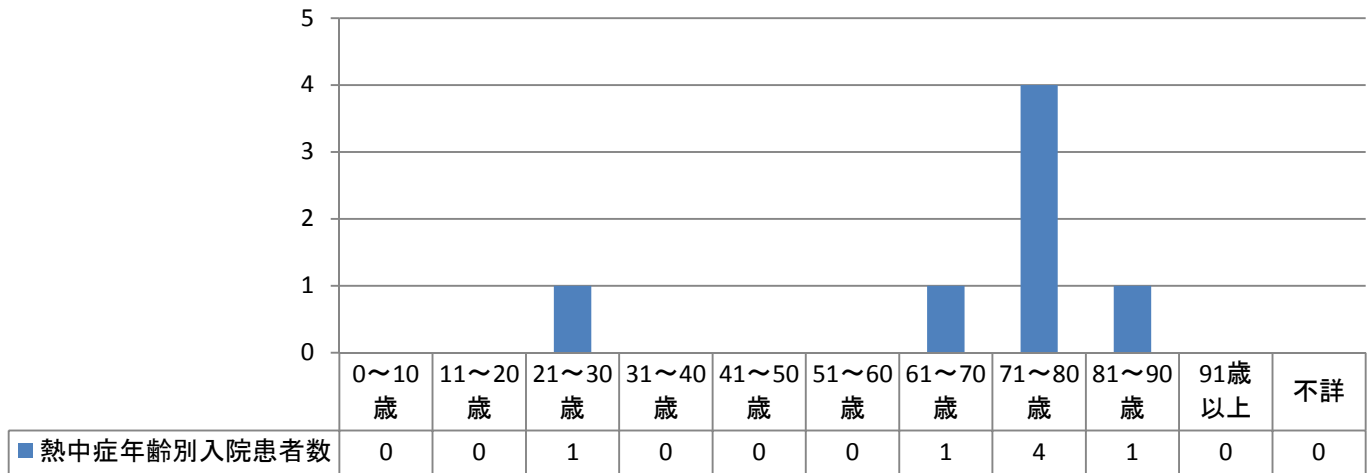
### 報告された熱中症入院患者数



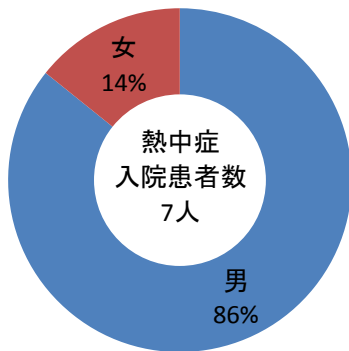
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月26日)

東京都	2人
新潟県	1人
静岡県	1人
大阪府	2人
兵庫県	1人

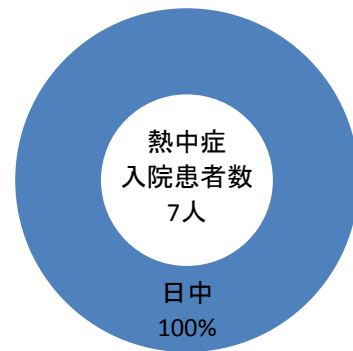
## 熱中症年齢別入院患者数(8月26日)



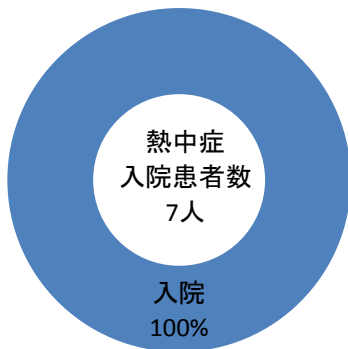
### 男女別(割合)



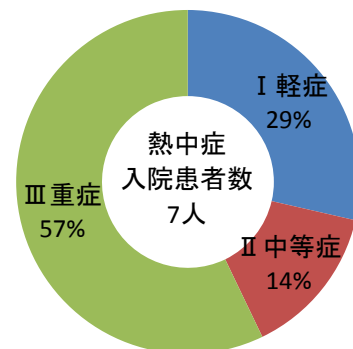
### 発症時間帯別(割合)



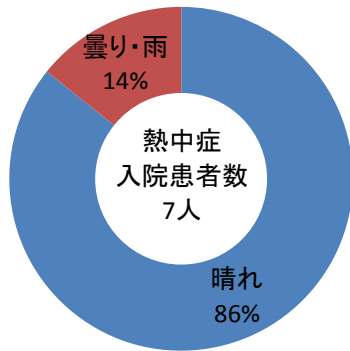
### 受診後(割合)



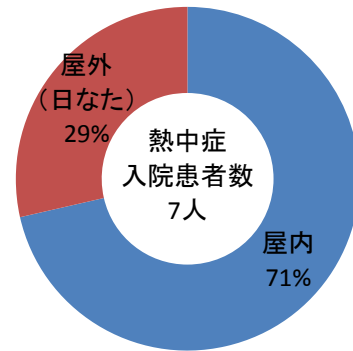
### 重症度分類(割合)



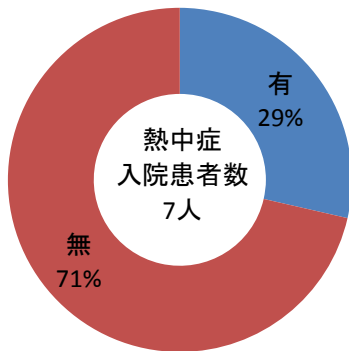
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月27日 に報告された熱中症入院患者数

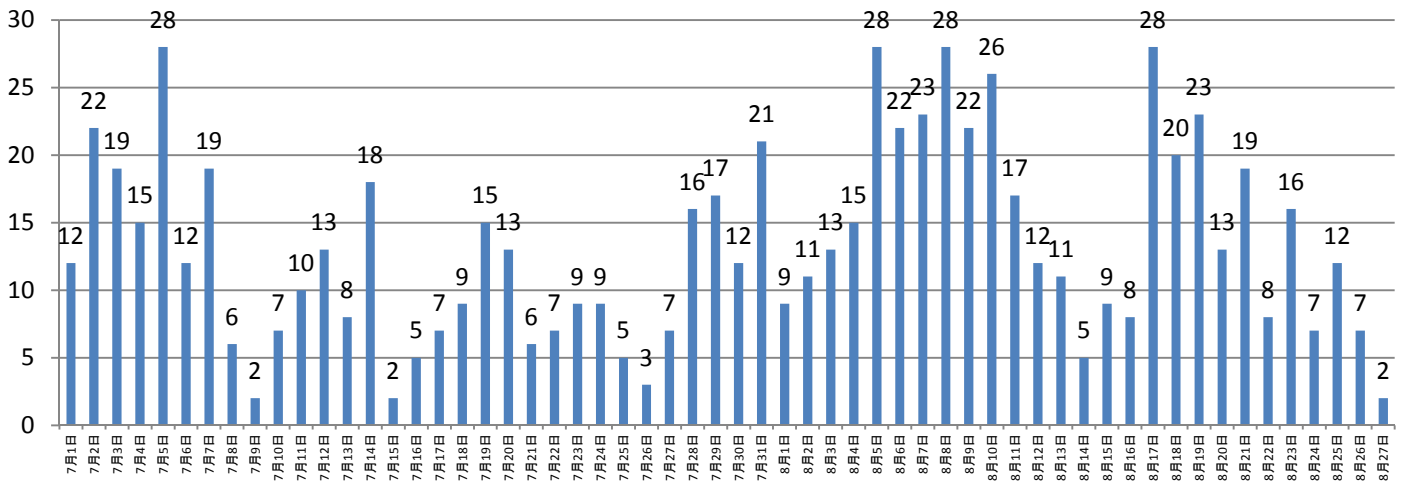
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

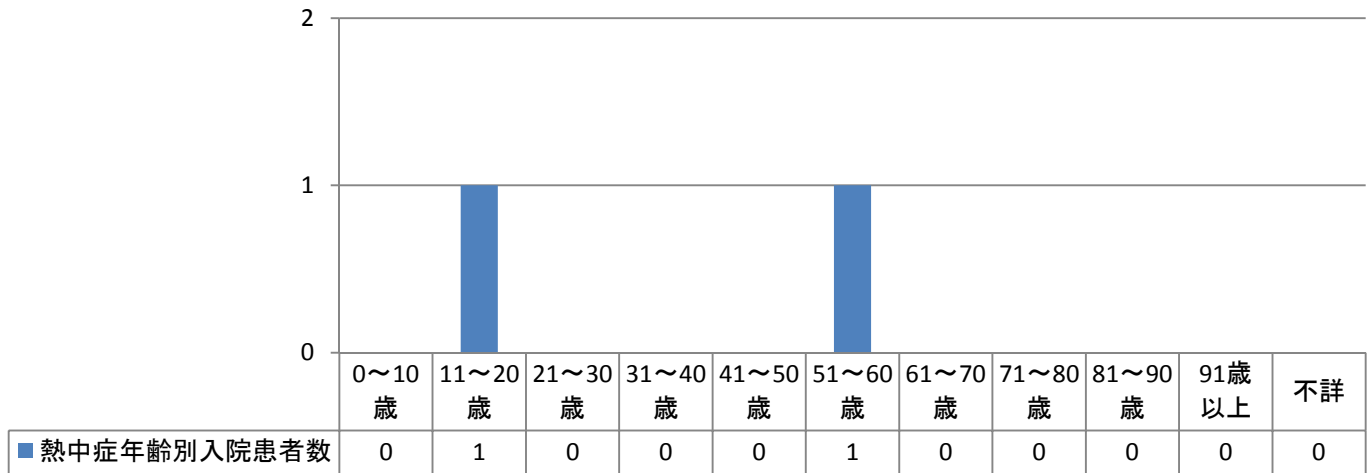
### 報告された熱中症入院患者数



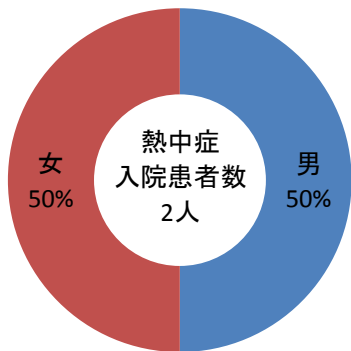
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月27日)

京都府 1人  
福岡県 1人

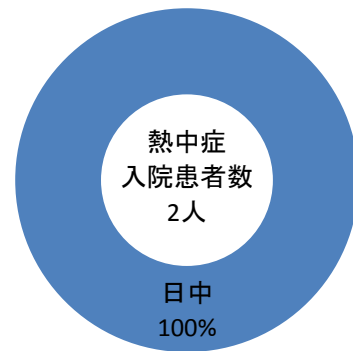
## 熱中症年齢別入院患者数(8月27日)



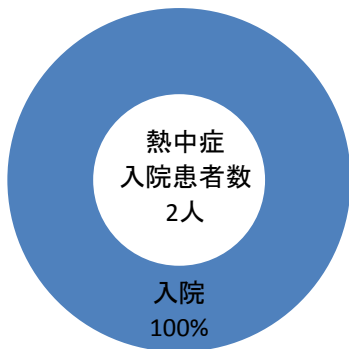
### 男女別(割合)



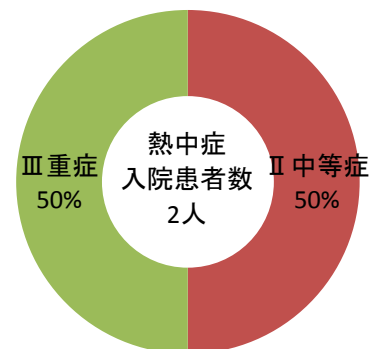
### 発症時間帯別(割合)



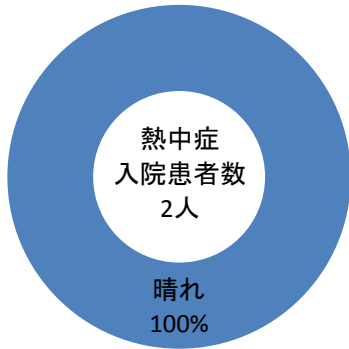
### 受診後(割合)



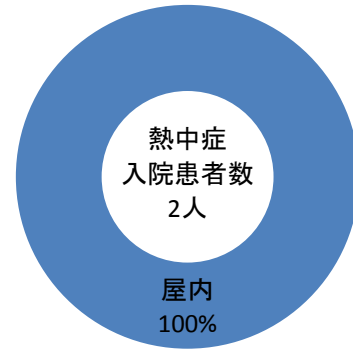
### 重症度分類(割合)



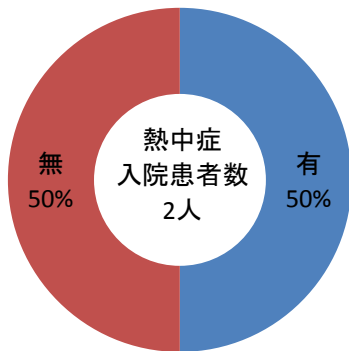
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月28日 に報告された熱中症入院患者数

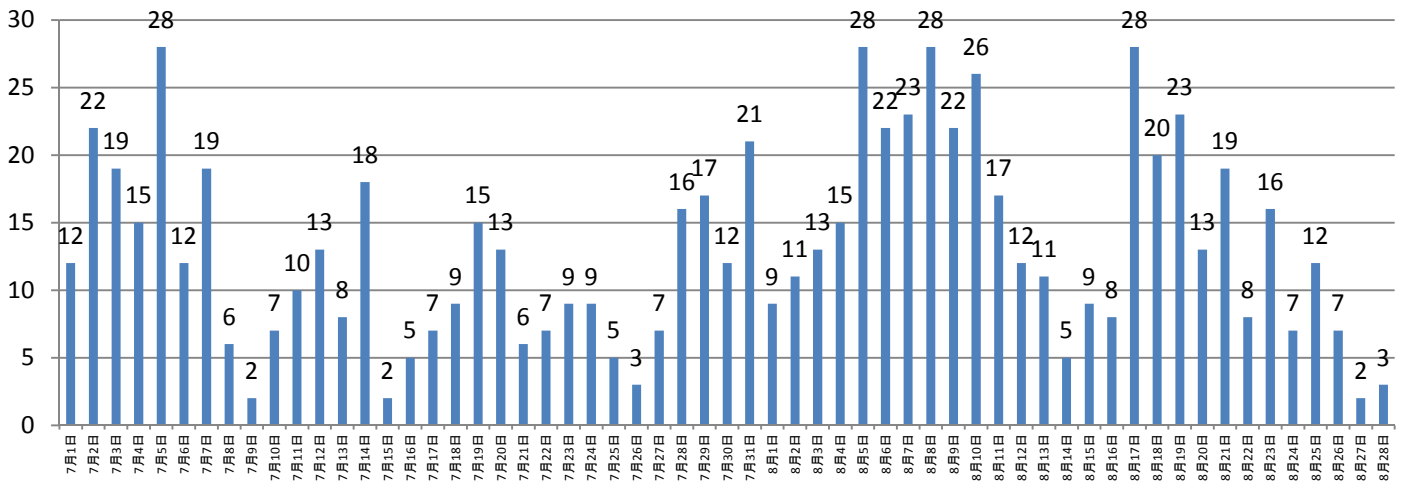
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

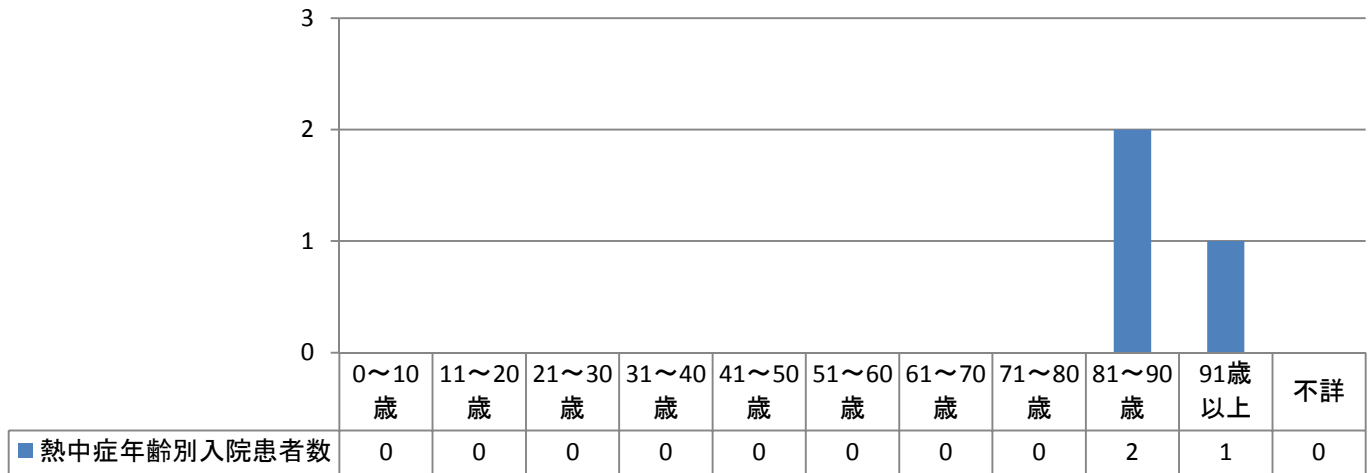
### 報告された熱中症入院患者数



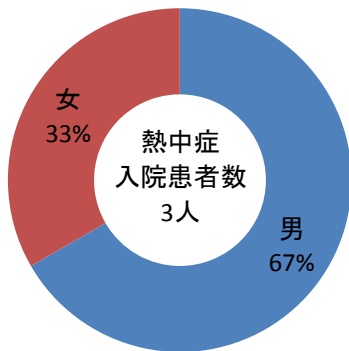
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月28日)

高知県 2人  
 鹿児島県 1人

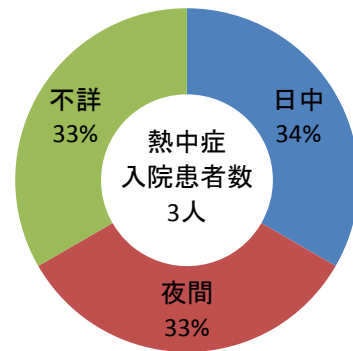
## 熱中症年齢別入院患者数(8月28日)



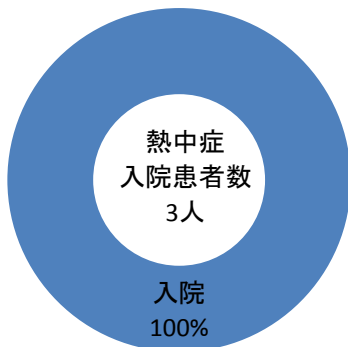
### 男女別(割合)



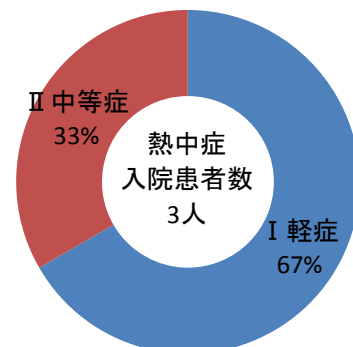
### 発症時間帯別(割合)



### 受診後(割合)

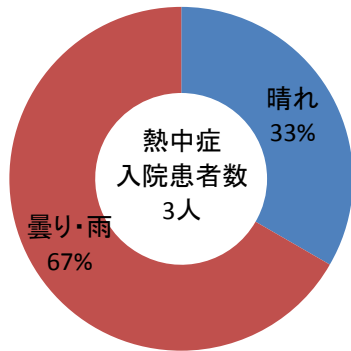


### 重症度分類(割合)

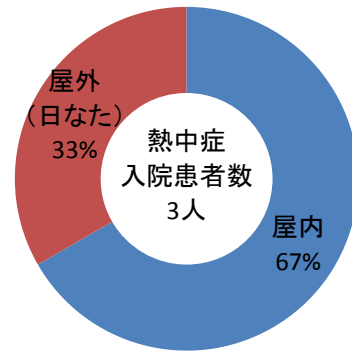




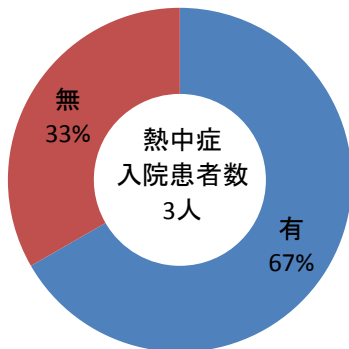
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月29日 に報告された熱中症入院患者数

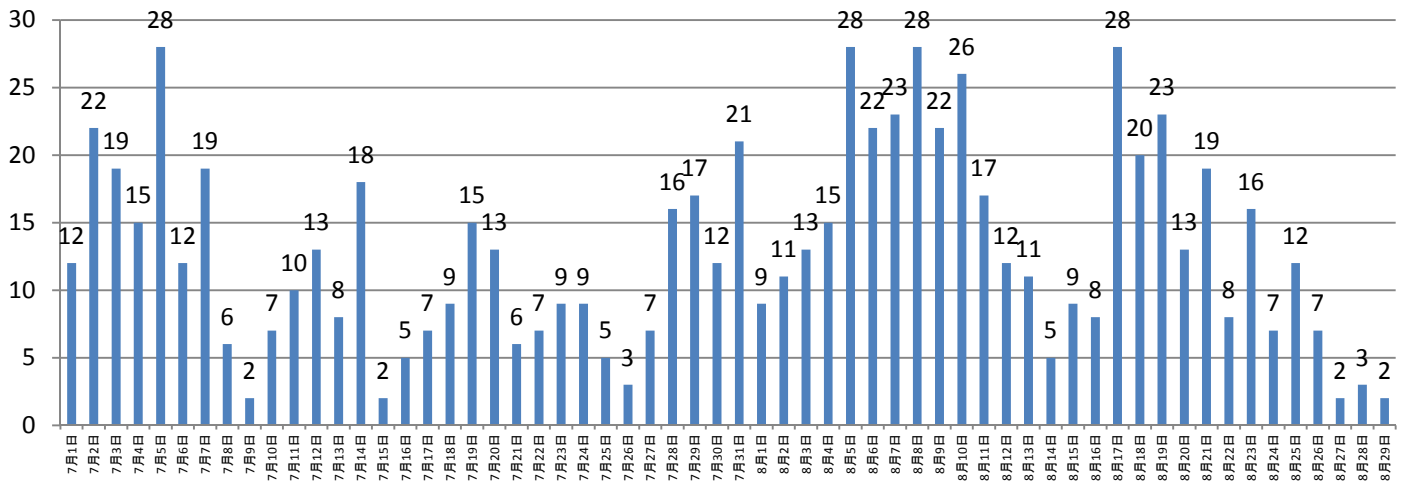
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

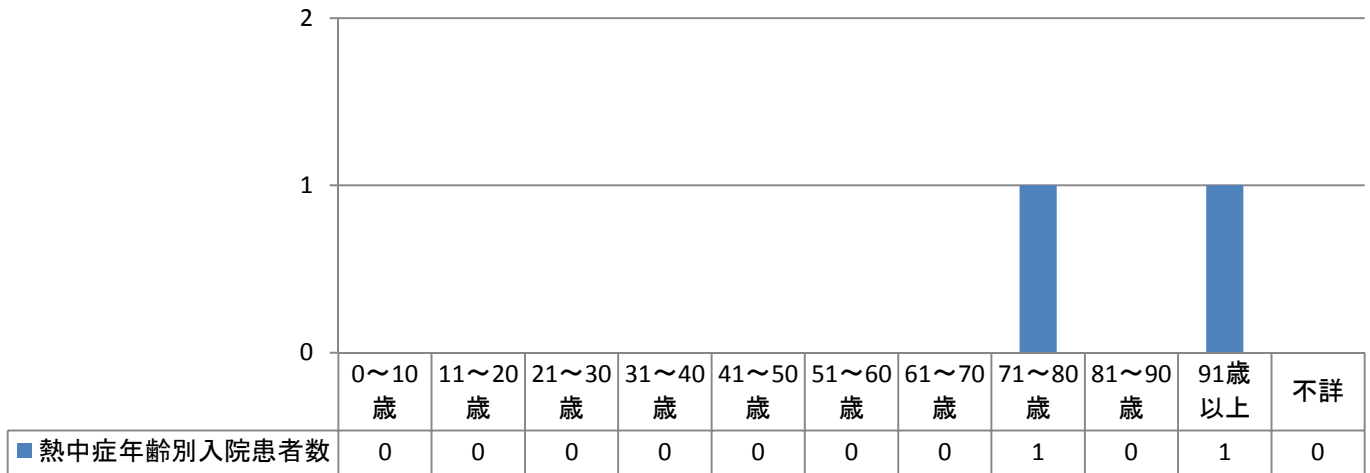
### 報告された熱中症入院患者数



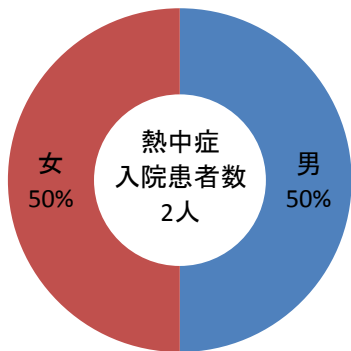
#### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月29日)

北海道 1人  
東京都 1人

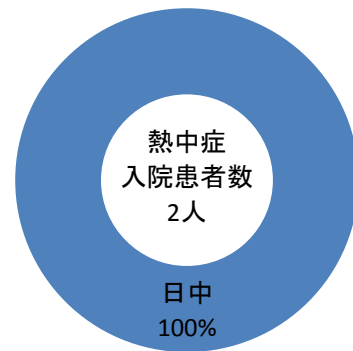
## 熱中症年齢別入院患者数(8月29日)



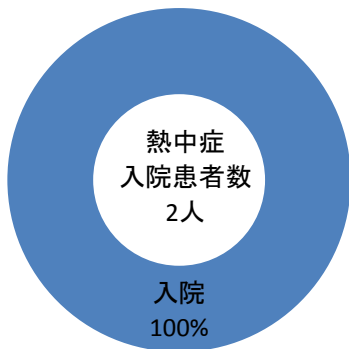
### 男女別(割合)



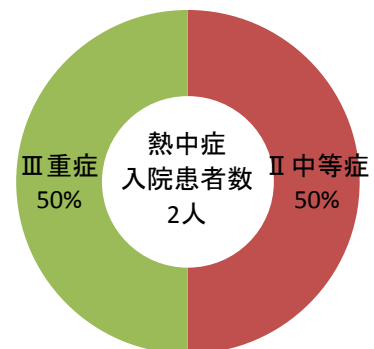
### 発症時間帯別(割合)



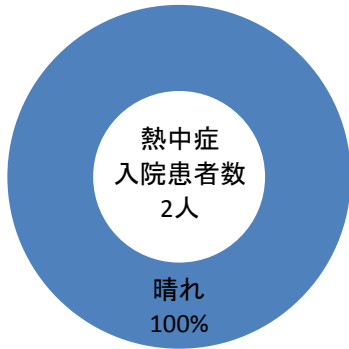
### 受診後(割合)



### 重症度分類(割合)



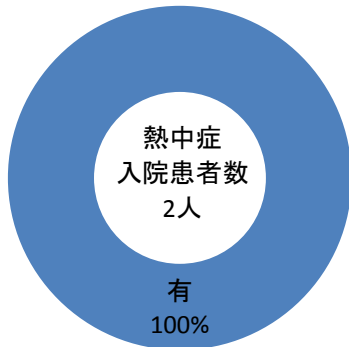
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月30日に報告された熱中症入院患者数

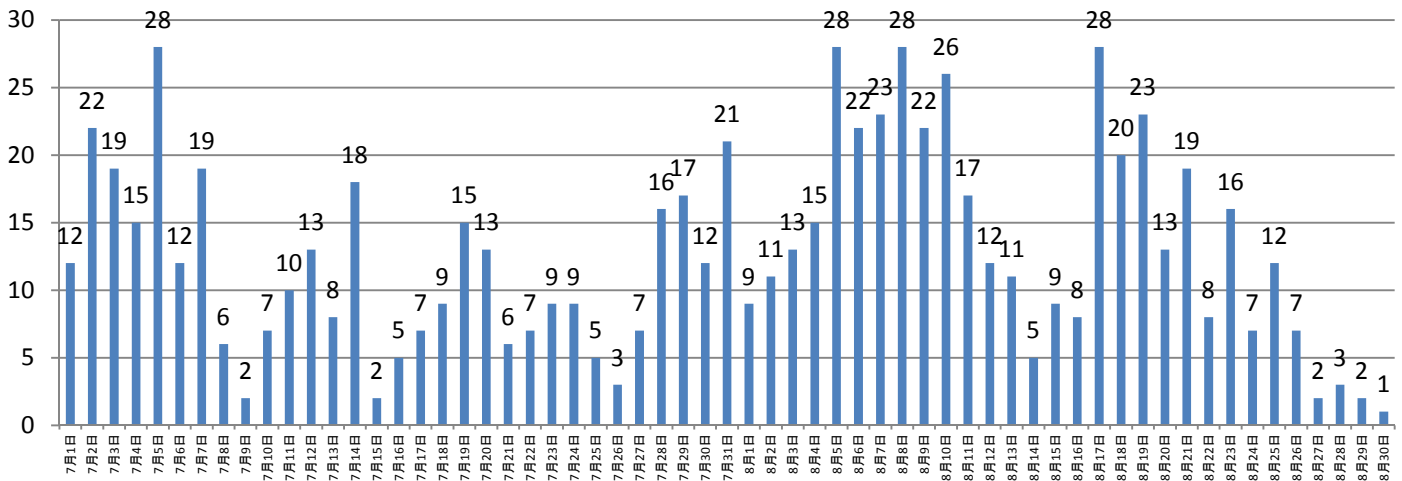
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

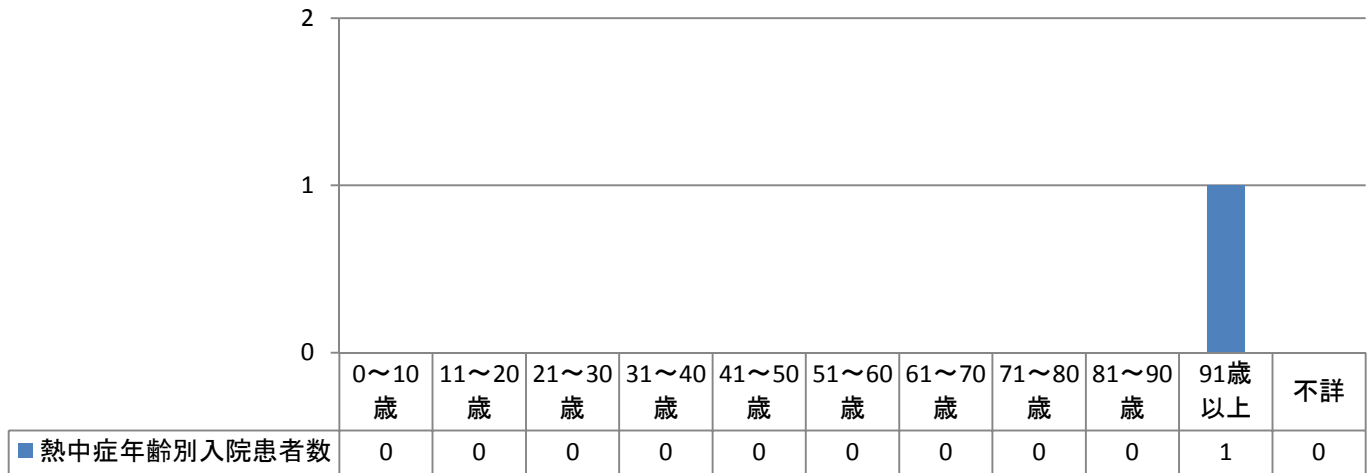
### 報告された熱中症入院患者数



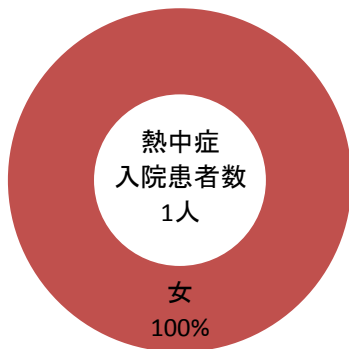
### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月30日)

京都府 1人

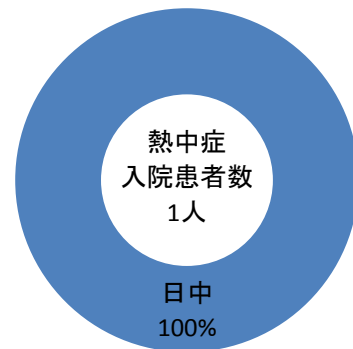
## 熱中症年齢別入院患者数(8月30日)



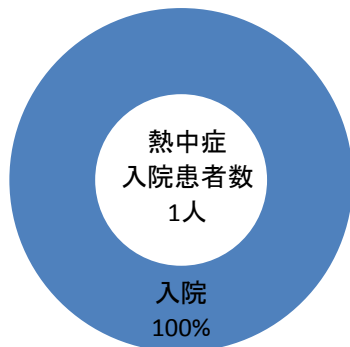
### 男女別(割合)



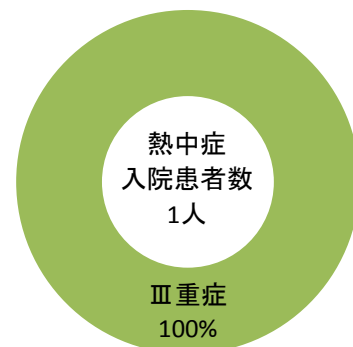
### 発症時間帯別(割合)



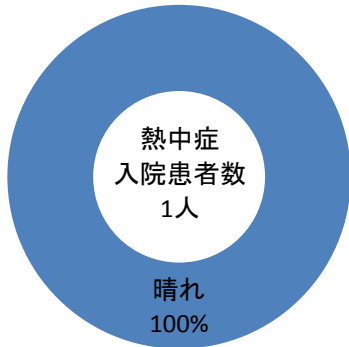
### 受診後(割合)



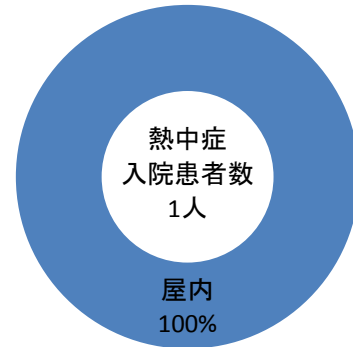
### 重症度分類(割合)



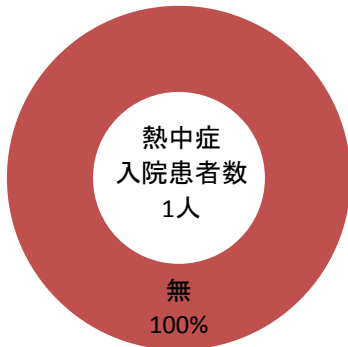
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 8月31日に報告された熱中症入院患者数

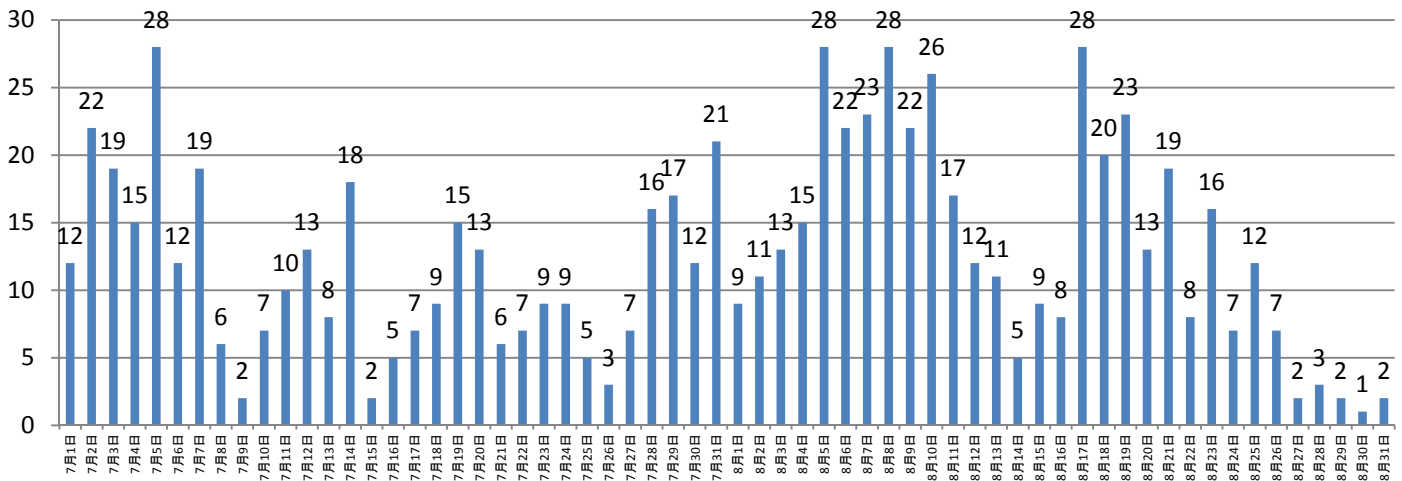
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

### 報告された熱中症入院患者数

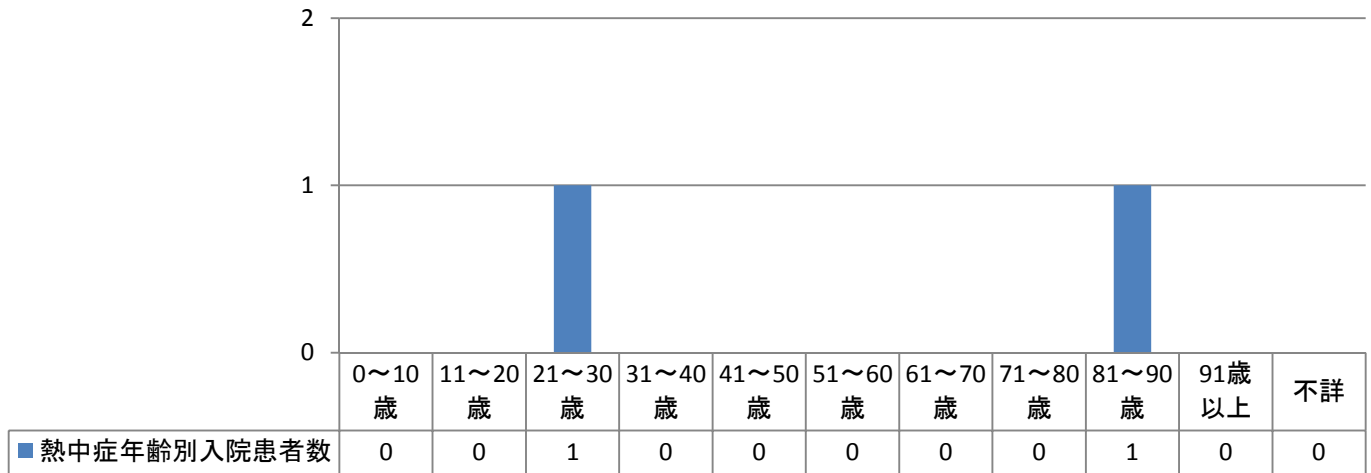


### 都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (8月31日)

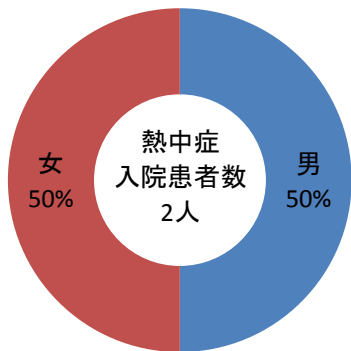
愛知県 1人  
徳島県 1人



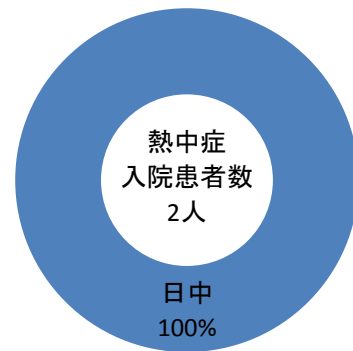
## 熱中症年齢別入院患者数(8月31日)



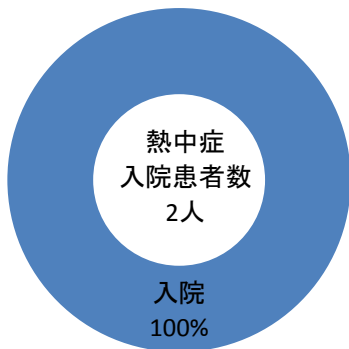
### 男女別(割合)



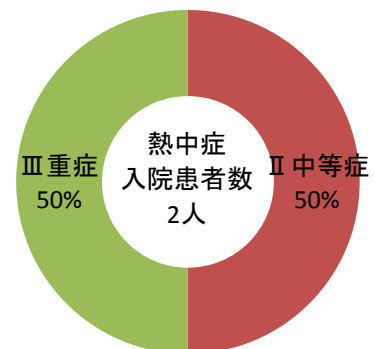
### 発症時間帯別(割合)



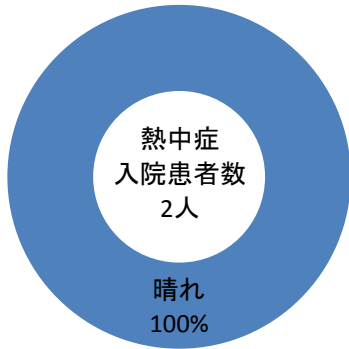
### 受診後(割合)



### 重症度分類(割合)



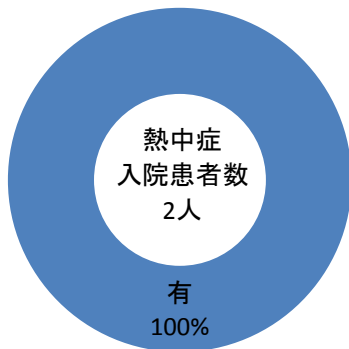
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)



## 運動の有無(割合)



\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。